

				関係課	芸術文化交流センター・福祉課		
1.	施策名	1	未来に希望をつなげるまち(結婚・出産・子育て・教育)				
		1	結婚、妊娠・出産・育児支援の充実				
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)
		指標1	婚活支援イベント開催回数	2回	2回	1回	2回
		指標2	不妊治療助成件数	3件	1件	1件	5件
		指標3	妊婦・乳児健診受診率	妊婦:100%・乳児:64%	妊婦100%・乳児54.7%	妊婦:100%・乳児:61.9%	妊婦:100%・乳児:80%
		指標4	1歳6ヶ月児健診受診率	96.4%	89.6%	100.0%	100%
		指標5	3歳児健診受診率	91.40%	91.1%	93.0%	100%
3.	施策の展開一覧	① 結婚支援の推進					
		② 妊娠・出産・育児支援の充実					
4.	二次評価	結婚支援の推進については、結婚に対する価値観が多様化しており、支援のあり方を見直すこと。 妊娠・出産・育児支援については、各期にわたる切れ目ない相談支援体制を充実させていくこと。 不妊治療費については、個人の負担が大きく、少子化が著しい本市としては支援が必要なものと評価する。 各種健診受診率については、100%を目標としているが、対象者の母数が少ないため率の変動が大きくなっているものと評価している。積極的な受診勧奨を行うとともに未受診の理由について個別に把握しておくこと。					

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	11101		事業名	結婚支援の推進								所管課	芸術文化交流センター		
事業概要	結婚を望む未婚者に対する出会いから成婚までの支援を目的として、婚活支援員による男女の出会いの場を創出します。								全体事業内容						
									結婚相談所に登録する男女にそれぞれ婚活支援員が付き、定期的な情報交換を行うとともに、マッチング(お見合い)や婚活イベントを実施する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
婚活イベントの実施	2回	2回	婚活イベントの実施	2回	1回	マッチング支援回数	10				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	524	0		130	0		90				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			△								
計画は婚活イベントを市単独で実施するということで予算計上したが、周辺地域との広域開催を検討している中、千葉県主導による夷隅地域2市2町を対象としたイベントが2回実施され、本市からも参加することができた。			千葉県主催によるイベントとして婚活セミナーが実施され、本市からも結婚相談所登録者が参加した。結婚相談所登録者は、男性11名(市内4名・市外7名)、女性5名(市内3名・市外2名)で少ない状況にある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			縮小								
婚活イベントの広域開催に向けて周辺自治体との連携を図るとともに、結婚相談所への登録の促進及び婚活支援員と協同してのマッチングの実施を進めていく。			婚活イベントについて、市単独では参加者が多く見込めず、夷隅地域での連携を検討しているものの、困難な状況にある。また、登録者でマッチングを希望する人がいても、書類上で折り合いがつかず実現していない。婚活支援員も、これまでの協力者も期限が切れ、新規を募集していても希望者がなく、現在は一人もいない状況にある。								

■実施計画事業調書

SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	11201	事業名	不妊治療費助成事業		所管課	福祉課
事業概要	不妊治療を受けている43歳未満の女性に対して、不妊治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ります。			全体事業内容		
				不妊治療を実施している女性に対し、対象医療費総額から県の助成額を差し引いた額の2分の1を助成対象額として(上限100,000円)、1回の助成を実施する。		

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
不妊治療を行っている者の経済的負担を軽減し、少子化対策の推進を図る。	100%	1件	不妊治療を行っている者の経済的負担を軽減し、少子化対策の推進を図る。	100%	6件	不妊治療を行っている者の経済的負担を軽減し、少子化対策の推進を図る。	100%				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	400	100		675	675		600				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
対象者1名に対し所定の助成を行った。 不妊治療への保険適用に伴い、県の助成制度が終了したため、市の制度について見直しを図る必要がある。			対象者6名に対し助成を行った。 出生数のおよそ1割程度の出生に寄与した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			拡大								
県の助成制度が終了したことに伴い、市の制度について見直しを図る必要がある。 保険適用となったことも踏まえた制度設計を行う必要がある。			今後、補助上限を20万円に拡大することを検討する。								

■実施計画事業調査

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-	
事業番号		11202		事業名		母子保健事業						所管課		福祉課	
事業概要		子どもたちが心身ともに健やかに成長し、保護者や家族が楽しく子育てができるよう、母子保健事業を推進します。						全体事業内容							
								母子保健法に基づく、1歳6ヶ月児・3歳児健診や相談事業等を実施する。							

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
1歳6か月児・3歳児健康診査を全数把握、全数受診につなげる。		100%	91%	1歳6か月児・3歳児健康診査を全数把握、全数受診につなげる。		100%	97%	1歳6か月児・3歳児健康診査を全数把握、全数受診につなげる。		100%					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		7,614	6,514			5,274	5,180			8,322					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
保護者への受診について意識づけを高めることと、就業している保護者が予定をたてやすくすることを目的に、早期案内通知(約1ヶ月半～2ヶ月前)を継続していく。 未受診者に対しては、健診後連絡し、未受診の理由を確認した。電話確認の他に手紙による再通知をした。また保育所等に入所している児は先生からも受診勧奨を行っていただき、受診に繋がった。今後も、保育所等にポスターを掲示する他に、保育士等からも周知を継続してほしい。			3歳児健診での視力検査の未実施者が多数おり、保育所入所児は保育所にいる間に保健師が伺い、実施する流れにした。 また前年度と同様に早期案内通知を継続していく。 未受診者に対しては、保育所等に協力していただきポスターを掲示する他に、保育士等からも周知を継続して実施した。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
今年度と同様に未受診者への受診勧奨を電話連絡やこども園・保育所の先生方に協力していただき、受診につなげたい。また、健診で発達心理相談に繋がったケースでこども園・保育所の入所児は先生方と情報共有を行いながら、健診後の発達や親の心身の状態等も含めて相談対応できるようフォローしたい。			3歳児健診の家庭での視力検査ができなかった児は、健診会場で再検査を実施できるよう体制を整える。 令和7年後から妊産婦健診に係る自己負担額に対するの助成を検討する。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	11203		事業名	産前産後サポート事業						所管課	福祉課
事業概要	妊産婦等が抱える妊娠・出産や子育てに関する相談支援等を行い、子育て不安の解消と乳幼児の健やかな成長を促します。						全体事業内容				
							親子ひろばやガスケアプローチおよび離乳食教室を通し、母親等の子育ての相談対応や産前・産後の心身の不調に関する相談支援を実施する。				

■事業評価書

事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
親子ひろば(乳幼児健康相談)での未参加者のフォローを100%にする。		100%	100%	親子ひろば(乳幼児健康相談)での未参加者のフォローを100%にする。		100%	100%	親子ひろば(乳幼児健康相談)での未参加者のフォローを100%にする。		100%					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,087	990			1,187	870			1,138					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
◎			◎												
親子ひろば等の健康相談事業や教室で保健師、歯科衛生士の相談率は100%、栄養士の相談は必要な方をつなげた。通知対象者は来所される方が多く、未参加者も電話等で状況を確認できた。また助産師も事業に関わっているため、コミュニケーションの中から相談対応することができた。新型コロナウイルス感染症により対象者を限定していたが、今後はコロナ前の通知対象者以外の方も利用できるよう検討し、潜在化、顕在化している問題を見つけ対処できるよう相談につなげたいと考える。			親子ひろば等の健康相談事業や教室で保健師、歯科衛生士の相談率は100%、栄養士の相談は必要な方をつなげた。未参加者も電話等で状況を確認できた。通知者以外の方の乳幼児相談を検討していたが、出生が減少していること、こども家庭センターが発足し、親と子の相談室「ひだまり」への利用者が一定数いること、勝浦市こども館・勝浦こども園内にある支援室に保健師、助産師が出向き、相談や計測会を実施したため、親子ひろばでの対象者拡大は実施せずに対応することができた。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
拡大			維持												
幼児期にある子どもの相談対応もできるよう、次年度以降通知対象者以外の利用につながるよう、計測だけの利用希望等保護者のニーズに合った形で周知をしていきたい。			親子ひろば等の乳幼児健康相談を実施するとともに、こども館・支援室への相談日の実施を継続していく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	11204		事業名	産後ケア事業						所管課	福祉課	
事業概要	出産後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して健やかな育児ができるよう支援します。						全体事業内容					
							家族等から十分な家事及び育児などの援助が受けられない褥婦及び産婦並びにその新生児及び乳児であって、産後に心身の不調又は育児不安等がある者や特に支援が必要と認められる母子に対して心身のケアや育児サポート等を行う産後ケア事業を実施する					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
対象となる母子が1回産後ケア事業の利用をすることができる	目標設定なし	68件	対象となる母子が1回産後ケア事業の利用をすることができる	目標設定なし	73件	対象となる母子が1回産後ケア事業の利用をすることができる	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	6,966	6,720		6,766	6,666		4,433				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			△								
デイサービス型の産後ケアでは、1回利用をすると継続利用に繋がる人が多い。利用するとリフレッシュや施設の助産師にも相談できるメリットが大きく、継続利用に繋がっていると思われる。しかし、核家族化が進み、祖父母等の家族も労働している中で協力を得られない方も多くリフレッシュしたいが、距離が遠いことや兄弟の預けが出来ず利用につながらないこともあったことが課題と思われる。			訪問型では1件あり、不安がある保護者のフォローをすることができた。デイサービス型では今までと同じ継続利用者も多いが、1回だけ使う方もいた。訪問型、デイサービス型でも児の体重増加や育児手技でフォローが必要な場合、情報共有をしながら適切なフォローをすることができた。市内デイサービス型の展開は適切な場所がなく展開できなかった。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
市内でのデイサービス型の展開(身近で利用しやすい、兄弟を預けることも可能等)を検討していきたい。			市内でのデイサービス型の展開(身近で利用しやすい、兄弟を預けることも可能等)を検討していきたい。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	11205		事業名	こども家庭センター(ひだまり)事業						所管課	福祉課	
事業概要								全体事業内容				
								助産師・保健師・社会福祉士等によるこども家庭センターによる相談支援事業を実施し、妊娠期からの切れ目のない支援の充実を図ります。				
助産師・保健師・社会福祉士等によるこども家庭センターによる相談支援事業を実施。												

■事業評価書

事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
保健師・助産師により妊娠届出時の全数把握や妊娠中期から後期の電話確認、新生児訪問の全数実施を行う。また希望者や必要な方は両親学級や個別での計測や相談を実施する。	100%	100%	保健師・助産師により妊娠届出時の全数把握や妊娠中期から後期の電話確認、新生児訪問の全数実施を行う。また希望者や必要な方は両親学級や個別での計測や相談を実施する。	100%	100%	保健師・助産師により妊娠届出時の全数把握や妊娠中期から後期の電話確認、新生児訪問の全数実施を行う。また希望者や必要な方は両親学級や個別での計測や相談を実施する。	100%				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	2,073	1,934		2,335	2,119		2,165				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
保健師・助産師による妊娠届出時の面接は全数実施した。また、妊娠中期にアンケートを実施しており、その結果希望者には個別で両親学級を実施した。アンケートの返却がない方やその他母子事業で会わない方には電話で体調確認を実施した。新生児訪問は初産婦には全数訪問できたが、経産婦だと困り感がなく拒否する方もいたが、「ひだまり」で個別に計測できるためそちらを利用する方もおり、「ひだまり」が今の保護者に浸透してきている印象がある。計測や遊びにきたその中で家庭相談に関することも散見されたため、今後家庭相談対応も必要になると思われる。			保健師・助産師による妊娠届出時の面接は全数実施。妊娠中期にアンケートを実施し、その結果希望者には個別で両親学級を実施した。アンケートの返却がない方やその他母子事業で会わない方には電話で体調確認を実施した。新生児・産婦訪問は全数訪問できた。「ひだまり」で個別に計測を希望される方や遊びにきたその中で家庭相談に関することも多くあり、社会福祉士に同席してもらい家庭相談対応を実施した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
次年度から、「こども家庭センター」へ移行するため、「ひだまり」の母子保健機能を維持していきながら、児童福祉に関する相談対応を社会福祉士等と一緒に情報共有しながら、ケース対応を行っていきたい。			「ひだまり」の母子保健機能を維持していきながら、児童福祉に関する相談対応を社会福祉士等と一緒に情報共有しながら、ケース対応を行っていきたい。								

				関係課	福祉課・学校教育課			
1.	施策名	1	未来に希望をつなげるまち(結婚・出産・子育て・教育)					
		2	子育て支援の充実					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	こども園・保育所待機児童数	0人	0人	0人	0人	
		指標2	放課後ルーム入所待機児童数	0人	0人	0人	0人	
		指標3	子育て支援施設についての市民満足度	23.6%	－	－	向上	
3.	施策の展開一覧	① 子育て支援の充実						
		② 幼児教育・保育の充実						
		③ ひとり親家庭等への支援の充実						
4.	二次評価	子育て支援の充実は、経済的負担の軽減を図ることと併せて、子育て世帯の支援ニーズが多様化するなかで、本当に必要な支援が必要なときに届くような体制・制度を整備していくこと。 幼児教育・保育の充実については、対象となる施設の待機者はゼロであり、目標は達成されているが、引き続き受入体制を維持・充実させ、サービスの質の向上を図ること。						

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	4	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	12101		事業名	子ども・子育て会議の開催							所管課	福祉課		
事業概要	保育施設等の利用定員の設定や子ども・子育て支援事業計画に関し、子育て世帯の意見を広く聴き入れるため、子ども・子育て会議を開催します。							全体事業内容						
								子ども・子育て支援事業計画の策定、変更、見直し等について、子育て当事者としての意見を反映させるため、会議を開催する。年2回程度開催						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
保育施設等の利用定員の設定 子ども・子育て支援事業計画の策定	目標設定なし	－	保育施設等の利用定員の設定 こども計画の策定	目標設定なし	1回	保育施設等の利用定員の設定及び子 ども・子育て施策に関する事項の審 議	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	93	0		186	34		93				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			△								
令和5年度においては国の新たな子育て施策が不透明であり、具体的な提案 ができない状況であったことから開催を見送った。			令和6年度中に、こども計画の策定に向けた会議を1回開催し、結果、計画を 策定することができた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
国が示す具体的な子育て施策に則った提案に合わせて、地域の特性に合っ た市独自の計画を検討する必要がある。			こども計画のPDCAサイクルによる評価等、保育所等におけるICT化につい ての評価等について、条例により規定された事項を踏まえ、会議を開催す る。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	4	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	12102		事業名	子ども・子育て支援事業計画の策定及び進行管理						所管課	福祉課	
事業概要	幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援事業の供給体制の確保や法律に基づく業務の円滑な実施の推進のため、子ども・子育て支援事業計画を策定します。							全体事業内容				
								子ども・子育て支援法第61条の基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」として策定。「次世代育成支援対策推進法」第8条に規定される「市町村行動計画」の生活を持ち合わせるものとする。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
子ども・子育て支援事業計画及び各種計画をが包含した計画の策定	目標設定なし	－	子ども・子育て支援事業計画及び各種計画を包含したこども計画の策定	目標設定なし	作成	勝浦市こども計画に基づき各種施策の進行管理を行う。	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		7,667	7,667		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			○								
令和5年度においては委託業者の決定ができなかったことから、令和6年度からの着手へと変更した。			国の動向等を踏まえ、既存の「子ども・子育て支援計画」に加え、新たに「子ども・若者計画」、「こども の貧困解消対策推進計画」の内容を一体的に定めた、「勝浦市 こども計画」を策定する。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
令和6年度早々に業者選定を行い、令和6年度中での計画策定とする。			計画の進行管理をはじめ、こども若者の意見聴取に取り組んでいく。各課の施策展開においても「こどもまんなか」の視点を持って取り組んでもらうよう働きかけを行う。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		1	3	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	12103		事業名	子育て世帯への経済的負担軽減事業								所管課	福祉課	
事業概要	子ども医療費の助成や児童手当などを支給し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。								全体事業内容					
									子ども医療費の助成(18歳(高校生相当まで)、児童手当の支給、乳児おむつ給付券及びごみ袋を支給し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。 【実施事業】 ①子ども医療費助成事業 ②児童手当支給事業 ③乳児おむつ給付券及びごみ袋支給事業 副食費や0歳児から2歳児の保育料の無償化など更なる経済的支援について検討を行う。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
子育て世帯の経済的な負担軽減を図る。	目標設定なし	子ども医療費助成	子育て世帯の経済的な負担軽減を図る。	目標設定なし	以下のとおり	子育て世帯の経済的な負担軽減を図る。	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	176,893	169,218		197,323	192,700		246,374				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
子ども医療費助成においては高校生への現物給付を開始 おむつ券については令和6年度からゴミ袋の支給に替えおむつ券を5,000円分上乗せし、品目拡大を図った。			子ども医療費助成16,195件 児童手当支給646件 乳児おむつ給付券30件 おむつ等給付券についてミルク、離乳食を対象品目に追加し、クーポンも7万円に拡充した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
拡大			拡大								
おむつ券の品目拡大や利用にあたっての利便性の向上について検討を行う必要がある。			新たな子育て世帯への経済的支援策として、0歳児から2歳児に係る保育料助成、副食費助成、0歳児から2歳児に係る在宅育児に対する助成(月1万円支給)、出産祝い金(第2子20万円、第3子以降40万円)、おむつ等助成事業(7万円から10万円分に拡充)を検討する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	4	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	12104		事業名	地域子育て支援拠点事業						所管課	福祉課	
事業概要	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助等を行い、地域の子育て支援機能の充実を図るとともに、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援します。						全体事業内容					
							乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助等を行う事業。 こども館、勝浦こども園子育て支援室において実施。 【実施事業】 ①つどいの広場事業(こども館) ②勝浦こども園子育て支援室					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
つどいの広場事業(週3日開催) 子育て支援室(月から金曜日)		目標設定なし	341人	利用者の数の増加		目標設定なし	1458	利用者の数の増加		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		2,741	2,627			3,147	2,964			5,331					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
つどいの広場、子育て支援室での相談等の事業を実施 引き続き利用者の多岐にわたるニーズに対応するよう努めていく。			保健師・助産師・社会福祉士の定期派遣を実施した。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
保健師等の派遣について、令和5年度は子育て支援室に定期派遣を実施、令和6年度からこども館への定期派遣を行っていく。			引き続き保健師等の派遣を行うとともに新たな事業等についての検討を行う。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	12105		事業名	保育士等資質向上研修事業								所管課	福祉課	
事業概要	保育士等を対象に子育て支援に関する研修会を実施し、職員の資質を向上させ、子育て相談の充実を図ります。								全体事業内容					
									保育士等を対象に子育て支援に関する研修会を実施し、職員の資質を向上させ、子育て相談の充実を図る。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8									
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果			
研修等の実施による保育士等の資質の向上		1回	1回	研修等の実施による保育士等の資質の向上		1回	1回	研修等の実施による保育士等の資質の向上		1回								
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額			
		30	0			30	20			20								
達成度			評価と課題	達成度			評価と課題	達成度			評価と課題	達成度			評価と課題			
○				○														
令和5年度においては、全ての保育士(会計年度任用職員も含む。)を対象に救命救急講習を実施 万が一の際には、誰でも最低限の処置が行えるよう定期的な研修を実施する必要がある。				令和6年度は特別な配慮を要する児童及びその家庭に対する対応等についての研修を実施														
今後の方向性				今後の展望	今後の方向性				今後の展望	今後の方向性				今後の展望	今後の方向性			
維持					維持													
保育士が行うべき研修内容は多岐にわたることから、年度ごとに広く研修を行い保育士としての資質の向上を引き続き図っていく。				引き続き保育士にとって必要となる研修を行っていく。														

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		2	3	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	12106		事業名	学校給食費補助事業							所管課	学校教育課		
事業概要	給食費の補助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減を図り、子育て支援を推進します。							全体事業内容						
								市内に住所を有する小中学生の保護者に対し給食費の補助を行う。 学校給食費補助事業(補助金)						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8							
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果	
給食費補助件数(人数)	目標設定なし		609人	給食費補助件数(人数)	目標設定なし		584人	給食費補助件数(人数)	目標設定なし					目標設定なし		
	R5予算額		R5決算額		R6予算額		R6決算額		R7予算額		R7決算額			R8予算額		R8決算額
	38,376		36,441		39,208		36,254		35,226							
達成度	評価と課題		○	達成度	評価と課題		○	達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			
○																
市内在住の小中学生の保護者に対して学校給食費の全額を補助することより、経済的負担の軽減を図ることができた。			市内在住の小中学生の保護者に対して学校給食費の全額を補助することより、経済的負担の軽減を図ることができた。													
財源の確保が課題である。			財源の確保が課題である。													
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			
維持				維持												
財源の確保を含めて、今後の事業実施の継続について検討していく。			引き続き財源の確保を含めて、今後の事業実施の継続について検討していく。													

■実施計画事業調査

■実施計画事業調書				SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	12107		事業名	児童虐待防止対策の充実						所管課	福祉課
事業概要	要保護児童対策地域協議会等の関係機関と連携し、児童虐待の早期発見及び早期対応を図ります。							全体事業内容			
								勝浦市要保護児童対策地域協議会を中心に、児童虐待防止機能を有する関係機関、団体等との連携を強化し、より迅速で効果的な対応を目指す。			

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
受付対応数	(目標設定無し)	416回	受付対応数	(目標設定無し)	1053回	受付対応数	(目標設定無し)				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	2,470	2,416		2,511	2,416		4,644				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
児童相談所等の関係機関と連携し、代表者会議・実務者会議・個別支援会議を開催した。また、児童相談システムを活用し、国との情報共有や要保護児童の管理を効率化し、児童虐待の早期発見・早期対応などを図っている。 家族形態の変化や社会背景の変化に伴い、児童に対する虐待や養育支援が必要な家庭は散在し、解決まで導くには月日や労力を要し、虐待を未然に防ぐための取組や早期対応が重要であり、体制づくりや職員の専門的な知識等の修得が必要である。			令和6年度より稼働した勝浦市こども家庭センターでは、従前の子育て世代包括支援センター(母子保健)と子ども家庭総合支援拠点(児童福祉)が果たしてきた機能の一体的運営を通じて、妊産婦及び乳幼児の健康保持・増進に関する包括的な支援や妊産婦を含む子どもと家庭の福祉に関する包括的な支援を切れ目なく提供。センターが要保護児童対策地域協議会の調整期間を担い、児童相談所や地域の関係機関と連携して児童虐待の早期発見・早期対応などを図っている。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
今後も関係機関と連携し、児童虐待の早期発見・早期対応に努めていく。 また、子育て世代包括支援センターと連携し令和5年4月1日から子ども家庭総合支援拠点を設置、また令和6年4月から子ども家庭センターを設置。 今後も要支援児童及び要保護児童等への支援業務の強化を図っていく。			今後もこども家庭センターにおいてすべての妊産婦・子育て世帯・こどもへの一体的な相談支援を行い、また、関係機関と連携して、児童虐待の早期発見・早期対応に努めるとともに、要支援児童及び要保護児童等への支援業務の強化を図っていく。								

■実施計画事業調書

SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	12108	事業名	放課後児童健全育成事業			所管課	福祉課
事業概要	保護者の就労形態に応じて、小学校1年生から6年生の児童に対し、放課後の生活の場を設置することで、児童の健全育成を図ります。				全体事業内容		
					実施場所:市内6箇所 対象児童:小学校1～6年生 授業終了後、保護者が迎えに来るまでの間の生活の場として、支援員やクラブの児童達と宿題や遊びを行う。また、土曜日や夏休み等の長期休業日においても開設し、放課後児童の健全育成を図る。 R2年度から運営を民営委託		

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
昼間保護者のいない小学校児童に対する安全確保と健全育成		目標設定なし	225人	昼間保護者のいない小学校児童に対する安全確保と健全育成		目標設定なし	182人	昼間保護者のいない小学校児童に対する安全確保と健全育成		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		67,367	66,520			70,132	69,795			66,570					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
児童数の減少等を考慮し勝浦放課後ルームの建設を保留、代案として学校教室のタイムシェアによるルーム利用を検討する必要がある。			小学校の統合に合わせた放課後ルームの再編に係る協議等を実施 統合後のルーム運営に向けた空調設備設置工事の設計業務を実施した。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
学校教室のタイムシェアによる放課後ルーム利用について具体的な検討を行う必要がある。			令和7年度においては勝浦小学校及び上野小学校の放課後ルーム開設に向けた空調設備設置工事を実施予定としている。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		1	3	10	会計区分		一般	再掲区分		-		
事業番号		12109		事業名		子どもの居場所づくり事業							所管課		福祉課	
事業概要		子育て支援を行うNPOや民間団体と連携し、子ども食堂などの子供の居場所づくりに関する支援を実施します。							全体事業内容							
									民間団体等が実施する子ども食堂などの居場所づくりに対する運営費を補助し、子供の居場所づくりを支援する。							

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
市内団体が実施する子ども食堂及び自主学習の支援によるこどもの居場所づくりへの支援	3団体	2団体	子ども食堂及び自主学習の支援によるこどもの居場所づくりへの支援	3団体	1団体	子ども食堂及び自主学習の支援によるこどもの居場所づくりへの支援	3団体				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	500	293		550	550		1,320				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
定期的に事業を実施する団体の育成と事業の定着が図られた。 現在は子ども食堂と自主学習支援について補助を実施しているが、多様化する居場所づくり事業への対応を検討する必要がある。			定期的にこども食堂を行う団体が出来たものの1団体のみであることから、実施団体を増やすことが課題である。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
拡大			拡大								
全国的にこども食堂事業が定着しつつある中、実施形態も多様化していることから、補助対象、補助金額及び補助の方法等について検討を行う必要がある。			子ども食堂に限らず、多様な形態のこどもの居場所づくりが課題であることから、引き続き調査研究が必要である。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	4	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	12201		事業名	保育所の管理・運営							所管課	福祉課		
事業概要	地域における子育ての基幹施設である公立保育所の適切な維持管理を行います。							全体事業内容						
								児童の年齢や保護者の就労形態に応じた保育の量の確保及び質の向上を図るとともに、多様な保育サービスを提供する。 【実施事業】 ①保育所管理運営経費 ②上野保育所管理運営経費 ③総野保育所管理運営経費						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
保育所の維持管理	目標設定なし	—	保育所の維持管理	目標設定なし	—	保育所の維持管理	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	55,392	51,504		65,189	59,265		46,251				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
			○								
必要に応じて保育所の修繕や備品購入を実施した。			必要に応じて保育所の修繕や備品購入を実施した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
			維持								
引き続き修繕や備品等を調達していく。			引き続き児童の安全確保等に配慮し、修繕や備品等を調達していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	10	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	12202		事業名	地域子育て支援(保育)事業								所管課	福祉課	
事業概要	子育て世帯の育児不安や負担を軽減し、仕事と子育ての両立を支援するため、一時預かり事業、障害児保育事業、延長保育事業などの子育て支援サービスの維持・拡充を図ります。								全体事業内容					
									子育て世帯の育児不安や負担を軽減し、仕事と子育ての両立を支援するため、一時預かり事業、障害児保育事業、延長保育事業などの子育て支援サービスの維持・拡充を図る。 【実施事業】 ①一時預かり事業 ②障害児保育事業 ③延長保育事業					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
保護者の負担軽減(利用実績等)	目標設定なし	一時預かり511件	保護者の負担軽減(利用実績等)	目標設定なし	以下のとおり	保護者の負担軽減(利用実績等)	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	7,900	7,739		9,775	9,184		8,837				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
一時預かり、障害児保育及び延長保育を実施した。国が実施検討をしていることもだれでも通園制度(仮)の実施について検討をする必要がある。			【一時預かり334件、障害児保育4名、延長保育200件】 一時預かり、障害児保育及び延長保育を実施した。国が実施検討をしていることもだれでも通園制度(仮)の実施について検討をする必要がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き保護者のニーズを把握し、適宜事業を実施していく。			引き続き保護者のニーズを把握し、適宜事業を実施していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	4	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	12203		事業名	認定こども園の管理・運営							所管課	福祉課		
事業概要	地域における子育ての基幹施設である公立認定こども園の適切な維持管理を行います。							全体事業内容						
								児童の年齢や保護者の就労形態に応じた幼児教育・保育の量の確保及び質の向上を図るとともに、多様な保育サービスを提供する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
こども園の維持管理	目標設定なし	—	こども園の維持管理	目標設定なし	—	こども園の維持管理	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	39,902	37,543		53,106	49,151		48,710				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
必要に応じてこども園の修繕や備品購入を実施した。			必要に応じてこども園の修繕や備品購入を実施した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き修繕や備品等を調達していく。			引き続き修繕や備品等を調達していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	12204		事業名	病後児保育事業								所管課	福祉課	
事業概要	就労する保護者の負担を軽減するため、病気の回復期にある児童を保育する、病後児保育を実施します。								全体事業内容					
									就労する保護者の負担を軽減するため、病気の回復期にある児童を保育する、病後児保育を実施する。 勝浦こども園で実施					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
保護者の負担軽減(利用実績等)		目標設定なし	18件	保護者の負担軽減(利用実績等)		目標設定なし	50件	保護者の負担軽減(利用実績等)		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		2,515	2,167			4,222	2,381			2,807					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○				○											
病後児保育を実施するにあたっての体制の整備を図る。特に実施にあつての看護師の確保が大きな課題である。				特定の利用が多かったことから利用件数の大幅な増加につながった。看護師の確保が課題である。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
病児保育の実施を検討する必要がある。				病児保育の実施を検討する必要がある。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	12205	事業名	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)						所管課	福祉課	
事業概要							全体事業内容				
							子ども(乳幼児や小学生等)の送迎や預かり事業など、子育ての「援助を受けたい人(依頼会員)」と援助を行いたい人(提供会員)」が地域で相互援助活動ができるよう支援します。				
子ども(乳幼児や小学生等)の送迎や預かり事業など、子育ての「援助を受けたい人(依頼会員)」と援助を行いたい人(提供会員)」が地域で相互援助活動ができるよう、支援するため、会員同士(依頼会員と提供会員)の相互円諸活動のマッチングや連絡、調整、提供会員に対する講習会や会員同士の交流などを民間団体等へ委託し事業を実施する。											

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
会員数(利用・提供)		20人	17人	会員数(利用・提供)		20人	20人	会員数(利用・提供)		30人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,070	1,065			1,409	1,408			1,409					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			○												
ファミリーサポートセンターを設置し、事業周知を図った。本事業の安定的な実施のため会員とくに提供会員を拡充する必要がある。				目標数値である会員数20人は達成できた。 今後も会員数、特にサポート会員の数を増やすことがサービスの向上にもつながることから、サポート会員の増員を図る必要がある。											
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
引き続き本事業の周知を図り、会員の拡充を行っていく。				会員交流会などを開催し、サポート会員の増員を図っていく。											

■実施計画事業調査

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	12301		事業名	ひとり親家庭自立支援給付金支給事業								所管課	福祉課	
事業概要	ひとり親家庭へ訓練給付金等を支給し、就業支援及び経済的な自立を支援します。								全体事業内容					
									①高等職業訓練促進給付金及び高等職業訓練修了支援給付金を支給することにより、ひとり親家庭の父母が就職の際に有利となる特定の資格取得の促進し、ひとり親家庭の生活の安定を図る。 ②ひとり親家庭の主体的な就労を目的とし、対象の教育訓練講座を受講し、修了した場合に対象経費の一部を支給することで能力開発の取り組みを支援する。 【実施事業】 ①ひとり親家庭高等職業訓練促進費等支給事業 ②ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金支給事業					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
ひとり親家庭の負担軽減(利用実績)		目標設定なし	0件	ひとり親家庭の負担軽減(利用実績)		目標設定なし	以下のとおり	ひとり親家庭の負担軽減(利用実績)		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,400	0			1,400	892			1,400					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
×				○											
利用希望者がいなかったことから実績はなかった。本事業の周知を引き続き行っていく。				・ひとり親家庭高等職業訓練促進費等支給事業 1名 ・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金支給事業 1名 ①ひとり親家庭高等職業訓練促進費等支給事業、②ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金支給事業ともに昨年度として利用者が1名増加した。 引き続き制度の周知につとめ、ひとり親家庭の経済的自立を支援していく。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
各種相談事業においても本事業の周知を図っていく。				引き続き制度の周知につとめ、ひとり親家庭の経済的自立を支援していく。											

■実施計画事業調書

SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	12302	事業名	ひとり親世帯への経済的負担軽減事業	所管課	福祉課
事業概要	医療費の助成や児童扶養手当などを支給し、ひとり親世帯への経済的負担の軽減を図ります。	全体事業内容			
		医療費の助成、児童扶養手当の支給、母子及び父子世帯等高等学校等就学費支援事業により、ひとり親世帯の経済的負担の軽減を図る。 【実施事業】 ①ひとり親家庭等医療費等助成事業 ②児童扶養手当支給事業 ③母子及び父子世帯等高等学校等就学費支援事業			

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
ひとり親家庭の負担軽減(利用実績)		目標設定なし	ひとり親家庭等医	ひとり親家庭の負担軽減(利用実績)		目標設定なし	以下のとおり	ひとり親家庭の負担軽減(利用実績)		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		45,929	42,088			44,255	36,986			44,535					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
本事業について該当者への直接周知を行うことにより、支給もれ等を防止した。母子及び父子世帯等高等学校等就学費支援事業と小高御代基金事業が類似することから今後の事業実施について検討が必要である。			・ひとり親家庭等医旅費等助成806件 ・児童扶養手当支給63件 ・母子及び父子世帯等高等学校等就学費支援43件 引き続き直接周知により支給もれ等を防止した。 母子及び父子世帯高等学校等就学費支援事業について財源の確保が課題である。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
引き続き該当者への直接周知を行い、支給もれを防止する。			引き続き直接周知により支給もれ等を防止していく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	12303		事業名	小高御代祝金・福祉手当支給事業						所管課	福祉課	
事業概要	小中学校及び高等学校に入学するひとり親家庭等の児童の保護者や、新たに身体障害者手帳及び療育手帳を取得した障害者に対して、祝金及び福祉手当を支給し、福祉の充実を図ります。						全体事業内容					
							支給額：小学校入学20,000円・中学校入学30,000円・高等学校入学40,000円・中学校を卒業し就職40,000円・障害者10,000円					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
ひとり親家庭児童の健全育成(実績) 対象者への確実な支給		目標設定なし	祝金事業40世帯、福祉手当事業44人	ひとり親家庭児童の健全育成(実績) 対象者への確実な支給		目標設定なし	祝金事業33世帯 福祉手当事業56人	ひとり親家庭児童の健全育成(実績) 対象者への確実な支給		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		2,280	1,750			2,020	1,740			1,790					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
◎			◎												
祝金事業については、該当者への直接周知を行うことにより、支給もれ等を防止した。母子及び父子世帯等高等学校等就学費支援事業と小類似することから今後の事業実施について検討が必要である。 福祉手当事業については、対象となる障害者手帳取得者を把握し、確実に案内をすることですべての対象者に支給をすることができた。			引き続き該当者への直接周知を行うことにより、支給もれ等を防止した。 福祉手当事業については、対象となる障害者手帳取得者を把握し、確実に案内をすることですべての対象者に支給をすることができた。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
拡大			拡大												
引き続き該当者への直接周知を行い、支給もれを防止する。			引き続き該当者への直接周知を行い、支給もれを防止する。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	12304		事業名	石井久雄福祉手当支給事業								所管課	福祉課	
事業概要	重度心身障害児又は交通遺児を扶養している者に対して、手当を支給することで、児童の健全な育成を図ります。								全体事業内容					
									支給額:一人あたり年額25,000円					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
受給率		100%	100%	受給率		100%	100%	受給率		100%					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		275	175			225	225			275					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
△			△												
祝金・福祉手当を支給し、経済的・精神的安定を図った。対象者を把握し、個別に通知、案内することで対象者に支給することができた。			祝金・福祉手当を支給し、経済的・精神的安定を図った。対象者を把握し、個別に通知、案内することで対象者に支給することができた。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
今後も重度心身障害児及び交通遺児を養育する家庭の福祉の増進が図られるように努めていく。			今後も重度心身障害児及び交通遺児を養育する家庭の福祉の増進が図られるように努めていく。												

				関係課	学校教育課・学校給食共同調理場・生涯学習課・企画課			
1.	施策名	1	未来に希望をつなげるまち(結婚・出産・子育て・教育)					
		3	学校教育の充実					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	学校評価アンケート	—	92.7%	92.0%	70.0%	
		指標2	ハイパーQUにおける学級生活満足群に属する率	68.5%	68.7%	70.6%	70.0%	
		指標3	運動能力証交付対象率	28.6%	39.8%	24.5%	30.0%	
		指標4	小中学校教育についての市民満足度	28.5%	—	—	向上	
3.	施策の展開一覧	① 学校教育内容の充実						
		② 学校教育環境の充実						
4.	二次評価	学校教育内容・環境の充実について、保護者の学校運営に対する満足度及び児童・生徒の学校生活への満足度は目標を達成しているが、今後、小学校の統合など大きな学校生活の環境の変化が予想されるため、満足度の目標値を下回らないよう取り組むこと。 運動能力証交付対象率については、年度によってバラツキがあるが、望ましい生活習慣の定着や地域での運動機会の場の提供を図り、体力向上に向けた効果的な取り組みを継続していくこと。						

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	4	14	15	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	13101		事業名	環境学習推進事業						所管課	学校教育課	
事業概要	勝浦の自然を活用した校外学習や、教育活動として海岸清掃、学校周辺清掃、ゴミゼロ運動参加やリサイクル活動を実施することにより児童生徒の環境保全に対する意識を醸成します。						全体事業内容					
							特色ある学校教育推進事業(小中学校、報償費、需要費、使用料及び賃借料)					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
実施校		6校	6校	実施校		6校	6校	実施校		6校					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
学校毎に特色ある教育活動の中で展開することができたが、内容において学校間において格差があることから、今後格差を是正していく必要がある。			学校毎に特色ある教育活動の中で展開することができたが、内容において学校間において格差があることから、今後格差を是正していく必要がある。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
引き続き、児童生徒の環境保全に対する意識を醸成するための教育活動を展開していく。			引き続き、児童生徒の環境保全に対する意識を醸成するための教育活動を展開していく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	4	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	13102		事業名	勝浦中学校水泳指導事業							所管課	学校教育課		
事業概要	勝浦中学校の水泳指導において国際武道大学の講師等を招聘し、ライフセービング講習及び心肺蘇生法講習会を実施します。							全体事業内容						
								勝浦中学校水泳指導事業（報償費、需要費）						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
水泳指導回数	5回	3回	水泳指導回数	3回	3回	水泳指導回数	3回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	641	267		500	305		438				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
ウォーターセーフティ教室と心肺蘇生AED指導を計3回実施 他の教育課程との兼ね合いもあり目標数値には至らなかったが、事業目的は達成することができた。 今後は他の教育課程を含め、限られた授業日数において効率的に事業実施を行う必要がある。			ウォーターセーフティ教室と心肺蘇生AED指導を計3回実施 他の教育課程を含め、限られた授業日数において効率的に事業実施を行う必要がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
限られた授業時数において、実施するべき教育課程を考慮し、効率的に授業を展開していく必要がある。			限られた授業時数において、実施するべき教育課程を考慮し、効率的に授業を展開していく必要がある。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	10	16	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	13103		事業名	外国語指導助手招致事業								所管課	学校教育課	
事業概要	ALT3名を小中学校及び保育所・こども園に派遣し、外国語によるコミュニケーションを図るための資質・能力を育成します。								全体事業内容					
									外国語指導助手招致事業（報酬、共済費、旅費、需要費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費、負担金補助及び交付金）JETプログラムから2名、民間派遣会社から1名、計3名を各小中学校、保育所・こども園に派遣					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
外国語指導助手の人数		3人	3人	外国語指導助手の人数		3人	3人	外国語指導助手の人数		3人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		14,643	14,298			14,531	14,204			15,988					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
小学校の外国語活動、外国語の授業や中学校における聞く・話す・書く・読むといったコミュニケーション能力の基礎の養成に対して効果があった。			小学校の外国語活動、外国語の授業や中学校における聞く・話す・書く・読むといったコミュニケーション能力の基礎の養成に対して効果があった。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
引き続き外国語指導助手の有効活用を図っていく。			引き続き外国語指導助手の有効活用を図っていく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	10	16	会計区分		一般	再掲区分		-		
事業番号		13104		事業名		中学生語学研修事業							所管課		学校教育課	
事業概要		語学研修事業を通じて、外国語によるコミュニケーションを図るための資質・能力を育成します。						全体事業内容								
								中学生海外派遣事業 中学生海外派遣代替事業								

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
派遣実績人数	10人	派遣中止(代替事業実施)	派遣実績人数	10人	12人	助成実績人数	15人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	1,460	1,447		2,610	2,478		2,250				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
新型コロナウイルス感染症の影響により海外への派遣を中止 代替事業として勝浦中学校2年生を対象に外国語活動(イングリッシュキャン プ)を実施した。 代替事業については概ね高い評価を得られた。			勝浦中学校2年生12名をオーストラリアに派遣した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			廃止								
海外派遣事業の継続及び補助金額について検討する。			【事業内容の変更】 海外派遣に要する費用の高騰により、世帯の経済状況によっては参加が難し い状況もあることから、事業内容の見直しを行う。 →中高生海外研修助成事業に変更								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	8	11	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	13105		事業名	特色ある学校教育推進事業						所管課	学校教育課	
事業概要	各学校において、学校の実態や地域性を踏まえた学習(田植え稲刈り体験、地引き網体験、林業体験、磯観察、蝶の羽化観察等)特色のある教育活動を展開します。						全体事業内容					
							特色ある学校教育推進事業(小中学校)					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
実施校		6校	6校	実施校		6校	6校	実施校		6校					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		2,388	1,249			1,629	1,602			2,305					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
学校毎に特色ある教育活動を展開することができたが、内容において学校間において格差があることから、今後格差を是正していく必要がある。			学校毎に特色ある教育活動を展開することができたが、内容において学校間において格差があることから、今後格差を是正していく必要がある。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
国際武道大学や千葉工業大学など関係機関と連携した教育活動を展開していく。			国際武道大学や千葉工業大学など関係機関と連携した教育活動を展開していく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	10	16	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	13106		事業名	特別支援教育支援員配置事業							所管課	学校教育課	
事業概要	特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活上の安全確保や学習上の支援のため、特別支援教育支援員を配置します。							全体事業内容					
								特別支援教育支援員配置事業（報酬、旅費、負担金補助及び交付金）					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
特別支援教育支援員人数		20人	18人	特別支援教育支援員人数		20人	22人	特別支援教育支援員人数		12人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		22,504	22,504			28,700	27,305			22,112					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
特別な配慮等を要する児童生徒への対応として適切に配置できたと考える。			特別な配慮等を要する児童生徒への対応として適切に配置できたと考える。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
特別な配慮を要する児童生徒数は増加しており、特別支援教育支援員の効率のかつ効果的な配置や活用方法を引き続き検討する必要がある。			特別な配慮を要する児童生徒数は増加しており、特別支援教育支援員の効率のかつ効果的な配置や活用方法を引き続き検討する必要がある。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	4	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	13107		事業名	部活動地域連携事業						所管課	学校教育課	
事業概要	学校教育の一環として行われている部活動について、地域クラブ活動への移行に向けて、国際武道大学など地域の関係機関と連携した事業を実施します。							全体事業内容				
								市内小中学校の部活動指導及び交流事業 休日の部活動から地域に移行していくなど、段階的に実施することを検討する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
部活動地域移行クラブ数	1	0	部活動地域移行クラブ数	1	0	部活動地域移行クラブ数	1				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	165	183		165	91		165				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			△								
学校教育の一環として行われている部活動について、休日の部活動の地域クラブ活動への移行に向けて、検討した。			学校教育の一環として行われている部活動について、休日の部活動の地域クラブ活動への移行に向けて、部活動地域移行検討委員会を開催し検討した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
国・県の動向にあわせて、地域の実情による、部活動の地域移行に向けた取組や協議会の設置等に取り組む。			国・県の動向にあわせて、地域の実情による、部活動の地域移行に向けて取り組む。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		2	8	11	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	13108		事業名	学校給食における地産・地消の推進								所管課	学校給食共同調理場	
事業概要	米、野菜、海産物等の地場産品を献立に取り入れることにより、子ども達の食材に関する意識をより身近に感じさせ、親しみを持たせるとともに食に関する意識の高揚を図ります。							全体事業内容						
								米、野菜、海産物等の地場産品を献立に取り入れることにより、子ども達の食材に関する意識をより身近に感じさせ、嫌いな野菜にも親しみを持たせるとともに食に関する意識の高揚を図ります。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
賄材料費全体に占める 地場産品購入割合	2割以上を維持	19.24%	賄材料費全体に占める 地場産品購入割合	2割以上を維持	20.23%	賄材料費全体に占める 地場産品購入割合	2割以上を維持		賄材料費全体に占める 地場産品購入割合	2割以上を維持	
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	15,687	14,571		16,145	14,754		17,898				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			○								
夏の猛暑により野菜の不作が発生したため、一部納品不可となる事態が発生した。 小規模農家が多いことや、天候に左右され易いことから、安定した収穫量が確保できず、給食の賄材料として使用することが出来ない場合がある。			勝浦産の水産物・野菜等を取り入れた給食を提供する事により、地場産品購入割合を高める事が出来た。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			縮小								
今後もさらに地場産品の割合を高めることで、郷土愛や食育の知識を高める。			予算縮小となるが、可能な限り地場産品を取り入れた給食を提供したい。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	13201		事業名	遠距離通学児童生徒対策事業								所管課	学校教育課	
事業概要	遠距離通学等となる児童生徒の通学手段を確保するため、スクールバス運行の実施及び路線バス定期代、タクシー借上に係る費用を補助します。							全体事業内容						
								遠距離通学児童対策事業 遠距離通学生徒対策事業						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
遠距離通学児童生徒数		(目標数値なし)	小学生:101人 中学生:111人 合計:212人	遠距離通学児童生徒数		(目標数値なし)	小学生:104人 中学生:93人 合計:197人	遠距離通学児童生徒数		(目標数値なし)					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		49,948	47,683			53,717	49,396			53,724					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
学校統合により通学区域が変更となった児童生徒の通学手段の確保等を行うことにより、学校教育の円滑な実施と保護者の経済的負担の軽減が図られた。 令和5年度から勾配が大きい坂などがある旧新戸小学校区の生徒に対しスクールバスでの通学を図るなどの措置を行った。			学校統合により通学区域が変更となった児童生徒の通学手段の確保等を行うことにより、学校教育の円滑な実施と保護者の経済的負担の軽減が図られた。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
小中学校の統合の進展や公共交通機関のダイヤ変更等にも適宜対応していく必要がある。 児童生徒数の動向を踏まえ、運行ルートの集約等効率的な運行経路への見直しを検討する必要がある。			小中学校の統合や公共交通機関のダイヤ変更等にも適宜対応していく必要がある。 児童生徒数の動向を踏まえ、運行ルートの集約等効率的な運行経路への見直しを検討する必要がある。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	11	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	13202		事業名	学校規模及び配置の適正化の推進								所管課	学校教育課	
事業概要	児童及び生徒数の動向や地域の実情などを踏まえ、学校規模及び配置の適正化を図ります。							全体事業内容						
								学校規模及び配置の適正化の推進（検討委員への謝礼、費用弁償）						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
目標設定なし	(目標設定なし)	－	目標設定なし	(目標設定なし)	－	目標設定なし	(目標設定なし)				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	82	0		82	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
複式学級を実施している学校(興津小・豊浜小・総野小)について、意見交換会・アンケートを実施した。			意見交換会等により、保護者の意向が確認されたため、興津小・豊浜小・総野小を令和8年4月の統合として、「勝浦市立小、中学校設置条例」を改正した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
意見交換会等により、保護者の意向が確認されたため、興津小・豊浜小は令和8年4月の統合に向けて具体的な対応を進める。総野小については、保護者の意見を確認しながら、統合の時期や統合先の学校等を検討する。			令和8年4月の統合に向けて具体的な対応を進める。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	7	9	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	13203		事業名	学校給食共同調理場の管理・運営								所管課	学校給食共同調理場	
事業概要	学校給食共同調理場施設の適切な管理及び円滑な運営を実施することで安心で安全な学校給食を実施します。								全体事業内容					
									学校給食共同調理場施設の適切な管理及び円滑な運営を実施することで安心で安全な学校給食を実施します。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
学校給食共同調理場施設の適切な管理運営を実施する。		9割を維持	101%	学校給食共同調理場施設の適切な管理運営を実施する。		9割を維持	96.1	学校給食共同調理場施設の適切な管理運営を実施する。		9割を維持					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		170,763	172,603			185,904	182,598			172,821					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○			○												
学校給食共同調理場稼働から10年が経過し、設備修繕料の増加が課題となる。 適切な保守管理を行うと共に、修繕計画を策定する。			学校給食共同調理場稼働から10年が経過し、設備修繕料の増加が課題となる。 引き続き適切な保守管理を行うと共に、修繕計画を策定する。												
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
今後も適切な管理運営を実施する。			今後も適切な管理運営を実施する。												

■実施計画事業調書

SDGs	3	4	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	13204	事業名	教材備品購入事業			所管課	学校教育課
事業概要	時勢に対応した教材や理科・算数教育設備に係る教材、その他の学校教育の充実のための教材備品の整備を図ります。			全体事業内容			
				教材備品購入事業(小中学校)			

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
教材備品購入費	(目標数値なし)	3,815	教材備品購入費	(目標数値なし)	2,070	教材備品購入費	(目標数値なし)				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	4,423	3,815		2,422	2,070		2,130				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
学校の要望に則した教材備品の調達が適宜図られた。			学校の要望に則した教材備品の調達が適宜図られた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
一人一台端末の進展に伴いデジタル教科書等の教材の調達についても実施していく必要がある。			小学校の統合を踏まえて、計画的な教材備品の整備を実施する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			4	5	10	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	13205		事業名	いじめ・不登校等対策事業								所管課	学校教育課		
事業概要	不登校や問題行動等への早期の対応を実施するとともに、不登校児童及び生徒に集団への順応力の醸成により学校生活への復帰促進を図ります。								全体事業内容						
									子どもと親の相談員設置事業(報償費) 適応指導教室事務負担金(負担金)						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
活動日数	115日	151日	活動日数	115日	150日	活動日数	115日				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	3,159	2,646		3,305	2,940		3,259				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
子どもと親の相談員事業を実施。児童生徒の問題行動等への発展を未然に防止できたと考える。 現在1名の相談員により展開しているが、新たな人材の確保について検討する必要がある。 また、令和5年度より、臨床心理士による学校巡回相談を実施した。			子どもと親の相談員事業を実施。児童生徒の問題行動等への発展を未然に防止できたと考える。 現在1名の相談員により展開しているが、新たな人材の確保について検討する必要がある。 また、令和5年度より、臨床心理士による学校巡回相談を実施した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、子どもと親の相談員を配置するとともに、臨床心理士による学校巡回相談を実施し、不登校や問題行動等への早期の対応や、不登校児童及び生徒に集団への順応力の醸成により学校生活への復帰促進を図ります。			引き続き、子どもと親の相談員を配置するとともに、臨床心理士による学校巡回相談を実施し、不登校や問題行動等への早期の対応や、不登校児童及び生徒に集団への順応力の醸成により学校生活への復帰促進を図ります。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	1	2	10	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	13206		事業名	就学援助事業						所管課	学校教育課	
事業概要	要保護児童生徒(生活保護世帯)及び準要保護児童生徒(生活保護世帯に準じる生活困窮世帯)に対し、保護者の負担を軽減するため学用品、通学費、給食費、修学旅行費などの費用を支給します。						全体事業内容					
							要保護及び準要保護児童支援事業 要保護及び準要保護生徒支援事業					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
準要保護児童生徒数		(目標数値なし)	小学生:60人 中学生:44人 合計:104人	準要保護児童生徒数		(目標数値なし)	小学生:53人 中学生:39人 合計:92人	準要保護児童生徒数		(目標数値なし)					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		12,623	11,510			12,524	10,815			13,494					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、児童生徒の円滑な学校生活の確保に資することができた。			保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、児童生徒の円滑な学校生活の確保に資することができた。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
義務教育の円滑な実施を図るため、引き続き実施していく必要がある。			義務教育の円滑な実施を図るため、引き続き実施していく必要がある。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	7	12	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	13207		事業名	勝浦中学校校舎改修事業							所管課	学校教育課		
事業概要	建築後50年を経過し、老朽化した勝浦中学校の校舎について改修等の措置を実施します。							全体事業内容						
								構造体の劣化状況等の調査を実施し、その結果を踏まえ、長寿命化改良工事とするか改築とするかを判断する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
目標設定なし		(目標設定なし)	－	基本計画・基本設計の策定 (R6・R7継続事業)		(目標設定なし)	－	基本計画・基本設計の策定 (R6・R7継続事業)		(目標設定なし)	－				
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		4,598	4,598			22,930	0			22,930					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
校舎の構造耐力を図るため、耐力度調査を実施した。			校舎の改修に向けた基本計画、基本設計の策定を実施(R6・R7継続中)												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
調査結果については、基準を上回っていたため、校舎の長寿命化に向けた基本計画、基本設計を実施する。			校舎の改修に向けた基本計画、基本設計の策定を実施												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	7	9	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	13208		事業名	情報活用能力育成事業								所管課	学校教育課	
事業概要	ICT機器の維持管理に併せて、ICT機器を有効に活用し効果的な学校教育を展開するため、教職員のICT活用指導力を向上させるための研修を実施するとともに、児童生徒がICT機器を活用することに伴う危険性を認識させる研修を実施します。								全体事業内容					
									一人一台端末の定期的な更新 ICT技術の進展に沿った機器の整備					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
普通教室における大型提示装置の設置率	100%	100%	一人一台端末の更新(中学校)	249台	245台	一人一台端末の更新・ソフトの入替(小学校)に向けた準備	(目標設定なし)	—			
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	10,228	9,375		21,599	20,520		950				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
GIGAスクール推進事業において、ICT支援員の配置や研修会を通じて教職員のICT活用スキルの向上を図った。また、ICT機器の充実を図るために、普通教室の大型提示装置の設置率を100%とし、一部の小学校において、無線アクセスポイントを増設しインターネットに接続できる環境を整備した。			GIGAスクール推進事業において、ICT支援員の配置や研修会を通じて教職員のICT活用スキルの向上を図った。中学校の一人一台端末の更新を実施した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
一人一台端末の定期的な更新、ICT技術の進展に沿った機器の整備により、ITC教育の推進を図る。			一人一台端末の定期的な更新、ICT技術の進展に沿った機器の整備により、ITC教育の推進を図る。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		1	2	10	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	13209		事業名	特別支援教育就学奨励事業							所管課	学校教育課		
事業概要	特別支援教育の推進を図るため、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、学用品費、通学費、給食費などの費用を支給します。							全体事業内容						
								特別支援教育就学児童奨励費 特別支援教育就学生徒奨励費						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8														
主な目標		目標数値	R5結果		主な目標		目標数値	R6結果		主な目標		目標数値	R7結果		主な目標		目標数値	R8結果					
特別支援就学奨励費支給児童生徒数		(目標数値なし)	小学生:11人 中学生:5人 合計:16人		特別支援就学奨励費支給児童生徒数		(目標数値なし)	小学生:14人 中学生:1人 合計:15人		特別支援就学奨励費支給児童生徒数		(目標数値なし)											
		R5予算額	R5決算額				R6予算額	R6決算額				R7予算額	R7決算額								R8予算額	R8決算額	
		1,235	1,137				1,458	612				1,458											
達成度		評価と課題				達成度		評価と課題				達成度		評価と課題									
○						○																	
特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。					特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。																		
今後の方向性		今後の展望				今後の方向性		今後の展望				今後の方向性		今後の展望									
維持						維持																	
特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、引き続き実施していく必要がある。					特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、引き続き実施していく必要がある。																		

■実施計画事業調書

SDGs	4	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	13211	事業名	学校環境整備事業			所管課	学校教育課
事業概要	児童生徒の教育環境の整備及び学校職員の業務軽減を図るため学校用務員を各学校に配置します。				全体事業内容		
					一般事務経費		

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
学校用務員人数		9人	9人	学校用務員人数		9人	8人	学校用務員人数		8人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		10,588	8,216			9,835	9,369			10,284					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○				○											
学校の環境整備に要する対応として適切に配置できたと考える。				学校の環境整備に要する対応として適切に配置できたと考える。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
学校用務員の効率的かつ効果的な配置や活用方法を引き続き検討する必要がある。				学校用務員の効率的かつ効果的な配置や活用方法を引き続き検討する必要がある。											

				関係課	福祉課・生涯学習課・			
1.	施策名	1	未来に希望をつなげるまち(結婚・出産・子育て・教育)					
		4	青少年の健全育成					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	家庭教育学級の参加者数	505人	662人	1,026人	700人	
		指標2	地域学校協働活動の定員充足率	50.1%	58.2%	46.7人	80.0%	
3.	施策の展開一覧	① 青少年の健全育成の促進						
		②						
4.	二次評価	青少年の健全育成について、家庭の形の多様化や青少年が様々なトラブルにさらされる危険の増加など子どもを取り巻く環境が大きく変化してきているなかで、家庭教育学級や地域学校協働活動を実施し、家庭の教育力向上の取り組みや地域で子どもの成長を支える機会を創出することは必要なことと評価する。今後も学校・家庭・地域の連携を強化し、青少年が健全に成長できる環境づくりを推進していくこと。						

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	14101		事業名	かつうら放課後ルーム整備事業							所管課	福祉課		
事業概要	勝浦小学校の対象児童が放課後や長期休業時等に安心して生活できる居場所を確保し、児童の健全な育成を支援する。							全体事業内容						
								かつうら第一放課後ルーム、かつうら第二放課後ルームの2つの運営単位として整備する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
かつうら放課後ルームの整備	目標設定なし	—	かつうら放課後ルームの整備	目標設定なし	—	かつうら放課後ルームの整備	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			△								
児童数の減少等を考慮し勝浦放課後ルームの建設を保留、代案として学校教室のタイムシェアによるルーム利用を検討する必要がある。			タイムシェア方式による勝浦小学校の特別教室での実施についての協議を行った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
学校教室のタイムシェアによる放課後ルーム利用について具体的な検討を行う必要がある。			学校教室のタイムシェア方式により勝浦放課後ルームの整備を行う。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	14102		事業名	家庭教育学級の開設								所管課	生涯学習課	
事業概要	地域・学校・家庭の三者が一体となって、家庭教育に関する講座や体験事業を行い、家庭の教育力向上を図ります。								全体事業内容					
									家庭教育学級を開設し、家庭や子育ての在り方等についての学習を通して教育力を高め、相互の交流や情報交換を図る。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
家庭教育学級の参加者数		600人	662人	家庭教育学級の参加者数		600人	1,026人	家庭教育学級の参加者数		600人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		50	20			60	10			60					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
◎			◎												
児童生徒やその保護者、また、地域の方などが一同に会する場として、各学校毎にそれぞれの特色を生かしたテーマによる講演会等を開催し、知識の習得と併せ、各人間の交流を深めることができた。一方で、課題として、参加者のニーズや学習意欲の把握に努め、参加者が興味を持てる講座の開催を進めていく必要がある。			児童生徒やその保護者、また、地域の方などが一同に会する場として、各学校毎にそれぞれの特色を生かしたテーマによる講演会等を開催し、知識の習得と併せ、各人間の交流を深めることができた。継続して、参加者のニーズや学習意欲の把握に努め、参加者が興味を持てる講座の開催を進めていく必要がある。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
引き続き、家庭教育学級を開設し、子育ての在り方等についての学習を通して、各家庭の教育力を高め、相互の交流や情報交換を推進していく。			引き続き、家庭教育学級を開設し、子育ての在り方等についての学習を通して、各家庭の教育力を高め、相互の交流や情報交換を推進していく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	14104		事業名	子ども会育成交流会の開催							所管課	生涯学習課		
事業概要	地域の子ども会の交流会を開催するとともに、次世代のリーダー育成に努め、青少年の健全育成を図ります。							全体事業内容						
								単位子ども会の交流会を開催する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
単位交流会の開催数	3回	2回	交流会の開催数	3回	3回	交流会の開催数	3回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	359	165		445	410		330				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			○								
現在は、3団体が市内で単位こども会として活動しており、これらに対し、市においては、レクリエーションの際のバス借上料の助成を行っている。令和5年度は、4年ぶりにリーダーズキャンプを開催し、また、12月にはクリスマス講習会を開催するなど、子ども会会員の親睦及び関係者間の交流を図った。			現在は、3団体が市内で単位こども会として活動しており、これらに対し、市においては、レクリエーションの際のバス借上料の助成を行っている。市子連としては、リーダーズキャンプ、クリスマス講習会及びジュニアリーダー交流会を開催するなど、子ども会会員の親睦及び関係者間の交流を図った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、次世代のリーダー育成に努め、青少年の健全育成を図るため、子ども会会員の親睦及び関係者間の交流を推進していく。			引き続き、次世代のリーダー育成に努め、青少年の健全育成を図るため、子ども会会員の親睦及び関係者間の交流を推進していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	14105		事業名	児童館の管理・運営								所管課	福祉課	
事業概要	児童館の適切な維持管理を行うことにより、児童に健全な遊び場を提供するとともに、健康の増進や情操を豊かにするための各種子育て支援事業を実施します。								全体事業内容					
									児童館を児童健全育成上の拠点施設として、乳幼児、小学生、中学生等を対象とした各種子育て事業を実施する。ベビーリトミック、絵本の読聞かせ、季節行事、創作活動等を実施。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
児童館利用者実績		目標設定なし	4,689	児童館利用者実績		目標設定なし	6,084人	児童館利用者実績		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		8,720	7,256			8,754	7,621			7,775					
達成度	評価と課題		○	達成度	評価と課題		○	達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○															
音楽鑑賞会や子育て講演を実施、保護者の評価は好評であった。引き続き保護者や利用者のニーズを把握し、行事等を実施していく。高校生以上の利用者が少ないことからこれらの世代に対応した事業実施を検討する必要がある。			勝浦中学校吹奏楽部による演奏会などを実施。引き続き保護者や利用者のニーズを意識した行事を実施していく。今後は高校生相当までを対象とした居場所について検討していく。												
今後の方向性	今後の展望		維持	今後の方向性	今後の展望		維持	今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持															
利用者のニーズに沿った事業を展開していく。			中学生や高校生相当にとっても居場所となり得る児童館としての在り方を検討する。												

■実施計画事業調書

SDGs	4	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	14107	事業名	青少年健全育成事業	所管課	生涯学習課
事業概要	青少年相談員や家庭、地域、学校が協力し、青少年の心の育成啓発を図るとともに、関係機関との連携により多様化する社会環境に対応した青少年の健全育成を図ります。			全体事業内容	
				関係機関と連携し、青少年の心の育成啓発を図るとともに、社会環境の浄化を促進する。	

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
青少年相談員の事業活動実績数	8回	7回	青少年相談員の事業活動実績数	8回	7回	青少年相談員の事業活動実績数	8回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	678	608		678	398		657				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
令和5年度における青少年相談員の活動として、リーダーズキャンプの補助、青少年つとど大会(ニューススポーツ体験会 モルック・ドッチビー等)、中学生向け講演会(元プロ野球選手)、非行防止標語事業、また、千葉県及び夷隅地区での活動など、青少年の健全育成のための事業を実施した。			令和6年度における青少年相談員の活動として、青少年つとど大会(ニューススポーツ体験会 モルック大会)、中学生向け講演会(環境活動家 谷口氏)、カープミラー清掃、浦安市青少年相談員との交流会、また、千葉県及び夷隅地区での活動など、青少年の健全育成のための事業を実施した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、青少年相談員の活動を中心に、青少年の心の育成啓発を図るとともに、関係機関との連携により多様化する社会環境に対応した青少年の健全育成を図っていく。			引き続き、青少年相談員の活動を中心に、青少年の心の育成啓発を図るとともに、関係機関との連携により多様化する社会環境に対応した青少年の健全育成を図っていく。								

■実施計画事業調書

SDGs	4	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	14108	事業名	地域学校協働事業	所管課	生涯学習課
事業概要	地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指します。			全体事業内容	
				地域と学校が連携・協働し、子供たちの学びや成長を支える事業を行う。	

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
地域学校協働事業の開催日数	130日	152日	地域学校協働事業の開催日数	150日	186日	地域学校協働事業の開催日数	224日				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	3,186	2,710		2,722	2,452		3,521				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
令和5年度は、小・中学生に向けた多様な体験活動として、学習支援や英語教室、ジュニア水泳教室、陸上競技教室、地域未来塾、探究型学習プログラム事業、その他プログラミング教室などの各種教室を実施した。			令和6年度も、引き続き、小・中学生に向けた多様な体験活動として、学習支援や英語教室、ジュニア水泳教室、陸上競技教室、地域未来塾、探究型学習プログラム事業、プログラミング教室、演劇教室、科学教室などの各種教室を実施した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えることを目的に、地域学校協働事業の実施を推進していく。			引き続き、地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えることを目的に、地域学校協働事業の実施を推進していく。								

				関係課	市民課・高齢者支援課			
1.	施策名	2	ともに支え合い、健やかに過ごせるまち(保健・医療・福祉)					
		1	健康保健施設の充実					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	健康寿命(平均自立期間)	65.9歳	81歳	81.5歳	74.2歳	
		指標2	特定健康診査受診率	31.7%	34.4%	40.8%	45.0%	
		指標3	がん検診受診率	12.5%	11.9%	14.0%	20.0%	
		指標4	国民健康保険被保険者1人当たり医療費	399,008円	449,512円	452,307円	380,000円	
		指標5	病院・医院の整備についての市民満足度	49.30%	—	—	向上	
3.	施策の展開一覧	① 健康づくりの推進						
		② 保健・医療サービスの充実						
		③ 地域医療体制の充実						
		④ 国民健康保険制度の適切な運営						
		⑤ 感染症対策の強化						
4.	二次評価	健康づくりの推進について、特定健診やがん検診の受診率は年々向上しているものの1人あたり医療費は増加しており、市民が主体的に健康づくりに取り組むよう健康意識の向上を図ること。 地域医療体制の充実については、医師や看護師等の人材不足が課題となっており、地域の身近な医療サービスの維持・確保、特に、産科、小児科、救急医療などは周辺自治体と連携した医療体制整備を積極的に進めて、安心して必要な医療サービスを受けられるよう地域医療体制の充実を図ること。						

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	21101	事業名	健康教育事業						所管課	市民課	
事業概要	健康づくり・生活習慣病予防等をテーマとした市民向け教室等を開催し、健康増進の知識の習得を図るとともに、運動習慣の定着に向けた取組を推進します。						全体事業内容				
							中・高齢層の方に運動習慣を定着させることにより、生活習慣病の予防と身体機能の維持・向上を図る。教室を通じて健康づくりの習慣を身につけ、終了後も自主的に望ましい生活習慣を実践・継続することによりQOL(クオリティー・オブ・ライフ)の向上を目指す。 自然環境を活かしたウォーキングコース整備の検討				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
教室等参加者数		30人	6人(延べ35人)	教室等参加者数		(目標設定なし)	145人	教室等参加者数		(目標設定なし)					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		704	166			151	151			235					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
△			△												
40歳以上の市民を対象に健康づくりとして教室を開催しているが、参加者数が少ない。			健康づくり全般として市民健康講座、カッビーチャレンジ(3ヶ月で3kgやせる挑戦)、かつうら健康川柳を実施した。国際武道大学に委託して、ウォーキング教室や市民健康講座の講演会を実施することができた。また、市内医師や歯科医師から講演してもらうことができた。広報活動が充分でなかったために参加者は少ないが、ポピュレーション活動は広がってきた。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
拡大			維持												
令和6年度以降は教室の内容変更するとともに、周知方法も見直していく。			令和7年度以降は、令和6年度同様に市民全体へのポピュレーションアプローチとして、ウォーキング教室等を実施していく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	21102		事業名	健康に関する相談窓口の充実								所管課	市民課	
事業概要	予防医療や検診等をととして市民が常に健康でいられるよう、健康に関する相談窓口の充実を図ります。								全体事業内容					
									保健師等の有資格専門職による健康相談体制の充実を図る。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
総合・重点参加者延べ人数		(目標設定なし)	78人	総合・重点参加者延べ人数		(目標設定なし)	63	総合・重点参加者延べ人数		(目標設定なし)					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○			○												
動機付け支援対象94人中、初回面接53名、最終評価52名実施できた。今年度より個別健診の対象者への保健指導も開始できた。生活習慣病・糖尿病性腎症予防についても受診勧奨、保健指導を実施することができた。今後は、全数実施できるよう実施内容を検討する。			集団健診による動機付け支援対象109人中、初回面接63名、最終評価57名実施できた。今年度より集団健診、個別健診の積極的支援に加え、集団健診の動機付け支援対象者への保健指導も委託に移行した。生活習慣病・糖尿病性腎症予防についても受診勧奨、保健指導を実施することができた。人間ドックの動機付け支援が実施できなかった。												
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
拡大			拡大												
令和6年度は人間ドックの動機付け支援対象者に対しても特定保健指導を拡大し、市内の健診受診者への支援を行っていきたい。特定保健指導以外も含め、保健師等の相談・指導への参加率向上を目指し周知を図っていく。			令和7年度は人間ドックの動機付け支援対象者に対しても特定保健指導を拡大していく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	21103		事業名	自殺防止対策の推進						所管課	市民課	
事業概要	地域全体で“生きること”を支え合う環境づくりにより、誰もが自殺に追い込まれることのない社会を実現します。							全体事業内容				
								現状の把握(居場所となる社会資源の把握など) 自殺の兆候を察知し回避につなぐ体制の整備(ゲートキーパー講習やSOSの出し方に関する教育など) つなぎの実践(居場所の調整や相談窓口の紹介、サポート者同士の意見交換など)				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
ゲートキーパー養成講座や健康啓発セミナーの参加者数		(目標設定なし)	－	ゲートキーパー養成講座や健康啓発セミナーの参加者数		(目標設定なし)	－	ゲートキーパー養成講座や健康啓発セミナーの参加者数		(目標設定なし)					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		39	28			90	90			28					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
職員向けにゲートキーパー養成講座やメンタルヘルスに関するセミナーを開催した。			令和6年7月に市内の全中学生向けに睡眠セミナーを実施した。 令和7年1月に職員向けのゲートキーパー養成講座を実施した。 令和7年2月に市民向けのメンタルヘルスセミナーを実施した。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			拡大												
今後もゲートキーパー養成講座を開催するとともに、中学生に向けてセミナーを開催する。			職員向けのゲートキーパー養成講座と民生委員など市民向けのゲートキーパー養成講座を実施する。また、自殺対策に関して庁内連携が不十分なため、連携を進めていきたい。												

■実施計画事業調書

SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	21201	事業名	健康検査の実施	所管課	市民課
事業概要	特定健康診査と同項目の健康診査や肝炎ウイルス検査等を実施し、生活習慣病の予防対策や肝炎治療につなげることで健康寿命の延伸を図ります。	全体事業内容			
		健康増進法に基づき、特定健康診査と同等の健康診査及び肝炎ウイルス検査、歯周疾患検診を実施する。 対象:生活保護受給者(40歳以上)及び成人(18～39歳) 目的:メタボリックシンドロームに着目してその要因となっている生活習慣病を改善するため、健診結果により改善レベルを3段階に階層化して段階別に保健指導を行う。 内容:身体測定、問診、血圧測定、血液検査、尿検査、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査等 回数:同一人について年1回 対象:40歳以上男女 内容:B型・C型肝炎ウイルス検査 目的:肝炎ウイルスの感染状況について検査を実施し、感染している場合は医療機関の早期受診に繋げる。			

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
肝炎健診受診率	30%	31.85%	肝炎健診受診率	30%	33.55%	肝炎健診受診率	30%				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	1,542	1,461		2,262	2,262		5,106				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			◎								
肝炎ウイルス検査の受検者は136人、陽性者はいなかった。 肝炎ウイルス検査が受けられるのは1回のみであり40歳以上の住民のうち令和5年度受検者を含む肝炎ウイルス検査を受検した割合は31.85%となった。			肝炎ウイルス検査の受検者は298人、陽性者は1人(C型)であった。受検者は令和5年度と比べて162人増加した。 肝炎ウイルス検査が受けられるのは1回のみであり、40歳以上で令和6年度の受検者を含む肝炎ウイルス検査を受検した割合は33.55%となった。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
今後も対象年齢になった方に個別に通知するとともに、広報紙・ホームページで受診勧奨する。			今後も対象年齢になった方に個別に通知するとともに、広報紙・ホームページで受診勧奨する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-	
事業番号		21202		事業名		がん検診の実施						所管課		市民課	
事業概要		がん検診を実施し、様々ながんの早期発見・早期治療につなげることで市民の健康保持増進を図ります。				全体事業内容									
						各種がん検診による早期発見から、生活習慣の見直しや改善による健康づくりへの取り組みを支援する環境を整備する。 【乳がん検診】 対象:30歳～ 内容:超音波・マンモグラフィー 回数:同一人年1回 【子宮がん検診】 対象:20歳 ～ 内容:子宮頸部検査 回数:同一人年1回 【胃がん検診】 対象:40歳～ 内容:胃バリウム 回数:同一人年1回 対象:40歳から75歳 内容:胃内視鏡 回数:同一人2年1回 【大腸がん検診】									

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
がん検診平均受診率	12.5%	11.9%	がん検診平均受診率	12.5%	13.80%	がん検診平均受診率	12.5%				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	15,460	15,186		16,078	16,078		18,038				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×			×								
胃がん検診6.8% 肺がん検診10.94% 乳がん検診(マンモ12.5%、エコー21.1%) 子宮頸がん検診9.8% 大腸10.0%で目標値に達していない。 人間ドックや職場健診等受診者もいるため、健診対象者が正確に把握できていない。			胃がん検診3.45% 肺がん検診12.59% 乳がん検診(マンモ12.4%、エコー32.7%) 子宮頸がん検診10.9% 大腸10.9% 人間ドックや職場健診等受診者もいるため、検診対象者が正確に把握できていない。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
受診について意向調査を実施し対象者を把握することも必要である。 受診勧奨についても、対象を絞り積極的に勧奨する必要がある。			受診率向上のため、正しい知識の普及や受診勧奨を行っていく。令和7年度より高齢者の検診金額を徴収することになるため、受診率に変化が出る可能性がある。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	21203		事業名	高齢者短期人間ドック助成事業							所管課	市民課		
事業概要	後期高齢者医療被保険者に対して、短期人間ドック受診料の一部を助成し、疾病等の早期発見及び健康増進を図ります。							全体事業内容						
								対象者 当該年度に短期人間ドックの助成や健康診査を受けていない 利用費用の7割について7万円を限度として助成する。						千葉県後期高齢者医療保険の被保険者 短期人間ドックの受診に支障が無い

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
人間ドック受診者数	30件	66件	人間ドック受診者数	50	68	人間ドック受診者数	70				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	3,193	3,193		3,473	3,390		3,500				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
病気の早期発見など被保険者の健康の維持に資することができた。			病気の早期発見など被保険者の健康の維持に資することができた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
制度の更なる周知を図り医療費の削減につなげる。			制度の更なる周知を図り医療費の削減につなげる。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		国保	再掲区分		-
事業番号	21204		事業名	短期人間ドック助成事業								所管課	市民課	
事業概要	国民健康保険被保険者に対して、短期人間ドック受診料の一部を助成し、疾病等の早期発見及び健康増進を図ります。								全体事業内容					
									対象者:35歳以上の勝浦市の国民健康保険の被保険者 国民健康保険の加入期間が継続して1年以上 前回の短期人間ドックから1年以上経過 納期到来分の国保税の滞納がない者 利用費用の7割について7万円を限度として助成する。					

■事業評価書

競争計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
人間ドック受診者数	150人	152人	人間ドック受診者数	130	177	人間ドック受診者数	180				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	8,619	7,752		9,353	9,353		9,180				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			◎								
病気の早期発見など被保険者の健康の維持に資することができた。助成制度についても概ね周知されている。医療費削減につなげるために結果分析が必要と考える。			病気の早期発見など被保険者の健康の維持に資することができた。助成制度についても概ね周知されている。医療費削減につなげるために結果分析が必要と考える。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
制度の更なる周知を図り医療費の削減につなげる。			制度の更なる周知を図り医療費の削減につなげる。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		国保	再掲区分		-
事業番号	21205		事業名	特定健康診査等事業							所管課	市民課		
事業概要	40歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者を対象に、特定健康診査等を実施し、生活習慣病の予防改善を図ります。							全体事業内容						
								〈受診対象者〉 ・勝浦市国民健康保険被保険者のうち、40歳以上75歳未満の者 ・当該年度に短期人間ドック助成事業を利用していない者						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
受診率	30%	32.4%	受診率	33%	41.2%	受診率	32%				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	26,926	19,704		30,537	25,249		26,423				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			◎								
令和2年から始めた個別健診受診者も徐々に増加しているが、微増である。問診票を全員に送付したり、受診勧奨の通知文を出したり、電話勧奨しても対象者の反応はあまりない。商工会の健診会場で国保で職場健診を受けていた人も情報提供してくれたが、まだまだ少ない。			令和6年度から希望調査を実施し、それに応じた問診票発送を実施している。集団健診については、希望日を記入してもらい、希望通りの日程を割り当てた。受診率向上事業と連携し、勧奨優先順位に応じて電話勧奨し、相乗効果で受診者数が増えた。また、職場健診を受けている回答した人に報告用紙を送付したことで、1%の増加に繋がった。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
40歳未満の国保加入者への健診受診勧奨を強化して、数年後の健診受診率に反映できるようにしたい。また、健診希望調査等を実施して、健診意識を高めてもらおうと共に、職場健診受診者への結果提出の協力を依頼することで受診率を増加させる。			令和5年度から続けている40才未満の成人健診対象者の国保者に問診票を送付することで将来的な受診者増加を見込め。また、希望調査を継続することで、健診意識向上と職場健診者の情報提供により受診率を増加させる。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	21301		事業名	救急・小児・在宅等の地域医療体制整備								所管課	市民課		
事業概要	人口減少や高齢化のすすむ、地域における救命救急・小児医療体制の維持、および在宅での医療受診体制の整備充実を促進します。								全体事業内容						
									・地域における救命救急医療の充実 ・身近な消防団員による1次救命処置の実施 ・ドクターカーの整備 ・常勤の小児科医の確保 ・訪問診療や遠隔診療による在宅医療の充実						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
医師会と連携を図り、医療受診体制の整備に努める	(目標設定なし)	(目標設定なし)	医師会と連携を図り、医療受診体制の整備に努める	(目標設定なし)	(目標設定なし)	医師会と連携を図り、医療受診体制の整備に努める	(目標設定なし)				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
地域で看護師が不足していることから、医師会と連携を図り確保に努める			予防接種や検(健)診など事業実施や変更について、調整を図った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
引き続き、医師会との連携を図りながら、医療受診体制の整備に努める。			引き続き、医師会との連携を図りながら、医療受診体制の整備に努める。								

■実施計画事業調書

SDGs	3	-	-	会計区分	国保	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	21401	事業名	国民健康保険啓発(運用適正化)事業			所管課	市民課
事業概要	被保険者証発送時にパンフレットを同封し、国民健康保険制度の理解を深め、運営適正化を図ります。				全体事業内容		
					冊子等を配布(年2回実施予定) 内容:保険証発送時に国民健康保険制度の内容周知 本算定後の納税通知書発送時に国民健康保険税の内容周知 部数:国保加入世帯数 広報掲載:国保の財政状況、短期人間ドック助成事業などを掲載予定		

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
リーフレット発行部数		5,000部	5,000部	リーフレット配布率(被保険者全世帯配布)		100%	100%	リーフレット配賦率(被保険者全世帯配布)		100%					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		248	242			266	252			258					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			◎												
国保制度について被保険者に漏れなく周知できた。			国保制度について被保険者に漏れなく周知できた。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
被保険者に漏れなく周知を図る。			被保険者に漏れなく周知を図る。												

■実施計画事業調書

SDGs	3	-	-	会計区分	国保	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	21402	事業名	診療報酬明細書点検事業				所管課	市民課
事業概要	レセプト点検を年6回実施し、その際に抽出された疑義レセプトを再審査請求することによって医療の適正化を図ります。					全体事業内容		
						全レセプト		

■事業評価書

競争計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
委託件数		73,000件	122,252件	委託件数		70,000件	116,958件	委託件数		65,000件					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,980	619			873	618			858					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			◎												
医療費の適正化に一定の成果があった。			第三者行為の疑いのあるレセプトの発見など医療費の適正化に一定の成果があった。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
引き続き点検の充実に努めていく。			引き続き点検の充実に努めていく。												

■実施計画事業調書

SDGs	-	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	21501	事業名	感染症等に対する危機管理体制強化	所管課	市民課
事業概要	新型インフルエンザ等対策特別措置法の定めに基づき対策を講じます。			全体事業内容	
				勝浦市新型インフルエンザ等対策行動計画を踏まえた事業を実施する。	

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
勝浦市新型インフルエンザ等対策行動計画を踏まえた事業を実施する。		(目標設定なし)	(目標設定なし)	勝浦市新型インフルエンザ等対策行動計画を踏まえた事業を実施する。		(目標設定なし)	(目標設定なし)	勝浦市新型インフルエンザ等対策行動計画を踏まえた事業を実施する。		(目標設定なし)					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○				○											
新型インフルエンザ等対策行動計画にそって実施した				新型インフルエンザ等対策行動計画にそって実施した											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
引き続き実施する				引き続き実施する											

				関係課	福祉課			
1.	施策名	2	ともに支え合い、健やかに過ごせるまち（保健・医療・福祉）					
		2	地域福祉の推進					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値（計画策定時）	R5年度数値	今回数値（R6年度末）	目標数値（R8）	
		指標1	福祉ボランティアの人数	268人	291人	309人	300人	
		指標2	地域ケア会議の開催回数	2回	3回	2回	6回	
		指標3	地域福祉の充実についての市民満足度	12.7%	—	—	向上	
		指標4	地域の人の親切さ・人情についての市民満足度	76.7%	—	—	向上	
3.	施策の展開一覧	① 地域コミュニティ及び重層的支援体制の推進による福祉の充実						
4.	二次評価	地域福祉の推進について、福祉制度や福祉サービスは年々充足してきているが、生活に困難を抱える世帯は、複雑で複合的な課題を抱えていることが多いため組織・分野を横断する包括的かつ重層的な相談支援体制を整備・構築していくこと。 また、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、地域のつながりを強化し、地域の支え合う力を高める取り組みを推進すること。						

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	1	3	10	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	22101		事業名	指定袋配布事業						所管課	福祉課	
事業概要	経済弱者世帯に対して、市指定のごみ袋を配布し、経済的負担の軽減を図ります。							全体事業内容				
								歳末たすけあい募金の配布対象世帯(生活保護世帯を除く。)に対し、経済的負担の軽減措置として、指定袋配布事業を行う。 歳末たすけあい募金の配布時に次年度分の30枚を社会福祉協議会を通して、民生委員が配布する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
ゴミ袋有料化に伴い、生活困窮者世帯(生活保護世帯除く)にゴミ袋(30ℓ)を配付する。	100	100	ゴミ袋有料化に伴い、生活困窮者世帯(生活保護世帯除く)にゴミ袋(30ℓ)を配付する。	97世帯	85世帯						
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	100	100		145	145		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
該当世帯に対し配付することが出来き、今年度は抱えていた在庫を活用することが出来た。			該当世帯に対し配付を行い経済負担の軽減を図れた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
縮小			廃止								
R6年度については実施予定であるが、元々ゴミ袋有料化に伴い始めた事業であり、ゴミ袋を購入することに抵抗が無くなっているため縮小とする。			ごみ袋の有料化に伴って、ごみ処理手数料の自己負担に関する認知が高まるまでの困窮者世帯の負担軽減が事業目的であることに對して、認知が広まりごみ袋の購入が一般的となったこと等を鑑み、今年度をもって廃止とする。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	22102		事業名	生活困窮者の自立支援							所管課		福祉課		
事業概要									全体事業内容						
									生活困窮者自立相談支援事業を実施している。委託相談窓口の選定については中核地域生活支援事業と併せて委託業者を選定。支援対象者を現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者とし、相談者の課題を包括的に捉え個々の相談者に応じた支援を行う。また、離職ややむを得ない休業等により住居を失った又はそのおそれがある生活困窮者に対して収入等により家賃相当額を有期で支給する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
生活困窮者が生活保護制度を利用せずに済むように、相談の場を設け必要な支援活動を行う。	100	100	生活困窮者が生活保護制度を利用せずに済むように、相談の場を設け必要な支援活動を行う。	100	100	生活困窮者が生活保護制度を利用せずに済むように、相談の場を設け必要な支援活動を行う。	100				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	5,485	5,485		5,191	5,114		5,552				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
生活困窮者に対し委託先である実施機関が関わりを持ち、生活保護申請に至る前のセーフティーネットとして有効であった。			生活困窮者に対し委託先である実施機関が関わりを持ち、生活保護申請に至る前のセーフティーネットとして有効であった。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
生活困窮に陥る要因として様々ではあるが、相談が出来る場があることは大きく必要な措置があれば対応するため役割としては大きい。			生活困窮に陥る要因として様々ではあるが、相談が出来る場があることは大きく必要な措置があれば対応するため役割としては大きい。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	22103		事業名	地域福祉計画の策定及び進行管理								所管課	福祉課		
事業概要	人口減少、少子高齢化の進展や、人々の意識の移り変わりに伴い、地域社会の在り方が変化している中、住民が支え合い、安心して快適に暮らせる地域社会を実現するために、社会福祉法第107条に基づき策定します。								全体事業内容						
									社会福祉法第107条に基づく、市町村地域福祉計画を策定する。なお、社会福祉協議会で策定する地域福祉行動計画と一体的に策定するため、策定に係る費用については社会福祉協議会と1/2ずつ負担する						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
地域福祉計画の協議を社会福祉協議会と行い、地域福祉計画の策定を行う。	0	0	地域福祉計画の協議を社会福祉協議会と行い、地域福祉計画の策定を行う。	0	0	地域福祉計画の協議を社会福祉協議会と行い、地域福祉計画の策定を行う。	0				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×			×								
R5年度において予算取りを行ってなく、社会福祉協議会と協議を行い、予算についてもお互いに1／2ずつを負担することが困難であった。			R6年度において予算を計上しておらず、社会福祉協議会と協議を行っているが、策定には至らなかった。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
社会福祉協議会と協議を行い策定へ向けての協議を実施する。			引き続き、社会福祉協議会と策定へ向けての協議を実施する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	11	16	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	22104		事業名	ボランティア団体活動支援事業						所管課	福祉課	
事業概要	社会福祉協議会を中心に、ボランティア団体やNPO等への支援を推進し、各団体との連絡調整及び各種活動の周知を図ります。						全体事業内容					
							社会福祉協議会を中心に、ボランティア団体活動やNPO法人などの支援を推進する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
ボランティア団体の育成強化及び活動の推進。	0	0	ボランティア団体の育成強化及び活動の推進。	0	0	ボランティア団体の育成強化及び活動の推進。	0								
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額				
	0	0		0	0		0								
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
社会情勢の変化により、社会需要は複雑かつ多様化する一方、行政の限られた予算、人員でこれら課題解決するためには、ちいきの支援が必要不可欠である。			社会情勢の変化により、福祉需要は複雑かつ多様化する一方、行政の限られた予算、人員でこれら課題解決するためには、地域の支援が必要不可欠であり、ボランティア団体の育成強化及び活動の推進は重要事項である。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
地域福祉の充実を図り、きめ細やかな福祉施策を展開するために、継続的な活動が望ましい。			地域福祉の充実を図り、きめ細やかな福祉施策を展開するために、継続的な活動が望ましい。												

				関係課	高齢者支援課・観光商工課・福祉課・市民課		
1.	施策名	2	ともに支え合い、健やかに過ごせるまち(保健・医療・福祉)				
		3	高齢者福祉の充実				
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)
		指標1	シルバー人材センター会員数	134人	128人	124人	150人
		指標2	高齢者向けサークル会員数	309人	258人	240人	310人
		指標3	要介護(要支援)認定者を除く65歳以上の割合	82.3%	81.2%	81.0%	83.0%
		指標4	高齢者の相談件数	1,284件	1,413件	1,215件	1,300件
		指標5	認知症サポーター数	2,391人	2,677人	2,758人	2,900人
		指標6	高齢者福祉の充実についての市民満足度	24.0%	—	—	向上
		指標7	高齢期の生活に不安を感じている市民の割合	81.40%	—	—	低下
3.	施策の展開一覧	① 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進					
		② 高齢者の生活支援の充実					
		③ 高齢者の包括的支援サービスの充実					
		④ 高齢者の介護サービスの充実					
4.	二次評価	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進について、人口減少の影響もありシルバー人材センター会員数や高齢者向けサークル会員数は減少傾向にあり、当面の間は組織の維持、会員の確保を支援していくこととなるが、併せて組織の存続について検討していくこと。 また、高齢になっても地域の一員として生きがいを持って充実した生活を送れるような機会の創出、環境づくりを推進していくこと。 高齢者福祉の充実について、認知症サポーター数は養成講座の開催などにより順調に増えているが、要介護認定者の割合も増えており、団塊の世代が75歳以上になり、介護サービスの需要はさらに増加していくことが想定されるため、高齢者の健康づくりと介護予防の取り組みと併せて、地域で支える体制づくりと介護人材の確保・育成を推進していくこと。					

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	23101		事業名	敬老事業						所管課	高齢者支援課	
事業概要	老人の日にちなみ、敬老の意を表するため、長寿者に祝品を贈ります。						全体事業内容					
							満100歳の者に対し、10,000円相当の記念品を贈る。 (小高御代福祉基金繰入金)					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
満100歳の者に対し、10,000円相当の記念品を送る	24人	20人	満100歳の者全員へ、贈呈品を贈呈するとともに、長寿を祝えるように努めたい	9人	7人	満100歳の者全員へ、贈呈品を贈呈するとともに、長寿を祝えるように努めたい	15人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	264	191		115	67		154				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○			○					
今年度は24人予定していたが20人に減少した。贈呈の仕方も、以前のように市長と保健所長が訪問し記念品を贈呈した後に記念撮影を行ったが、今年度は訪問することを、病気の感染を恐れることを理由に拒む家族と本人がほとんどだったため、郵送での贈呈になった。広報誌上に、100歳を迎えた方の氏名のみ掲載した。			在宅で暮らしている対象者が半数で直接手渡しにより、贈呈品を渡した。殆どの対象者の氏名を広報誌上に掲載した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持			維持					
記念品の贈呈等で長寿を直接祝う考えがある中、記念品の贈呈について在り方や方法を検討したい。 例えば、市の記念品を現金の口座振込にするなど事務の簡略化検討したい。			物価高騰がある中で、記念品として時計を贈呈しているが10,000円相当に値する品がなくなってきており品目を検討したい。								

■実施計画事業調査

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	23102		事業名	高齢者入湯料助成事業							所管課	高齢者支援課		
事業概要	高齢者が市内の温泉施設等を利用する際の入湯料を助成し、高齢者の健康づくり及び社会参加の促進を支援します。							全体事業内容						
								70歳以上の高齢者を対象に、市内施設を利用できる入湯券を1人につき年間最大10枚交付する。 (小高御代福祉基金繰入金)						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
限られた利用枚数だが、大浴場での入浴を行い、心身共にリラックスして、健康増進に努め、高齢者の通いの場の一つになる	5,800枚	3,439枚	入湯券を対象者へ交付し、高齢者の健康づくり促進や社会参加を支援する。	4,200枚	3,533枚	入湯券を対象者へ交付し、高齢者の健康づくり促進や社会参加を支援する。	4,500枚				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	2,732	1,573		1,950	1,658		1,739				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
新型コロナウイルス感染症流行前のような利用者数に戻つつあるが、目標数値5,800枚に対し結果利用数は3,439枚であった。利用者数を上げる為に、広報に事業掲載をする回数を増やすなど工夫する必要がある。			目標数値4,200枚に対し利用数は3,533枚であった。利用者数の増加を図るため、広報に事業掲載をする回数を増やすなど工夫する必要がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
入浴施設が高齢者にとって通いの場になり、入浴することが健康維持のために繋がるなど、高齢者の入浴効果を周知し、入浴をすることを促す。また、現在10枚の配布数を12枚に増量し月1回の利用による検討を図っていきます。			入浴施設に足を運び入浴することは高齢者の健康維持に効果的であると考え。入湯券を利用できる市内の入浴施設が4施設から3施設に減少したことから、利用しやすい環境を整備するため市外の入浴施設も視野に検討する。								

■実施計画事業調書

SDGs	4	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	23103	事業名	高齢者の学習活動、スポーツ活動の促進	所管課	高齢者支援課
事業概要	高齢者の千葉県生涯大学校での学習活動や、教育委員会主催の各種教室への参加を促し、高齢者の社会参加の促進を支援します。			全体事業内容	
				県生涯大学校や市主催の高齢者教室、高齢者スポーツ行事等の広報周知を行い、事業への参加の促進を図る。	

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
千葉県生涯大学校での学習活動や参加を促進し支援していく	0	0	千葉県生涯大学校での学習活動や参加を促進し支援していく	0	0	千葉県生涯大学校での学習活動や参加を促進し支援していく	0				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			○								
市役所の窓口でのチラシ周知を行っていた。			市役所の窓口にてチラシを配架し、周知を行っていた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
縮小			縮小								
市役所の窓口周知では申込み者増員は望まれないため、別の周知を検討していきたい。			市役所の窓口のみでの周知では申込み者増員は望まれないため、別の周知を検討していきたい。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	23104		事業名	高齢者福祉施策の計画的推進								所管課	高齢者支援課	
事業概要	関係法令に基づき、高齢者福祉計画・介護保険事業計画を一体的に策定し、高齢者福祉施策を総合的に推進します。								全体事業内容					
									関係法令に基づき、高齢者福祉計画・介護保険事業計画を一体的に策定し、高齢者福祉施策を総合的に推進します。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画を策定する。		目標設定なし	-	計画に基づき高齢者福祉施策を推進する。		目標設定なし	-	計画に基づき高齢者福祉施策を推進する。次期計画策定のためのアンケート調査を実施し、高齢者の生活状況やニーズを把握する。		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		3,245	3,245			0	0			3,726				4,443	
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
◎				○											
スケジュールに基づき、市民や関係団体へのアンケート調査の実施、関係各課による事業評価、年4回の介護保険運営協議会による協議を経て、計画を策定することができた。				昨年度策定した計画の基本施策に基づき、適正な介護保険の運営をはじめ、高齢者の健康づくりや介護予防の推進、認知症施策や権利擁護事業等の地域包括ケアの推進等の高齢者施策を実施し、総合的に推進することができた。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
今後3年間の計画実施期間において、計画の進捗状況管理を行いながら、計画を推進する。				計画の進捗状況管理を行いながら、残りの計画期間において施策を実施する。 来年度は次期計画策定のためのアンケート調査を実施する。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	23105	事業名	老人クラブ活動の育成						所管課	高齢者支援課	
事業概要	高齢者が地域において充実した生活を送れるよう、老人クラブの育成とその活動を支援します。							全体事業内容			
								①単位老人クラブの人数に3段階に区分し34名までは48,000円、35～49名までは50,000円、50名以上は52,000円に会員数に100円を乗じて得た額から該当老人クラブ経費等(千葉県老人クラブ連合会に係る経費及び勝浦市老人クラブ連合会運営費をいう。)相当額を差し引いた額を助成する。 ②老人クラブ連合会に対し運営費や事業に要する経費の一部を助成する。			

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

評価対象年度 R5

主な目標

目標数値

R5結果

老人クラブ活動の育成とその活動を支援する。また高齢者が充実した生活を送れるようにする。

10G/297人

10G/258人

R5予算額

R5決算額

698

403

達成度

○

評価と課題

コロナ禍以前の活動数に戻つつありが、クラブ会員数は増えない、クラブの役員を担う方の負担が大きい。会計報告や活動報告が高齢者にはわかりにくいいため負担をかけている。

今後の方向性

維持

報告する書式を、簡単に報告ができるように書式の簡素化、工夫を行い役員の負担を軽減する。担当者がクラブに向いて実際の活動の様子を見学してから報告書の簡素化を検討する

(単位:千円)

評価対象年度 R6

主な目標

目標数値

R6結果

老人クラブ活動の育成とその活動を支援する。また高齢者が充実した生活を送れるようにする。

10G

10G/239人

R6予算額

R6決算額

635

566

達成度

○

評価と課題

クラブ会員の高齢化が進む中で、新規会員が増えない、またクラブ役員の負担が大きくなっている。事業実績報告様式が高齢者にとってわかりにくいいため負担をかけている。

今後の方向性

維持

報告様式を簡素化し、役員の負担を軽減する。会員数の減少による解散を防ぐ為にクラブ継続の工夫をする必要がある。

(単位:千円)

評価対象年度 R7

主な目標

目標数値

R7結果

老人クラブ活動の育成とその活動を支援する。また高齢者が充実した生活を送れるようにする。

10G

R7予算額

R7決算額

633

達成度

○

評価と課題

今後の方向性

今後の展望

(単位:千円)

評価対象年度 R8

主な目標

目標数値

R8結果

R8予算額

R8決算額

達成度

評価と課題

今後の方向性

今後の展望

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	8	11	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	23106		事業名	シルバー人材センターの活動支援						所管課	観光商工課	
事業概要	高齢者の就労促進や社会参加、地域貢献活動を推進するため、シルバー人材センターの活動を支援します。							全体事業内容				
								シルバー人材センターの活動に対し、一般社団法人としての自立運営及び組織強化のための補助金を交付する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
会員1人あたりの収入額(配分金収入／会員数)		20万円／人	372,269円	会員1人あたりの収入額(配分金収入／会員数)		20万円／人	364,511円	会員1人あたりの収入額(配分金収入／会員数)		20万円／人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		7,900	7,900			8,400	8,400			8,995					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
◎			◎												
高齢者の就業支援及び生きがいの充実、社会参加の推進に寄与した。				高齢者の就業支援及び生きがいの充実、社会参加の推進に寄与した。また、今年度においては作業中の事故がなく、安全に作業することができた。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
経費が年々増加する一方、国補助金が減額される傾向にあるので、市補助金額についても検討する必要がある。また、受注件数は増加しているが従事する会員数が減少傾向にあるため、請負が困難なケースも発生する可能性がある。				受注件数は増加しているが従事する会員数が減少傾向にあるため、請負が困難なケースも発生する可能性がある。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		1	3	11	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	23201		事業名	介護保険利用者負担額助成事業								所管課	高齢者支援課	
事業概要	介護保険サービスを利用している市民税非課税世帯の方に対して、その利用者負担額の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ります。								全体事業内容					
									介護保険の訪問介護サービス、訪問入浴介護サービス及び訪問看護サービスの利用者のうち、市民税非課税世帯に属する方に利用者負担額の一部を助成する。利用者負担額の100分の30を助成。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
助成延べ人数		1,104	730	助成延べ人数		840	643	助成延べ人数		816					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,656	1,212			1,428	1,031			1,388					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
低所得世帯で居宅系の介護保険サービス利用者に対し助成をすることで、経済的負担の軽減につながった。			低所得世帯で居宅系の介護保険サービス利用者に対し助成をすることで、経済的負担の軽減につながった。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
低所得世帯に対する助成であり、利用者のサービス利用の継続、経済的負担の軽減に寄与している。			低所得世帯に対する助成であり、利用者のサービス利用の継続、経済的負担の軽減に寄与している。												

■実施計画事業調書

SDGs	3	11	-	会計区分	介保	再掲区分	-
------	---	----	---	------	----	------	---

事業番号	23202	事業名	家族介護慰労事業		所管課	高齢者支援課
事業概要	介護保険サービスを1年間利用しなかった重度の要介護者に対して、慰労金を支給し、介護者の経済的負担の軽減を図ります。			全体事業内容		
				介護保険サービスを1年間(年間1週間程度の短期入所および3ヶ月以内の長期入院を除く。)利用しなかった介護保険要介護4又は5と認定された高齢者を介護している市民税非課税世帯の家族に対して100,000円を支給する。		

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
重度の要介護者を介護する非課税世帯の介護者を支援することで、経済的負担の軽減を図る。	目標設定なし	0	重度の要介護者を介護する非課税世帯の介護者を支援することで、経済的負担の軽減を図る。	目標設定なし	0	重度の要介護者を介護する非課税世帯の介護者を支援することで、経済的負担の軽減を図る。	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	100	0		100	0		100				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×			×								
申請実績無し。 引き続き、広報やホームページ等で周知をしていく。			申請実績無し。 引き続き、広報やホームページ等で周知をしていく。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
重度の要介護者を介護する非課税世帯の介護者を支援することで、経済的負担の軽減を図る。			重度の要介護者を介護する非課税世帯の介護者を支援することで、経済的負担の軽減を図る。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	-	会計区分		介保	再掲区分		-
事業番号	23203		事業名	緊急通報システムサービス事業								所管課	高齢者支援課	
事業概要	概ね65歳以上の一人暮らし及び高齢者世帯に対して、緊急通報装置を貸与し、24時間体制で緊急時の連絡や安否確認及び健康・医療相談を図ります。								全体事業内容					
									概ね65歳以上のひとり暮らし及び高齢者のみの世帯の者に対し、緊急通報装置を貸与し、緊急時の対応や安否コールなどのサービスを行う					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

評価対象年度 R5

主な目標

目標数値

R5結果

対象者の安否確認及び健康・医療相談の促進を行う

4600件

4148件

R5予算額

R5決算額

9,807

8,669

達成度

○

評価と課題

スマートフォン等の普及が進み、固定電話の所有者が減少しているためサービスに必要な回線持っていない対象者が増加した。また、ここ近年、新規利用者数より抹消数の方が多い。

今後の方向性

維持

今後の展望

現在、システム機器が有線対応だが、携帯電話の利用率や普及率によっては無線によるシステム機器の導入を検討する必要がある。

(単位:千円)

評価対象年度 R6

主な目標

目標数値

R6結果

対象者の安否確認及び健康・医療相談の促進を行う

4560件

4003

R6予算額

R6決算額

9,531

8,360

達成度

○

評価と課題

新規利用者と抹消者の人数がほぼ同じであり、利用人数の伸び率は低い。撤去のリストにはあがってきてはいるが、機器の撤去をしていない対象者がいる為、撤去数を増やす工夫をする必要がある。

今後の方向性

維持

今後の展望

現在、システム機器が有線対応だが、携帯電話の利用率や普及率によっては無線によるシステム機器の導入を検討する必要がある。

(単位:千円)

評価対象年度 R7

主な目標

目標数値

R7結果

対象者の安否確認及び健康・医療相談の促進を行う

4,100

R7予算額

R7決算額

8,569

達成度

評価と課題

今後の方向性

今後の展望

(単位:千円)

評価対象年度 R8

主な目標

目標数値

R8結果

R8予算額

R8決算額

達成度

評価と課題

今後の方向性

今後の展望

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	11	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	23204		事業名	高齢者タクシー利用料助成事業						所管課	高齢者支援課	
事業概要	高齢者及び運転免許を自主返納した高齢者の外出を支援することで、閉じこもりを防止し、及びその家族介護者の負担軽減を図ります。							全体事業内容				
								満80歳以上及び自主的に運転免許を返納した満75歳以上の者が、市で指定したタクシー業者及び勝浦市予約乗合タクシーの運行业者を利用した際に利用券1枚につき400円を助成する。(年間最大24枚交付)総野地区在住の者(デマンドタクシー運行地区を除く)については、24枚を使い切った場合、申請月に応じて1回に限り再交付をする。 (小高御代福祉基金繰入金)				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
高齢者や家族の移動時の負担等を減らす	15,600枚	15,743枚	高齢者や家族の移動時の負担等を減らす	21,000枚	17,364枚	高齢者や家族の移動時の負担等を減らす	40,000				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	6,726	6,655		8,571	7,106		10,103				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
申請率は50.8%、利用率58.4%。4地区のうち上野地区の申請率は37.4%と一番低い。総野地区のデマンドタクシーが運行していない地区に限りタクシー券の再交付を実施しているが、再交付20人だった。乗車距離と時間が関与していると考え。また、80歳未満の認知症高齢者ドライバーについての対策検討が必要			目標数値21,000枚に対し結果利用数は8,389枚であった。利用者数の増加を図るため、広報に事業掲載をする回数を増やすなど工夫する必要がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
80歳未満の認知症ドライバーについて、なかなか免許返納にまで及ばないケースが多く、免許を保有している高齢者の家族は、交通事故や免許返納について悩んでいる。そのため警察、認知症専門医、包括職員（認知症推進員）、家族等で協議をして対策、対応を考える。			80歳未満の認知症ドライバーについて、なかなか免許返納にまで及ばないケースが多く、免許を保有している高齢者の家族は、交通事故や免許返納について悩んでいる。そのため警察、認知症専門医、包括職員（認知症推進員）、家族等で協議をして対策、対応を考える。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	23205		事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体化実施								所管課	高齢者支援課	
事業概要	通いの場等において、リハビリ専門職等によるフレイル予防の健康教育や体力測定を実施し、介護予防の強化および健康寿命の延伸を図ります。								全体事業内容					
									地域の通いの場に対し、体力測定およびフレイルチェック表等を実施し、健康運動指導士と保健師等による結果説明および健康相談を実施する。また、年間1～2回ずつ巡回し、理学療法士等のリハビリ職からフレイル予防の普及啓発や健康教育を実施する。（一部地域リハビリテーション活動支援事業を活用する）					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
通いの場(11グループ)の全てに対しフレイル予防の健康教育を実施する。 また老人クラブ等にもフレイルの健康教育を実施する	13回	12回	通いの場(11グループ)の全てに対しフレイル予防の健康教育を実施する。 また老人クラブ等にもフレイルの健康教育を実施する	15回	18回	高齢者が地域で集う「通いの場」においてフレイル予防のための周知・啓発を図り、高齢者の介護予防・自立支援に繋げる。	16回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	776	311		631	630		1,067				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
市内のいきいき元気体操活動グループは11グループあり、すべてのグループに対し、リハビリ職によるフレイルの健康教育を実施した。(17回、171名)しかし、フレイルリスクが高い方が全体の18%、昨年度と比較し約40%の方がリスク増となった。今後も継続して、フレイル予防を強化する必要がある。			いきいき元気体操活動グループは、昨年度と比較し1つ減の全10グループとなり、全グループに対し、リハビリ職によるフレイルの健康教育を実施した。また、3つの老人クラブ等に健康教育を実施した。(合計:実施延べ回数18回・参加者196名)さらに、全7回のフレイル予防教室を実施し、延べ118名の方が参加した。健康教育参加者に対し高齢者質問票を実施し、全体の17.3%の方がフレイルリスクが高かった。今後も継続してフレイル予防を実施する必要がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
いきいき元気体操自主グループでは、体力測定時の体重が減少している方が多いことから、次年度以降は低栄養講座を検討していきたい。また、健康寿命の延伸を図るために、今後はいきいき元気体操自主グループ以外の老人クラブや高齢者が集まる事業でさらにフレイル対策を強化する必要がある。			来年度は高齢者質問票のハイリスク者を中心に個々の振り返りができるような指導を考えていきたい。また、体操の参加者の対し、引き続き体操の継続参加や日々の取り組みが重要であることを重視すると共に、体重減少の方も見受けられることから、低栄養に関しての健康教育を検討したい。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	2	3	11	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	23206		事業名	高齢者配食サービス事業						所管課	高齢者支援課	
事業概要								全体事業内容				
								65歳以上の高齢者世帯で調理が困難な者を対象に、週3回まで、昼食時に栄養バランスを考慮した弁当を配達するとともに、安否確認を行う。 (小高御代福祉基金繰入金)				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
調理が困難な対象者に対し週に最大でも3回配食弁当を提供し、配達員の安否確認を行い健康促進を図る		10,800食	10,060食	調理が困難な対象者に対し週に最大でも3回配食弁当を提供し、配達員の安否確認を行い健康促進を図る		10,900食	9,883食	調理が困難な対象者に対し週に最大でも3回配食弁当を提供し、配達員の安否確認を行い健康促進を図る		10700食					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		5,523	5,231			5,668	5,139			5,778					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
食事からの健康管理を行っていく際に、配達員の利用者の観察力と早期の報告と対応が高齢者にとって大きな成果を上げている。例えば、顔なじみの配達員から声掛けが独居高齢者にとって励みになり生活意欲の向上につながっている。 今後は、配達業者と高齢者の情報交換を密にして、個別高齢者の元気回復について解決方法を考えるための連携が必要			栄養が考えられた弁当と配達事業者による見守り支援をおこなうことで、調理が困難な高齢者が健康かつ安心安全に日常生活を送ることができていると考えられる。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
配達業者と高齢者の情報交換会を定期的に行い、高齢者の安全確認を実施していく。			R7年度については、配食事業者の調理方法(冷蔵食・調理食)の違いで1食単価にかかる利用者負担額が事業者によって変更するので、利用者にとっては選択の幅がより広がることになり、結果として、利用者の満足度が高くなることを期待している。委託料も事業者によって変更となるので、市民と事業者に対しては、変更に伴う丁寧な説明が求められる。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	23207		事業名	高齢者理容サービス事業								所管課	高齢者支援課	
事業概要	重度要介護高齢者(要介護4または5)で介護を必要とする高齢者に対して、理容事業者による出張理容サービスを提供し、高齢者福祉の向上を図ります。								全体事業内容					
									重度要介護高齢者(要介護4または5)であって、障害高齢者の日常生活自立度ランクB以上で日常的に介護を必要とする65歳以上の高齢者に対して、市が委託した理容業者により散髪、顔そりなどのサービスを行う。該当年度6回以内として無料利用サービス券を交付する。1回あたり委託料5,500円(小高御代福祉基金繰入金)					

■事業評価書

競争率計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
利用者の家族の負担を軽減し、 高齢者福祉の向上を図る。	88回	105回	利用者の家族の負担を軽減し、 高齢者福祉の向上を図る。	104回	94回	利用者の家族の負担を軽減し、 高齢者福祉の向上を図る。	110回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	578	578		572	517		440				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
在宅福祉手当の申請増加に伴い、事業も当初予算より補正をして対応をした。重度介護認定者がR5に顕著に増加したのではなく、制度の周知により申請者が増加したものである。重度要介護認定者数の実績数から見込みを立てていく。			新規申請者の伸び率が低い為、在宅福祉手当の申請と併せて対象者となる人に周知していく必要がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
対象者が受けられるサービスを周知はしっかり行い、サービス対象の漏れないように、認定通知へサービスのお知らせの同封や、ケアマネジャーへ周知を積極的に行い引き続き利用者の家族の負担軽減、高齢者福祉の向上を目指していきたい。			対象者が受けられるサービスを周知はしっかり行い、サービス対象の漏れないように、認定通知へサービスのお知らせの同封や、ケアマネジャーへ周知を積極的に行い引き続き利用者の家族の負担軽減、高齢者福祉の向上を目指していきたい。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		1	3	11	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	23208		事業名	在宅介護福祉手当支給事業								所管課	高齢者支援課	
事業概要	ねたきりや認知症等の高齢者を在宅で介護している方に対して、手当を支給し、介護者の経済的負担の軽減を図ります。								全体事業内容					
									ねたきりや重度認知症で要介護度4又は5の高齢者を介護している者に月額5,000円を支給する。 (勝浦市福祉基金繰入金)					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
重度要介護認定者(寝たきり、認知症)を介護している家族に対して介護手当を支給する	558人	645人	重度要介護認定者(寝たきり、認知症)を介護している家族に対して介護手当を支給する	673人	591人	重度要介護認定者(寝たきり、認知症)を介護している家族に対して介護手当を支給する	675人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	3,335	3,335		3,365	2,955		3,375				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
重度要介護認定者を介護している家族へ周知を積極的に行った結果、申請者の増加があり 補正予算を組むほどの申請があった。対象者の把握を行い、申請者の見込みを予測し対応する必要がある。			引き続き、重度要介護認定者を介護している家族への経済的負担を軽減するため、未申請にならないよう周知を積極的に行っていくことが必要である。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、要介護者を介護している家族に対して介護を労い、在宅介護の継続を支援する。			要介護者を介護している家族の負担を軽減するために、継続して在宅介護の支援をする。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	23209		事業名	はり・きゅう・マッサージ等施術利用者助成事業						所管課	高齢者支援課	
事業概要	高齢者が市登録の施術事業者を利用する際に施術に要した費用の一部を助成し、高齢者の健康づくり及び社会参加の促進を支援します。						全体事業内容					
							65歳以上の高齢者に対して、市に登録された施術業者を利用する際に年12回を限度に助成券を交付し、1回あたり800円を助成する。 (小高御代福祉基金繰入金)					

■事業評価書

事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
高齢者の健康づくりと 経済的支援を行う	1110件	965件	高齢者の健康づくりと 経済的支援を行う	1080件	992回	高齢者の健康づくりと 経済的支援を行う	1100件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	904	787		880	813		836				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
骨、関節系の疾患のために保存的治療を受けている方の、疼痛の軽減に役 立ったと考えます。筋力改善や維持とフレイル予防の観点から事業の効果を 判断して行きたい。			骨、関節系の疾患のために保存的治療を受けている方の、疼痛の軽減に役 立ったと考えます。筋力改善や維持とフレイル予防の観点から事業の効果を 判断して行きたい。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
高齢者は、骨、関節系の疾患のために保存的治療を受けている方が多いた め、本券を利用している高齢者の利用目的等を調査して配布枚数の妥当性 を検証する。			利用者数の伸び率を高める為に事業の周知を工夫する必要がある。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		1	11	12	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	23210		事業名	老人保護措置事業							所管課	高齢者支援課		
事業概要	経済的な理由等により、居宅での生活が困難な方に対して、養護老人ホームへの入所措置を支援します。							全体事業内容						
								環境上又は経済上の理由により、居宅での生活が困難な方の養護老人ホームへの入所措置を実施し、高齢者の支援を図る。 費用徴収:個人の負担能力に応じて決定する。 (老人保護措置費負担金)						

■事業評価書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
環境上または経済上の理由により居宅での生活が困難な方の養護老人ホームへの入居措置を実施し、高齢者の支援を図る。費用徴収、個人の負担能力に応じて決定する	4人	5人	環境上または経済上の理由により居宅での生活が困難な方の養護老人ホームへの入居措置を実施し、高齢者の支援を図る。費用徴収、個人の負担能力に応じて決定する	5人	4人	環境上または経済上の理由により居宅での生活が困難な方の養護老人ホームへの入居措置を実施し、高齢者の支援を図る。費用徴収、個人の負担能力に応じて決定する	5人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	11,149	10,577		15,110	12,892		15,349				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
居宅での生活が困難な状態の高齢者が、経済的な援助を受けながら養護老人ホームに入所することにより安全で安心した生活を送ることができるようになった。今年、措置をしたケースにおいては、病状的に不安定であり入退院等を繰り返しているため、今後入所継続の妥当性を再検討する必要がある。			居宅での生活が困難な状態の高齢者が、経済的な援助を受けながら養護老人ホームに入所することにより安全で安心した生活を送ることができるようになった。今年、措置をしたケースにおいては、病状的に不安定であり入退院等を繰り返しているため、今後入所継続の妥当性を再検討する必要がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、現在入居している方の入所を支援していく。また、新規対象者に対しては、介護保険施設への入所等、優先制度利用の検討を行った後に本事業の利用を慎重に行っていく。			引き続き、現在入居している方の入所を支援していく。また、新規対象者に対しては、介護保険施設への入所等、優先制度利用の検討を行った後に本事業の利用を慎重に行っていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	23211		事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体化実施						所管課	市民課	
事業概要	令和2年度の医療レセプト分析の結果、がん・筋骨格系を除く疾患として、国保・後期高齢者いずれにおいても、糖尿病・高血圧が上位となっている。ハイリスク層に対して、医療費の適正化に向け、糖尿病性腎症・生活習慣病重症化予防に努めます。						全体事業内容					
							糖尿病性腎症・生活習慣病重症化予防の対象者抽出基準に該当する者に対して、初回面接案内文を送付・初回面接(受診勧奨・保健指導)の実施、評価面接(レセプトの確認)を実施し、継続的な医療機関受診に繋げる。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
なし		(目標設定なし)	(目標設定なし)	なし		(目標設定なし)	(目標設定なし)	なし		(目標設定なし)					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		3,634	3,132			631	629			1,067					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
△			△												
対象者に受診勧奨を実施しても約4割が未受診であり、自覚症状がないため、受診に結びつかないケースが多い。また医療機関についても、データが高値であっても食事や運動療法で様子を見るケースも多く、内服の基準が一定ではないことが課題である。			対象者に受診勧奨を実施しても約5割が未受診であり、自覚症状がないため、受診に結びつかないケースが多い。また医療機関との連携が不十分で、受診勧奨後の状況が不明確なことが課題である。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
保健師・管理栄養士等による生活習慣病予防のための保健指導と医療機関への適正な受診勧奨をおこなう。 重症化を予防するためには、経年的に健診結果や受診状況を評価し、合併症の出現がないように介入していくことが重要となる。レセプトを確認し個人の受診状況・生活状況に合わせ、今後も管理台帳を作成し、支援を継続していく。			重症化予防は経年的に健診結果や受診状況を評価し、合併症の出現がないように介入していくことが重要となる。保健指導の実施はもちろんだが、保健指導に参加したからといって受診行動に繋がるわけではない。レセプトを確認し個人の受診状況・生活状況に合わせ、今後も管理台帳を作成し、支援を継続していく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		1	3	11	会計区分		介保	再掲区分		-
事業番号	23301		事業名	在宅医療・介護連携								所管課	高齢者支援課	
事業概要	医療と介護の両方が必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で生活出来るよう在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業者等の関係者との協議・連携を推進します。								全体事業内容					
									医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で生活出来るように在宅医療と介護を一体的に提供するために医療機関と介護事業所等の関係者との協働と連携を推進するために夷隅郡内2市2町でPDCAサイクルに沿った取組を行い、地域課題の把握や改善に向けて情報交換や協議を行う。					

■事業評価書

競争計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
年間4回実施	4回	4回	年間4回実施	4回	4回	医療機関と介護事業所等の関係者との協働・連携を推進する	5回開催				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		69				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
当初の計画通り、夷隅郡内4市町で、地域課題の把握や改善に向けて情報交換や協議を行うことができた。 来年度以降も実施していきたい。			当初の計画通り、夷隅郡内4市町で、地域課題の把握や改善に向けて情報交換や協議を行うことができた。来年度以降も実施していきたい。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
夷隅郡内4市町で、地域課題の把握や改善に向けて情報交換や協議を行うことができた。			今後、市内の医療機関の医師と介護施設等に従事している職員が定期的に集まり、知識と技術の向上を目的に研修会を実施をする。								

■実施計画事業調査

■実施計画事業調書				SDGs	3	11	12	会計区分	介保	再掲区分	-	
事業番号	23302		事業名	自立型地域ケア会議						所管課	高齢者支援課	
事業概要	保健・医療・福祉関係部門の関連機関や各種団体、事業者との連携及びネットワーク体制の充実を図るとともに、地域ケア体制の総合的な推進体制の確立を図ります。						全体事業内容					
							要支援1、2の認定を受けた者で地域包括支援センターが地域ケア会議にかけることが相当と判断した事例について、医療・介護・福祉等の専門職が出席しケアプランを作成したケアマネジャーに対してアドバイスをする。また、個別会議から地域に必要な社会資源を把握する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
要支援1.2、要介護1の認定を受けた者で地域包括支援センターが地域ケア会議にかけることが相当と判断した事例について、医療・介護・福祉等の専門職が出席し会議を年3回開催する。	3回	3回	要支援1.2、要介護1の認定を受けた者で地域包括支援センターが地域ケア会議にかけることが相当と判断した事例について、医療・介護・福祉等の専門職が出席し会議を年3回開催する。	3回	4回	高齢者を支えるネットワークを強化すると共に、地域の繋がりを維持しながら、高齢者の自立意欲の向上を促進する。	3回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	310	100		310	50		140				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
自立支援型地域ケア会議を年3回開催することができた。年3回のうち、2回は事例をもとに支援方法等の検討、1回は講師を招き、業種を限定せず地域でのそれぞれの役割がどういったものを学ぶ機会を作ることができた。			自立支援型地域ケア会議を年4回開催。4回中2回は要支援1～要介護1の方の自立支援に向けた会議を実施。1回は、ケアマネージャーや民生委員を対象に、地域づくりやコミュニティづくりの講義を実施した。また、1回は事例をもとに支援方法等の検討をした。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
地域ケア会議は、地域包括ケアシステムを構築していくうえで、とても重要なものである。会議を継続して開催していくことで、地域の課題等を明確にして、小さなニーズの積み重ねを行い、地域での課題を抽出していく。また今後は要介護状態の人も地域ケア会議にかけることが相当と判断する場合は検討していく。			地域ケア会議を実施することで、他職種と連携し地域の課題整理を行い、高齢者の自立支援・地域づくりへ繋げる。また、今後は、地域ケア会議に民生委員等の地域のボランティアの出席を検討し、さらに地域の課題の共有と地域包括ケアシステムの構築を強化したい。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	-	会計区分		介保	再掲区分		-
事業番号	23303		事業名	生活体制整備事業								所管課	高齢者支援課	
事業概要	地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対して、効果的かつ効率的な支援を実施します。								全体事業内容					
									◇生活支援サービス事業 地域の支え合い体制(地域住民が主体となり様々なやり方で地域の高齢者を支える体制)の構築を進めていく。 ◇介護予防地域資源資料集の作成 高齢者の生活支援のための介護予防地域資源資料集「勝浦いろは帖」を作成し配布する。					

■事業評価書

（単位：千円）			（単位：千円）			（単位：千円）			（単位：千円）		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対して、効果的かつ効率的な支援を実施する	資源集300冊	資源集300冊	生活支援コーディネーターの数を増やし地域のニーズの把握し課題づくりを行い解決の足掛かりを作る	資源集300冊	資源集300冊	生活支援コーディネーターの数を増やし地域のニーズの把握し課題づくりを行い解決の足掛かりを作る	資源集300冊				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	281	136		232	138		140				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			△								
社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと連携がうまくいかず地域のニーズ把握を効果的にできなかった。一方では、企業による移動スーパーが参入している地区があり、買い物難民の発生を緩和することができた。			社会福祉協議会の生活支援コーディネーターと連携がうまくいかず地域のニーズ把握を効果的にできなかった。一方では、企業による移動スーパーが参入している地区があり、買い物難民の発生を緩和することができた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
地域ケア会議等で地域のニーズについてもっと取り上げてもらい様々な職種からの意見を参考に活動に活かしていきたい			社会福祉協議会と今後は定期的に話しあい会をもち、良い連携を構築し、地域ニーズにこたえていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		1	3	11	会計区分		介保	再掲区分		-
事業番号	23304		事業名	高齢者等成年後見利用促進事業								所管課	高齢者支援課	
事業概要	後見開始等審判の請求を行う必要があると市長が判断した場合、市長が申立人となり審判請求を行うとともに、審判を受けた者の成年後見人に対する報酬の助成を行います。								全体事業内容					
									成年後見制度を利用する必要な認知症等で判断力が低下した高齢者に対して、市長が後見開始審判の請求を行う必要があると判断した場合、市長が申立人となり審判請求を行う手続きをする。また、審判を受けた者の成年後見人が報酬助成を請求助成があった場合、その全額又は一部を助成を行う。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
5人程度の助成をおこなう		5人	3人	7人程度の助成をおこなう		7人	3人	7人程度の助成をおこなう		7人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,642	518			2,528	767			2,748					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
4人の報酬助成申請があり、1人は否となり、3人の助成となった。 本人の預貯金等によっても、助成の可否に影響があるので、目標は読みにくい。			3人の報酬助成申請があり、3人とも助成可となった。 本人の収入や支出、預貯金等によっても、助成の可否に影響があるので、目標は読みにくい。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
引き続き、成年後見人から報酬助成の請求があった場合は助成を行う。近年、成年後見制度の相談、申請が増加しているので、報酬助成も増加見込み。			引き続き、成年後見人等から報酬助成の請求があった場合は助成を行っていく。近年、成年後見制度の相談、申請が増加している為、報酬助成も増加見込み。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	-	会計区分		介保	再掲区分		-
事業番号	23305		事業名	認知症初期集中支援推進事業								所管課	高齢者支援課	
事業概要	認知症が疑われる方や認知症の方及びその家族を訪問し、アセスメントや家族支援等を包括的・集中的に行い、自立生活に向けたサポートを実施します。							全体事業内容						
								複数の専門家が家族の訴え等により認知症が疑われる方や認知症の方及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援等の初期の支援を包括的(概ね6か月)に行い、自立生活に向けたサポートを実施する。 (地域支援事業繰入金)						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
認知症の早期発見・早期対応	3件	0件	認知症の早期発見・早期対応	3件	0件	認知症の早期発見・早期対応	3件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	44	0		39	0		21				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×			×								
認知症高齢者の相談はあるが、認知症初期集中支援チームとして対応をする案件はなかった。			認知症高齢者の相談はあるが、認知症初期集中支援チームとして対応をする案件はなかった。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
認知症初期集中支援チームで対応する基準に満たない認知症高齢者の相談は、地域包括支援センター内で対応し解決され、介護保険サービスの利用につながっているが、個々の相談内容も複雑化し、困難ケースも増加しているため、今後は積極的に認知症初期集中支援チームの活用を行っていく。			認知症初期集中支援チームで対応する基準に満たない認知症高齢者の相談は、地域包括支援センター内で対応し解決され、介護保険サービスの利用につながっているが、個々の相談内容も複雑化し、困難ケースも増加しているため、今後は積極的に認知症初期集中支援チームの活用を行っていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	11	-	会計区分	介保	再掲区分	-	
事業番号	23306		事業名	認知症地域支援・ケア向上事業						所管課	高齢者支援課	
事業概要	認知症をもつ方の家族に対して、認知症に関する基礎的な知識や介護技術の習得等を目的とした介護教室を開催し、家族等の介護者の身体的又は精神的負担の軽減を図ります。							全体事業内容				
								認知症をもつ方の家族に対して、認知症に関する基本的な知識や介護技術の習得、関係制度への理解を深めるための介護教室を認知症地域支援推進員が開催し、家族の介護の身体的又は精神的な負担の軽減を図る。 (地域支援事業繰入金)				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
認知症に関する基本的な知識や介護技術の習得、関係制度への理解を深める	200人	100人	認知症に関する基本的な知識や介護技術の習得、関係制度への理解を深める	200人	100人	認知症に関する基本的な知識や介護技術の習得、関係制度への理解を深める	200人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	760	711		1,023	701		682				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
関係制度への理解を深めるために認知症地域支援推進員等が活動して、家族の介護の負担を軽減するものであるが、効果的な活動ができず周知活動もできなかった			認知症早期発見及び早期受診、認知症予防、認知症への理解について、事業を行った。効果的な周知ができていない事業もあるなど、事業によって周知方法等に差があった。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
認知症地域支援推進員等の活動と周知を行い、認知症事業を進めることのできる人材を育成する			今後も継続した事業を行い、制度等への理解を深めてもらう為、周知活動等を行っていく。								

■実施計画事業調査

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	会計区分		介保	再掲区分		-
事業番号	23307		事業名	地域包括支援センター運営事業							所管課	高齢者支援課	
事業概要	保健・医療・福祉・介護等の関係機関や地域にある様々な資源を活用し、総合的な福祉サービスの提供を推進します。							全体事業内容					
								高齢者の生活の実態把握地域包括支援センターの運営全般 ・介護予防ケアマネジメント業務 ・権利擁護業務 ・総合相談支援業務 ・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
保健・医療・福祉・介護等の関係機関や地域にある様々な資源を活用し、総合的な福祉サービスの提供を推進します。	1回開催	1回開催	保健・医療・福祉・介護等の関係機関や地域にある様々な資源を活用し、総合的な福祉サービスの提供を推進します。	1回開催	1回開催	保健・医療・福祉・介護等の関係機関や地域にある様々な資源を活用し、総合的な福祉サービスの提供を推進します。	1回開催				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	998	681		1,262	985		985				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
地域包括支援センターを運営するために、3職種の専門職が連携を図り運営を行った。円滑な運営を行うためにも、年に1回の運営協議会を開催することで、事業を客観的に振り返りを行うことができ次年度へ続けることができる			地域包括支援センターを運営するために、3職種の専門職が連携を図り運営を行った。円滑な運営を行うためにも、年に1回の運営協議会を開催することで、事業を客観的に振り返りを行うことができ次年度へ続けることができる								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
認知症に対する理解を深めるため地域で出張講座を行ってほしいと運営協議会の委員よりご指摘があったため次年度に活動内容に反映させたいと考えている。開催回数、日時等に変更はない。令和6年度 委員の任期切れに伴う委嘱がある。			2025年問題、8050問題など世帯別の問題が多くなってくることや問題も複雑になっている。多くの関係者と連携を図りつつ問題解決に取り組んでいく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	-	会計区分		介保	再掲区分		-
事業番号	23401		事業名	介護保険運営円滑化推進事業								所管課	高齢者支援課	
事業概要	介護保険関係機関と定期的な情報交換や問題点の改善に向けた協議及び研修を推進します。								全体事業内容					
									勝浦市ケアマネ部会を中心に定期的な情報交換を行い地域の問題点の把握と改善に向けた協議や研修会を行う。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
勝浦市ケアマネ部会を中心に定期的な情報交換を行い地域の問題点の把握と改善に向けた協議や研修会を行う。	4回開催	4回開催	勝浦市ケアマネ部会を中心に定期的な情報交換を行い地域の問題点の把握と改善に向けた協議や研修会を行う。	4回開催	4回開催	勝浦市ケアマネ部会を中心に定期的な情報交換を行い地域の問題点の把握と改善に向けた協議や研修会を行う。	5回開催				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
市内のケアマネジャーが主体となって勉強会や研修会を実施できるように、地域包括支援センターの主任ケアマネジャーは事務局としてかわりを持った			市内のケアマネジャーが主体となって勉強会や研修会を実施できるように、地域包括支援センターの主任ケアマネジャーは事務局としてかわりを持った								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
部会の会長を2人制で2年任期にすることで、ケアマネジャーが現在の課題へ向き合うことができ、積極的に活動することができた			部会の会長を2人制で2年任期にすることで、ケアマネジャーが現在の課題へ向き合うことができ、積極的に活動することができた								

■実施計画事業調査

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	-	会計区分		介保	再掲区分		-
事業番号	23402		事業名	一般介護予防事業								所管課	高齢者支援課	
事業概要	行政や地域の互助及び民間サービスの役割分担を踏まえつつ、高齢者が生きがいや役割をもって生活できる地域づくりを推進します。								全体事業内容					
									介護予防把握事業、介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業、介護予防評価事業、地域リハビリテーション活動支援事業を実施する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

評価対象年度 R5

主な目標

目標数値

R5結果

勝浦いきいき元気体操を実施しているグループ(11グループ)に対して体力測定、結果説明を年1回実施する。

11(グループ)

11

R5予算額

R5決算額

2,477

872

達成度

○

評価と課題

全グループに対して、体力測定、結果説明は実施できた。しかし、体力測定に参加するメンバーが少なく、参加率53.7%。体力測定に対して、苦手意識をもっているメンバーもいるため、体力測定の目的を理解してもらい、体操を続けるモチベーションを確保していきたい。

今後の方向性

維持

今後の展望

①既存のグループに対しては、体力測定、結果説明を年1回行うことを継続し、体力測定参加率を向上できるように働きかける必要がある。
②新規グループ立ち上げ。そのためには、体操の効果やメリットの周知が必要だと考えられる。

(単位:千円)

評価対象年度 R6

主な目標

目標数値

R6結果

既存のグループに対して、体力測定、結果説明を実施する。また、体力測定の参加率を増加させる。

55(%)

70.1%

R6予算額

R6決算額

1,261

494

達成度

○

評価と課題

1つグループがリーダーの体調不良により、存続不可になり、10グループに減少。その10グループに対しては、体力測定と結果説明を実施し、参加率は70.1%と昨年より上昇。しかし、今回の参加率上昇は、登録メンバーを精査し、長期間参加できていないメンバーを除外した結果のため、今後も維持できるようにしていきたい。

今後の方向性

維持

今後の展望

①既存のグループに対して、体力測定、結果説明を年1回行うことを継続。また、グループが存続できるような、支援や提案を行っていく。
②新規グループ立ち上げや、新規メンバー加入を増やすため、周知活動に力を入れたい。

(単位:千円)

評価対象年度 R7

主な目標

目標数値

R7結果

既存のグループに対して、体力測定、結果説明を実施する。体力測定参加率を維持。また、新規加入メンバーを増やす。

70%

R7予算額

R7決算額

862

達成度

評価と課題

今後の方向性

今後の展望

(単位:千円)

評価対象年度 R8

主な目標

目標数値

R8結果

R8予算額

R8決算額

達成度

評価と課題

今後の方向性

今後の展望

■実施計画事業調書

SDGs	3	-	-	会計区分	介保	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	23403	事業名	介護支援専門員等業務助成事業		所管課	高齢者支援課
事業概要	介護支援専門員等が介護保険の適用される住宅改修費の支給申請書等を作成した場合に、助成金を支給し、高齢者福祉の向上を推進します。			全体事業内容		
				介護支援専門員等が、居宅介護支援の提供を受けていない要介護者等に対し、介護保険法上の住宅改修費の支給申請に係る理由書を作成した場合に、居宅介護支援事業所等に1件当たり2,000円の助成金を支給する。		

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
介護支援専門員等が介護保険の適用される住宅改修費の支給申請書等を作成した場合に、助成金を支給する。		目標設定なし		介護支援専門員等が介護保険の適用される住宅改修費の支給申請書等を作成した場合に、助成金を支給する。		目標設定なし		介護支援専門員等が介護保険の適用される住宅改修費の支給申請書等を作成した場合に、助成金を支給する。		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		5	0			5	0			5					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
×			×												
令和2年度に1件実績があったが、令和3年度以降は実績無し。			令和2年度に1件実績があったが、令和3年度以降は実績無し。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
利用実績は少ないが、今後、本事業を必要とする被保険者への対応として、事業の継続は必要である。			利用実績は少ないが、今後、本事業を必要とする被保険者への対応として、事業の継続は必要である。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		介保	再掲区分		-
事業番号	23404		事業名	介護予防・生活支援サービス事業								所管課	高齢者支援課	
事業概要	地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対して、効果的かつ効率的な支援を実施します。							全体事業内容						
								市が中心となり地域の実情に応じて、住民等が主体として多様なサービスを充実することで地域の支え合い体制づくりを推進し要支援者等に対して、効率的な支援等を行う。 (地域支援事業繰入金)						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
要支援者の自立した日常生活の支援をし、要介護状態になることを予防する。	目標設定なし			要支援者の自立した日常生活の支援をし、要介護状態になることを予防する。	目標設定なし			要支援者の自立した日常生活の支援をし、要介護状態になることを予防する。	目標設定なし						
	R5予算額		R5決算額		R6予算額		R6決算額		R7予算額		R7決算額		R8予算額		R8決算額
	25,000		13,547		24,000		15,804		21,000						
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○			○												
通所型サービスは、通所介護相当サービスの利用で充足している。訪問介護相当サービスは、訪問介護事業者が少なく、必要としている利用者へのサービス提供が困難になっている。				通所型サービスは、通所介護相当サービスの利用で充足している。訪問介護相当サービスは、訪問介護事業者が少なく、必要としている利用者へのサービス提供が困難になっている。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
住民等が主体となった多様なサービスを充実させ、地域の支え合い体制づくりを推進する。				住民等が主体となった多様なサービスを充実させ、地域の支え合い体制づくりを推進する。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	23405		事業名	介護予防支援事業								所管課	高齢者支援課	
事業概要	要支援1及び要支援2の方を対象に、介護予防支援計画を作成し、高齢者の自立促進を支援します。								全体事業内容					
									要支援1及び2の者に対して、ケアマネジメントを行い、より自立した生活への支援を行う。 (介護予防サービス計画費収入、介護予防ケアマネジメント収入)					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
要支援1・2の方の自立を促進する 予防介護支援をおこなう。	250件	172件	要支援1・2の方の自立を促進する 予防介護支援をおこなう。	260件	138件	要支援1・2の方の自立を促進する 予防介護支援をおこなう。	260件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	1,107	748		954	1,021		1,125				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
介護予防サービス計画、介護予防ケアマネジメントのケアプランを作成する ケアマネジャーが不足しておりケアマネ難民や予防サービスの訪問介護のヘルパー不足で利用できる事業者がない状況。			介護予防サービス計画、介護予防ケアマネジメントのケアプランを作成する ケアマネジャーが不足しておりケアマネ難民や予防サービスの訪問介護のヘルパー不足で利用できる事業者がない状況。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
地域包括支援センター職員によるケアプランの作成が今後増加することが予想されるが、ケアプラン作成以外の業務が膨大で包括職員の負担が解消されないだろう。また、予防訪問介護のヘルパーが不足し、介護保険外の有料サービスで生活を支えるようになりつつある。介護サービスを利用するにも格差が生じてしまう。市独自のサービス提供の仕方、方法を考える時期にある。			地域包括支援センター職員によるケアプランの作成が今後増加することが予想されるが、ケアプラン作成以外の業務が膨大で包括職員の負担が解消されないだろう。また、予防訪問介護のヘルパーが不足し、介護保険外の有料サービスで生活を支えるようになりつつある。介護サービスを利用するにも格差が生じてしまう。市独自の総合事業の仕方、方法を考える時期にある。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	23406		事業名	介護人材の確保・育成							所管課	高齢者支援課		
事業概要	介護職員初任者研修または介護福祉士実務者研修の受講に必要な費用の一部を助成し、介護に従事する人材の育成と就労の支援をします。							全体事業内容						
								介護施設等に就業し、介護職員初任者研修または介護福祉士実務者研修を修了した者に対し、研修の受講料等の一部を助成する。令和5年度・令和6年度は介護職員初任者研修受講者のみ対象。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
介護職員初任者研修助成金の支給申請者数		3人	0人	介護職員初任者研修助成金の支給申請者数		3人	0人	介護職員初任者研修助成金及び介護福祉士実務者研修助成金の支給申請者数		4人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		120	0			120	0			300					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
×			×												
今年度実績がなかったことから、引き続きホームページ等で周知をしていく。				今年度実績がなかったことから、引き続きホームページ等で周知をしていく。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
介護人材の育成及び確保は喫緊の課題であるので、事業の周知や利用しやすい仕組みを検討する必要がある。				介護人材の育成及び確保は喫緊の課題であるので、事業の周知や利用しやすい仕組みを検討する必要がある。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	-	-	会計区分	介保	再掲区分	-	
事業番号	23407		事業名	介護給付適正化事業						所管課	高齢者支援課	
事業概要	効果のある介護サービスが行われているか、サービスに対する介護給付費が適正に支給されているか等の状況を正確に把握し、介護保険制度における適正な介護サービスの提供を推進します。							全体事業内容				
								「介護給付適正化総合支援システム」を利用し、システムから出力されたヒアリングシートを居宅介護支援事業所へ送付し、適正な介護サービスの提供がされているか確認することで、介護給付の適正化を推進する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
				利用者の自立を支援する適正なサービスの提供(ヒアリングシートの確認によって介護サービスの適正化がされた件数)	30件	37件	利用者の自立を支援する適正なサービスの提供(ヒアリングシートの確認によって介護サービスの適正化がされた件数)	20件							
		R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額			
					3,744	3,743		1,379							
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
			◎												
				事業開始の初年度であったが、年4回、事業所にヒアリングシートを送付し、適正な介護サービスが提供されているか確認できた。確認によって、請求の取り下げや状態に見合わない福祉用具の返却等、介護給付の適正化を推進することができた。											
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
			維持												
				来年度はヒアリングシートでの確認を継続し、また、ケアプラン点検の件数を増やして、介護給付の適正化を進めていきたい。											

				関係課	福祉課			
1.	施策名	2	ともに支え合い、健やかに過ごせるまち(保健・医療・福祉)					
		4	障がい者福祉の充実					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	福祉サービスを受けている障がい者の割合	13.0%	13.8%	15.8%	13.5%	
		指標2	地域生活への移行者数	3人	2人	1人	4人	
		指標3	障がい者福祉の充実についての市民満足度	13.0%	—	—	向上	
3.	施策の展開一覧	① 障がい者の自立に向けた取組の充実						
		② 障がい者への地域の支援体制の充実						
4.	二次評価	障がい者福祉の充実について、障害福祉サービスを受けている人の割合は年々増加し目標値を達成しており、支援の充実が図られてきていると評価できる。しかし、多様化する障がい者のニーズや課題にきめ細かく対応し、誰もが適切な支援を受けられるよう相談支援体制を整備・充実させること。						

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24101		事業名	障害者等移動支援事業							所管課	福祉課		
事業概要	移動に支援が必要な障害者等に対して、外出のための支援を実施し、地域での自立した生活及び社会参加を支援します。							全体事業内容						
								屋外での移動に困難がある障害児(者)について、外出のための支援を行うことにより、地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
延利用時間		目標設定なし	243時間	延利用時間		目標設定なし	198時間	延利用時間		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		498	461			540	418			393					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
障害者(児)の外出及び社会参加の支援を行った。			障害者(児)の外出及び社会参加の支援を行った。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
引き続き、障害者(児)の外出及び社会参加を支援していく。			引き続き、障害者(児)の外出及び社会参加を支援していく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24103		事業名	介護給付費・訓練等給付費等支給事業								所管課	福祉課	
事業概要	障害者等が居宅サービスや施設サービスを利用する場合に、介護給付費及び訓練等給付費等を支給し、障害者福祉の向上を図ります。								全体事業内容					
									障害者等が施設サービスや居宅サービスを利用する場合、必要に応じて、介護給付費や訓練等給付費を支給する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

評価対象年度 R5

主な目標

目標数値

R5結果

総利用人数

目標設定なし

132人

R5予算額

R5決算額

357,169

348,613

達成度

○

評価と課題

障害者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援を行った。

今後の方向性

維持

今後の展望

引き続き、障害者の地域での自立を支援する。

(単位:千円)

評価対象年度 R6

主な目標

目標数値

R6結果

総利用人数

目標設定なし

130人

R6予算額

R6決算額

393,949

382,117

達成度

○

評価と課題

障害者が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援を行った。

今後の方向性

維持

今後の展望

引き続き、障害者の地域での自立を支援する。

(単位:千円)

評価対象年度 R7

主な目標

目標数値

R7結果

総利用人数

目標設定なし

R7予算額

R7決算額

352,732

達成度

評価と課題

今後の方向性

今後の展望

(単位:千円)

評価対象年度 R8

主な目標

目標数値

R8結果

R8予算額

R8決算額

達成度

評価と課題

今後の方向性

今後の展望

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24104		事業名	グループホーム運営費等補助事業								所管課	福祉課	
事業概要	障害者の地域生活の拠点となるグループホームの運営等に要する経費に対して、補助金を交付し、障害者福祉の向上を図ります。								全体事業内容					
									グループホームの運営に要する人件費、運営費等の経費を補助する。家賃相当額の1／2（上限月額25,000円以内）					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
利用者数		目標設定なし	35人	利用者数		目標設定なし	38人	利用者数		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		8,541	8,541			9,276	9,276			8,287					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○			○												
障害福祉サービスの提供を併せて、経済的負担の軽減を図ることができた。			障害福祉サービスの提供を併せて、経済的負担の軽減を図ることができた。												
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
引き続き、障害福祉サービスの提供を併せて、経済的負担の軽減を図っていく。			引き続き、障害福祉サービスの提供を併せて、経済的負担の軽減を図っていく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24105		事業名	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業								所管課	福祉課	
事業概要	18歳未満で、身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児の言語の習得、教育等における健全な発達を支援するため、補聴器の購入費用の一部を助成します。								全体事業内容					
									軽度・中等度難聴の補聴器の購入費に対し、千葉県基準価格の3分の2を助成					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
申請者数	目標設定なし	0人	申請者数	目標設定なし	0人	申請者数	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	37	0		9	0		37				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			△								
申請及び支給の実績はなかったが、今後も小中学校の養護教諭を通じて対象児の把握や事業の周知を図っていく。			申請及び支給の実績はなかったが、今後も小中学校の養護教諭を通じて対象児の把握や事業の周知を図っていく。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き対象者(児)の把握に努め、必要とする児に助成を行う。			引き続き対象者(児)の把握に努め、必要とする児に助成を行う。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24106		事業名	特別障害者手当等給付事業							所管課	福祉課		
事業概要	精神又は身体に著しく重度の障害を有するため、日常生活に常時特別な介護を要する方に対して、手当を支給し、障害者(児)福祉の向上を図ります。							全体事業内容						
								特別障害者手当…支給額:月額27,980円(R5年度～) 障害児福祉手当…支給額:月額15,220円(R5年度～) ※支給額については、物価スライド制のため、手当月額に変動あり。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
給付者数	目標設定なし	17人	給付者数	目標設定なし	20人	給付者数	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	4,146	4,146		5,208	5,208		5,902				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
手当の支給により、障害者及び障害児を持つ家庭の経済的負担の軽減を図った。			手当の支給により、障害者及び障害児を持つ家庭の経済的負担の軽減を図った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、障害者及び障害児を持つ家庭の経済的負担の軽減を図っていく。			引き続き、障害者及び障害児を持つ家庭の経済的負担の軽減を図っていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24107		事業名	指定難病等療養者支援事業								所管課	福祉課	
事業概要	特定疾患の療養者又は養護者に対して助成金を支給し、福祉の向上を図ります。								全体事業内容					
									支給額:月額2,000円					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
支給者数		目標設定なし	64人	支給者数		目標設定なし	51人	支給者数		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,392	1,208			1,320	1,134			1,248					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
特定疾患療養者の経済的負担の軽減を図ることができた。			特定疾患療養者の経済的負担の軽減を図ることができた。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
引き続き、特定疾患療養者の経済的負担の軽減を図っていく。			引き続き、特定疾患療養者の経済的負担の軽減を図っていく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24108		事業名	重度心身障害者医療費支給事業								所管課	福祉課	
事業概要	重度の障害者に対して、医療費の自己負担額の中から保険で給付される額を控除した額を支給し、経済的負担の軽減を図ります。								全体事業内容					
									身体障害者手帳1級又は2級、精神障害者保健福祉手帳1級及び療育手帳(重度)を所持しているの者で、保険医療機関において診療を受けた者が、その自己負担の中から保険等で支給される額を控除した額を支給する。					

■事業評価書

競争計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8										
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果				
支払件数	目標設定なし		5436件	支払件数	目標設定なし		5162件	支払件数	目標設定なし					目標設定なし					
	R5予算額		R5決算額		R6予算額		R6決算額		R7予算額		R7決算額			R8予算額		R8決算額			
	33,954		33,631		34,050		34,026		33,734										
達成度	評価と課題					達成度	評価と課題					達成度	評価と課題						
○						○													
重度の障害を持つ人の医療費を助成することで、経済的な負担の軽減を図った。					重度の障害を持つ人の医療費を助成することで、経済的な負担の軽減を図った。														
今後の方向性	今後の展望					今後の方向性	今後の展望					今後の方向性	今後の展望						
維持						維持													
引き続き、医療費を助成し、経済的な負担の軽減を図っていく。					引き続き、医療費を助成し、経済的な負担の軽減を図っていく。														

■実施計画事業調書

SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	24109	事業名	手話通訳者等派遣事業			所管課	福祉課
事業概要	聴覚障害者等に対して手話通訳者又は要約筆記者を派遣し、社会参加を促進します。				全体事業内容		
					市内に居住及び勤務する聴覚障害者等に対し、手話通訳者又は要約筆記奉仕員等を派遣し、必要な意思疎通を支援することにより、聴覚障害者等の福祉の増進及び社会参加の促進を図る。		

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
年間延派遣件数		目標設定なし	13件	年間延派遣件数		目標設定なし	15件	年間延派遣件数		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		206	160			265	255			283					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○			○												
聴覚障害者の社会参加の支援を行うことができた。			聴覚障害者の社会参加の支援を行うことができた。												
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
引き続き、聴覚障害者の社会参加の支援を行う。			引き続き、聴覚障害者の社会参加の支援を行う。												

■実施計画事業調書

SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	24110	事業名	障害児通所支援事業	所管課	福祉課
事業概要	障害のある児童が通所による福祉サービスを利用する場合に、障害児通所給付費を支給し、福祉の向上を図ります。			全体事業内容	
				児童福祉推進のため、障害のある児童が通所による福祉サービスを利用する際、障害児通所給付費を支給する。	

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
対象者延人数(実対象者)		目標設定なし	261人(19人)	対象者延人数(実対象者)		目標設定なし	240人(22人)	対象者延人数(実対象者)		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		17,425	16,133			16,764	15,757			17,567					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。			保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
引き続き、保護者の経済的負担を図っていく。			引き続き、保護者の経済的負担を図っていく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24111		事業名	障害者医療の給付								所管課	福祉課	
事業概要	障害の程度の緩和又は回復を目的として障害者医療費を支給し、障害者の経済的負担の軽減を図ります。								全体事業内容					
									身体障害者、障害児及びそのまま放置することで将来障害を残すと認められる疾患がある児童の障害を軽減したり、回復させたりする手術を行う等、身体障害者等の更生又は育成に必要な医療を指定医療機関に委託して行う。 ※本人または扶養義務者の負担能力に応じ、個人費用負担あり。 また、常時介護を必要とする障害者に対し行われる機能訓練、療養上の管理、看護等の療養介護のうち、医療に係るものに対する医療費の助成を行う。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
支給延人数	目標設定なし	52人	支給延人数	目標設定なし	58人	支給延人数	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	23,068	21,411		25,448	25,200		23,765				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
障害者(児)の医療費に関する経済的負担を軽減することができた。			障害者(児)の医療費に関する経済的負担を軽減することができた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き医療費負担の軽減を図る。			引き続き医療費負担の軽減を図る。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24112		事業名	障害者成年後見制度利用支援事業							所管課	福祉課		
事業概要	障害等により判断能力が不十分なため日常生活を営むことに支障のある方に対して、成年後見制度を利用するための支援を実施します。							全体事業内容						
								判断能力が不十分なため、日常生活を営むのに支障がある障害者等に対し、市長申立を行う場合の手続きを定め、成年後見人、保佐人又は補助人の報酬の助成を行う。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8								
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果		
申立て申請者数	目標設定なし		-	申立て申請者数	目標設定なし		2人	申立て申請者数	目標設定なし					目標設定なし			
	R5予算額		R5決算額		R6予算額		R6決算額		R7予算額		R7決算額			R8予算額		R8決算額	
	1,017		432		569		238		1,029								
達成度		評価と課題				達成度		評価と課題				達成度		評価と課題			
○						◎											
制度を必要とする方の報酬助成を2件を行った。				市町による申し立て2件、制度を必要とする方の報酬助成を2件を行った。													
今後の方向性		今後の展望				今後の方向性		今後の展望				今後の方向性		今後の展望			
維持						維持											
今後成年後見制度を必要とする人は増えていくと予想される。引き続き支援を行っていく。				今後成年後見制度を必要とする人は増えていくと予想される。引き続き支援を行っていく。													

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24113		事業名	障害者入湯料助成事業								所管課	福祉課	
事業概要	身体障害者手帳を所持する方が市内の温泉施設などを利用する際の入湯料を助成し、障害者福祉の増進及び社会参加の促進を支援します。								全体事業内容					
									70歳未満の身体障害者を対象に、市内の入浴施設を利用できる入湯券を1人につき年間最大10枚交付する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
利用率		目標設定なし	18.6%	利用率		目標設定なし	22.1%	利用率		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		30	15			26	20			21					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
障害者の外出や他者との交流、またリフレッシュの機会を提供を行った。			障害者の外出や他者との交流、またリフレッシュの機会を提供を行った。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
引き続き上記の機会の提供を図るとともに、利用率の向上を目指す。			引き続き上記の機会の提供を図るとともに、利用率の向上を目指す。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24114		事業名	障害者福祉タクシー事業							所管課	福祉課		
事業概要	身体障害者手帳や療育手帳を所持している方に対してタクシー利用券を交付し、障害者福祉の向上を図ります。							全体事業内容						
								身体障害者手帳1級又は2級及び療育手帳を所持している者に対し、福祉タクシー利用券(1枚あたり800円の助成)を28枚交付する。利用タクシー会社には協力を1件当たり100円支払う。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
利用率	目標設定なし	25.5%	利用率	目標設定なし	38.4%	利用率	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	1,098	1,098		1,072	1,072		920				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き制度の周知を図りながら、障害者の利便性の向上を図っていく。			引き続き制度の周知を図りながら、障害者の利便性の向上を図っていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24115		事業名	障害者訪問入浴サービス事業								所管課	福祉課	
事業概要	障害者等の身体の清潔保持を目的として訪問入浴サービス事業を実施し、心身機能の維持を図ります。								全体事業内容					
									地域における身体障害児(者)の生活を支援するため、訪問入浴サービス事業を実施し、障害者等の身体の清潔の保持や心身機能の維持を図る。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
①利用者実数 ②回数		目標設定なし	①2人 ②82回	①利用者実数 ②回数		目標設定なし	①1人 ②65回	①利用者数		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,025	1,025			1,025	813			1,013					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
訪問入浴が必要とされる障害者の身体の清潔保持を保つことができた。			訪問入浴が必要とされる障害者の身体の清潔保持を保つことができた。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
引き続き、障害者の生活を支援するため、事業を実施する。			引き続き、障害者の生活を支援するため、事業を実施する。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24116		事業名	障害者用自動車関係助成事業								所管課	福祉課	
事業概要	障害者が所有し運転する自動車の改造費や障害者の運転免許取得費を助成し、障害者の就労等、社会活動への参加を促進します。								全体事業内容					
									障害者用自動車改造費助成…障害者が所有し運転する自動車の改造費の助成を行う。 障害者用自動車運転免許取得助成…障害者の運転免許取得費の助成を行う。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
助成決定者数		目標設定なし	0人	助成決定者数		目標設定なし	0	助成決定者数		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		200	0			200	0			200					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
△			△												
今年度は実績はなかったが、日常生活において自動車は必要不可欠なものであり、改造費の助成は必要な制度である。			今年度は実績はなかったが、日常生活において自動車は必要不可欠なものであり、改造費の助成は必要な制度である。												
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
必要とする方が必要時に制度が利用できるよう事業を継続する。			必要とする方が必要時に制度が利用できるよう事業を継続する。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24117		事業名	障害者理容サービス事業							所管課	福祉課		
事業概要	ねたきりで介護を要する障害者に対して理容事業者による出張理容サービスを提供し、障害者福祉の向上を図ります。							全体事業内容						
								概ね6か月以上ねたきりで、日常生活に介護を必要とする18歳以上65歳未満の身体障害者に対し、市が委託した理容業者により散髪、顔そりなどのサービスを行う。年6回を限度として無料利用サービス券を交付する。 1回あたり委託料5,500円						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
利用率	目標設定なし	83%	利用率	目標設定なし	83%	利用率	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	80	31		69	46		66				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
ねたきりとなっている障害者の衛生状態を保ち、経済的・身体的負担の軽減を図ることができた。			ねたきりとなっている障害者の衛生状態を保ち、経済的・身体的負担の軽減を図ることができた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、ねたきりとなっている障害者の衛生状態を保ち、経済的・身体的負担の軽減を図っていく。			引き続き、ねたきりとなっている障害者の衛生状態を保ち、経済的・身体的負担の軽減を図っていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24118		事業名	身体障害者(児)補装具給付事業								所管課	福祉課	
事業概要	重度の障害者等に対して補装具の交付又は修理を実施し、日常生活の向上を図ります。								全体事業内容					
									身体の失われた部分や障害のある部分を補って、日常生活や働くことを容易にする用具の交付又は修理を行う。 ※本人または扶養義務者の負担能力に応じ、個人費用負担あり。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

評価対象年度 R5

主な目標

目標数値

R5結果

支給者数

目標設定なし

25人

R5予算額

R5決算額

4,500

3,866

達成度

○

評価と課題

必要とされる補装具を支給することによって、障害者(児)の日常生活の向上を図ることができた。

今後の方向性

維持

今後の展望

引き続き、障害者(児)の日常生活の向上を図る。

(単位:千円)

評価対象年度 R6

主な目標

目標数値

R6結果

申請者数(決定者数)

目標設定なし

27人

R6予算額

R6決算額

3,022

2,980

達成度

○

評価と課題

必要とされる補装具を支給することによって、障害者(児)の日常生活の向上を図ることができた。

今後の方向性

維持

今後の展望

引き続き、障害者(児)の日常生活の向上を図る。

(単位:千円)

評価対象年度 R7

主な目標

目標数値

R7結果

申請者数(決定者数)

目標設定なし

R7予算額

R7決算額

3,010

達成度

評価と課題

今後の方向性

今後の展望

(単位:千円)

評価対象年度 R8

主な目標

目標数値

R8結果

R8予算額

R8決算額

達成度

評価と課題

今後の方向性

今後の展望

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24119		事業名	精神障害者医療費支給事業								所管課	福祉課	
事業概要	精神に障害を有し、一定以下の所得の方に対して入院医療費の自己負担額の中から保険で納付される額を控除した額の一部を支給し、経済的負担の軽減を図ります。								全体事業内容					
									精神疾患を有する者で6か月以上継続して入院している者の保険医療機関での診療費用に対し、その自己負担の中から保険等で支給される額を控除した額の2分の1を支給する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

評価対象年度 R5

主な目標

目標数値

R5結果

申請者数

目標設定なし

9人

R5予算額

R5決算額

1,150

982

達成度

○

評価と課題

精神疾患を持つ障害者の経済的負担を軽減することができた。

今後の方向性

維持

今後の展望

引き続き、精神疾患を持つ障害者の経済的負担を軽減を図っていく。

(単位:千円)

評価対象年度 R6

主な目標

目標数値

R6結果

申請者数

目標設定なし

9人

R6予算額

R6決算額

1,131

1,039

達成度

○

評価と課題

精神疾患を持つ障害者の経済的負担を軽減することができた。

今後の方向性

維持

今後の展望

引き続き、精神疾患を持つ障害者の経済的負担を軽減を図っていく。

(単位:千円)

評価対象年度 R7

主な目標

目標数値

R7結果

申請者数

目標設定なし

R7予算額

R7決算額

1,131

達成度

評価と課題

今後の方向性

今後の展望

(単位:千円)

評価対象年度 R8

主な目標

目標数値

R8結果

R8予算額

R8決算額

達成度

評価と課題

今後の方向性

今後の展望

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24120		事業名	地域生活支援事業								所管課	福祉課	
事業概要	地域で生活する障害者等のニーズを踏まえ、地域の特性や利用者の状況に応じて創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流等の便宜を供与することにより、障害者等の地域生活を支援します。								全体事業内容					
									創作的活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与することにより、障害者等の地域生活支援の促進を図る。また、身体、精神、知的の総合的かつ専門的な相談支援を実施し、地域において相談支援の中核的な役割を担う機関を設置する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
補助金交付事業者数	3件	2件	補助金交付事業者数	2件	1件	利用者数	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	5,255	5,254		5,379	5,367		5,348				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
市独自の補助金を廃止し、実績件数としては減となった。 センター事業の委託等により、今後も障害者等の社会参加の支援を行う。			市独自の補助金を廃止し、実績件数としては減となった。 センター事業の委託等により、今後も障害者等の社会参加の支援を行う。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き障害者等の社会参加の支援を図る。			引き続き障害者等の社会参加の支援を図る。								

■実施計画事業調書

SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	24121	事業名	日常生活用具給付事業	所管課	福祉課
事業概要	重度の障害者等に対して日常生活用具を給付し、日常生活の向上を図ります。			全体事業内容	
				重度の心身障害者(児)がより良い日常生活を過ごすことができるための用具を給付(又は貸与)する。 ※本人または扶養義務者の負担能力に応じ、個人費用負担あり。	

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
給付件数		目標設定なし	626件	給付件数		目標設定なし	569件	給付件数		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		7,459	6,483			6,100	5,803			6,997					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○				○											
日常生活用具の給付により、障害者(児)の生活の向上を図っている。利用者の増により、ストマ用具の給付が増える傾向にある。				日常生活用具の給付により、障害者(児)の生活の向上を図っている。利用者の増により、ストマ用具の給付が増える傾向にある。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
引き続き、障害者(児)の生活の向上を図っていく。				引き続き、障害者(児)の生活の向上を図っていく。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24122		事業名	日中一時支援事業							所管課	福祉課		
事業概要	障害者等の日中活動の場を確保し、一時的な見守りや社会参加を促進するための日常的な訓練を支援します。							全体事業内容						
								障害者等に日中活動の場を提供し、障害者等の家族の就労支援及び日常介護している家族の一時的な負担の軽減並びに社会に適応するための日常的な訓練等を行うことを支援する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
①利用者実数 ②回数		目標設定なし	①14人②1,232回	①利用者実数 ②回数		目標設定なし	①12人②1016回	①利用者実数 ②回数		目標設定なし					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		4,998	4,743			3,811	3,785			4,212					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
障害者(児)の社会活動の場の提供と介護をする家族の負担軽減を図った。			障害者(児)の社会活動の場の提供と介護をする家族の負担軽減を図った。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
引き続き、障害者(児)の社会活動の場の提供と介護をする家族の負担軽減を図っていく。			引き続き、障害者(児)の社会活動の場の提供と介護をする家族の負担軽減を図っていく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24123		事業名	心身障害者(児)等手当給付事業							所管課	福祉課		
事業概要	身体障害者手帳や療育手帳の所持者を養育する方、ねたきり等のため常時介護を要する方、また、精神又は身体に著しく重度の障害を有するため、日常生活に常時特別な介護を要する方等に対して手当を支給し、障害者福祉の向上を図ります。							全体事業内容						
								ねたきり身体障害者福祉手当…支給額:月額11,700円(H31年度～) 心身障害者福祉手当…支給額:月額11,700円(H31年度～)						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8												
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果						
支給者数		目標設定なし		29人		支給者数		目標設定なし						目標設定なし							
		R5予算額		R5決算額				R6予算額		R6決算額				R7予算額		R7決算額		R8予算額		R8決算額	
		3,510		3,510				3,266		3,171				3,442							
達成度		評価と課題				達成度		評価と課題				達成度		評価と課題							
○						○															
手当を支給することにより、福祉の向上を図ることができた。				手当を支給することにより、福祉の向上を図ることができた。																	
今後の方向性		今後の展望				今後の方向性		今後の展望				今後の方向性		今後の展望							
維持						維持															
引き続き支給を行い、福祉の向上を図っていく。				引き続き支給を行い、福祉の向上を図っていく。																	

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24201		事業名	障害者虐待防止対策事業							所管課	福祉課		
事業概要	障害者に対する虐待を防止するため、通報及び相談窓口を開設し、地域における関係機関との連絡調整を図ります。							全体事業内容						
								障害者への虐待を防止し、早期発見や迅速な対応を図るため、24時間体制の通報及び相談の窓口を開設し、地域における関係機関との連絡調整を図る。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
虐待相談件数	目標設定なし	1件	虐待相談件数	目標設定なし	0	虐待相談件数	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	33	30		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
通報専用の携帯電話については、これまで実績がなく、費用対効果が得られなかったことから、令和5年度をもって廃止をした。通報・相談はこれまでどおり実施をし、障害者虐待の防止及び早期発見に努めていく。			通報専用の携帯電話については、これまで実績がなく、費用対効果が得られなかったことから、令和5年度をもって廃止をした。通報・相談はこれまでどおり実施をし、障害者虐待の防止及び早期発見に努めていく。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
縮小			維持								
通常の開庁時間における窓口相談等のほか、緊急時には夜間や休日においても可能な対応が取れるよう体制を整えていく。			通常の開庁時間における窓口相談等のほか、緊急時には夜間や休日においても可能な対応が取れるよう体制を整えていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	24202		事業名	障害者施策の計画的推進						所管課	福祉課	
事業概要	障害者の自立支援及び生活環境の整備等の指針となる基本計画と障害福祉サービス、相談支援及び地域生活支援の提供体制を盛り込んだ福祉計画を策定し、障害者施策を総合的かつ効果的に推進します。				全体事業内容							
					第6期障害福祉計画及び第2期勝浦市障害児福祉計画(令和5年度まで)、第7期障害福祉計画及び第3期勝浦市障害児福祉計画(令和6年度から8年度まで)、第4次勝浦市障害者計画(令和8年度まで)について、ニーズに応じたよりよいサービスに繋げられるよう分析及び検証を行い、次期計画を策定する。							

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
第7期障害福祉計画及び第3期勝浦市障害児福祉計画の策定を行う。	設定なし	策定済	第4次障害者計画、第7期障害福祉計画及び第3期勝浦市障害児福祉計画を推進する。	設定なし	-	第4次障害者計画、第7期障害福祉計画及び第3期勝浦市障害児福祉計画を推進する。次期の計画策定に向けた準備を進める。	設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	183	29		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			○								
令和6年度から3年間の第7期障害者福祉計画及び第3期勝浦市障害児福祉計画を策定した。			3つの障害者に関する計画を推進し、進行管理を行った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
計画に沿って必要な事業等を実施し、障害者福祉の推進を図る。			計画に沿って必要な事業等を実施し、障害者福祉の推進を図る。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24203		事業名	相談支援体制の充実								所管課	福祉課	
事業概要	福祉等に関する各種相談に対して必要な情報の提供及び福祉サービスの利用を支援します。								全体事業内容					
									障害者福祉に関する各般の問題の相談に応じるため、身体障害者相談員及び知的障害者相談員を配置する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8							
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果	
相談件数	目標設定なし		112件	相談件数	目標設定なし		110件	相談件数	目標設定なし					目標設定なし		
	R5予算額		R5決算額		R6予算額		R6決算額		R7予算額		R7決算額			R8予算額		R8決算額
	74		74		74		73		74							
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			
○				○												
相談員を委嘱し、障害者が身近で相談しやすい体制を整備した。				相談員を委嘱し、障害者が身近で相談しやすい体制を整備した。												
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			
維持				維持												
引き続き障害者や相談しやすい体制を整える。				引き続き障害者や相談しやすい体制を整える。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	24204		事業名	福祉人材の確保・育成								所管課	福祉課	
事業概要	福祉事業に携わる人材の確保及び育成のための研修等を行います。								全体事業内容					
									【手話奉仕員養成研修事業】 障害者福祉の概要及び手話通訳者の役割・責務等に理解と認識を深めると共に、手話通訳に必要な手話語彙、手話表現技術を習得するための研修を実施し、手話通訳者派遣事業の担い手である登録手話通訳者を養成する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
研修終了人数	目標設定なし	2人	研修終了人数	目標設定なし	1人	研修終了人数	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	299	299		316	316		323				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
2年間(前期・後期)をかけて全課程を修了する研修のうち、令和5年度は4名が申し込み、うち2名が前期の課程を修了した。			1名が後期の研修課程を終了した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
法に基づいて市町村が実施する必須事業であることから、養成研修は夷隅圏域の2市2町共同で行っている。引き続き手話奉仕員を養成するため、受講者を増やすため周知方法等を検討していく。			法に基づいて市町村が実施する必須事業であることから、養成研修は夷隅圏域の2市2町共同で行っている。引き続き手話奉仕員を養成するため、受講者を増やすため周知方法等を検討していく。								

				関係課	消防防災課・都市建設課・農林水産課・福祉課			
1.	施策名	3	安全・安心を実感できるまち（消防・防災・生活安全）					
		1	消防・防災体制の充実					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値（計画策定時）	R5年度数値	今回数値（R6年度末）	目標数値（R8）	
		指標1	自主防災組織率（地区ベースのカバー率）	31.6%	30.6%	30.6%	42.9%	
		指標2	防災アプリ登録者数	3,090人	4,057人	4,751人	5,000人	
		指標3	消防団員充足率	90.7%	86.9%	86.1%	90.7%	
		指標4	地震・災害等の防災対策についての市民満足度	35.2%	—	—	向上	
		指標5	防災マップ・ハザードマップの内容を把握している市民の割合	31.00%	—	—	50.00%	
3.	施策の展開一覧	① 消防・防災対策の充実						
		② 消防・防災施設の整備						
		③ 自然災害対策の強化						
		④ 災害への対応力の強化						
4.	二次評価	風水害や地震など自然災害に対する自助・共助・公助の備えを充実させることは重要な課題である。 防災体制の充実として、適切な情報発信体制の確立、防災訓練などによる防災意識の向上、避難路・避難所の整備や孤立集落対策への対策などを着実に推進していくこと。 各地区で自主防災組織が組織され、自主的に活動できるよう制度の周知や設立支援を積極的に行うべきである。また、自主防災組織が組織されていない地区においては、市民一人ひとりが災害への対応力を強化し地域の防災力が高まるような地域での取組を推進すること。						

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	16	17	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	31101		事業名	自主防災組織推進事業						所管課	消防防災課	
事業概要	自主防災組織の設立の推進及び新規に設立した組織に対する防災用機材等の支援を実施し、地域防災力の強化を図ります。							全体事業内容				
								自主防災組織の設立を推進するとともに、新設の自主防災組織に100万円を上限とした防災資機材（ハンドマイク、スコップ、つるはし、担架等）を配備する。また、設立後、5年以上経過した団体を対象に追加資材の購入額の2/3、補助上限100万円として補助を行う。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
新規団体設立数	1団体	0団体	新規団体設立数	1団体	0団体	新規団体設立数	1団体				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	2,000	0		2,000	0		4,000				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×											
本年度は新規団体の設立や備品の追加購入を希望する地区が現れず、予算の執行に至らなかった。今後も引き続き自主防災組織未設立区への働きかけを継続する。			本年度は新規団体の設立や備品の追加購入を希望する地区が現れず、予算の執行に至らなかった。今後も引き続き自主防災組織未設立区への働きかけを継続する。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持											
自主防災組織に興味を示しながらも設立に至っていない区や、設立後10年以上が経過し機材の老朽化が想定される区に対し、改めて説明の機会を設ける。			自主防災組織に興味を示しながらも設立に至っていない区や、設立後10年以上が経過し機材の老朽化が想定される区に対し、改めて説明の機会を設ける。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	4	11	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	31102		事業名	地域防災計画の見直し						所管課	消防防災課	
事業概要	市民の生命、身体及び財産を災害から保護し、被害を軽減すること、また、平時からの災害に対する備えや災害発生時の適切な対応等を目的として、地域の実情に合わせた地域防災計画の見直しを実施します。						全体事業内容					
							市民の生命、身体及び財産を災害から保護し、被害を軽減することを目的とした地域防災計画の見直しを図る。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
適宜の見直しを行う		(目標設定なし)	－	適宜の見直しを行う		(目標設定なし)	－	適宜の見直しを行う		(目標設定なし)					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
△			△												
R2年度に県の大幅改定に合わせた全面改定をおこなった。			R2年度に県の大幅改定に合わせた全面改定をおこなった。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
国や県の動向を踏まえながら、適宜の改定を行う予定。			国や県の動向を踏まえながら、適宜の改定を行う予定。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		2	11	17	会計区分		一般	再掲区分		-	
事業番号		31103		事業名		非常用食糧等備蓄事業						所管課		消防防災課	
事業概要		災害発生時などに一時的な被災者の食生活の保護及び避難生活を援助するため、非常用食料等の物資の備蓄を推進します。						全体事業内容							
								非常用備蓄水・食料を計画的に配備更新するとともに、被災者支援に必要な生活物資、資機材等の充足を図る。							

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
災害発生時などに一時的な被災者の食生活の保護及び避難生活を援助するため、非常用食料等の物資の備蓄を推進する。	①24,000食 ②24,000ℓ	①5550食 ②3600ℓ	災害発生時などに一時的な被災者の食生活の保護及び避難生活を援助するため、非常用食料等の物資の備蓄を推進する。	①24,000食 ②24,000ℓ	①6048食 ②8208ℓ	災害発生時などに一時的な被災者の食生活の保護及び避難生活を援助するため、非常用食料等の物資の備蓄を推進する。	①24,000食 ②24,000ℓ				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	4,726	4,220		6,447	5,352		11,861				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			○								
備蓄目標に向け設定した5カ年計画に基づき、幅広く対応できよう調達を行っている。毎年1／5の更新で定数を確保し続けるように調達を継続する。			備蓄目標に向け設定した5カ年計画に基づき、幅広く対応できよう調達を行っている。毎年1／5の更新で定数を確保し続けるように調達を継続する。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
調理方法や保管場所等、避難者のニーズを柔軟に反映し、住民の安心安全に寄与していく。			調理方法や保管場所等、避難者のニーズを柔軟に反映し、住民の安心安全に寄与していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	16	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	31104		事業名	避難路の整備								所管課	消防防災課	
事業概要	大規模な地震による津波の際に安全で迅速な避難ができるよう、避難路の整備を推進します。								全体事業内容					
									沿岸地域の区と協力し、一時避難所・一時避難場所の選定を行い、避難路の整備、標識及び照明灯を設置する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
各区と協力し、避難場所等に至る階段や夜間照明、誘導看板類を整備する。	2か所	2か所	各区と協力し、避難場所等に至る階段や夜間照明、誘導看板類を整備する。	10か所	2か所	各区と協力し、避難場所等に至る階段や夜間照明、誘導看板類を整備する。	2か所				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	1,337	1,337		6,732	6,731		1,500				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			×								
墨名熊野神社の階段手すりや旧郁文小学校の看板修正を行った。			松部武内神社、新官延命寺の階段手すりや旧郁文小学校の看板修正を行った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
今後も各区と協議の上、必要箇所の改修を行っていく。			今後も各区と協議の上、必要箇所の改修を行っていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	11	17	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	31105		事業名	防災士育成事業								所管課	消防防災課	
事業概要	地域防災力の向上を図るため、地域防災の担い手となる防災士の育成を推進します。								全体事業内容					
									自助、共助及び協働を原則として、地域社会の様々な場で、減災及び地域防災力の向上のために活動する防災士を育成する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
地域社会の様々な場で、減災及び地域防災力の向上のために活動する防災士を育成する。	3人	0人	地域社会の様々な場で、減災及び地域防災力の向上のために活動する防災士を育成する。	3人	0	地域社会の様々な場で、減災及び地域防災力の向上のために活動する防災士を育成する。	2人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	186	0		144	20		144				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×			×								
補助制度の利用申し込みが無い結果となった。 補助制度自体の広報等を行って行く。			補助制度の利用申し込みが無い結果となった。 補助制度自体の広報等を行って行く。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
防災訓練の機会や広報誌等による制度啓発に努める。			防災訓練の機会や広報誌等による制度啓発に努める。								

■実施計画事業調書

SDGs	3	11	17	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	----	----	------	----	------	---

事業番号	31106	事業名	防災情報配信事業(メール・アプリ)	所管課	消防防災課
事業概要	防災アプリや携帯電話のメール機能等を活用した防災情報の周知を推進し、市民の防災意識の高揚と災害時の安全性の確保を図ります。			全体事業内容	
				メール配信サービス及び防災アプリの運用保守等について業務委託を行う。	

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
アプリやメール配信サービス及び運用保守を行う。		3,090人	4,349人	アプリやメール配信サービス及び運用保守を行う。		5,000人	4851人	アプリやメール配信サービス及び運用保守を行う。		5,000人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		7,771	6,890			6,891	6,890			6,891					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			◎												
防災無線とともに、防災メール・防災アプリと合わせて運用することで通信の確実性を担保する。			防災無線とともに、防災メール・防災アプリと合わせて運用することで通信の確実性を担保する。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
携帯電話の所有率の増加に合わせ、今後も防災メール・防災アプリ登録への広報に努めていく。			携帯電話の所有率の増加に合わせ、今後も防災メール・防災アプリ登録への広報に努めていく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	4	11	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	31107		事業名	防災対策啓発事業							所管課	消防防災課		
事業概要	住民を対象とした各種防災訓練や、広報紙や市ホームページにて防災に関する情報の掲載等を行い、市民の防災意識の高揚を図ります。							全体事業内容						
								各区の自主防災組織等の団体に対し、防災関係機関の協力を得て訓練指導を図るとともに、季節に応じた防災知識の広報を行う。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
市民の防災意識の向上		広報等掲載数	6回	市民の防災意識の向上		広報掲載数4回	4回	市民の防災意識の向上		広報掲載数2回					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
広報かつら紙上にて、各家庭における防災の注意点などを啓発する記事を掲載した。			広報かつら紙上にて、各家庭における防災の注意点などを啓発する記事を掲載した。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
自助や共助の概念を広く周知できるよう、引き続き啓発を継続する。			自助や共助の概念を広く周知できるよう、引き続き啓発を継続する。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	17	会計区分		一般	再掲区分		-	
事業番号		31108		事業名		消防団員待遇改善事業						所管課		消防防災課	
事業概要		消防団員の待遇改善方策を検討・実施します。						全体事業内容							
								消防団の活動内容等の見直しにより団員の負担を少なくすることで、少子高齢化の進む中における消防団員定数の確保を図る。							

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
団員の負担減や待遇改善を図る	423人	374人	消防団員の負担減や待遇改善を図る	消防団員423人	消防団員364人	消防団員の負担減や待遇改善を図る	消防団員423人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			△								
今年度は操法訓練の時間短縮等の改善を実施した。			勝浦市消防団条例を改正し、報酬を引き上げ、消防団員の処遇改善を図った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
訓練の効率化や報酬増額等の待遇改善を進めていく。			訓練の効率化を進めていく。								

■実施計画事業調書

SDGs	-	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	31201	事業名	激甚化する災害に対応した避難施設整備				所管課	消防防災課
事業概要	避難所の感染対策や環境整備のため、必要な公的備蓄の拡充を図ります。				全体事業内容			
					避難所の感染対策や環境整備のため、消毒液や防護資材、換気等に係る公的備蓄の拡充を図る。			

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
非常用電源の拡充		蓄電池5台	蓄電池5台	非常用電源の拡充		ソーラー発電11枚	ソーラー発電10枚	スベアキー保管箱の導入		保管BOX20箱					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,227	798			1,302	1,093			2,013					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○				○											
すべての指定一般・福祉避難所にポータブル電源を確保した。				衛生用品の充実を図った。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
避難所運営に必要な物資等を適宜備蓄していく。				避難所運営に必要な物資等を適宜備蓄していく。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	11	17	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	31202		事業名	消火栓整備事業						所管課	消防防災課	
事業概要	配水管の布設替えに合わせ消火栓の新設を推進するとともに、老朽化した消火栓の保守を行い、消防力の強化を図ります。						全体事業内容					
							消火栓の新規設置や更新により消防水利の充実を図る。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
消火栓を新規設置、更新し、水利の充実を図る。	5箇所		2箇所	消火栓を新規設置、更新し、水利の充実を図る。	5箇所		3箇所	消火栓を新規設置、更新し、水利の充実を図る。	2箇所						
	R5予算額		R5決算額		R6予算額		R6決算額		R7予算額		R7決算額		R8予算額		R8決算額
	1,710		1,709		5,098		5,097		1,611						
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
◎			○												
水道管の工事に合わせ、消火栓の新規設置や改修を実施しており、防火水槽の維持管理とともに消火力強化に努める。			水道管の工事に合わせ、消火栓の新規設置や改修を実施しており、防火水槽の維持管理とともに消火力強化に努める。												
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
各区や消防団の意見も踏まえ、適正な設置場所の設定に努めたい。			各区や消防団の意見も踏まえ、適正な設置場所の設定に努めたい。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	17	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	31203		事業名	消防防災施設整備事業						所管課	消防防災課	
事業概要	消防団が使用する消防器具置場兼詰所の適正な維持管理を推進し、地域防災力の強化を図ります。						全体事業内容					
							消防器具置場兼詰所の建て替えを行う。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
消防器具置場兼詰所の建て替えを行う。	82.75% (1-5/29)	82.75% (1-5/29) ※0ヶ所	消防器具置場兼詰所の建て替えを行う。	82.75% (24/29)	82.75% (24/29) ※0ヶ所	消防器具置場兼詰所の建て替えを行う。	82.75% (24/29)				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×			×								
建て替えの前提となる班の合併に関する協議の遅れから更新工事が止まっている状況となっている。			建て替えの前提となる班の合併に関する協議の遅れから更新工事が止まっている状況となっている。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、班の統合について、消防団との協議を継続する。			引き続き、班の統合について、消防団との協議を継続する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	17	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	31204		事業名	消防防災設備整備事業							所管課	消防防災課	
事業概要	消防団が使用する消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプ付き積載車の更新を推進し、地域防災力の強化を図ります。							全体事業内容					
								3-5(守谷)班、5-1(関谷)班、2-1(新官)班、4-3(大森)班、1-1(勝浦)班、6-2(中倉)班1-3(墨名)班の車輛更新を行う。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
消防車両の更新を行う	1輛	1輛	消防車両の更新を行う。	2輛	1輛	消防車両の更新を行う。	1輛				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	33,074	19,963		34,773	19,997		20,060				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
2輛更新予定が全国的な部品不足から1輛の結果となった			2輛更新予定が全国的な部品不足から1輛の結果となった								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
今後とも適正な車両更新に努めていく。			今後とも適正な車両更新に努めていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	17	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	31205		事業名	防災行政無線更新事業								所管課	消防防災課	
事業概要	防災行政無線のデジタル化により難聴地域の解消を図り、市民への情報伝達機能を強化します。							全体事業内容						
								・防災無線設備の屋外拡声子局及び個別受信機のデジタル化更新を行う。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
市内7本の子局デジタル化		子局7か所	子局7か所	追加子局10本の設置		10か所	0	追加子局10本の設置		10か所					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		87,571	87,571			153,917	42,230			18,128					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			×												
令和2年度から継続していたデジタル化工事の最終年となり、当初計画箇所のデジタル化更新を終えることが出来た。			デジタル化工事により、放送が聞こえない地域が発生したため、追加子局10本を設置予定とした。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
デジタル化更新に伴い、一部の子局の位置変更や統合を行ったため、新たな難聴地域が発生したため、次年度以降は第2期工事としてこれの解消に努める他、個別受信機の更新にも着手する。			追加子局10本の設置工事について、事業者との調整を継続し、工事完了を目指す。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		11	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	31301		事業名	がけ崩れ啓発事業							所管課	都市建設課		
事業概要	がけ崩れの危険性の高い場所を地図や防災マップ等により周知し、安全対策を図ります。							全体事業内容						
								事業概要と同じ						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
警戒避難に関する説明等による周知を実施	警戒避難に関する説明等による周知を実施	警戒避難に関する説明等による周知を実施	警戒避難に関する説明等による周知を実施	警戒避難に関する説明等による周知を実施	警戒避難に関する説明等による周知を実施	警戒避難に関する説明等による周知を実施	警戒避難に関する説明等による周知を実施				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
この事業を実施することにより急傾斜地崩壊危険箇所の斜面の状態が把握でき、住民に周知できることから継続的に実施したい。			この事業を実施したことにより急傾斜地崩壊危険箇所の斜面の状態が把握できた。又、住民に周知できることから今後も継続的に実施する。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
大雨等により土砂災害発生のおそれのある区域について、危険箇所や施設等の状況を把握するため、平常時に土砂災害危険箇所を点検し、自然災害から住民の生命、身体を保護することができることから、県出先機関である土木事務所と連携し今後も実施していく。			大雨等により土砂災害発生のおそれのある区域について、危険箇所や施設等の状況を把握するため、平常時に土砂災害危険箇所を点検し、自然災害から住民の生命、身体を保護することができることから、県出先機関である土木事務所と連携し今後も実施していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	31302	事業名	河川改修事業						所管課	都市建設課	
事業概要	河川災害等を防止するため、河川及び水路の改修を推進し、安全対策を図ります。							全体事業内容			
								法定外公共物(水路)(川津)(市野川)(浜行川)(松部)(墨名)、台宿川(台宿)、赤羽根川(赤羽根)、法定外公共物(水路) ボックスカルバート L=87m、排水工 L=100m、加圧マシ L=81m、ブロック積 L=31.7m A=98㎡			

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
工事完了延長	105件m	17.3件m	工事完了延長	152m	17.3m	工事完了延長	215.7m				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	3,208	3,207.6		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×			×								
河川改修箇所においては、河川の流水状況や隣接土地の受益者等を勘案し、計画をもって整備していく。			河川改修箇所においては、河川の流水状況や隣接土地の受益者等を勘案し、計画をもって整備していく。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き計画的な整備に努める。			引き続き計画的な整備に努める。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		15	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	31303		事業名	治山事業								所管課	農林水産課	
事業概要	山腹崩壊等の恐れのある個所に対して、防護工事による治山整備を推進し、安全対策を図ります。								全体事業内容					
									小規模治山緊急整備事業(県費補助事業)により、崖地が崩壊した箇所又は崩壊の恐れのある箇所について、防護工事を実施する。					

■事業評価書

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
崩落による事故件数		0件	0件	崩落による事故件数		0件	0件	崩落による事故件数		0件					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
－				－											
治山工事自体は実施していないが、広報等にて要望調査を行い、要望箇所の県への進達を行う。また、県と現地調査を実施する。				治山工事自体は実施していないが、広報等にて要望調査を行い、要望箇所の県への進達を行う。また、県と現地調査を実施する。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
風化や自然災害等による崖地崩落などの危険から、住民の生命や財産を保護するため必要不可欠な事業である。地域の要望等勘案し、維持管理含め事業を実施する。				風化や自然災害等による崖地崩落などの危険から、住民の生命や財産を保護するため必要不可欠な事業である。地域の要望等勘案し、維持管理含め事業を実施する。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	6	11	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	31401		事業名	災害時における業務継続に向けた体制整備						所管課	消防防災課	
事業概要	市民の生命、身体及び財産を災害から保護し、被害を軽減すること、また、平時からの災害に対する備えや災害発生時の適切な対応等を目的として、業務継続計画の策定等を実施します。						全体事業内容					
							市民や防災関係機関等が、平時からの災害に対する備えや災害発生時に適切な対応がとられるよう、業務継続計画等を策定する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
BCPの見直し及び強化	6要素	6要素	①安否確認 ②職員参集に係る情報伝達の強化	2要素	2要素	①安否確認 ②職員参集に係る情報伝達の強化	2要素				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
特に重要な6つの要素について研究し修正した。			特に重要な6つの要素について研究し修正した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
特に重要な6要素等の検討事項について対策を講じる。			特に重要な6つの要素について研究し修正した。								

■実施計画事業調書

SDGs	-	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	31402	事業名	避難行動要支援者台帳システム整備事業			所管課	福祉課
事業概要	避難行動要支援者台帳システムの整備により災害時に支援が必要な人の把握を行います。			全体事業内容			
				避難行動要支援者に関する基礎的事項、サービス利用状況や課題等を把握し、当該情報を記載した台帳(要援護者マップ)システムにより、災害時に支援が必要な人の把握及び地域での支え合い体制を構築する。			

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
避難行動要支援者に関する基礎的事項、サービス利用状況や課題等を把握し、当該情報を記載した台帳(要支援者マップ)システムにより、災害時に支援が必要な人の把握及び地域での支え合い体制を構築する。	100	100	避難行動要支援者に関する基礎的事項、サービス利用状況や課題等を把握し、当該情報を記載した台帳(要支援者マップ)システムにより、災害時に支援が必要な人の把握及び地域での支え合い体制を構築する。	100	100	避難行動要支援者に関する基礎的事項、サービス利用状況や課題等を把握し、当該情報を記載した台帳(要支援者マップ)システムにより、災害時に支援が必要な人の把握及び地域での支え合い体制を構築する。	100				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	753	753		753	752		2,667				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の安全安心な暮らしを守るための台帳作成。			65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の安全安心な暮らしを守るための台帳作成。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
定期的に広報誌に事業説明と登録者の募集を行い、今後においても高齢弱者の方々に周知を図る。			定期的に広報誌に事業説明と登録者の募集を行い、今後においても高齢弱者の方々に周知を図る。また、消防防災課が管理している防災端末との統合について、現状においては難しいことは業者に確認をしたため今後再検討する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	17	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	31403		事業名	大規模災害を想定した地域間交流事業								所管課	消防防災課	
事業概要	大規模災害に備え、海岸地域と山間地域の連携を図ります。							全体事業内容						
								・防災訓練の際、一部の避難場所を区の域外にするとともに、山間地域と海岸地域の区同士の共同訓練を行い顔の見える関係を醸成する。 ・避難所となる区民館等の調査を行い、区同士による避難者受け入れ協定等により市内避難者収容可能人数の増加を図る。 ・公的な避難所以外の知人、友人宅や宿泊施設へ避難することの啓発を行う						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
訓練回数		1回	1回	訓練実施や協定の締結		2	0	訓練実施や協定の締結		2					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
△			×												
鵜原区と中島区の合同訓練を実施			訓練実施に至らなかった。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
海岸地域と山間地域における訓練を推進していく			海岸地域と山間地域における訓練を推進していく												

				関係課	消防防災課・学校教育課・都市建設課・観光商工課		
1.	施策名	3	安全・安心を実感できるまち(消防・防災・生活安全)				
		2	生活安全・交通安全対策の推進				
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)
		指標1	犯罪発生件数	97件	90件	80件	97件
		指標2	交通事故発生件数	41件	37件	36件	41件
		指標3	消費者啓発教室・講座の参加人数	114人	81人	79件	130人
		指標4	交通安全についての市民満足度	32.4%	—	—	向上
		指標5	防犯についての市民満足度	72.00%	—	—	向上
3.	施策の展開一覧	① 防犯対策の充実					
		② 交通安全対策の充実					
		③ 消費者の安全・安心の確保					
4.	二次評価	防犯・交通安全対策の推進により、犯罪発生件数や交通事故発生件数は減少している。 誰もが安心して暮らせるまちをつくるため、今後も防犯カメラの設置や交通安全施設の整備とともに警察署や関係団体との連携を強化して防犯・交通安全意識の向上も図って行くこと。 消費者相談については、適切に専門的な相談窓口につながるよう改善すべきである。					

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	16	17	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	32101		事業名	防犯意識の向上						所管課	消防防災課	
事業概要	防犯知識の普及や犯罪関連情報の提供等により、市民の防犯意識の向上を図ります。							全体事業内容				
								広報掲載による防犯知識の普及や防犯パトロール及び行政防災無線等による犯罪関連情報の提供等を実施し、市民の防犯意識の向上を図る。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
パトロール日数		150日	210日	パトロール日数		150日	200日	パトロール日数		150日					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		86	52			151	151			64					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			◎												
青色回転等装着車の定期的なパトロールや、特殊詐欺情報に基づく臨時パトロールにより市民の安全に寄与した。			青色回転等装着車の定期的なパトロールや、特殊詐欺情報に基づく臨時パトロールにより市民の安全に寄与した。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
公式な行事としてのパトロール以外にも、公用車や市民防犯団体の青色回転灯装着車が、普段の車移動と合わせる形で個々の巡回を行っており、今後もパトロール頻度の向上に努める。			公式な行事としてのパトロール以外にも、公用車や市民防犯団体の青色回転灯装着車が、普段の車移動と合わせる形で個々の巡回を行っており、今後もパトロール頻度の向上に努める。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	16	17	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	32102		事業名	防犯カメラ設置事業						所管課	消防防災課	
事業概要	安全安心なまちづくりの実現に向けて、市内に防犯カメラを設置し、ひったくり、自動車盗又は車上狙い等の犯罪の抑止を図ります。							全体事業内容				
								安心で安全なまちづくりを促進するため、街頭等へ計画的に防犯カメラを設置する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
防犯カメラ設置台(総数)	2台(29)	3台(29)	防犯カメラ設置台(総数)	3台(29)	3台(29)	防犯カメラ設置台(総数)	2台(29)				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	866	865		889	889		2,400				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
市内各地への設置が進み、犯罪抑止や警察の捜査に役立てることが出来ている。今後は新規設置とともに老朽化した箇所の更新が必要。			市内各地への設置が進み、犯罪抑止や警察の捜査に役立てることが出来ている。今後は新規設置とともに老朽化した箇所の更新が必要。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
機器の更新を継続するとともに、新規設置の場所の選定については警察と綿密な協議を行う。			機器の更新を継続するとともに、新規設置の場所の選定については警察と綿密な協議を行う。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		11	16	17	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	32103		事業名	防犯関係団体支援事業								所管課	消防防災課	
事業概要	防犯活動を促進するため防犯組合などの活動を支援し、安全安心なまちづくりを推進します。								全体事業内容					
									勝浦市防犯組合及び勝浦警察署内特殊防犯協会に対し、補助金を交付し、各団体の防犯活動を支援する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
防犯パトロール・キャンペーンの実施		5回	9回	防犯パトロール・キャンペーンの実施		5回	9回	防犯パトロール・キャンペーンの実施		5回					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		837	837			837	734			837					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
◎			◎												
各種啓発やパトロール活動により犯罪発生を抑止に努めた			各種啓発やパトロール活動により犯罪発生を抑止に努めた												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
今後も市民への正しい防犯知識の普及に努める			今後も市民への正しい防犯知識の普及に努める												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	7	11	13	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	32104		事業名	防犯灯整備・管理事業						所管課	消防防災課	
事業概要	防犯灯を整備するとともに、防犯灯を管理する自治会(区)に対して、電気料の一部を補助し、安全安心なまちづくりを推進します。							全体事業内容				
								各自治会(区)からの要望に対し、防犯灯を計画的に設置する。また、防犯灯を管理する各自治会(区)に対し電気料の一部を補助する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
新規防犯灯設置数		5か所	5か所	新規防犯灯設置数		5か所	3か所	新規防犯灯設置数		3か所					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		21,738	5,297			212,300	14,751			7,045					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			◎												
各区への設置工事費や電気料金への補助制度により、安全な夜道の往來を確保している。			LED転換の補助制度により、安全な夜道の往來を確保している。 R6繰越分:予算現額14,910千円、執行額8,989千円												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
電気料金の負担減、温室効果ガス削減球切れ交換の手間の削減などを目的とした蛍光灯のLED化を進めていく。			市内防犯灯のLED転換はほぼ完了しており、今後は適切な補助等により、区の負担軽減を図る。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			11	16	17	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	32201		事業名	交通安全啓発推進事業								所管課	消防防災課		
事業概要	関係機関と連携し、街頭啓発活動等を実施することで、市民の交通安全に対する意識の高揚を図ります。								全体事業内容						
									・交通安全協会、勝浦警察署と連携し保育所、幼稚園、小中学校において交通安全教室を開催する。・交通安全運動期間中にキャンペーン運動を実施する。 ・交通安全協会に対し、補助金を交付し、交通安全に関する啓発活動等を支援する						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
交通安全キャンペーン・イベント実施 件数		30件	29件	交通安全キャンペーン・イベント実施 件数		30件	28件	交通安全キャンペーン・イベント実施 件数		30件					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,044	1,026			1,044	1,044			1,044					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
◎			○												
各種の活動により交通事故防止への効果が有った。				各種の活動により交通事故防止への効果が有った。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
今後も市民への交通安全知識の啓発に努める。				今後も市民への交通安全知識の啓発に努める。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	32202		事業名	通学路の安全点検								所管課	学校教育課		
事業概要	警察、道路管理者、学校、教育委員会において通学路の危険箇所を点検し、具体的な対策を検討します。								全体事業内容						
									一般事務経費						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
危険箇所の点検回数	年1回以上	1	危険箇所の点検回数	年1回以上	1	危険箇所の点検回数	年1回以上				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
小中学校から危険箇所を報告を受け、とりまとめのうえ関係機関に改善等について要望のうえ対応できる箇所の改善を図った。			小中学校から危険箇所を報告を受け、とりまとめのうえ関係機関に改善等について要望のうえ対応できる箇所の改善を図った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、通学路の危険箇所の把握、安全点検を実施し、児童生徒の通学における安全確保に努める。			引き続き、通学路の危険箇所の把握、安全点検を実施し、児童生徒の通学における安全確保に努める。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	32301		事業名	消費生活の安全対策								所管課	観光商工課		
事業概要	消費者被害の早期発見・防止につなげていくため、消費生活相談体制の構築を図ります。								全体事業内容						
									高齢化、単身世帯化等の社会状況の変化や悪質商法の手口の巧妙化などを踏まえ、消費者被害の早期発見・防止につなげていくため、関係機関と連携を図り、消費生活相談等により情報を共有・活用するための体制の構築及び施策等について検討する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
消費生活相談等の問合せについて千葉県消費者センターへ窓口を案内した件数	目標設定なし	143件	消費生活相談等の問合せについて千葉県消費者センターへ窓口を案内した件数	目標設定なし	96件	消費生活相談等の問合せについて千葉県消費者センターへ窓口を案内した件数	目標設定なし				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
—			—								
専門の消費者生活相談員が常駐していないため、消費者生活相談については、千葉県消費者センターへ窓口を案内している。短縮ダイヤル設定先が観光商工課であり、いったん勝浦市に繋がってしまうため、相談者への負担となっている。			専門の消費者生活相談員が常駐していないため、消費者生活相談については、千葉県消費者センターへ窓口を案内している。短縮ダイヤル設定先が観光商工課であり、いったん勝浦市に繋がってしまうため、相談者への負担となっている。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
消費者生活相談に係る案件や相談窓口について、ポスターや広報等で周知を図り、被害防止を図り、相談窓口については適切に案内をする。			消費者生活相談に係る案件や相談窓口について、ポスターや広報等で周知を図り、被害防止を図り、相談窓口については適切に案内をする。								

				関係課	農林水産課			
1.	施策名	4	人々が活気にあふれるまち(産業・観光・交流)					
		1	農林業の振興					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	認定農業者数	13経営体	14経営体	14経営体	18経営体	
		指標2	新規就農者数(4年間累計)	1経営体	1経営体	1経営体	6経営体	
		指標3	有害鳥獣による農業被害額	5,713千円	13,750千円	15,318千円	2,856千円	
		指標4	経営耕地面積	34,608アール(R2)	34,608アール(R2)	34,608アール(R2)	34,608アール	
		指標5	農林業の振興についての市民満足度	12.00%	—	—	向上	
3.	施策の展開一覧	① 農林業の担い手の確保・育成と経営基盤の強化						
		② 農業生産基盤の整備						
		③ 農産物の高付加価値化・販路の拡大						
		④ 有害鳥獣被害防止対策の推進						
		⑤ 農業とふれあう機械の充実						
		⑥ 森林の適正管理と活用						
4.	二次評価	農業の振興において、有害鳥獣による農業被害額が年々増大しており、有害鳥獣被害防止対策は重要な課題である。 有害鳥獣による被害防止策及び捕獲の担い手育成、地域ぐるみでの生息環境管理と併せて、他自治体と連携した広域的な捕獲対策を検討すること。 農林業の担い手の高齢化、後継者不足も深刻な課題であり、若者世代の新規就農を図るための支援を強化し、受入体制の整備は継続して取り組んでいくこと。						

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	15	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	41101	事業名	青年就農給付金事業						所管課	農林水産課	
事業概要	経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して資金を交付し、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図ります。							全体事業内容			
								地域計画に位置づけられている(又は位置づけられると見込まれる)原則50歳未満の認定新規就農者等について年間150万円(夫婦での共同申請の場合は225万円)を交付する。 ※交付期間は最長3年間(令和3年度以前に採択された者は最長5年間)。農業経営を中止又は休止、前年の世帯所得が600万円を超えた場合などは、交付を停止。			

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
認定新規就農者数		3名	1名	認定新規就農者数		3名	1名	認定新規就農者数		3名					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,500	1,500			1,350	1,350			2,700					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
×			×												
青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る為には有効な事業である。就農の相談はあったものの、新規の就農には至らなかった。現在、当該給付事業に関しての新規該当者がなく、新規就農支援事業の周知と併せ相談体制の充実が必要。			青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る為には有効な事業である。就農の相談はあったものの、新規の就農には至らなかった。現在、当該給付事業に関しての新規該当者がなく、新規就農支援事業の周知と併せ相談体制の充実が必要。												
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
高齢化等による農業者の減少などに伴い耕作放棄地は増加し、農業を取り巻く環境は厳しさを増す。そのようななか、令和5年10月、3年後に市内で新規就農を目指して活動する地域おこし協力隊として2名に委嘱した。現在市内農家で農業支援スタッフ(農業研修生)として活動中である。様々な制度を活用し、新規就農者の確保、育成に取り組む。			高齢化等による農業者の減少などに伴い耕作放棄地は増加し、農業を取り巻く環境は厳しさを増す。そのようななか、現在市内農家で農業支援スタッフ(農業研修生)として活動中の地域おこし協力隊2名が令和8年度に任期満了となる。市内での新規就農の実現に向け様々な制度を活用し、新規就農者の確保、育成に取り組む。												

■実施計画事業調書

SDGs	15	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	----	---	---	------	----	------	---

事業番号	41102	事業名	畜産業の振興	所管課	農林水産課
事業概要	畜産業者の効率的な経営を支援し、安定的な経営環境の実現を図ります。			全体事業内容	
				国県補助事業制度の情報提供や各種防疫予防接種等を実施し、畜産業者の経営の安定を支援し畜産業の振興を図る。	

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
各種予防接種の実施		通年実施	通年実施	各種予防接種の実施		通年実施	通年実施	各種予防接種の実施		通年実施					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○				○											
高齢化、後継者不足等の影響により畜産農家の減少が進む中、伝染病予防のための予防接種の周知、申請受付等を行い畜産農家の所得安定を図った。				高齢化、後継者不足等の影響により畜産農家の減少が進む中、伝染病予防のための予防接種の周知、申請受付等を行い畜産農家の所得安定を図った。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
飼料価格の高騰や従事者の高齢化、後継者不足が深刻な課題となっている中、畜産業の振興を図るため、家畜自衛防疫に務めることが必要であることから引き続き事業を実施することが必要。				飼料価格の高騰や従事者の高齢化、後継者不足が深刻な課題となっている中、畜産業の振興を図るため、家畜自衛防疫に務めることが必要であることから引き続き事業を実施することが必要。											

■実施計画事業調書

SDGs	15	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	----	---	---	------	----	------	---

事業番号	41103	事業名	農業経営基盤強化促進事業			所管課	農林水産課
事業概要	効率的及び安定的な農業経営体を育成し、担い手の確保と農用地の有効利用を図ります。				全体事業内容		
					認定農業者等の担い手に農地を集積し、経営規模の拡大を推進することにより、経営の安定化や農業生産力を向上させ、担い手の経営基盤の強化を図る。		

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
農地利用集積率	10.3%	8.1%	農地利用集積率	10.3%	8.4%	農地利用集積率	10.3%				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			○								
農地中間管理事業など制度の周知と併せ、高齢化、担い手不足の進展による貸し手の増加傾向に対し、受け手となる農業者の育成が必要。			農地中間管理事業など制度の周知と併せ、高齢化、担い手不足の進展による貸し手の増加傾向に対し、受け手となる農業者の育成が必要。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
農地中間管理事業を活用した利用集積制度の周知を図るとともに、認定農業者等の担い手に農地を集約し、経営の安定及び農業生産力の向上による担い手の経営基盤の強化を図り、併せて、遊休農地の拡大抑制のため、継続して取り組む。			農地中間管理事業を活用した利用集積制度の周知を図るとともに、認定農業者等の担い手に農地を集約し、経営の安定及び農業生産力の向上による担い手の経営基盤の強化を図り、併せて、遊休農地の拡大抑制のため、継続して取り組む。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		15	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	41104		事業名	農業資金利子補給事業								所管課	農林水産課	
事業概要	融資機関が農業者に貸し付けた農業近代化資金等に対し利子補給を行い、農業経営の安定化及び近代化を推進します。								全体事業内容					
									農機具購入、倉庫建築等資金融資に対する利子補給					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
利子補給実施農家数	3件	0件	利子補給実施農家数	3件	0件	利子補給実施農家数	3件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		188	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×			×								
近年の営農規模は現状維持若しくは縮小の傾向が強いため、当該制度を活用しての経営規模を拡大するケースが少ない。			近年の営農規模は現状維持若しくは縮小の傾向が強いため、当該制度を活用しての経営規模を拡大するケースが少ない。そのような中、今年度1名が利用を予定していたが、近年金利が低い状況が続いていることから、県及び農業協同組合の利子補給により実質負担金利が軽減されてしまったため、本制度の対象とならなかった。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
担い手育成の観点から、国・県等の各種補助事業をはじめ制度を周知し、経営規模の拡大や省力化等に資する設備投資を継続して支援する必要がある。			担い手育成の観点から、国・県等の各種補助事業をはじめ制度を周知し、経営規模の拡大や省力化等に資する設備投資を継続して支援する必要がある。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		15	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	41201		事業名	かんがい排水整備事業								所管課	農林水産課	
事業概要	各水利組合が実施するかんがい排水整備事業に対して補助金を交付し、施設の近代化及び効率化を図ります。								全体事業内容					
									市内水利組合から補助申請があった場合に実施する。事業費の1／2から1／3を補助する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
補助金交付件数		4件	9件	補助金交付件数		4件	4件	補助金交付件数		4件					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,881	1,881			720	682			720					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
◎			◎												
施設の老朽化が進行する一方で、農業者の高齢化や管理主体である水利組合の解散等、共同維持活動の継続が困難な状況にある。 本年度は、申請数も多く多数の補助を実施し、生産基盤の維持管理に必要な事業であるとする。			施設の老朽化が進行する一方で、農業者の高齢化や管理主体である水利組合の解散等、共同維持活動の継続が困難な状況にある。 多数の補助を実施し、生産基盤の維持管理に必要な事業であるとする。												
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
施設の維持管理、長寿命化に向けた計画の策定が必要と考える。 生産基盤である施設を適正に維持管理するため、支援に要する予算を維持し、事務事業を継続して実施する。			施設の維持管理、長寿命化に向けた計画の策定が必要と考える。 生産基盤である施設を適正に維持管理するため、支援に要する予算を維持し、事務事業を継続して実施する。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		15	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	41202		事業名	県営ほ場整備事業							所管課	農林水産課		
事業概要	農地の集積と有効活用を図るため、ほ場整備を推進します。							全体事業内容						
								ほ場整備事業の実施に向け、県・土地改良区及び地元との協議の推進、事業に係る経費負担						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
事業完了件数	3件	0件	事業完了件数	3件	0件	事業完了件数	3件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	24,162	9,474		87,455	27,427		93,450				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×			×								
市内3地区(名木木戸・大森・大楠)にて事業を実施中である。担い手の高齢化が進む中、早期に営農を開始できるよう事業を進める必要がある。			市内3地区(名木木戸・大森・大楠)にて事業を実施中である。担い手の高齢化が進む中、早期に営農を開始できるよう事業を進める必要がある。 ※5, 775千円(令和5年度繰越)								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
高齢化や後継者不足が著しい中、高収益となる転作作物の作付も含め、担い手への集積の推進が不可欠な状況を踏まえ、将来的な地域の農業基盤を確立するため継続して実施することが適当である。事業推進にあたり、ソフト・ハードの両面から県と連携し、地元の理解を得ながら推進していく。			高齢化や後継者不足が著しい中、高収益となる転作作物の作付も含め、担い手への集積の推進が不可欠な状況を踏まえ、将来的な地域の農業基盤を確立するため継続して実施することが適当である。事業推進にあたり、ソフト・ハードの両面から県と連携し、地元の理解を得ながら推進していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		15	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	41203		事業名	土地改良区運営支援事業								所管課	農林水産課	
事業概要	土地改良施設維持管理適正化事業及び基幹水利ストックマネジメント事業の実施により、勝浦ダム施設の維持管理及び長寿命化を図るとともに、農地中間管理機構関連農地整備事業(名木木戸地区)及び農地整備事業(経営体育成型)(大森地区・大楠地区)の実施によりほ場整備を促進し、農地の集積と有効活用を図ります。								全体事業内容					
									勝浦市土地改良区に対する助成。 ・土地改良施設維持管理適正化事業による勝浦ダム幹線水路等施設の修繕を実施する。 ・基幹水利施設ストックマネジメント事業による勝浦ダム施設の長寿命化を図る。 ・農地中間管理機構関連農地整備事業(名木木戸地区)及び農地整備事業(経営体育成型)(大森地区・大楠地区)の実施により、ほ場整備の促進を図る。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
ほ場整備事業の推進及び地域との調整活動		3地区	3地区	ほ場整備事業の推進及び地域との調整活動		3地区	3地区	ほ場整備事業の推進及び地域との調整活動		3地区					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		49,271	49,271			52,646	48,148			59,971					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
勝浦市土地改良区に対して助成を行い、勝浦ダムの維持管理・長寿命化及びほ場整備事業推進による生産性向上を図った。			勝浦市土地改良区に対して助成を行い、勝浦ダムの維持管理・長寿命化及びほ場整備事業推進による生産性向上を図った。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
ほ場整備事業の推進や農業用水の安定供給を適正に行うため、県及び地元関係者と連携の上継続して実施する。			ほ場整備事業の推進や農業用水の安定供給を適正に行うため、県及び地元関係者と連携の上継続して実施する。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	15	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	41204	事業名	農村環境保全事業						所管課	農林水産課	
事業概要	農業基盤となる農地・水・環境等の自然環境機能の保全と質的向上を図ります。							全体事業内容			
								多面的機能支払交付金 (農地維持支払及び資源向上支払(地域資源の質的向上を図る活動))農村の多面的機能を守り育む共同活動に対し、交付金対象農用地面積に応じ、国、県、市の3者が交付金を各地区活動組織へ交付し、共同活動を支援する。実施地区:杉戸、白木、大森(資源向上支払(施設の長寿命化のための活動))地域の共同活動により維持してきた老朽化が進む水路等農業用施設の長寿命化のための補修・更新を行う活動組織に対し、交付金対象農用地面積に応じ、国、県、市の3者が交付金を各地区活動組織へ交付し、向上活動を支援する。実施地区:杉戸、白木地区			

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
活動組織数	4組織	3組織	活動組織数	4組織	4組織	活動組織数	5組織				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	5,485	5,483		5,614	5,612		5,614				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			◎								
過疎化の進行により共同活動が困難となっている農村地域を補助し、多面的な機能を有する農村地域における施設等の維持向上を図った。			過疎化の進行により共同活動が困難となっている農村地域を補助し、多面的な機能を有する農村地域における施設等の維持向上を図った。 今年度1地区(平田)にて活動組織が設立され活動を開始した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
過疎化が進行する農村地域において、環境保全の取組の必要性の周知を図りながら、農業用排水路等、施設の老朽化対策などの事業を継続して実施していくことが集落機能の維持向上となるため、ほ場整備事業完了地区を中心に本事業の推進を図る。			過疎化が進行する農村地域において、環境保全の取組の必要性の周知を図りながら、農業用排水路等、施設の老朽化対策などの事業を継続して実施していくことが集落機能の維持向上となるため、ほ場整備事業完了地区を中心に本事業の推進を図る。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		15	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	41205		事業名	防災重点農業用ため池緊急整備事業								所管課	農林水産課	
事業概要	防災重点農業用ため池の決壊による、水害その他の災害から市民の生命及び財産を保護するために必要な防災重点農業用ため池の改修、付帯施設の整備及びしゅん濇又は農地等の洪水調節機能の発揮のための整備を実施する。								全体事業内容					
									地震・豪雨耐性評価(県実施事業)により防災工事が必要となった防災重点農業用ため池の事前調査測量・改修(防災)工事を実施する。					

■事業評価書

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
		0件	0件			0件	0件	決壊や越水等による事故件数		0件				0件	
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			7,975					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
－				－											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	15	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	41301	事業名	農産物のブランド化及び販路の拡大						所管課	農林水産課	
事業概要	農産物のブランド化及び販路の拡大を推進し、生産農家の経営所得の安定を図るとともに、ブランド化された農産物については、様々な媒体を通じて効果的な情報を発信し、認知度の向上及び定着を図ります。						全体事業内容				
							関係機関と連携し、特産品の開発に向けた協議を推進するとともに、様々なPR活動及び生産農家の販路拡大を支援するための施策を検討・実施し農産物の販路拡大を図る。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
PR回数	2回	0回	PR回数	2回	1回	PR回数	2回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×			△								
実施に向けた検討のため、農業者に対し農業振興に関するアンケート調査の実施及び研究機関による市内農地の現況確認等を行った。 農産物の高付加価値化には一定程度興味があるものの、生産者の意識は高いとは言えない。			生産者等と農林産物の高付加価値化について意見交換し、生産面、販売面の課題を共有した。 本市の主要農産物である米について、友好都市でのイベントに出展し、地域おこし協力隊2名と地元産米のPRを行った。令和6年産米の価格高騰により、米生産農家の経営所得増となったと思われるが、今後、経営所得が安定するかは不透明である。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
市内産農産物のPR活動を行い、生産者の意識改革を促す必要があると考えられる。			引き続き市内産農産物のPR活動を行うとともに、生産者をはじめ関係機関と高付加価値化・販路の拡大に向け議論を深めていく。								

■実施計画事業調書

SDGs	15	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	----	---	---	------	----	------	---

事業番号	41401	事業名	有害獣被害防止対策事業		所管課	農林水産課
事業概要	有害鳥獣による農作物被害を防止するための防護柵の設置に係る経費を補助し、農林産物被害の防止を図ります。			全体事業内容		
				自ら農林産物を生産する農業者の農地等に設置する防護柵等の購入に係る費用に対する助成。(購入価格の1／2以内(上限10万円))		

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
侵入防止柵設置延長	1箇所 450m	8箇所 2,854m	侵入防止柵設置延長	1箇所 450m	14箇所4,000m	侵入防止柵設置延長	1箇所 450m				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	750	412		809	769		576				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
国の補助要件を緩和した市単独事業により水際対策が図られた。(国の要件:受益者数3戸以上である耕作地)			国の補助要件を緩和した市単独事業により水際対策が図られた。(国の要件:受益者数3戸以上である耕作地)								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
被害防止のための捕獲を継続するとともに、生息域や被害が拡大する中、水際対策の重要性から継続した事業実施が望まれる。 また、国に対して要件緩和の要望を引き続き行う。			被害防止のための捕獲を継続するとともに、生息域や被害が拡大する中、水際対策の重要性から継続した事業実施が望まれる。 また、国に対して要件緩和の要望を引き続き行う。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	15	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	41402	事業名	有害鳥獣捕獲事業						所管課	農林水産課	
事業概要								全体事業内容			
								猟銃及び箱わな等により、有害鳥獣の捕獲を実施し、農林産物等の被害の低減を図る。 狩猟免許の新規取得に係る経費の補助を行い、新たな担い手の確保を図る。 被害が急増しているサルの群れの頭数管理を実施し、被害の低減を図る。 緩衝帯の整備、放任果樹除去、雑木林の刈払等の生息環境管理を実施し、鳥獣被害の発生要因を減らすことで農林産物等の被害の低減を図る。			

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
捕獲頭数	8,720頭	5,762頭	捕獲頭数	8,720頭	4,549頭	捕獲頭数	8,720頭				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	42,485	38,899		56,066	50,375		57,442				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			○								
猟友会会員の高齢化に伴い、捕獲体制の維持確保が難しい状況にはあるが、捕獲数は増加傾向であり、一定の成果を上げているものとする。			猟友会会員の高齢化に伴い、捕獲体制の維持確保が難しい状況にはあるが、狩猟免許新規取得者の入会もあった。捕獲数は年により波があるが、一定の成果を上げているものとする。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
農作物被害に加え、近年では生息域の拡大に伴い、市民の生活を脅かす有害鳥獣に対し、駆除を強化する必要があり、県の強化対策を活用し捕獲に対する報償費を増額するなど、捕獲意欲の向上を持って有害鳥獣対策を強化する。また、継続して新規資格取得の支援を行い、捕獲体制の維持強化を図る。			農作物被害に加え、近年では生息域の拡大に伴い、市民の生活を脅かす有害鳥獣に対し、駆除を強化する必要があり、県の強化対策を活用し捕獲に対する報償費を増額するなど、捕獲意欲の向上を持って有害鳥獣対策を強化する。また、継続して新規資格取得の支援を行い、捕獲体制の維持強化を図る。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		15	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	41501		事業名	地域間交流事業							所管課	農林水産課		
事業概要	農業者以外の者が、市民農園で野菜や花き等を栽培することにより、農業を介した地域間の相互交流を推進します。							全体事業内容						
								地域資源を活用した農業体験を行える市民農園の維持管理(60㎡～80㎡、39区画を貸し出す。)						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
市民農園利用区画数	全39区画	39区画	市民農園利用区画数	全39区画	34区画	市民農園利用区画数	全35区画				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	907	905		636	636		530				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			○								
市民農園全区画が利用された。 農園内休憩スペースに設置済みのテーブルとイスを老朽化により更新した。 (千葉県産スギ材使用) 引き続き、利用者が快適に利用できるよう維持管理が必要。			市民農園全区画の利用に至らなかった。 令和6年10月に農園の地主2名のうち1名から返還要望があり、令和7年3月末をもって一部区画(No.1～39のうち、No.18～39)の閉鎖を決定した。 引き続き、利用者が快適に利用できるよう維持管理が必要。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き設備の適切な維持管理を行うと伴に、利用者同士をはじめ都市と農村の交流を推進する。			農園用地一部返還に伴い、令和7年度から区画割を変更し、農園利用需要に対応する。 引き続き設備の適切な維持管理を行うと伴に、利用者同士をはじめ都市と農村の交流を推進する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	15	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	41601	事業名	森林整備事業						所管課	農林水産課	
事業概要	森林整備計画に基づき、森林整備(伐採・造林・保育等)を推進します。						全体事業内容				
							①森林の有する多面的機能の維持増進を目的として市内育林組合等が実施する下刈り、枝打ち及び間伐等に対し、県及び市で助成する。 ②森林環境譲与税を活用し、森林(人工林)の間伐等森林環境の整備を実施する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
事業実施面積	間伐等 2ha	間伐等 1.13ha	事業実施面積	間伐等 2ha	発生材運搬50㎡	事業実施面積	間伐等 0.7ha				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	2,797	2,796		4,395	4,292		5,878				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			△								
森林所有者等の高齢化による担い手不足や木材価格の下落等により、適切な森林管理が困難な中、意欲ある林業者を補助することにより、防災、水源涵養、獣害対策など森林が有する機能の維持を図った。 また、地区ごとに森林環境整備実施計画の策定を進めた。			森林所有者等の高齢化による担い手不足や木材価格の下落等により、適切な森林管理が困難な中、意欲ある林業者を補助することにより、防災、水源涵養、獣害対策など森林が有する機能の維持を図った。 また、地区ごとに森林環境整備実施計画の策定を進めた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
森林環境譲与税の交付額を踏まえ、将来的な森林保全や整備等の方針を定めると共に、従来の県単森林整備事業及び特定間伐計画事業と併せて計画的な事業の推進を図る。			森林環境譲与税の交付額を踏まえ、将来的な森林保全や整備等の方針を定めると共に、従来の県単森林整備事業及び特定間伐計画事業と併せて計画的な事業の推進を図る。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		15	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	41602		事業名	林道維持補修事業								所管課	農林水産課	
事業概要	森林を有効利用するため、林道機能の維持を図ります。								全体事業内容					
									林道の土砂撤去、草刈及び支障木の伐木等の維持管理を行う。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
維持補修を主とする事業のため評価なし	—	—	維持補修を主とする事業のため評価なし	—	—	維持補修を主とする事業のため評価なし	—	—			
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	1,429	1,428		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
—			—								
林道施設(トンネル2箇所)点検診断を実施し個別施設計画を改定した。林道及び付帯施設について、職員の直営により維持管理を実施した。当該施設の老朽化に対する維持補修や長寿命化の対策が必要である。			林道及び付帯施設について、職員の直営により維持管理を実施した。当該施設の老朽化に対する維持補修や長寿命化の対策が必要である。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
森林環境贈与税制度、森林経営管理制度が創設され、市町村における森林整備の促進が求められる中、整備に要する基幹インフラとして林道の機能を適切に維持管理するため、事業の継続が適当である。			森林環境贈与税制度、森林経営管理制度が創設され、市町村における森林整備の促進が求められる中、整備に要する基幹インフラとして林道の機能を適切に維持管理するため、事業の継続が適当である。								

				関係課	農林水産課・学校給食共同調理場・企画課			
1.	施策名	4	人々が活気にあふれるまち(産業・観光・交流)					
		2	水産業の振興					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	新規漁業就業者数(4年間累計)	8人	3人	9人	10人	
		指標2	地元漁船等の年間水揚げ	15.7億円	19.3億円	18.4億円	15.0億円	
		指標3	外来漁船の年間水揚げ	42.9億円	58.7億円	32.7億円	50.0億円	
		指標4	水産業の振興についての市民満足度	21.9%	—	—	向上	
3.	施策の展開一覧	① 水産業の担い手の確保・育成と経営基盤の強化						
		② 漁業環境の整備						
		③ 水産物の高付加価値化・販路の拡大						
		④ つくり育てる漁業の推進						
4.	二次評価	水産業の振興において、漁業の担い手の高齢化、後継者不足は深刻な課題であり、若者世代の新規就業を図るため漁業研修生の受入などの支援を強化し、受入体制の整備を継続して取り組んでいくこと。 漁業環境の整備として、漁港及び関連施設の適切な維持管理を図るとともに、漁業資源の保全、特に磯焼け対策については漁協などの関係機関と連携して積極的に対策を講じること。						

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	14	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	42101	事業名	漁獲共済事業						所管課	農林水産課	
事業概要	不漁や不慮の災害等による損失が補償される漁獲共済加入者の共済掛金の一部を助成し、漁業経営の安定化を図ります。						全体事業内容				
							漁獲共済加入者が負担する共済掛金の一部((純共済掛金＋附加共済掛金)×10％以内)を助成する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
漁獲共済加入者数	150	163	漁獲共済加入者数	150人	153人	漁獲共済加入者数	150人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	6,565	6,565		6,750	6,749		11,286				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
漁獲金額が減少した場合の損失補償であり、不漁や不慮の事故があることも想定される。特に今年度は物価高騰の影響があったことから有効な事業となっている。			漁獲金額が減少した場合の損失補償であり、不漁や不慮の事故があることも想定される。特に今年度は物価高騰の影響があったことから有効な事業となっている。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
減少傾向にある漁業者の経営の安定を図るためにも支援は必要であり、事業を継続していく。			減少傾向にある漁業者の経営の安定を図るためにも支援は必要であり、事業を継続していく。								

■実施計画事業調書

SDGs	14	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	----	---	---	------	----	------	---

事業番号	42102	事業名	漁協合併促進事業	所管課	農林水産課
事業概要	市内漁協の合併を促進し、経営基盤強化等の漁業振興の体制強化を図ります。	全体事業内容			
		勝浦市漁業協同組合合併協議会が取り組む両漁協の合併協議を支援し、漁協経営の合理化、経営基盤の安定化を図り、将来的に生き残ることのできる組合設立を目指す。			

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
合併協議一時中断しているため、評価は困難	—	—	合併協議一時中断しているため、評価は困難	—	—	合併協議一時中断しているため、評価は困難	—				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
—			—								
現時点では協議は中止しているが組合員の高齢化により、勝浦漁業・新勝浦漁協とも少なからず衰退の様子がうかがえる。 地域水産業の持続性を確保するためには漁協の運営基盤強化は必要不可欠となる。両漁協が合意した「将来的な合併の必要」に基づき、早期の協議会再開に努める。			現時点では協議は中止しているが組合員の高齢化により、勝浦漁業・新勝浦漁協とも少なからず衰退の様子がうかがえる。 地域水産業の持続性を確保するためには漁協の運営基盤強化は必要不可欠となる。両漁協が合意した「将来的な合併の必要」に基づき、早期の協議会再開に努める。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
漁協の合併にあたっては、両漁協とも課題が多いため、課題解決の取組や見通しの把握が必要となる。			漁協の合併にあたっては、両漁協とも課題が多いため、課題解決の取組や見通しの把握が必要となる。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		14	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	42103		事業名	漁業近代化資金利子補給事業								所管課	農林水産課	
事業概要	漁業近代化資金に対する利子補給により、漁業の近代化を促進します。								全体事業内容					
									千葉県漁業近代化資金利子補給規則に基づく資金に対し、利子補給を実施 上限は年0.5%以内					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
融資件数		5件	6件	融資件数		5件	6件	融資件数		5件					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		299	299			283	283			401					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○			○												
漁業経営の近代化を図るため、漁船・漁具及び水産施設等を取得するための資金であり、漁業を継続・新規就労する場合、整備拡充を図るためにも有効な事業である。			漁業経営の近代化を図るため、漁船・漁具及び水産施設等を取得するための資金であり、漁業を継続・新規就労する場合、整備拡充を図るためにも有効な事業である。												
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
多くの漁業者が高齢者であり、近代的な設備を投資することにより、金銭面のほかに作業の軽減にも繋がるため、事業を継続していく。			多くの漁業者が高齢者であり、近代的な設備を投資することにより、金銭面のほかに作業の軽減にも繋がるため、事業を継続していく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		14	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	42104		事業名	漁業者の担い手の確保							所管課	農林水産課		
事業概要	漁業者の高齢化や後継者不足等による漁業就業者の減少に対し、デジタル技術を活用したスマート漁業の導入による労働環境の整備や、関係機関との連携による新規就業者を確保・育成するための取組を推進します。							全体事業内容						
								関係機関と連携し、漁業後継者の確保を推進する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
担い手確保人数	3人	3人	担い手確保人数	3人	6人	担い手確保人数	3人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	2,140	1,608		6,110	5,078		7,420				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			◎								
漁業者の高齢化及び後継者不足により漁業者の減少が課題となっているため、漁業協同組合及び漁業者等と協力をし、新規就業者確保に向け、協議会を設立し、漁業関係者が一体となった受入体制を整備した。			漁業者の高齢化及び後継者不足により漁業者の減少が課題となっているため、漁業協同組合及び漁業者等と協力をし、新規就業者を受け入れた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
本市の基幹産業である水産業を支えるうえでも担い手の確保は必要不可欠であるため、関係機関と連携し、幅広く新規就労者の確保に取り組みたい。			本市の基幹産業である水産業を支えるうえでも担い手の確保は必要不可欠であるため、関係機関と連携し、幅広く新規就労者の確保に取り組みたい。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		14	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	42201		事業名	海岸堤防等老朽化対策事業								所管課	農林水産課	
事業概要	各海岸保全施設の長寿命化計画に基づく老朽化対策工事を実施することにより、海岸保全施設の長寿命化を図ります。								全体事業内容					
									市内6漁港海岸にかかる長寿命化計画に基づき、施設の機能強化及び回復を図り、人命や財産の防護、維持管理・更新に係る費用を平準化する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
事業実施数	—	—	事業実施数	—	—	事業実施数	—				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
—			—								
千葉東沿岸海岸保全基本計画に係る検討会の指針に基づき事業を実施する予定であるが、検討会で高潮波浪の防護高算出に時間を要しており、事業の実施に至っていない状況となっている。			千葉東沿岸海岸保全基本計画に係る検討会の指針に基づき事業を実施する予定であるが、検討会で高潮波浪の防護高算出に時間を要しており、事業の実施に至っていない状況となっている。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
千葉東沿岸海岸保全基本計画に係る検討会で高潮波浪の防護高算出ができ次第、事業を実施することになる。			千葉東沿岸海岸保全基本計画に係る検討会で高潮波浪の防護高算出ができ次第、事業を実施することになる。								

■実施計画事業調書

SDGs	14	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	----	---	---	------	----	------	---

事業番号	42202	事業名	漁業標識灯維持管理事業	所管課	農林水産課
事業概要	船舶の安全な航行と漁業活動の効率化のため、漁業標識灯の適正な維持管理を図ります。			全体事業内容	
				漁業標識灯3基(うち市外1基)の維持管理を実施する千葉県沿岸小型漁船漁業協同組合に対して補助する。	

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
漁業標識灯の維持管理が起因した事故件数		0件	0件	漁業標識灯の維持管理が起因した事故件数		0件	0件	漁業標識灯の維持管理が起因した事故件数		0件					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		150	150			150	150			150					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
本事業を実施したことにより事故の発生が無く、漁業者の安全が図れた。			本事業を実施したことにより事故の発生が無く、漁業者の安全が図れた。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
沿岸小型漁船の操業及び航行の安全確保を図るためにも今後も必要である。			沿岸小型漁船の操業及び航行の安全確保を図るためにも今後も必要である。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		14	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	42203		事業名	水産基盤施設ストックマネジメント事業								所管課	農林水産課	
事業概要	市営漁港の機能保全計画の策定及び計画に基づく機能保全工事を実施し、水産基盤施設の長寿命化を図ります。								全体事業内容					
									機能保全計画に基づき機能保全工事を実施し、漁港の長寿命化を図る。					

■事業評価書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
事業実施漁港数	1漁港	2漁港	事業実施漁港数	1漁港	1漁港	—	—				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	31,570	21,243		22,853	5,174		—				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
勝浦東部漁港(川津地区)及び松部漁港の浚渫土について、豊浜漁港内に仮置きしていたが、大森地区に処分をし、工事を完了した。 また、当初の計画に入っていないが、松部橋の架替えが急務となっていることが判明し、実施内容を変更し、5年度に基本設計、測量調査を実施した。			令和8年度に工事を予定している松部漁港橋梁架替工事に伴う地質調査及び詳細設計を実施したが、天候不順により不測の期間を要たため、詳細設計については次年度へ繰越となっている。 ※8,000千円(令和5年度繰越)								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
本事業は市が管理する市営7漁港を、予防保全することにより突発的な負担リスクの軽減が図れるため継続して実施することになるが、点検等により緊急性を考慮した事業を実施することになる。			本事業は市が管理する市営7漁港を、予防保全することにより突発的な負担リスクの軽減が図れるため継続して実施することになるが、点検等により緊急性を考慮した事業を実施することになる。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		14	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	42204		事業名	水産業構造改善事業								所管課	農林水産課	
事業概要	衛生管理型市場等の漁港関連施設の改修・整備を推進し、地域の流通拠点漁港としての機能の向上を図ります。								全体事業内容					
									水産業の構造改善を促進し、生産・流通の効率化、品質・衛生管理の高度化を備えた施設の整備を実施する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
事業実施件数		—	—	—		—	—	—		—					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			—					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
—			—												
地域の流通拠点漁港としての機能の向上を図るうえで重要な事業であるため、勝浦漁業協同組合と実施事業について協議を行った。			地域の流通拠点漁港としての機能の向上を図るうえで重要な事業であるため、勝浦漁業協同組合と実施事業について協議を行った。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
本市の基盤産業であり、担い手不足の中、漁業の構造改革していくためにも今後も継続して事業を実施していく必要がある。			本市の基盤産業であり、担い手不足の中、漁業の構造改革していくためにも今後も継続して事業を実施していく必要がある。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		14	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	42205		事業名	水産物流通基盤整備事業								所管課	農林水産課	
事業概要	泊地浚渫や臨港道路整備等、漁港関連施設の改修・整備を推進し、地域の流通拠点漁港としての機能の向上を図ります。								全体事業内容					
									勝浦漁港において、大型漁船の出入り港として、安全性や陸揚げ及び準備作業の効率化を図るため、必要な泊地浚渫や護岸の改良等を実施するほか、輸送道路となる臨港道路の改修、歩道の設置及び橋梁の改修等を実施し、外房地区における拠点漁港化を図る。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
実施個所数	1ヵ所	3ヵ所	実施個所数	1ヵ所	2ヵ所	実施個所数	1ヵ所				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	2,810	1,733		2,972	2,550		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
勝浦漁港の航路浚渫工事、臨港道路集水桝補修工事、係船環の取付工事を 実施し、拠点漁港としての機能向上を図った。			勝浦漁港の航路浚渫工事、西防波堤機能強化設計を実施し、拠点漁港としての 機能向上を図った。 ※537千円(令和5年度繰越)								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
拠点漁港である勝浦漁港の機能強化が地域水産業全体に波及することが予 想されるため引き続き事業の支援を行う。			拠点漁港である勝浦漁港の機能強化が地域水産業全体に波及することが予 想されるため引き続き事業の支援を行う。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		14	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	42206		事業名	水産物流通機能高度化対策事業								所管課	農林水産課	
事業概要	衛生管理型市場等の漁港関連施設の改修・整備を推進し、地域の流通拠点漁港としての機能の向上を図ります。								全体事業内容					
									水産物の集出荷の拠点となる漁港とし、生産・流通の効率化、品質・衛生管理の高度化を備えた施設整備をする。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
—	—	—									
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	148,919	148,224									
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			—								
令和2年度から4カ年の計画事業であり、令和5年度は荷さばき所北側市場の建設工事を実施し、令和6年3月に竣工した。											
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
完了											
安全・安心な水産物の供給が図られるように衛生管理に努め、水産関係者が一体となった施設運営に努める。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		14	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	42207		事業名	水産多面的機能発揮対策事業								所管課	農林水産課	
事業概要	アワビやイセエビ等の磯根資源の維持・増大につながる藻場の保全及び再生を図ります。								全体事業内容					
									食害生物の除去(魚類)及びモニタリングを実施し藻場の保全を図る。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
活動した構成員延べ人数	60人	64人	活動した構成員延べ人数	60人	92人	活動した構成員延べ人数	60人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	150	150		150	150		145				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
イセエビ等の磯根生物の生息場として重要である藻場を保全するため、磯焼けが確認された浜行川地区で、海藻を摂食するブダイなどの植食性魚類の除去を行い、藻場の保全を図った。			イセエビ等の磯根生物の生息場として重要である藻場を保全するため、磯焼けが確認された浜行川地区で、海藻を摂食するブダイなどの植食性魚類の除去を行い、藻場の保全を図った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
拡大			拡大								
大沢地区、浜行川地区で磯焼けの進行が確認されており、磯根生物の生息に大きな影響を与えることから、今後は他の地区においても同様の取り組みが必要となる。			大沢地区、浜行川地区で磯焼けの進行が確認されており、磯根生物の生息に大きな影響を与えることから、今後は他の地区においても同様の取り組みが必要となる。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		14	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	42301		事業名	外来漁船誘致対策事業							所管課	農林水産課		
事業概要	他県漁船の勝浦漁港入港を促す誘致活動を実施し、水産業の振興と地域経済の活性化を促進します。							全体事業内容						
								・勝浦漁港入港外来漁船の船籍地訪問 ・水揚げ優秀船の表彰(賞旗、記念品等)						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
外来漁船の水揚高		50億	58.7億	外来漁船の水揚高		50億	30億	外来漁船の水揚高		50億					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		2,232	1,778			2,312	1,722			2,325					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
外来漁船を誘致するため、船籍地訪問や水揚げ上位の船主に対し表彰を行い、誘致に努めたが、乗務員不足や高齢化の影響により、廃業も多い状況にある。			外来漁船を誘致するため、船籍地訪問や水揚げ上位の船主に対し表彰を行い、誘致に努めたが、海水温の上昇、餌の確保が困難であったことから不漁となった。また、乗務員不足や高齢化の影響により、廃業も多い状況にある。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
勝浦漁協の水揚げの多くは外来漁船によるものであり、本事業による経済効果は水産業をはじめ、商工業にも及んでおり、引き続き事業を継続していく。			勝浦漁協の水揚げの多くは外来漁船によるものであり、本事業による経済効果は水産業をはじめ、商工業にも及んでおり、引き続き事業を継続していく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	14	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	42302		事業名	水産物の販路拡大						所管課	農林水産課	
事業概要	豊かな自然や漁村ならではの地域資源を活かした水産業、観光業、飲食業等の連携による海業の振興を推進するとともに、地元水産物のブランド化・高付加価値化、さらには雇用機会の創出や水産関係者の所得向上を図ります。							全体事業内容				
								各種イベントへの出展を通じた宣伝普及活動を支援します。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
PR回数	1回	1回	PR回数	2回	2回	PR回数	2回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	1,177	534		1,128	1,077		1,112				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用し、地域のにぎわいや水産物の消費増進、交流促進、雇用機会の創出を図ることが重要となることから、海業推進協議会を設立し、漁業協同組合、観光協会、商工会関係者が一体となり事業を実施する体制を構築した。 また、勝浦産水産物をPRするため、漁協により勝浦水産物ブランド推奨品を認定し、勝浦産水産物の消費、販路及び知名度拡大を目指すとともに、魚価の向上を図った。			千葉ブランド水産物に認定された「勝浦釣り寒マカジキ」の魚価の向上、消費増進を図るため、イベントでのPRをするとともに、勝浦ブランド水産物推奨品に認定した勝浦産水産物を知名度拡大を図るため、ポスター及びリーフレットを作成し、魚価の向上を図った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
拡大			拡大								
漁協により認定された勝浦水産物ブランド推奨品を観光業、商工業と連携し魚価の向上及び消費拡大を図る。			漁協により認定された勝浦水産物ブランド推奨品を観光業、商工業と連携し魚価の向上及び消費拡大を図る。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	14	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	42305	事業名	水産関連施設整備事業						所管課	農林水産課	
事業概要								全体事業内容			
								漁業協同組合及び水産加工業者等が行う、水産物の安定供給を目的とした水産加工施設、冷凍保管庫、製氷施設等の水産関連施設の整備を支援する。 (予算については、関係団体からの要望に基づき、協議により予算化する。)			

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
施設整備数	1ヵ所	2ヵ所	施設整備数	1ヵ所	3ヵ所	施設整備数	1ヵ所				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	9,267	0		10,557	10,557		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
勝浦漁業協同組合が導入する大型魚体自動選別機及び新勝浦市漁業協同組合が導入する自動給油機について、2施設ともに、施設整備に係る資材の納入に不測の期間を要しているため、次年度へ繰越となっている。			令和5年度から繰越となっていた勝浦漁業協同組合が導入する大型魚体自動選別機及び新勝浦市漁業協同組合が導入する自動給油機について、施設整備を実施した。 ※9,267千円(令和5年度繰越) 令和6年度は新勝浦市漁業協同組合が更新する冷凍冷蔵機について、更新工事を実施し、漁港施設の機能強化を図った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
漁業協同組合等が行う水産関連施設の整備を支援することにより、水産物の安定供給を図るうえで重要な事業となるため、今後も継続して事業を実施する。			漁業協同組合等が行う水産関連施設の整備を支援することにより、水産物の安定供給を図るうえで重要な事業となるため、今後も継続して事業を実施する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		14	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	42306		事業名	海業振興事業								所管課	農林水産課	
事業概要	漁村の人口減少や高齢化など地域の活力が低下する中で、地域の理解と協力の下、地域資源と既存の漁港施設を最大限に活用した海業等の取組を推進することで、海や漁村の地域資源の価値や魅力の活用を図りつつ、豊かな自然や漁村ならではの地域資源を活かした水産業、観光業、飲食業等の連携により、地元水産物のブランド化・高付加価値化、さらには雇用機会の創出や水産関係者の所得向上を図ります。								全体事業内容					
									地元水産物のブランド化・高付加価値化を進めるとともに、各種イベントへの出展や教育旅行の受入等による体験事業を通じた宣伝普及活動を支援します。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
				—		—	—	—		—					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
						—	—			0					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
			—												
			※令和6年度に計画事業に計上 令和7年度より開始												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
			—												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		14	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	42401		事業名	アワビ種苗放流事業								所管課	農林水産課	
事業概要	磯根資源の増殖を図るため、市内漁協が実施するアワビ種苗放流事業を支援します。								全体事業内容					
									市内2漁協に対し、放流用あわび種苗の購入費の一部を補助する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
種苗放流量	1,300kg	363kg	種苗放流量	1,300kg	346kg	種苗放流量	480,100個				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	4,680	1,306		4,680	2,261		4,680				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			△								
種苗生産をしている千葉県水産振興公社の施設の老朽化や近年の海況変化により、当初予定数を大幅に減少し、本市漁協が希望する種苗の量に対し、供給量が追いつかず、予定数の種苗を放流することができなかった。			種苗生産をしている千葉県水産振興公社の施設の老朽化や近年の海況変化により、当初予定数を大幅に減少し、本市漁協が希望する種苗の量に対し、供給量が追いつかず、予定数の種苗を放流することができなかった。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
アワビ種苗放流事業は、アワビの資源保護の観点から重要な事業であり、漁業資源確保のためにも引き続き事業を継続していきたい。			アワビ種苗放流事業は、アワビの資源保護の観点から重要な事業であり、漁業資源確保のためにも引き続き事業を継続していきたい。								

■実施計画事業調書

SDGs	14	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	----	---	---	------	----	------	---

事業番号	42402	事業名	アワビ輪採漁場整備事業			所管課	農林水産課
事業概要	市内漁協が実施するアワビ輪採漁場整備事業を支援します。				全体事業内容		
					アワビ輪採漁場の施設整備補助事業(防衛施設周辺民生施設整備事業)を実施する各漁業協同組合に対して、経費の一部を補助する。		

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
—	—	—	—	—	—	—	—				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
—			—								
平成30年度から令和3年度までの4年間に、豊浜地区と松部地区で事業を実施し、令和5年度は松部地区で水揚げをし、生息環境を確認したが、近年の海況変化によりアワビの水揚げ数量が減少している。			平成30年度から令和3年度までの4年間に、豊浜地区と松部地区で事業を実施し、令和6年度は豊浜地区で水揚げをし、生息環境を確認したが、近年の海況変化によりアワビの水揚げ数量が減少している。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
アワビの生息環境を保全する上で重要な事業であるが、事業費が大きいことから今後の実施については、漁業協同組合と協議をし検討することとする。			アワビの生息環境を保全する上で重要な事業であるが、事業費が大きいことから今後の実施については、漁業協同組合と協議をし検討することとする。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		14	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	42403		事業名	資源管理保護事業							所管課	農林水産課		
事業概要	地域重要魚種の種苗生産育成放流事業を支援し、資源管理を図ります。							全体事業内容						
								マダイ、ヒラメの種苗生産育成放流事業を実施する夷隅地域栽培漁業協議会及び淡水魚の放流をしている夷隅川漁業協同組合に対して、経費の一部を負担する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
水揚げ数量 ①マダイ ②ヒラメ		①1,000kg②500kg	①973kg②584kg	水揚げ数量 ①マダイ ②ヒラメ		①1,000kg②500kg	①800kg②606kg	水揚げ数量 ①マダイ		①1,000kg					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		200	200			293	293			368					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○				○											
地域の重要魚種であるマダイ、ヒラメの種苗生産育成放流事業は重要な事業であるが、マダイ、ヒラメ漁を主とする漁業者が減少していることから水揚げ数量に結びついていない状況となっている。				地域の重要魚種であるマダイ、ヒラメの種苗生産育成放流事業は重要な事業であるが、マダイ、ヒラメ漁を主とする漁業者が減少していることから水揚げ数量に結びついていない状況となっている。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
マダイ、ヒラメは、地域の重要魚種であり、今後は海業推進事業で検討している定置網漁業の導入も含め、検討を図る。				マダイ、ヒラメは、地域の重要魚種であり、今後は海業推進事業で検討している定置網漁業の導入も含め、検討を図る。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		14	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	42404		事業名	海面養殖推進事業								所管課	農林水産課	
事業概要	水産物の安定生産を目的に行う海面養殖を支援し、漁業の振興及び水産物の安定供給を図ります。								全体事業内容					
									養殖事業に対して、経費の一部を補助する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
養殖検討数	1種類	2種類	養殖検討数	1種類	2種類	養殖検討数	1種類				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
鵜原地区漁業者青年部によりイワガキとハマグリと養殖実施に向けた実証実験を行った。 イワガキについては、鵜原地区の海は透き通っており、餌となるプランクトンが少なかったことから、養殖に適さないとの判断に至り、ハマグリについては、次年度への継続事業となった。			鵜原地区漁業者青年部によりハマグリとワカメの養殖実施に向けた実証実験を行った。 ハマグリについては、養殖事業化に向けた判断が難しい状況であるが、ワカメについては、生息状況が良好であったことから次年度への継続事業となった。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
漁業者の所得を維持、向上するため、今後も事業を実施する予定である。			漁業者の所得を維持、向上するため、今後も事業を実施する予定である。								

				関係課	観光商工課・農林水産課・企画課			
1.	施策名	4	人々が活気にあふれるまち(産業・観光・交流)					
		3	ビジネス支援の推進					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	中小企業向け融資新規利子補給件数	11件	11件	43件	20件	
		指標2	事業承継支援件数	2件	2件	5件	2件	
		指標3	空き店舗等活用起業補助金交付件数	2件	4件	2件	2件	
		指標4	商工業の振興についての市民満足度	11.8%	—	—	向上	
3.	施策の展開一覧	① 商工業の経営基盤の強化						
		② 魅力あふれる商店街の形成						
		③ 勝浦ブランド商品の開発・PRの強化						
4.	二次評価	商工業の経営基盤の強化として、商工会と連携した事業者支援及び起業創業に係る相談支援の効果などにより、利子補給制度の活用が増えているものと評価できるので、今後もきめ細かく、継続的な支援を推進すること。 魅力あふれる商店街の形成には、消費者の購買行動におけるデジタル化に積極的に対応すること。さらに空き店舗の効果的な活用について検討し、活用を促進すること。 千葉ブランド水産物として認定されている水産物や勝浦タンタンメンなどブランド化・高付加価値化された商品も多数あるため、ふるさと納税返礼品としてのPRや新たな販路の拡大などを積極的に実施すること。						

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	9	11	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	43101		事業名	経営近代化融資事業						所管課	観光商工課	
事業概要	中小企業資金融資制度を活用し、中小企業経営の合理化及び設備の近代化等を促進します。						全体事業内容					
							市が市内金融機関に一定額を預託し、これを原資として千葉県信用保証協会の保証を受け、市内商工業者の中小企業経営の合理化や設備の近代化等に必要資金を融資する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
中小企業融資制度利用者数	目標設定なし	新規0件	中小企業融資制度利用者数	2件	11件	中小企業融資制度利用者数	2件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	8,575	8,575		8,590	8,425		10,609				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×			◎								
コロナ禍で、事業者への融資制度に対する実質無利子・無担保による支援制度など、コロナ対応型の融資を事業者が活用したため、本市制度融資の利用はなかった。			令和6年年度より利子補給率を上げたことにより、制度融資の新規申し込みが増加した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、市制度融資の運用を継続しながらも、国県の動向を見極めつつ、事業者にとって有利な制度の利用促進に努める。			物価高騰や貸付利率の引き上げなど、中小企業者にとっては不利な社会情勢となっているが、引き続き、市制度融資の運用を継続しながらも、国県の動向を見極めつつ、事業者にとって有利な制度の利用促進に努める。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	9	11	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	43102		事業名	地域総合振興事業						所管課	観光商工課	
事業概要	勝浦市商工会が実施する商業・工業・サービス業等の育成及び指導のための事業に対して補助金を交付し、地域経済の発展・高揚を図ります。							全体事業内容				
								勝浦市商工会に対して、地域総合振興のための支援を実施し、地域経済の活性化を図る。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
商工会会員数		550人	573人	商工会会員数		550人	571人	商工会会員数		550人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		3,100	3,100			3,100	3,100			3,500					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
商工会が実施する経営相談や各種事業を支援することにより、地域経済の下支えや経営支援を行った。			商工会が実施する経営相談や各種事業を支援することにより、地域経済の下支えや経営支援を行った。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
大きく変化する社会情勢や地域経済情勢を適切に見極めつつ、商工会との綿密な連携により地域経済の活性化に努める。			大きく変化する社会情勢や地域経済情勢を適切に見極めつつ、商工会との綿密な連携により地域経済の活性化に努める。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	43103		事業名	中小企業の事業承継支援								所管課	観光商工課		
事業概要	円滑な事業承継を行うため関係機関と連携し、承継時の課題解決の様々な取組や情報提供の充実を図ります。								全体事業内容						
									円滑な事業承継を行うための取り組みとして、承継時の様々な課題解決、関係機関との連携による支援策等の情報提供について検討する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
商工会員数		550人	573人	商工会員数		550人	571人	商工会員数		550人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
商工会と連携し、情報共有をし、事業継承に係る情報を市HPや広報等で周知を行った。			商工会と連携し、情報共有をし、事業継承に係る情報を市HPや広報等で周知を行った。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
事業継承に係る相談及び相談内容に合った適切な窓口案内を行う。			事業継承に係る相談及び相談内容に合った適切な窓口案内を行う。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		8	9	11	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	43104		事業名	中小企業融資利子補給事業								所管課	観光商工課	
事業概要	中小企業の経営の安定化及び事業に要する資金の融通の円滑化のため金融機関からの融資に対して利子の一部を補給し、中小企業の振興を図ります。								全体事業内容					
									設備・運転資金に対する利子補給 ○中小企業資金融資利子補給:約定年利率の1/2 ○小規模事業者融資資金利子補給:年1%以内・限度額20万円・5年以内					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
利子補給件数	25件	28件	利子補給件数	25件	47件	利子補給件数	30件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	1,488	1,268		1,882	1,882		2,208				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
中小企業資金融資利子補給については、新規融資件数が0件だったため、利子補給は1件であった。小規模事業者融資資金利子補給については補給率が高いため、利用者が多く27件であった。			中小企業資金融資利子補給については、令和6年度より利子補給率を上げたこともあり、新規融資件数が増加した。小規模事業者融資資金利子補給については補給率が高いため、利用者が多く39件であった。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
拡大			維持								
中小企業資金融資利子補給は令和6年度より補給利率を上げたので、新規融資件数の増を見込まれ、利子補給件数も増となる見込みである。			中小企業資金融資利子補給については、貸付金利が上昇したため、令和6年度と比べ、新規融資件数が減少となり、利子補給件数も見込みである。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	9	11	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	43201		事業名	「かつうら朝空マーケット」開催事業						所管課	観光商工課	
事業概要	イベントを実施するために必要な経費に対して補助金を交付し、地域資源のブラッシュアップを図るとともに、地域の活性化を促進します。							全体事業内容				
								朝市や商店街などの地域資源を活用し、多様な主体が連携した持続可能なイベントの実施に必要な経費の補助を行います。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
開催回数		12回	12回	開催回数		9回	9回	開催回数		9回					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		3,600	2,197			3,600	2,992			3,300					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			◎												
同時開催の朝空マルシェとの相乗効果もあり、朝市の活性化に寄与した。			朝市マルシェが令和6年度より開催をしなくなったが、朝空マーケットならではのイベントを実施することにより朝市及び地域活性化に寄与した。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
月1回の開催が定着し、認知されてきたので、今後、継続していくための企画等や事務経費の見直しを行い、事業の充実を図る。			普段体験できないイベントや商品を紹介するような企画を展開することで、市内ひいては市外からの来訪の促進を図る。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	9	11	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	43202		事業名	空き店舗対策事業						所管課	観光商工課	
事業概要	市内の空き店舗等を活用した起業や新規事業の展開を支援し、空き店舗等の利活用を推進します。							全体事業内容				
								商店街等の空き店舗棟を活用しての起業・創業を行う事業者に対し補助金を交付し、商店等事業者の事業承継を支援する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
新規創業者	2件	4件	新規創業者	3件	2件	新規創業者	3件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	2,000	1,995		3,000	1,500		3,000				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			○								
令和3年度から空き店舗等活用起業補助金を創設し、空き店舗等を活用した事業展開を支援した。空き店舗ではあるものの住宅兼用の物件が多く、円滑なマッチングが課題である。			申請は3件であったが、年度内に事業が完了しないため、結果2件となった。改装工事等の進捗状況等を密に申請者と打ち合わせをしながら、補助金の申請時期について考慮する必要がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
拡大			維持								
補助金を活用した支援を続ける一方、商工会と連携し起業希望者と物件の円滑なマッチングに努める。また、補助金上限額について増額の要望があるため、今後検討していく。			勝浦市での起業希望の相談件数は増加している一方、利用目的や立地条件に合致した空き物件とのマッチングが困難であり、起業希望者が空き店舗を独自に探している状況である。補助金を活用した支援を続けるとともに、商工会と連携して空き家情報の取得に努め、円滑なマッチングを図る。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	9	11	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	43203		事業名	商店街等活性化事業						所管課	観光商工課	
事業概要	商店街をはじめとした市内商業の活性化や組織強化等を図ることを目的とした勝浦市商工会や各種団体が取り組む事業を支援します。							全体事業内容				
								勝浦市商工会各種団体に対し、商店街等活性化のための支援を実施し、商店街等の活性化や組織強化を図る。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
商工会会員数		550人	573人	商工会会員数		550	571人	商工会会員数		550					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		5,680	5,680			5,680	5,680			4,883					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			○												
地域住民に足を運んでもらうため各商店会が創意工夫をし、親しみある商店街企画を実施した。			地域住民に足を運んでもらうため各商店会が創意工夫をし、親しみある商店街企画を実施した。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
消費低迷が続く商店街において、販売機会の創出による商店街の活性化を図る。			消費低迷が続く商店街において、販売機会の創出による商店街の活性化を図る。また、市外からの来訪を促進するためのイベントを実施する。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	-	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	43301	事業名	ふるさと納税返礼品を活用した市の魅力向上						所管課	【企画課】・観光商工課・農林水産課	
事業概要	ふるさと納税の返礼品を活用し、魅力ある地元産農林水産物等を全国にPRします。							全体事業内容			
								関係団体や事業者に対し、ふるさと納税の返礼品に関する情報提供や、返礼品としての登録に関しサポートを行うこと等により、地元産農林水産品や勝浦ならではのサービス等について全国にPRするとともに、地域産業の活性化の促進を図る。			

■事業評価書

競争率計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
返礼品の拡充		10品	23品	返礼品の拡充		10品	18品	返礼品の拡充		10品					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
◎			◎												
ふるさと納税の返礼品として、ふるさと納税制度を活用して、地元産農林水産品を全国にPRを図った。			ふるさと納税の返礼品として、ふるさと納税制度を活用して、地元産農林水産品を全国にPRを図った。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
引き続き、返礼品開発や既存返礼品の見直しを行い、地元産農林水産品を全国にPRを図る。			引き続き、返礼品開発や既存返礼品の見直しを行い、地元産農林水産品を全国にPRを図る。												

			関係課	観光商工課				
1.	施策名	4	人々が活気にあふれるまち(産業・観光・交流)					
		4	観光の振興					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	観光入込客数	327,140人	828,646人	1,007,713人	500,000人	
		指標2	宿泊者数	220,544人	314,312人	312,986人	300,000人	
		指標3	朝市への入込客数	46,633人	99,126人	154,908人	100,000人	
		指標4	観光の振興についての市民満足度	17.1%	—	—	向上	
3.	施策の展開一覧	① 観光資源の開発・強化						
		② 観光地としての魅力の向上と発信						
		③ オール勝浦での観光地づくり						
4.	二次評価	観光の振興については、コロナ禍が収束し、多数のメディアが「涼しいまち」として勝浦の観光地としての魅力を発信している効果により観光入込客数は目標を達成しているが、さらに関係人口の増加や地域経済の活性化につながる取り組みを推進すること。 入込客数と比較し宿泊者数は伸びていないため観光資源を点ではなく線・面でつなぎ滞在時間の延長や宿泊してもらえるよう、DMOを中心とした地域連携体制のもとで観光地づくりを強力に推進すること。						

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書			SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	44101		事業名	「かつうら若潮まつり」開催事業							所管課	観光商工課		
事業概要	花火大会を実施するにあたり必要な経費に対して補助金を交付し、観光振興を図ります。							全体事業内容						
								観光協会に対し、花火大会を中心としたイベントの実施に必要な経費の補助を行う。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
若潮まつり花火大会入込客数	4,000人	2,600人	若潮まつり花火大会入込客数	4,000人	3,700人	若潮まつり花火大会入込客数	10,000				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	650	650		590	585		5,000				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			○								
観光産業及び地域活性化を目的に勝浦市観光協会が主体となり実施しており、昨年度に引き続き、雑踏事故防止の観点から複数日開催としたうえで、花火打上発数の縮小して「若潮花火」として開催された。(勝浦4回・興津1回・各75発打上) 準備にかかる業務負担を含めた費用対効果について、検証する必要がある。			観光産業及び地域活性化を目的に勝浦市観光協会が主体となり実施しており、昨年度に引き続き、雑踏事故防止の観点から複数日開催としたうえで、花火打上発数の縮小して「若潮花火」として開催された。(勝浦4回・興津1回・各75発打上) コロナ禍後、観光客数は増加傾向にあるものの、地域の賑わいを取り戻すため、以前のような大規模な花火大会の開催を求める声がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
縮小			拡大								
勝浦市観光協会と協議し、開催方法等を検討する。			勝浦地区における大規模な花火大会の開催について、開催方法、開催時期等、様々な可能性について事務局である勝浦市観光協会や漁業協同組合等の関係者と協議する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		11	12	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	44102		事業名	「かつらビッグひな祭り」開催事業								所管課	観光商工課	
事業概要	イベントを実施するにあたり必要な経費に対して補助金を交付し、観光振興を図ります。							全体事業内容						
								実行委員会に対し、イベントの実施に必要な経費の補助を行う。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
かつらビッグひな祭り入込客数 (当該年度開催分)		150,000人	163,874人	かつらビッグひな祭り入込客数 (当該年度開催分)		200,000人	201,352人	かつらビッグひな祭り入込客数 (当該年度開催分)		200,000					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		9,500	9,500			4,658	4,658			4,659					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
準備・運営に係るスタッフの不足により、コロナ前同様の内容による開催は難しい状況であるが、限られた人的資源を有効に活用し、コンテンツの充実を図る必要がある。(令和5年度においては市役所全庁による職員応援を活用) 警備員の増員や物価の高騰により、開催経費が増加しており、企業版ふるさと納税制度の活用等による新たな財源確保が必須となる。			警備費用や物品のレンタル費用が物価高騰の影響で高額になるなか、人形保管料の見直しの実施を行うとともに、6年ぶりに芸術文化交流センター全館での展示を実施し、入館料収入を得ることで、イベント開催に必要な費用の確保を行った。 天候にも恵まれ来場者数は20万人を超えたが、経費の節減を図るため、事務局や市役所全庁による応援職員の負担が増加しており、見直しが必要と考える。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
新たな財源確保を模索しつつ、開催方法の検討を進め、事業継続が可能となる適正規模での開催を目指す。			マンネリを防ぐため人形展示に工夫や変化を加える必要がある。また、駐車場不足による交通渋滞を防ぐため、駐車場として民地の活用や、公共交通での来場を促す仕掛けについて検討する必要がある。 財源を確保しつつ、開催方法の検討を進め、事業継続が可能となる適正規模での開催を目指す。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	14	15	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	44103	事業名	朝市活性化事業						所管課	観光商工課	
事業概要	勝浦朝市の運営主体であるかつうら朝市の会と協力し、歴史ある勝浦朝市の活性化及び機能強化を図ります。						全体事業内容				
							重要な観光資源である勝浦朝市の来訪客及び出店者の増加を目指し、かつうら朝市の会と協力して、運営体制及びプロモーションの強化などを通して活性化を図る。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
朝市入込客数		100,000人	99,126人	朝市入込客数		120,000	154,908	朝市入込客数		130,000					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○				○											
歴史ある勝浦朝市の活性化を図るため、かつうら朝市の会と連携し、「朝空マーケット」の開催のほか、休憩所・トイレの管理を実施するとともに、新たに朝市通り周辺にベンチの設置するなど、出店者及び来訪者の増加につながるよう各種取組を実施した。 徐々にだが朝市出店者の多様性や若返りが図られているが、雨天時の対策などが課題である。				歴史ある勝浦朝市の活性化を図るため、かつうら朝市の会と連携し、「朝空マーケット」の開催のほか、休憩所・トイレの管理を実施した。 また、出店待ちが発生しており、新たな出店場所について協議を行った。 雨天時や平日の出店数の少なさが課題となっているが、農水産物販売や飲食サービスなど、店舗種類のバランスを図る必要がある。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				拡大											
朝市の活性化に合わせて商店街の活性化も同時に図る必要があり、効果的なイベントの開催方法等について検討する。 引き続き朝市出店者の多様性・若返りを図りつつ、朝市のさらなる活性化を図る。				出店場所の拡充については、下本町と仲本町とつなぐ市道上の利用について都市建設課に相談しており、かつうら朝市の会と情報共有しつつ、その可能性について検討する。 また、令和7年度に朝市の活性化のための補助金を新設することから、当該補助金の効果的な活用を図りつつ、かつうら朝市の会と連携し朝市のさらなる活性化を図る。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	44104		事業名	観光コンテンツ造成事業								所管課	観光商工課		
事業概要	多様化する観光ニーズに対応しつつ地域資源を活用した観光コンテンツの造成を推進します。								全体事業内容						
									観光協会と連携し、朝型観光や体験型観光など地域資源を活用した観光コンテンツの造成を推進し、観光資源の開発・強化に努めます。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
観光入込客数 (キャンプ・灯台・海の博物館)	80,000人	67,295人	観光入込客数 (キャンプ・灯台・海の博物館)	100,000人	74,391人	観光入込客数 (キャンプ・灯台・海の博物館)	100,000				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			△								
海洋性レクリエーション・キャンプ・灯台など、地域特性を活かした体験型観光コンテンツの造成は、顧客満足度の向上につながるものとする。 個々のコンテンツはあるものの、効果的なPR及び活用ができていない。			ハイキングコースとしての鵜原理想郷のPR強化を図るため、観光協会のHPについて修正を依頼し、実施された。その効果もあり当該ページのPV数は前年度比約1,200%と大幅に増加した。また、ハイキングの専門家のアドバイスにより駐車場に飲料の自動販売機を設置するなど、訪問者目線での改善を実施したが、公衆トイレの衛生面に関しては課題と考えている。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
拡大			拡大								
事業者と連携し、マリナクティビティや釣りなどの洋性レクリエーションなどの体験型観光コンテンツのほか、朝市を中心とした朝型観光コンテンツの造成を推進する。			鵜原理想郷のほか、勝浦灯台を含む八幡岬公園周辺エリアのハイキングコースとしての活用についても取り組む必要がある。 また、朝市と他の観光コンテンツとをパッケージとしてPRし、観光周遊の促進を図る。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	14	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	44105	事業名	海水浴場整備事業						所管課	観光商工課	
事業概要	海水浴場ごとの特徴を活かした差別化を進めるとともに、安全・安心の確保に努め、夏季観光のにぎわい創出を図ります。						全体事業内容				
							勝浦市安全・安心な海水浴場の確保に関する条例に基づき、関係団体等との連携のもと、適切な海水浴場の運営に努め、夏季観光における観光資源として地域活性化を図る。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
海水浴入込客数	180,000人	177,325人	海水浴入込客数	180,000人	170,480人	海水浴入込客数	180,000				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	41,846	41,553		36,307	36,307		37,982				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
コロナ禍が明け初めての開設となり、入込客数は前年度(約10万人)から増加したが、大きな水難事故はなく、安全な運営ができた。 ライフセーバーの人員確保が難しい中、支払い単価を上げることで対応したが、開設経費の増大が課題でなる。			ウォーターアイランドが開設される勝浦中央海岸については海水浴場を開設しないこととするとともに、開設後最初の2週の平日については例年の入込数等を勘案したうえで不開設日とするなど、経費の節減を図った。 また、勝浦ライフセービングクラブや地元観光協会との連携により、勝浦中央海岸を含めた海水浴場の安全を確保することができたものとする。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
縮小			維持								
費用対効果を検証するとともに、海水浴場ごとの特長を活かした差別化を図りつつ、安全・安心な海水浴場の運営に努める。			観光コンテンツとしての海水浴場の有用性や費用対効果について検証するとともに、海水浴場ごとの特長を活かした、安全・安心な海水浴場の運営に努める必要がある。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	14	15	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	44106		事業名	かつうら海中公園整備事業						所管課	観光商工課	
事業概要	かつうら海中公園周辺を通年型の観光拠点として整備・維持を図り、滞在型観光を推進します。							全体事業内容				
								・滞在型観光施設(eden)の施設維持管理や指定管理者による運営管理に係る事業 ・滞在型観光に寄与する施設整備(駐車場整備等)				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
海中公園の入込客数		150,000人	131,521人	海中公園の入込客数		150,000人	164,440人	海中公園の入込客数		155,000人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		46,422	32,885			42,564	16,159			40,629					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
△			○												
コロナ禍が明け海中公園の入込客数は増加しているが、滞在型観光施設(eden)の売上増加に結び付けられていない。ビジターセンターの取り壊し工事や、海の博物館隣接地(窪地)の整備工事が継続中であり、周辺環境整備の完了が待たれる。また、駐車場も含めた施設の適切な維持管理による観光地としての魅力向上が必要と考える。			コロナ禍後、海中公園の入込客数は増加しており、コロナ禍前の水準を超えている。滞在型観光施設(eden)の入込客数も微増に留まっている。多目的広場の整備工事やビジターセンターの取り壊し工事が完了したことで、今後、この地域の一体的な活性化が期待される。また、駐車場やトイレを含めた老朽した施設の適切な維持管理による観光地としての魅力向上が必要と考える。なお、海中公園展望塔における空調設備改修工事は後期延期に伴い次年度(R7)へ繰り越しとなった。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
継続中のビジターセンターの取り壊し工事や、海の博物館隣接地の整備工事の完了により周辺環境の整備が進むものと考ええる。海中公園センターや滞在型観光施設(eden)の指定管理者、千葉県等と連携し、観光拠点としての活性化を図っていく必要がある。			海中公園センターや滞在型観光施設(eden)の指定管理者、千葉県等と連携し、観光拠点としての活性化を図っていく必要がある。また、周辺の未活用の土地についても、民間企業による活用を含め、その活用を具体化する必要があると考える。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	14	15	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	44107		事業名	温泉観光活性化事業						所管課	観光商工課	
事業概要	観光資源である温泉を維持、発展を図り、持続可能な観光振興を推進します。							全体事業内容				
								観光資源である市内の温泉施設の保護を目的とした補助金を入湯税の特別徴収義務者に交付し、持続可能な観光振興を推進する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
				-		-	-	入湯税課税対象の入湯者数		170,000		入湯税課税対象の入湯者数		170,000	
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
						0	0			3,000					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
			○												
			温泉施設を有する宿泊事業者との意見交換を行うなど、令和7年度に新設する温泉観光活性化補助金の制度設計や予算措置等の準備を行った。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
			拡大												
			令和7年度に新設する温泉観光活性化補助金について周知を図るとともに、温泉観光を勝浦市における観光コンテンツの1つとしてのアピールする必要がある。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	44201		事業名	インバウンド観光事業							所管課	観光商工課			
事業概要	外国人観光客の誘客に向けて多言語対応型の情報発信や利便性向上等を推進します。							全体事業内容							
								外国人旅行者に対し、観光看板や観光ガイドブックの多言語化を進め、情報提供体制を整備する。また、訪日教育旅行の受入を推進する。							

■事業評価書

競争計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
外国人入込客数(宿泊)		10,000人	2,982人	外国人入込客数(宿泊)		10,000人	3,193人	外国人入込客数(宿泊)		10,000					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
△			△												
コロナ禍が明けたこと、また、円安の影響により、訪日客の増加が期待できる中、誘客に向けた十分な対応が実施できていない状況である。			地域として外国人観光客の受入に対する機運が醸成されておらず、誘客に向けた十分な対応が実施できていない状況である。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
拡大			維持												
訪日教育旅行の受入をはじめ、インバウンド回復に向けた取組を推進する。			外国人観光客の誘客に向けた取組について観光関連団体等と協議し、その方向性や取組内容について検討する必要がある。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	9	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	44202	事業名	観光宣伝事業						所管課	観光商工課	
事業概要	多様な観光資源の魅力や情報を積極的に発信し、観光振興を図ります。						全体事業内容				
							観光ガイドブックの作成や勝浦市観光協会との情報の一元化を図り、戦略的な情報発信を推進する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
観光入込客数(全体)		1,197千人	829千人	観光入込客数(全体)		1,197千人	1,002千人	観光入込客数(全体)		1,197千人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		9,877	9,793			12,019	11,590			5,677					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○				○											
観光PRイベントへの出展や観光パンフレット配布のほか、観光情報を勝浦市観光協会HPへ集約し、情報発信の充実・一元化を図っている。 また、東京駅京葉線通路や市原市・鴨川市の国道にPR看板を設置し、本市の魅力発信に努めた。 地域おこし協力隊によるテレビ・映画の撮影の受入れサポートなど、効果的に実施できているもの考える。				観光PRイベントへの出展や観光パンフレット配布のほか、観光情報を勝浦市観光協会HPへ集約し、情報発信の充実・一元化を図っている。 また、東京駅京葉線通路や市原市・鴨川市の国道にPR看板を設置し、本市の魅力発信に努めた。 地域おこし協力隊によるテレビ・映画の撮影の受入れサポートや、JRと連携した観光PRなど、効果的に実施できているもの考える。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
観光客の情報収集方法が変化していることから、観光プロモーションのあり方を検討し、情報発信の充実に努める。 現在の地域おこし協力隊の任期が令和6年度中に終了することから、当該協力隊が担っていた役割・業績の評価を行うとともに、取組の継続について検討する必要がある。				観光コンテンツごとに観光客の情報収集方法が異なることから、誘客ターゲットに適した、観光プロモーションのあり方を検討し、情報発信の充実に努める必要がある。 地域おこし協力隊が担っていたフィルムコミッション事業については、本市の重点施策に位置付け、地域プロジェクトマネージャー制度の活用による、さらなる推進を図る。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	15	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	44203		事業名	観光施設等美化整備・維持管理事業						所管課	観光商工課	
事業概要	観光施設等の植栽管理等、美化整備及び維持管理を行い、環境と景観に配慮した環境整備を推進します。						全体事業内容					
							観光施設等の植栽管理等、美化整備及び維持管理を行い、環境と景観に配慮した環境整備を推進します。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
観光入込客数(全体)	1,197千人	829千人	観光入込客数(全体)	1,197千人	1,002千人	観光入込客数(全体)	1,197千人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	23,393	21,944		25,638	25,638		23,063				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			○								
官軍塚公園・植村記念公演・八幡岬公園やそれらを結ぶ観光道路などの観光施設等の植栽管理や美化整備を行い、環境と景観に配慮した環境整備を図った。 老朽化が進む公衆トイレの維持管理や、草刈りを含む植栽管理の経費負担が課題である。			官軍塚公園・植村記念公演・八幡岬公園やそれらを結ぶ観光道路などの観光施設等の植栽管理や美化整備を行い、環境と景観に配慮した環境整備を図った。 特に公衆トイレの詰まりや故障箇所の修繕については、早期の対応に努めたが、老朽施設の維持管理や、草刈りを含む植栽管理の経費負担が課題である。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
公衆トイレ等の修繕や更新計画的に実施するとともに、市民や観光客への環境美化への理解を啓発し、観光地としての魅力向上を図る必要があると考える。			公衆トイレ等の修繕や更新計画的に実施するとともに、市民や観光客への環境美化への理解を啓発し、観光地としての魅力向上を図る必要があると考える。 令和7年度より公衆トイレの特別清掃(外壁や内装の清掃)を順次実施する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	44204		事業名	観光周遊行動促進事業								所管課	【観光商工課】・企画課		
事業概要	観光地としての一体性を高めるため、点在する観光資源の情報発信・周知等を強化することにより、観光客の周遊を促進します。								全体事業内容						
									観光施設等の案内看板や誘導看板の設置や多様な移動手段の活用等により、観光客の周遊を促進する。						

■事業評価書

競争計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
観光入込客数 (朝市・eden)	150千人	134千人	観光入込客数 (朝市・eden)	150千人	192千人	観光入込客数 (朝市・eden)	171千人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			○								
観光拠点となる勝浦朝市や滞在型観光施設(eden)のほか、観光資源としての神社仏閣の活用により、市内観光の周遊性を促進した。			観光拠点となる勝浦朝市や滞在型観光施設(eden)のほか、ハイキングコースとして鵜原理想郷の情報発信の強化を行い、市内観光の周遊性を促進した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					今後の方向性	今後の展望	
拡大			維持								
HPやSNSのほか、パンフレット等の媒体を利用し、各観光資源の魅力を発信をするとともに、市内公共交通やレンタカー・レンタサイクル等の二次交通を活用した周遊プランの提供等が有効と考える。			朝市と他の観光コンテンツとをパッケージ化したPRを行うことで、周遊観光の促進につなげる。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	11	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	44205		事業名	フィルムコミッション事業						所管課	観光商工課	
事業概要	映画・ドラマ・CM・テレビ撮影等の誘致促進による地域経済の活性化及び地域の魅力発信に向けた取組を推進します。						全体事業内容					
							地域プロジェクトマネージャー制度を活用しつつ、勝浦市観光協会、地域住民や地元事業者等との相互協力のもと、映画・ドラマ・CM・テレビ撮影等の誘致促進による地域経済の活性化及び地域の魅力発信に向けた取組を実施する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
				市内撮影サポート実績	80件	110件	市内撮影サポート実績		100件		市内撮影サポート実績		80件		
		R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額	
					1,073	992			6,759						
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
			○												
			令和2年1月より地域おこし協力隊制度を活用した取組の1つとして、映画・ドラマ・CM・テレビ撮影等のサポートを実施しており、令和7年1月からは市の重点施策に位置付けたうえで、地域プロジェクトマネージャー制度を活用し、さらなる取組推進を図ることとした。観光地としての魅力が発信されるとともに、年間を通じて過ごしやすい気候がPRされることで、移住相談件数が増加しており、各種撮影サポートの取組は、観光入込客数、交流人口、定住人口の増加に寄与していると考える。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					今後の方向性	今後の展望					
			維持												
			引き続き、各種撮影サポートを実施することで、観光入込客数、交流人口、定住人口の増加を図る。												

■実施計画事業調書

SDGs	-	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	44206	事業名	駐車場対策事業	所管課	観光商工課
事業概要	市営駐車場の適正な管理運営や民間駐車場の活用等を促進し、駐車場不足や交通渋滞の緩和による、入込客数の増加や満足度の向上を図ります。			全体事業内容	
				かつうら海中公園立体駐車場、墨名駐車場、出水駐車場の適正な管理運営や、官民の未利用地を活用した駐車場シェアリングサービスの導入を促進することで、駐車場不足や交通渋滞の緩和による、入込客数の増加や満足度の向上を図る。	

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
				年度末時点の 市内akippa登録台数	50台	0	年度末時点の 市内akippa登録台数	60台		年度末時点の 市内akippa登録台数	70台				
		R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額			
					2,010	1,157		0							
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
			×												
			市営駐車場(墨名・出水)の適正な管理運営及び財源確保を目的に令和7年4月からの有料化に向けた準備を進めた。 また、官民の未利用地を活用した駐車場シェアリングサービスの導入を促進するため㈱akippaと包括連携協定を締結したが、サービス導入は進んでいない。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					今後の方向性	今後の展望					
			維持												
			令和7年4月から有料化される市営駐車場(墨名・出水)について、指定管理者と連携し適正運営に努めるとともに、効果的な周知やサポートの実施により駐車場シェアリングサービスの導入を促進する。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	14	15	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	44301		事業名	観光協会組織強化事業						所管課	観光商工課	
事業概要	観光地域づくり法人(DMO)である(一社)勝浦市観光協会を中心とした観光地経営の視点に立った観光地づくりを進めるため、体制づくり等を支援します。							全体事業内容				
								勝浦市観光協会を中心とした観光関連事業者と連携した観光地づくりを推進するため、必要な支援を行う。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
観光入込客数(全体)	1,197千人	829千人	観光入込客数(全体)	1,197千人	1,002千人	観光入込客数(全体)	1,197千人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	5,600	5,600		3,733	3,733		3,733				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			○								
地域活性化起業人(JRからの派遣)を委嘱し、観光コンテンツの企画・立案・実行及び観光プロモーションを実施した。 当該地域活性化起業人の任期が令和6年度中に終了することから、取組の継続制が危惧される。			令和3年12月より地域活性化起業人(JRからの派遣)を委嘱し、観光コンテンツの企画・立案・実行及び観光プロモーションを実施してきたが、令和6年11月末での任期満了をもって退任されたことから、同様の取組の継続は難しい状況である。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
地域DMOである勝浦市観光協会の組織強化を図り、観光関連事業者と連携したオール勝浦での観光振興体制づくりを進める。 新たな地域活性化起業人の活用を検討すると共に、勝浦市観光協会における収益事業の実施を推進し、自立に向けた取組を促進する。			地域DMOである勝浦市観光協会の組織強化を図り、観光関連事業者と連携したオール勝浦での観光振興体制づくりを進めるとともに、退任された地域活性化起業人の出身企業であるJRとの連携を継続する。 また、新たな地域活性化起業人の活用を検討すると共に、勝浦市観光協会における収益事業の実施を推進し、自立に向けた取組を促進する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	14	15	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	44302		事業名	観光地域づくり推進事業						所管課	観光商工課	
事業概要	観光交流施設等を拠点に、関係団体と連携した魅力ある観光地づくりを推進し、観光振興を図ります。						全体事業内容					
							観光交流施設の指定管理業務及び観光関連事業者等との関係団体と連携した観光地づくりに係る取組を実施する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
観光入込客数(全体)	1,197千人	829千人	観光入込客数(全体)	1,197千人	1,002千人	観光入込客数(全体)	1,197千人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	25,018	24,912		25,908	25,908		25,540				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			○								
地域DMOである勝浦市観光協会を中心に、情報の一元化を図り、HPの充実やSNSを活用した情報発信や観光案内を行った。 また、地域の魅力や価値を向上させることを目的に、観光振興の取組に関する知見を有する根津久一郎氏を観光アドバイザーとして委嘱した。			地域DMOである勝浦市観光協会を中心に、情報の一元化を図り、HPの充実やSNSを活用した情報発信や観光案内を行った。 また、地域の魅力や価値を向上させることを目的に、観光振興の取組に関する知見を有する根津久一郎氏を観光アドバイザーとして委嘱した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、関係団体と連携し、経済の域内好循環による魅力ある観光地づくりを推進する。			引き続き、関係団体と連携し、経済の域内好循環による魅力ある観光地づくりを推進する。								

				関係課	企画課・観光商工課・情報政策課・農林水産課			
1.	施策名	4	人々が活気にあふれるまち(産業・観光・交流)					
		5	移住・定住の促進					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	人口の社会増減数	▲167人	▲125	▲127	0人	
		指標2	空き家バンク登録件数	2件	7件	15件	10件	
		指標3	空き家バンク成約件数	4件	6件	12件	10件	
		指標4	移住・定住ポータルサイト「日々、かつうら」PV数	23,373PV	83,530PV	206,839PV	48,000PV	
		指標5	勝浦市に住みたいと思っている市民の割合	73.7%	—	—	83.70%	
3.	施策の展開一覧	① 移住・定住の促進						
		② 自然環境の活用等による関係人口創出						
4.	二次評価	移住・定住の促進について、都心から近く「涼しいまち」としてメディアに取り上げられ、移住・定住ポータルサイトのPV数や移住相談件数は順調に増えており、勝浦市の魅力発信は非常に効果を上げている。 注目が集まるなかで、実際に移住・定住するためには住宅や働く場の確保などの課題があり、空き家バンク制度の推進も含め課題を解決するための取り組みを推進すること。						

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	8	11	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	45101		事業名	移住・定住促進事業						所管課	企画課	
事業概要	移住希望者に対する住まいや雇用の情報提供の充実など、移住・定住に係る事業を推進します。						全体事業内容					
							定住促進ホームページ及びSNSや移住関連イベントへの出展等により、勝浦の魅力や市内事業者等の求人情報など、移住・定住促進に向けた情報を発信する。					

■事業評価書

競争計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
移住希望者に対する情報提供(相談)件数	400件	388件	移住希望者に対する情報提供(相談)件数	400	548件	移住希望者に対する情報提供(相談)件数	550				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	8,244	6,992		10,538	10,472		17,413				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			◎								
ホームページやSNSを通じて情報発信をし、移住促進に寄与した。			ホームページやポータルサイト、SNSを通じて情報発信をし、令和5年度より大きく相談件数が伸び、移住促進に寄与した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
ホームページの情報からの問合せも多くあり、地方暮らしへの関心も高いため、ホームページの内容を充実させるなど情報発信を行っていく。			ホームページやポータルサイトからの問合せも多くあり、地方暮らしへの関心も高いため、ホームページやポータルサイトの内容を充実させるなど情報発信を行っていく。SNSのフォロワー数も増加傾向にあり、SNSからポータルサイトへの流入も見込めるため、SNSでも積極的に情報発信を行っていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	45102		事業名	ワーケーションの推進								所管課	観光商工課		
事業概要	余暇を楽しみつつ仕事を行うテレワーク等を活用したワーケーションの普及・受入を促進し、交流人口・関係人口の増加及び観光関連事業の活性化を図ります。								全体事業内容						
									PR等の情報発信・受入施設調査及び環境整備・モニターツアー企画等による企業等との関係性の構築について検討する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
ワーケーション向けの施設紹介件数		(目標設定なし)	8件	ワーケーション向けの施設紹介件数		(目標設定なし)	8件	ワーケーション向けの施設紹介件数		(目標設定なし)					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
-			-	-			-	-			-				
観光協会のHPでワーケーション向けの施設の紹介を行った。				観光協会のHPでワーケーション向けの施設の紹介を行った。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持	-			-	-			-				
ワーケーション対応施設について情報発信を行う。				ワーケーション対応施設について情報発信を行う。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	8	11	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	45103		事業名	若者等定住促進事業						所管課	企画課	
事業概要	若者等が安心して生活できる住宅環境の確保や就業と併せた移住に対して奨励金等を交付することで、本市への移住・定住を促し、活力ある地域づくりを推進します。							全体事業内容				
								「住宅の取得」及び「賃貸住宅へ入居」した若者夫婦(40歳以下)を対象に、若者等定住促進奨励金(①若者等住宅取得奨励金・②若者等賃貸住宅入居奨励金)を交付する。東京23区から移住・就業し各要件を満たす者に対し移住支援金(③移住支援事業支援金)を交付する。 ①1世帯:600,000円 ②1世帯:100,000円(転入世帯の場合は100,000円を加算) ③1世帯:1,000,000円・単身:600,000円				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
若者等定住促進奨励金の申請件数	38件	28件	若者等定住促進奨励金の申請件数	52件	26件	若者等定住促進奨励金の申請件数	40件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	23,200	15,400		23,800	17,300		22,300				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			△								
R4年度よりも大きく件数が伸び、移住及び定住の促進に効果があった。			若者世帯の移住・定住促進にとって金銭的負担の軽減は有効であると考え る。若者定住促進奨励金に関して、住宅契約からタイトな申請期間を緩和す るため、の申請期間を令和6年8月から取得に関しては90日を180日に、賃 貸に関しては60日を90日に延ばした。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
拡大			維持								
移住及び定住をさらに促進させるため、新婚世帯の住居に係る費用の補助 などを行っていく。			移住及び定住をさらに促進させるため、既存の補助の周知などを行ってい く。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	8	11	会計区分		一般	再掲区分		-	
事業番号		45104		事業名		空き家活用推進事業						所管課		企画課	
事業概要		空き家の活用による定住促進及び地域の活性化を図ります。						全体事業内容							
								空き家バンク制度を活用し、情報提供をするとともに、空き家活用奨励金の交付により空き家の活用を促進する。							

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
空き家バンクの新規登録物件数	17件	7件	空き家バンクの新規登録物件数	15件	15件	空き家バンクの新規登録物件数	15件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	700	484		4,495	3,578		5,415				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			◎								
令和5年10月から任用した地域おこし協力隊空き家活用推進業務の隊員による空き家総合相談窓口を設けたことで、空き家所有者からの相談が増加したが、登録物件が目標件数の半数以下であったため、次年度以降の空き家所有者へのアプローチを見直し、空き家バンクの活用を促進する必要がある。			空き家流通促進補助金を令和6年度から開始し、物件登録数が増加したが、引き続き空き家所有者へのアプローチを行い、空き家バンクの活用を促進する必要がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
拡大			維持								
空き家流通促進補助金を創設し、既存住宅市場に流通していない空き家を掘り起こすとともに、空き家バンクの活用を促進することで、新規登録物件を増やす。			空き家流通促進補助金を周知し、既存住宅市場に流通していない空き家を掘り起こすとともに、空き家バンクの活用を促進することで、新規登録物件を増やす。								

				関係課	観光商工課		
1.	施策名	4	人々が活気にあふれるまち(産業・観光・交流)				
		6	働く場の確保				
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)
		指標1	誘致企業による新規雇用者数	0人	0人	0人	10人
		指標2	創業塾受講者数	8人	12人	17人	10人
		指標3	職業・働く場の確保についての市民満足度	9.9%		－	向上
3.	施策の展開一覧	① 企業誘致の促進					
		② 起業・雇用の促進					
4.	二次評価	働く場の確保について、創業塾受講者数は年々増えており、起業・創業を支援する取り組みの成果と評価できる。 企業誘致の取り組みは、なかなか成果に繋がりがづらいが企業立地における租税優遇措置制度などのメリットをPRするなど継続的な取り組みを推進すること。					

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	9	11	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	46101		事業名	企業立地の推進						所管課	観光商工課	
事業概要	本市の特性や豊富な地域資源、都心からの好アクセスを活かした戦略的な誘致活動により企業立地を推進するとともに、既存企業の育成に努めます。						全体事業内容					
							企業立地奨励金制度や租税優遇措置の周知により積極的な活用を促進し、市外からの企業誘致や市内既存企業の事業拡張等の支援を図る。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
企業立地件数	1件	0件	企業立地件数	1	1	企業立地件数					
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	44	16		104	17		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×			◎								
旧清海小学校校利活用を中心に企業誘致促進を図ったが、公募型プロポーザルは不調であった。			市内製造業の業者の設備投資に対し、奨励金を交付した。 旧清海小学校の利活用について企業誘致促進を図るべく、公募型プロポーザルを実施し、事業者を選定した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
本市の地理的状況等を踏まえ、特性にあった企業誘致を進める。			企業立地奨励金について、交付対象業種の拡充等を検討していく。 また、令和7年4月1日より、空き公共施設を活用し、事業者による事業がスタートすることから、地域活性化のため地域住民と協働し活動していくために市がパイプ役となり円滑に事業が実施されるよう引き続きサポートしていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	9	11	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	46201		事業名	起業・創業支援事業						所管課	観光商工課	
事業概要	創業支援事業計画に基づき、勝浦市商工会をはじめとする各種団体と連携し、起業・創業希望者に対する相談支援体制等の強化を図ります。							全体事業内容				
								特定創業支援事業者である勝浦市商工会と連携し、創業相談窓口の設置・広報誌・ホームページ等での周知による創業希望者の掘り起こし等、支援体制の強化について検討する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
新規創業者	2件	4件	新規創業者	3件	3件	新規創業者	3件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
特定創業支援者である商工会主催による創業塾が開催され、受講生から創業に至った事業者があった。また、創業に関する融資への利子補給により創業に向けた支援を行った。			特定創業支援者である商工会主催による創業塾が開催され、受講生から創業に至った事業者があった。また、創業に関する融資への利子補給により創業に向けた支援を行った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
拡大			維持								
商工会をはじめとする各種団体と連携し、創業希望者の掘り起こしや相談、創業塾の開催等により創業支援に努める。			商工会をはじめとする各種団体と連携し、創業希望者の掘り起こしや相談、創業塾の開催等により創業支援に努める。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	46202		事業名	企業と求職者とのマッチング事業								所管課	観光商工課		
事業概要	関係機関等と連携して事業者の求人についての条件等を調査・把握し、移住希望者及び就職支援対象者をフォローする体制整備を推進します。								全体事業内容						
									市内事業所の求人情報の調査・把握及び求職者・移住希望者へPR、就職面接会や企業説明会等、対象者の状況に合わせた相談・取組等の支援をし、出会いの機会の創出について検討する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
相談者数	2件	2件	相談者数	2件	2件	相談者数					
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
移住及び起業を検討している方に空き店舗物件の紹介や起業相談等を行った。移住を検討している方に対しての空き物件等が少ないことが課題である。			移住及び起業を検討している方に空き店舗物件の紹介や起業相談等を行った。移住を検討している方に対しての空き物件等が少ないことが課題である。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
空き物件等の情報を関係機関と共有し、移住を検討する方の希望に適した提案を行う。			空き物件等の情報を関係機関と共有し、移住を検討する方の希望に適した提案を行う。								

				関係課	都市建設課・観光商工課		
1.	施策名	5	快適な環境で過ごせるまち(道路・交通・生活基盤・環境)				
		1	良好な市街地等の形成				
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)
		指標1	地積調査完了面積	0.0km ²	0.81km ²	0.87km ²	2.9km ²
		指標2	公園・子どもの遊び場についての市民満足度	19.8%	—	—	向上
		指標3	暮らしやすいと感じている市民の割合	54.7%	—	—	70.0%
3.	施策の展開一覧	① 計画的な土地利用の推進					
		② 景観・美観に配慮したまちづくりの促進					
4.	二次評価	良好な市街地等の形成については、長期的視点にたって都市計画マスタープランを見直し、コンパクトな市街地形成と本市の特性を十分に生かした計画的な土地利用を推進すること。 地籍調査事業については、着実に計画的に進めていくこと。					

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		11	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	51101		事業名	コンパクトな都市的土地利用の実現								所管課	都市建設課	
事業概要	生活環境や自然保護の保全に留意した市街地形成のため、土地利用の規制・誘導に努めます。								全体事業内容					
									用途地域や建築基準法に基づく建築形態制限により、自然環境や生活環境の保全に留意した市街地形成のための土地利用の規制誘導に努める。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
検討事業のため、評価方法の設定なし	—	—	検討事業のため、評価方法の設定なし	—	—	検討事業のため、評価方法の設定なし	—				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	—	—		—	—		—				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
—			—								
既存市街地の保全は規制誘導等により維持可能と考えられるが、人口減に伴う都市機能の集約に関しては自然的・文化的環境の制約により難しい。			既存市街地の保全は規制誘導等により維持可能と考えられるが、人口減に伴う都市機能の集約に関しては自然的・文化的環境の制約により難しい。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き情報収集に努め、人口に見合った都市構造を模索していく。			引き続き情報収集に努め、改定を行っている都市計画マスタープランに沿った人口に見合った都市構造を模索していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			10	11	16	会計区分		一般	再掲区分		-	
事業番号		51102		事業名		地籍調査事業							所管課		都市建設課	
事業概要		土地の地籍を明らかにし、土地に関するトラブルや不公平性の解消、各種事業経費の抑制に努めます。						全体事業内容								
								国有林や水面を除く勝浦市域全体77.4km ² 。 事業実施期間50年。								

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
事業実施地区数	3地区	3地区	事業実施地区数	3地区	3地区	事業実施地区数	3地区				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	86,296	86,089		106,164	105,983		182,272				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
年々、交付金交付率の減少が続いているため、当初実施計画に比べ遅れが生じてきている。			計画的な事業実施を行うため補助メニューの見直しを含めた検討が必要と思われる。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き市域全体の地籍調査を計画に沿って実施していく。			引き続き市域全体の地籍調査を計画に沿って実施していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	51103		事業名	都市計画マスタープランの更新								所管課	都市建設課		
事業概要	上位計画である総合計画に即し、都市計画マスタープランを更新します。								全体事業内容						
									都市機能集約による生活利便性の向上や産業の活性化、観光資源の魅力向上、防災力強化のほか、多様に変動する社会に対応できる都市計画マスタープランの構築を図る。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
計画年度ではないため、目標値なし	—	—	勝浦市都市計画マスタープランの改定を行う。(2ヶ年計画の1年目)	1式	1式	勝浦市都市計画マスタープランの改定を行う。(2ヶ年計画の2年目)	1式				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	—	—		13,443	45		16,090				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
—			◎								
県の区域マスタープラン改定に伴う説明会に参加し、次年度より実施予定の市の都市計画マスタープラン改定についての事前検討を行った。			県の区域マスタープランと市の都市計画マスタープランとを並行して改定作業を実施しており、本年度については、計画とおり作業が進捗している。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
県の区域マスタープラン改定に内容に則し、令和6年度、令和7年度の2ヶ年計画で、都市計画マスタープラン改定を行う。			県の区域マスタープランと市の都市計画マスタープランとの整合を図るため、県改定作業の進捗を注視しつつ、次年度においても計画に沿った改定作業を実施する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	14	15	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	51201		事業名	景観法に基づく景観計画の検討						所管課	都市建設課	
事業概要	自然景観との調和に留意した環境整備のための景観法に基づく景観計画策定について、研究及び検討します。							全体事業内容				
								千葉県や県内市町村と情報交換・調査研究を行うとともに、広域的な景観計画についても連携し取組を行う。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
計画策定のための検討を行う。	—	—	計画策定のための検討を行う。	—	—						
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	—	—		—	—						
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
—			—								
景観計画による誘導や規制を要する動態に乏しいため、引き続き情報収集等を行う必要がある。			景観計画による誘導や規制を要する動態に乏しいため、引き続き情報収集等を行う必要がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、景観行政団体への移行検討を含め情報収集等に努める。			引き続き、景観行政団体への移行検討を含め情報収集等に努める。								

■実施計画事業調書

SDGs	-	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	51202	事業名	自然と調和した市街地景観の保全	所管課	都市建設課
事業概要	公園の管理や街路樹の整備等、自然環境との調和に留意した環境保全に努めます。			全体事業内容	
				勝浦駅南口駅前広場の維持管理を適切に実施するとともに、公園の管理や街路樹の整備などの自然環境との調和に留意した環境保全に努める。	

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
JR勝浦駅前広場の緑化維持	年3回	年3回	JR勝浦駅前広場の緑化維持	年3回	年3回	JR勝浦駅前広場の緑化維持	年3回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	25,594	24,901		14,096	13,443		16,173				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
駅前広場の樹木剪定など景観に留意した緑化維持を図った。 また、市内公園の維持管理のほか、遊具の更新等を行った。			駅前広場の樹木剪定など景観に留意した緑化維持を図った。 また、市内公園の維持管理のほか、遊具の更新等を行った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、敷地の緑化など自然環境との調和に留意した環境保全に努める。			引き続き、敷地の緑化など自然環境との調和に留意した環境保全に努める。								

				関係課	都市建設課・学校教育課		
1.	施策名	5	快適な環境で過ごせるまち(道路・交通・生活基盤・環境)				
		2	道路整備等の推進				
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)
		指標1	国・県道改良率	94.3%	94.3%	94.3%	96.0%
		指標2	市道改良率	77.8%	77.8%	77.8%	82.0%
		指標3	国道・県道などの主要道路の整備についての市民満足度	42.6%	—	—	向上
		指標4	身近な生活道路の整備についての市民満足度	41.4%	—	—	向上
3.	施策の展開一覧	① 骨格幹線道路の整備と機能強化					
		② 生活道路・橋りょう・トンネルの維持管理・改良					
4.	二次評価	道路整備等の推進について、国・県道は住民にとって重要な道路であるため整備促進と維持管理を関係機関に継続的に要望していくこと。特に国道297号は観光や地域の経済活動に重要な幹線道路であり、緊急輸送道路にも指定されていることから早期の整備を強力に要望していくこと。 市民生活に身近な市道については、橋りょう・トンネル等の計画的な維持管理、整備を実施するとともに日常的な機能維持・美化活動については地域と協働した取り組みを推進すること。					

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		11	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	52101		事業名	国県道の整備促進							所管課	都市建設課		
事業概要	国県道の整備促進を関係機関に要請し、市民の利便性向上に努めます。							全体事業内容						
								国道297号整備促進期成同盟や市長会を通じ国や県に対して整備促進を要請する。 松野バイパス早期完成・国県道狭隘箇所の改良・歩道整備・草刈りによる安全確保等を要望内容とする。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
要望活動の実施	1件	1件	要望活動の実施	1件	1件	要望活動の実施	1件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	26	26		26	26		13				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
国道297号整備促進期成同盟として、市原市、大多喜町の構成団体の参加のもと、県土整備部関係者に要望書を提出した。また、企画課を通じ千葉県市長会として要望書を提出した。			国道297号整備促進期成同盟として、市原市、大多喜町の構成団体の参加のもと、県土整備部関係者に要望書を提出した。また、企画課を通じ千葉県市長会として要望書を提出した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き要望活動を実施する。			引き続き要望活動を実施する。								

■実施計画事業調書

SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	----	---	---	------	----	------	---

事業番号	52102	事業名	地域高規格道路の整備促進	所管課	都市建設課
事業概要	地域高規格道路の整備を関係機関に要請し、観光振興や産業発展の促進及び市民の利便性の向上に努めます。			全体事業内容	
				高規格道路「茂原・一宮・大原道路」「鴨川・大原道路」建設促進期成同盟会による要望活動を実施する。	

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
要望活動の実施	1件	1件	要望活動の実施	1回	1回	要望活動の実施	1回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			◎								
高規格道路「鴨川・大原道路」早期建設促進期成同盟会の解散に伴い、新たな団体となる高規格道路「茂原・一宮・大原道路」「鴨川・大原道路」建設促進期成同盟会を発足し、千葉県知事に対し要望書を提出した。 今後においても、外房地域が一体となり、引き続き高規格道路の建設実現に向け活動を行う。			高規格道路「茂原・一宮・大原道路」「鴨川・大原道路」建設促進期成同盟会の会員として、千葉県知事に対し要望書を提出した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き要望活動を実施する。			引き続き要望活動を実施する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	52201	事業名	道路構造物長寿命化事業						所管課	都市建設課	
事業概要	橋りょう、トンネル等の道路構造物の長寿命化を図り、市民の利便性の向上及び安全性の確保に努めます。				全体事業内容						
					橋梁:キリギリス山田川線(部原2号橋)、新官谷線(新官1号橋)、久保風通線(海老根橋)、立石炭台線(浜行川1号橋)、堀切向小原線(赤羽根1号橋)、未永線(上植野2号橋)、秋田山形線(高仙戸橋)、高橋川間線(平田橋)、中谷関谷線(中谷橋)、屋津崖下線(墨名1号橋)、川津萬名浦線(勝浦1号橋) 修繕 11橋、設計 11橋、点検 111橋 トンネル:川向回向坊線(番蔵隧道)、須野式ノ谷赤坂線(須野隧道)、部原川津勝浦線(万名浦第二隧道)、墨名部原線(新官隧道)、墨名部原線(出水隧道) 修繕 4隧道、設計 5隧道、点検 31隧道、計画策定 1式						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
補修完了箇所	—	3箇所	補修完了箇所	9箇所	4箇所	補修完了箇所	10箇所				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	46,085	46,084.04		12,405	11,494		95,808				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			×								
計画的に橋梁修繕・架替えを実施することによりコスト縮減が図られるため、今後も計画的に橋梁修繕・架替えが行われるよう努める。 計画的にトンネル修繕を実施することによりコスト縮減が図られ、計画的に修繕が行われるよう努める。			計画的に橋梁修繕・架替えを実施することによりコスト縮減が図られるため、今後も計画的に橋梁修繕・架替えが行われるよう努める。 計画的にトンネル修繕を実施することによりコスト縮減が図られ、計画的に修繕が行われるよう努める。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き計画的な整備に努める。			引き続き計画的な整備に努める。								

■実施計画事業調書

SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	----	---	---	------	----	------	---

事業番号	52202	事業名	交通安全施設整備事業	所管課	都市建設課
事業概要	ガードレール及びカーブミラー等の交通安全施設整備を図り、市民の安全性の確保に努めます。			全体事業内容	
				転落防止柵設置 杉戸山田川線(部原)、大作1号線(守谷)、中ノ台小清田線(串浜)、中島堀込線(中島)、勝浦荒川線(串浜)、部原川津勝浦線(川津)、廣田線(杉戸) ガードレール L=136m、カーブミラー L=98m カーブミラー 20基	

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
新規修繕設置延長		15.0m	153.8m	新規修繕設置延長		77.0m	296.5m	新規修繕設置延長		134.0m					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		8,314	8,048.785			9,050	9,050			4,721					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			◎												
道路状況を精査し、危険度の高い順に計画をもって整備していく。			道路状況を精査し、危険度の高い順に計画をもって整備していく。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
引き続き計画的な整備に努める。			引き続き計画的な整備に努める。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	52203	事業名	災害防除事業						所管課	都市建設課	
事業概要	災害に強い道路づくりを推進し、市民の安全性の確保に努めます。							全体事業内容			
								松部吉尾鶴原線(鶴原)、李×坊前線(中谷)、松野中倉市野川線(中倉)、部原川津勝浦線(川津)、折越下寺下線(松野)、部原川津勝浦線(川津)、部原川津勝浦線(新官)、部原川津勝浦線(新官) 吹付 A=829㎡、法枠外 A=704㎡、落石防止網 A=113㎡、落石防護柵 L=46m、仮設防護柵 L=12m、点検 1式、計画策定 1式			

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
工事完了面積		1019.0㎡	793.5㎡	工事完了面積		1,460.0㎡	796. 5㎡	工事完了面積		1473.0㎡					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		72,334	2,923.1			45,510	44,005			2,552					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
△			△												
重要路線と危険度を見極め計画的な整備を進めたい。			重要路線と危険度を見極め計画的な整備を進めたい。 ※42,510千円(R5繰越し)												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
引き続き計画的な整備に努める。			引き続き計画的な整備に努める。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		11	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	52204		事業名	道路改良事業								所管課	都市建設課	
事業概要	道路改良を推進し、市民の利便性の向上及び安全性の確保に努めます。								全体事業内容					
									道路改良:原1号線(上野)、原田線(貝掛)、西ノ谷行司線(松部)、勝浦荒川線(串浜)、新坂沢倉線(新官) 基本設計 1式、予備設計 2式、詳細設計 2式、測量 2式、用地測量 2式、用地買収 4式、改良 L=1280m 道路局部改良:板割戸線(宿戸)、上ノ台西宿戸線(宿戸)、植野黒原線(赤羽根) ブロック積 L=141m A=239m、L型擁壁 L=20m					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
工事完了延長		70.0m	315.7m	工事完了延長		311.0m	507.1m	工事完了延長		861.0m					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		56,909	53,678.57			32,209	32,209			5,500					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			◎												
道路状況を精査し、危険度の高い順に計画をもって整備していく。			道路状況を精査し、危険度の高い順に計画をもって整備していく。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
引き続き計画的な整備に努める。			引き続き計画的な整備に努める。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	52205	事業名	排水整備事業						所管課	都市建設課	
事業概要	道路排水の新設・維持を推進し、市民の利便性の向上に努めます。						全体事業内容				
							興津久保山台55号線(興津久保山台)、川向回向坊線(串浜)、川津萬名浦線(川津)、高橋川間線(平田)、上目坂3号線(墨名)、宮田中ノ谷線(植野)、稲荷台床代1号線(沢倉)、宮田古宿線(植野)、北宮越西瓜久保線(芳賀)、白木線(白木)、三田南谷線(川津)、北谷南谷線(川津)、松部荒川線(松部)、白井久保台芝田線(白井久保) 排水工 L=545.6m				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
工事完了延長		128.2m	208.0m	工事完了延長		313.2m	360.5m	工事完了延長		409.2m					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		22,741	21,954.9			17,184	16,925			17,041					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			◎												
排水整備箇所においては、利用者や損傷状況を勘案し、計画をもって整備していく。			排水整備箇所においては、利用者や損傷状況を勘案し、計画をもって整備していく。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
引き続き計画的な整備に努める。			引き続き計画的な整備に努める。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調査				SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	52206	事業名	道路舗装事業						所管課	都市建設課	
事業概要	道路の舗装修繕及び舗装新設を推進し、市民の利便性の向上及び安全性の確保に努めます。							全体事業内容			
								舗装新設:細尾北細尾線(市野川)、境場5号線(墨名)、部原川津勝浦線(新官)、法定外公共物(道路)(新官)(南山田)(松部)、野中椎木谷線(白木)、上野台1号線(南山田) AS舗装 L=612m A=1151㎡、すべり止め L=30m A=180㎡ 舗装修繕:湯西亀田線(大森)、向原番場線(小羽戸)、千里坂上線(上植野)、勝浦荒川線(南山田)、新坂沢倉線(沢倉)、宿戸大楠線(大楠)、芳賀市野川線(芳賀・花里)、白井久保台芝田線(白井久保)、兄弟線(市野郷)、法定外公共物(道路)(上野)、川向回向坊線(串浜)、鶴原荒川線(鶴原)、松野中倉市野川線(中倉)、中島場2号線(墨名)、中島2号線(墨名)、細見蓮ヶ台線(松野)、板取仲台線(白井久保)、立石蕨台線(浜行川)、腰越原線(上野)、中ノ台小清田線(串浜)、墨名部原線(出水) AS舗装 L=4443.5m A=23179㎡、地質調査 15路線			

■事業評価書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
工事完了延長		1290.0m	2616.1m	工事完了延長		2414.5m	4575.0m	工事完了延長		3654.5m					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		119,944	115,431.8			93,063	93,058			64,198					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			◎												
舗装修繕:舗装修繕箇所においては、利用頻度や損傷状況を勘案し、計画をもって整備していく。 舗装新設:未舗装においては、利用頻度を勘案し、計画をもって整備していく。			舗装修繕:舗装修繕箇所においては、利用頻度や損傷状況を勘案し、計画をもって整備していく。 舗装新設:未舗装においては、利用頻度を勘案し、計画をもって整備していく。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
引き続き計画的な整備に努める。			引き続き計画的な整備に努める。												

				関係課	企画課			
1.	施策名	5	快適な環境で過ごせるまち(道路・交通・生活基盤・環境)					
		3	公共交通の充実					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	JR勝浦駅の乗車人数	661人	810人	823人	1,000人	
		指標2	市内バス停における高速バスの年間利用人数	14,633人	20,532人	19,859人	26,000人	
		指標3	デマンドタクシーの利用者数	12.4人	14.5人	18.6人	15.0人	
		指標4	市内バス路線の運行本数	4系統41本	4系統41本	2系統26本	4系統41本	
		指標5	公共交通機関についての市民満足度	14.6%	—	—	向上	
3.	施策の展開一覧	① 鉄道・高速バスの利便性向上						
		② 地域公共交通の維持・充実						
4.	二次評価	公共交通の充実について、JR外房線は、通学定期券や通勤通学の特急料金の補助を行うなど利用の促進を図っているが、利用者が増え続けていくとは考えづらく、現在の便数を維持確保し、利便性の向上や安全の確保について要望していくこと。 高速バスや路線バスについても同様に便数の維持確保及び利便性の向上を要望していく。 また、交通空白の解消や高齢者の移動の足の確保策として、デマンドタクシーの利用率の向上や新たな交通手段の導入を推進していくこと。						

■実施計画事業調査

■実施計画事業調書				SDGs	8	9	12	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	53101		事業名	JR外房線の利便性の維持・向上						所管課	企画課	
事業概要	JR外房線のダイヤ維持及び安全運行の確保による都市間アクセスの向上により、市民の移動に係る利便性の向上を図ります。							全体事業内容				
								千葉県JR線複線化等促進期成同盟及びJR外房線複線化等促進協議会等の枠組みを活用し、東日本旅客鉄道(株)をはじめ、関係機関への要望活動を実施する。 事業費:千葉県JR線複線化等促進期成同盟負担金				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
JR千葉支社等への要望活動の回数		2回	4回	JR千葉支社等への要望活動の回数		2回	2回	JR千葉支社等への要望活動の回数		2回					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		5	5			2	2			0					
達成度		評価と課題		達成度		評価と課題		達成度		評価と課題		達成度		評価と課題	
○				○											
外房線は、産業・観光発展の基盤として首都圏と地域をつなぐ重要な役割を果たす一方、通勤・通学など地域住民の生活を支える重要な交通手段であり、その利便性向上は、当地域の持続的発展に必要不可欠であることから要望活動は継続する必要がある。 令和5年度は、ダイヤ改正のプレスリリースを受け、夷隅郡内の自治体に鴨川市を加えた3市2町の首長名での要望を実施するとともに、千葉市が主導した京葉線に関する要望にも参加した。				外房線は、産業・観光発展の基盤として首都圏と地域をつなぐ重要な役割を果たす一方、通勤・通学など地域住民の生活を支える重要な交通手段であり、その利便性向上は、当地域の持続的発展に必要不可欠であることから、令和6年度においても要望活動を実施した。 また、JR外房線の利用を促進するため、高校生の通学定期券への補助、通勤に係る特急券への補助を行った。											
今後の方向性		今後の展望		今後の方向性		今後の展望		今後の方向性		今後の展望		今後の方向性		今後の展望	
維持				維持											
運行本数の維持、接続改善を要望するとともに障害者や高齢者への安全対策や踏切付近における安全確保等を粘り強く求めていく必要がある。 また、JR東日本より乗降人数が少ない線区として外房線(勝浦・安房鴨川間)が公表されていることから、千葉県や関係自治体と連携しながら利用促進等について取組を行っていく。				運行本数の維持、接続改善を要望するとともに障害者や高齢者への安全対策や踏切付近における安全確保等を引き続き粘り強く求めていく必要がある。 通勤・通学者を対象とした利用支援についても、継続して実施していく必要がある。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	9	12	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	53102	事業名	いすみ鉄道の運行維持及び活性化の推進						所管課	企画課	
事業概要	いすみ鉄道の運行による市民の利便性の確保のため、県や関係市町との連携し、運行の維持及び事業の活性化を推進します。				全体事業内容						
					県や関係市町と連携をとりつつ、いすみ鉄道活性化委員会及びいすみ鉄道対策協議会等を通じ、運行補助・経営改善策・活性化策等の検討及び実施並びに長期収支見込みの進捗管理等による検証を行う。 いすみ鉄道輸送対策事業費補助金…上下分離の考え方に基づく下部（設備経費）への補助（国補助事業に係る会社負担分への補助） いすみ鉄道基盤維持費補助金…上下分離の考え方に基づく下部（設備経費）への補助 いすみ鉄道運行経費補助金…上下分離の考え方に基づく上部（運行経費）への補助						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8							
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果	
県や関係市町と連携した取り組みの効果を数値化し評価することは困難			-	-	県や関係市町と連携した取り組みの効果を数値化し評価することは困難			-	-	県や関係市町と連携した取り組みの効果を数値化し評価することは困難			-			
			R5予算額	R5決算額				R6予算額	R6決算額				R7予算額	R7決算額	R8予算額	R8決算額
			5,911	5,555				11,346	5,926				6,992			
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題						
○			○													
人口減少等、沿線地域が共有する現状に伴い、利用客の低迷が続く中、住民の移動手段の確保や観光促進のため、県及び沿線2市2町による支援は必要不可欠である。			令和6年10月に発生した脱線事故により運休状況にある。早期復旧を目指しているものの、事故現場だけでなく全面的な整備を実施することとなったため令和9年度中の運転再開を目指すとの報告があり、市としても住民の移動手段の確保や観光促進のため、県及び沿線2市2町による支援は必要不可欠である。													
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望						
維持			維持													
令和6年4月より高校生の通学定期の料金をJR並みの金額とするための財政支援を行うこととなっている。 施設管理や車両の更新、運転手の確保など、引き続き厳しい経営状況が続くものと思われるが、地域住民に愛される鉄道として、沿線地域が一体となって利用促進に取り組んでいく必要がある。			令和6年10月に発生した脱線事故からの復旧について、いすみ鉄道から復旧にかかる費用や期間が示され、市としては、一日も早く安全・安心な鉄道として復旧することが、地域の方々にとって重要であると考えており、復旧工事等に必要な経費に対する支援について、今後、関係市町と連携して対応を検討していく必要がある。													

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		8	9	12	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	53103		事業名	高速バスの利便性向上								所管課	企画課	
事業概要	高速バスの運行による都市間アクセスの向上により、市民の移動に係る利便性の向上を図ります。								全体事業内容					
									高速バス運行事業者と利用促進に関する意見交換を行うとともに、より利便性の高い運行の実現に向けた要望活動等を行う。 ラッピングバス広告掲出によるシティープロモーションを行う。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
1日当たりの運行本数の維持		6往復	6往復	1日当たりの運行本数の維持		6往復	6往復	1日当たりの運行本数の維持		6往復					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		3,444	3,444			2,244	2,244			0					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
木更津金田バスターミナルにおいて、上り線で降車できず、下り線で乗車できない乗降ルールについて、会社を訪問し改善を求めた。 また、令和4年度に引き続き、燃油高騰による収益悪化に苦しむ運行事業者を支援するため、支援金を交付した。 JR線の減便が行われる状況において、都市間交通を担う高速バスは重要性が増すものとする。			木更津金田バスターミナルにおいて、上り線で降車できず、下り線で乗車できない乗降ルールの改善に向け、沿線市町と連携を図りバス事業者に対して連名による要望書を提出した。 JR線の減便が行われる状況において、都市間交通を担う高速バスは重要性が増すものとする。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
ラッピングバスの運行は広告効果のほか、事業者支援の側面もあることから、ラッピングの状態を確認しつつ、継続することは有効と考える。 併せて、木更津金田バスターミナルでの乗降ルールの改善については粘り強く要望を行っていく必要がある。			木更津金田バスターミナルでの乗降ルールの改善については、引き続き沿線自治体と連携を図り粘り強く要望を行っていく必要がある。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	9	12	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	53104	事業名	JR勝浦駅北口こ線人道橋の維持管理						所管課	企画課	
事業概要	JR勝浦駅北口こ線人道橋の適切な維持管理により、市民生活における利便性を確保します。						全体事業内容				
							JR勝浦駅北口こ線人道橋の清掃業務を実施するとともに、通路・階段の舗装面及び外灯等の適切な管理により、市民等の使用における安全を確保する。また、通路や階段の鉄骨部分及び橋脚の腐食状況等を確認しつつ、鉄道事業者と連携した計画的な修繕工事等の実施により、事故等の発生を未然に防止する。(R7:点検・設計 R8修繕工事)				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
こ線人道橋の利用に伴う事故発生件数	0件	0件	こ線人道橋の利用に伴う事故発生件数	0件	0件	こ線人道橋の利用に伴う事故発生件数	0件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	94	94		121	118		16,127				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
本施設は駅利用者はもとより、市民生活の利便性を確保するため、業務委託による毎日の清掃業務のほか、通路・階段の舗装面及び外灯等の日常的な管理により、使用における安全を確保する必要がある。			本施設は駅利用者はもとより、市民生活の利便性を確保するため、業務委託による毎日の清掃業務のほか、通路・階段の舗装面及び外灯等の日常的な管理により、使用における安全を確保する必要がある。令和6年度は、JRと今後のこ線人道橋の修繕等に関する計画について協議を図った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
日常的な清掃や管理の実施を継続するほか、令和8年度以降に大規模な修繕工事が予定されているので、工事実施に向けたJR側との協議や、事務的な準備を進める必要がある。			日常的な清掃や管理の実施を継続するほか、利用者の安全確保を図るため令和7年度においては、橋脚・橋桁・階段部分の点検を行い、点検結果を基に工事箇所をJRと協議しながら選定し、準備を進める必要がある。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	9	12	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	53201		事業名	市内公共交通の維持・確保						所管課	企画課	
事業概要	市内公共交通機関の連携体制の確立により、市民等の移動手段を確保し、移動に係る利便性の向上を図ります。							全体事業内容				
								市民アンケートで不満度の高かった市内公共交通の改善に向けて、市民代表や交通事業者、関係する行政機関等の参画により組織される勝浦市地域公共交通活性化協議会において、市内の公共交通体系の整備と各公共交通機関の連携体制の確立による持続可能な交通網の形成について協議するとともに、地域公共交通計画の進行管理等による市民等の移動手段の維持・確保及び改善を図る。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
勝浦市地域公共交通活性化協議会の開催回数	3回	4回	勝浦市地域公共交通活性化協議会の開催回数	4回	4回	勝浦市地域公共交通活性化協議会の開催回数	4回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	205	185		1,541	321		5,523				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
令和5年2月に策定した勝浦市地域公共交通計画の推進を図るため、勝浦市地域公共交通活性化協議会において各種取組を審議を行ってきた。 令和5年度においては、令和6年10月から新たなデマンドタクシーの運行業務委託を契機に、新官・部原への運行拡充や、御宿町への乗り入れに等ついて協議を進めた。			昨年度に引き続き、勝浦市地域公共交通計画の推進を図るため、勝浦市地域公共交通活性化協議会において各種取組について審議を行ってきた。 令和6年度においては、デマンドタクシーの運行区域の拡充や、御宿町への乗り入れ、新たな交通手段の導入について協議し、勝浦市地域公共交通計画の変更を行った。また、就業機会の拡充と運転手不足による雇用の確保を図るため、勝浦市公共交通運転従事者育成支援事業補助金を制定した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
令和6年度は、運行拡充を行うデマンドタクシーの運行事業者の選定、運行管理システムの導入、総野地区における自家用有償旅客運送の導入等、公共交通に関する各種事業の実施が予定されており、国・県・近隣自治体・事業者等と協議を行いながら、確実に事業を進めていく。			令和7年度は、デマンドタクシー運行管理システムの導入、総野地区における自家用有償旅客運送の本格運行、勝浦市地域公共交通計画の推進等、公共交通に関する各種事業の実施が予定されており、国・県・近隣自治体・事業者等と連携し、持続可能かつ利便性向上に向けて協議を進める必要がある。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		8	9	12	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	53202		事業名	市内路線バス運行維持及び利便性の向上						所管課	企画課	
事業概要	市内路線バスの運行事業者を支援することで市内バス路線を維持・確保し、市民の移動に係る利便性の向上を図ります。						全体事業内容					
							市内路線バスの運行事業者に対し、市内バス路線の利便性向上に向けた意見交換や要望活動を実施するとともに、補助金交付による運行支援を行うことで、市内バス路線の維持・確保を図る。 バス路線運行維持補助金(①②③) ①バス路線運行費補助金 ②運賃平準化事業補助金 ③車両購入費補助金					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
平日における市内路線バスの運行系統数・本数(往復)		4系統・21本	4系統・20本	平日における市内路線バスの運行系統数・本数(往復)		4系統・20本	2系統・13本	平日における市内路線バスの運行系統数・本数(往復)		2系統・13本					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		11,500	11,460			10,500	10,341			10,500					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			△												
市内バス路線の維持による市民の移動手段の確保は重要であり、バス路線運行維持補助金により、運行維持に係る損失補填等は妥当と考える。利用者の減少とともに新型コロナ・燃油高騰が運行事業者の収益を悪化させており、運行事業者の適切な支援のほか、バス路線の再編など、交通網の維持を図っていく必要がある。 なお、令和5年度については燃油高騰の影響を勘案し、バス路線運行費補助金の上限額を1,000万円(100万円増額)とした。			令和6年度は、利用者の減少等による収益の悪化により運行事業者からの路線廃止や減便が行われたが、市内バス路線の維持による市民の移動手段の確保は重要であるため、引き続きバス路線運行維持補助金により、運行維持に係る損失補填等していく必要がある。 また運行事業者の適切な支援のほか、運行事業者と十分な協議のうえ、バス路線の再編など、交通網の維持を図っていく必要がある。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
地域公共交通計画の推進により、持続可能かつ利便性の高い交通体系をの維持を図っていく必要があり、デマンドタクシー拡充と併せた「勝浦・御宿線」の廃止について、小湊鉄道及び公共交通活性化協議会での協議を進めている。(令和6年10月実施予定)			地域公共交通計画の推進により、持続可能かつ利便性の高い交通体系の維持を図っていく必要がある。また、都市間交通である高速バス路線についても、運行事業者と利便性向上に向けて協議を進める必要がある。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	9	12	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	53203	事業名	デマンドタクシーの運行						所管課	企画課	
事業概要	デマンドタクシーを運行することで、公共交通が運行されていない地域における市民の移動手段を確保します。							全体事業内容			
								勝浦市地域公共交通計画及び勝浦市地域公共交通活性化協議会における各公共交通機関の連携体制の確立に向けた協議を前提とし、公共交通が運行されていない地域においてデマンドタクシーを運行し、市民の移動手段の確保を図る。 デマンドタクシーの運行に際しては、国の地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用する。			

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
運行日1日当たりの乗車人数	15人	14.4人	運行日1日当たりの乗車人数	15人	18.6人	運行日1日当たりの乗車人数	20人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	10,478	9,035		21,666	20,986		29,999				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
公共交通の不便地域における分散した少ない需要に対して、デマンドタクシーの運行は有効と考える。 新型コロナの影響により外出の機会が減り、乗車人数は減少したが、徐々に回復傾向にある。 バス路線の再編と併せてデマンドタクシーの運行区域を拡充するなどにより、持続可能な交通網の維持を図る必要がある。			公共交通の不便地域における分散した少ない需要に対して、デマンドタクシーの運行は有効と考える。 令和6年10月からの市内路線バスの減便に対応するため、運行台数を2台体制から3台体制へ拡充するとともに、運行区域についても拡充を図り利便性の向上を図った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
拡大			維持								
地域公共交通計画の推進により、持続可能かつ利便性の高い交通体系の維持を図っていく必要があり、デマンドタクシー拡充と併せた「勝浦・御宿線」の廃止について、小湊鉄道及び公共交通活性化協議会での協議を進めている。(令和6年10月実施予定)			デマンドタクシーの利用者アンケートの実施や地域公共交通計画を推進するなかで、利便性向上を図るとともに、交通事業者と連携し、利用者実態動向とニーズを把握し、利用促進を図っていく必要がある。								

1.	施策名	5	快適な環境で過ごせるまち(道路・交通・生活基盤・環境)				
		4	生活基盤の整備				
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)
		指標1	水道管路の耐震化率	3.6%	3.6%	4.2%	4.0%
		指標2	水道有収率	69.0%	68.2%	71.6%	78.1%
		指標3	市内木造住宅の耐震化率	48.0%	76.1%	76.5%	75.0%
		指標4	特定空き家の対応割合	100%(5件)	100%(5件)	100%(2件)	100%
		指標5	家庭排水・し尿処理についての市民満足度	57.8%	—	—	向上
		指標6	空き家への対応についての市民満足度	5.7%	—	—	向上
		指標7	上水道の整備と維持管理についての市民満足度	26.0%	—	—	向上
3.	施策の展開一覧	① 安全で安定した水道水の供給					
		② 適正な排水処理の推進					
		③ 住宅ストックの適切な維持・管理					
4.	二次評価	生活基盤の整備について、末端給水事業については、水道事業の効率化を図るため、R7. 4から夷隅郡市で事業統合することにより経営基盤の強化が図られる。 木造住宅の耐震化率の向上は目標値に達しているが、災害に強いまちづくりを進めるため継続的に情報提供や周知を図ること。 快適な生活環境を維持し、特定空き家の発生を防止するためにも、空き家相談や空き家バンク制度を推進していくこと。					

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	6	11	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	54101	事業名	夷隅地域水道統合広域化の推進						所管課	水道課	
事業概要								全体事業内容			
								水道広域連携の推進は、水道事業者が今後取り組む必要がある運営基盤の強化、技術の確保・継承、合理的な施設の整備・更新、水道料金の格差縮小に必要不可欠であるため、夷隅地域水道事業統合協議会と連携を図り、他事業者の広域化事例を注視し調査及び具体的な検討を行う。 令和6年度については、夷隅郡市広域市町村圏事務組合内に（仮称）夷隅地域水道事業統合準備室を令和6年4月に設置する予定であることから、負担金（人件費込み）は企画課にて予算計上となる。			

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
夷隅地域の末端給水事業体の統合広域化の推進 ※統合目途:令和7年4月1日	-	-	夷隅地域の末端給水事業体の統合広域化の推進 ※統合目途:令和7年4月1日	-	-						
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	4,789	4,393		0	0						
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
夷隅地域の末端給水事業体の統合広域化の推進に向け、協議会・幹事会・専門部会を開催し、広域的な課題に対し具体的な検討を図った。また、協議結果を踏まえ夷隅地域水道事業統合協議会にて、夷隅地域水道事業統合広域化基本計画(素案)を作成した。			夷隅地域水道事業統合協議会にて、夷隅地域水道事業統合・広域化基本計画を策定した。また、夷隅地域水道事業統合・広域化基本計画に基づき、令和6年7月4日に夷隅地域水道事業の統合広域化に関する基本協定を締結した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			完了								
夷隅地域水道事業統合広域化基本計画(素案)に基づき、引き続き協議会・幹事会・専門部会での協議を重ね、令和7年4月1日を目途とする統合広域化に向け一層の推進を図る。			勝浦市、いすみ市、大多喜町及び御宿町の水道事業統合に伴い、令和7年4月から、夷隅郡市広域市町村圏事務組合で水道事業を運営していく。								

■実施計画事業調書			SDGs	6	11	-	会計区分	水道	再掲区分	-
事業番号	54102	事業名	水道高料金対策事業						所管課	水道課
事業概要							全体事業内容			
							市町村水道総合対策事業(県補助事業) 水道料金の上昇を抑え、住民負担の増加を抑制し、持続可能な運営基盤の確立を図る。 ※県補助金:18,000千円【令和7年度まで】 ※一般会計からの高料金対策繰入金:25,000千円			
補助金を活用し、水道料金の上昇を抑えることにより、水道加入者の負担増加の抑制に努めます。 ※統合協議の結果、令和7年4月1日より夷隅管内水道事業の統合が決定したため。										

■事業評価書			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
水道料金の格差是正及び住民負担の軽減	水道料金の抑制		県及び市の補助を活用し実施	水道料金の格差是正及び住民負担の軽減	水道料金の抑制		県及び市の補助を活用し実施		水道料金の抑制		県及び市の補助を活用し実施		水道料金の抑制		県及び市の補助を活用し実施
	R5予算額		R5決算額		R6予算額		R6決算額		R7予算額		R7決算額		R8予算額		R8決算額
	43,000		43,531		63,000		62,571								
達成度	評価と課題		○	達成度	評価と課題		○	達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○															
近年の経営状況を考慮すると水道料金の値上げを検討しなければならない状況であるが、県内水道事業体のなかでも高い水準であるため、一般会計からの高料金対策に係る補助金及び県の市町村水道総合対策事業補助金を活用し、水道料金の格差是正・住民の負担増を抑制することができた。			近年の経営状況を考慮すると水道料金の値上げを検討しなければならない状況であるが、県内水道事業体のなかでも高い水準であるため、一般会計からの高料金対策に係る補助金及び県の市町村水道総合対策事業補助金を活用し、水道料金の格差是正・住民の負担増を抑制することができた。												
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				廃止											
補助金を活用し、水道料金の上昇を抑えることにより、水道加入者の負担増加の抑制に努めるとともに、持続可能な運営基盤の確立に向けた適正な料金設定を検討していく。			勝浦市、いすみ市、大多喜町及び御宿町の水道事業統合に伴い、令和7年4月から、夷隅郡市広域市町村圏事務組合で水道事業を運営していく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	6	11	-	会計区分	水道	再掲区分	-	
事業番号	54103		事業名	水道施設整備事業						所管課	水道課	
事業概要	水道事業基本計画(水道ビジョン)及び水道施設耐震化計画に基づき、水道施設の維持・耐震化を図り安定的な給水維持に努めます。 ※統合協議の結果、令和7年4月1日より夷隅管内水道事業の統合が決定したため。							全体事業内容				
								自然災害等に備え、水道施設の計画的な更新(耐震化)により、安全で安定した水道水の供給ができるよう適切な維持管理に努める。 ※R7及びR8の実施計画については、R7.4.1に予定している統合事業体における事業計画を記載しております。 ※R7及びR8における財源内訳の「その他」については、市出資金を予定しております。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
水道施設整備事業として実施した工 事件数		3件	3件	水道施設整備事業として実施した工 事件数		1件	1件								
	R5予算額	R5決算額	R6予算額		R6決算額	R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額					
	21,318	16,236	31,240		29,535										
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○				○											
水道事業基本計画(水道ビジョン)及び水道施設耐震化計画に基づき、水道施設の維持・耐震化に向け、適切な維持管理に努めることができた。				水道事業基本計画(水道ビジョン)及び水道施設耐震化計画に基づき、水道施設の維持・耐震化に向け、適切な維持管理に努めることができた。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				廃止											
水道事業基本計画(水道ビジョン)及び水道施設耐震化計画に基づき、財政状況を考慮しつつ、計画的かつ効率的な更新を行い、安全で安定した水道水の供給ができるよう引き続き適切な維持管理に努めていく必要がある。				勝浦市、いすみ市、大多喜町及び御宿町の水道事業統合に伴い、令和7年4月から、夷隅郡市広域市町村圏事務組合で水道事業を運営していく。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		6	11	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	54104		事業名	水道未普及地域水質検査料補助事業								所管課	市民課	
事業概要	上水道管の敷設されていない地域における飲用井戸水の水質検査費用について補助金を交付し、検査実施を促進することで公衆衛生の向上を図ります。							全体事業内容						
								水道未普及地域において、厚生労働省の定める11項目の井戸水の水質検査を実施した者に対し、補助金4,650円、加えて放射能検査を実施した者に対し、5,000円を上限として検査料の1／2を補助する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
申請率(申請数/未普及世帯数)	(目標設定なし)	－	申請率(申請数/未普及世帯数)	(目標設定なし)	5	申請率(申請数/未普及世帯数)	(目標設定なし)				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	15	0		15	5		10				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
－			△								
申請者がいなかった			水道未普及地域において、水質検査を実施した方に補助した。 申請者 1件 4,650円								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
補助制度の広報により水質検査実施の重要性の理解を促進する			補助制度の広報により水質検査実施の重要性の理解を促進する								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		6	11	-	会計区分		水道	再掲区分		-	
事業番号		54105		事業名		水道未普及地域解消事業						所管課		水道課	
事業概要		水道事業基本計画(水道ビジョン)に基づき、未普及地域の解消に努め、公衆衛生の向上を図ります。 ※統合協議の結果、令和7年4月1日より夷隅管内水道事業の統合が決定したため。						全体事業内容							
								公衆衛生の向上を図る上で未普及地域の更なる解消は非常に重要と考えるが、水道収益が減少傾向にあることから経営状況を踏まえた上で事業実施の可能性について検討する。							

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8								
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果		
給水普及率 ①世帯 ②人口	普及率の向上		①98.47% ②98.67%	給水普及率 ①世帯 ②人口	普及率の向上		①98.51% ②98.73%										
	R5予算額		R5決算額		R6予算額		R6決算額		R7予算額		R7決算額		R8予算額		R8決算額		
	0		0		0		0										
達成度		評価と課題				達成度		評価と課題				達成度		評価と課題			
-						-											
地下水の水質悪化に起因する住民不安を解消し、公衆衛生の向上を図ることが重要であることから、事業実施の可能性について検討を行った。				地下水の水質悪化に起因する住民不安を解消し、公衆衛生の向上を図ることが重要であることから、事業実施の可能性について検討を行った。													
今後の方向性		今後の展望				今後の方向性		今後の展望				今後の方向性		今後の展望			
維持						廃止											
公衆衛生の向上を図る上で未普及地域の解消は非常に重要と考えるが、水道事業収益が減少傾向にあることから、費用対効果を十分勘案しながら検討しなくては必要がある。				勝浦市、いすみ市、大多喜町及び御宿町の水道事業統合に伴い、令和7年4月から、夷隅郡市広域市町村圏事務組合で水道事業を運営していく。													

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	6	11	-	会計区分	水道	再掲区分	-	
事業番号	54106		事業名	老朽水道管更新事業						所管課	水道課	
事業概要	老朽化した石綿セメント管等の布設替えにより、市民への安定した水道水の供給と信頼性の向上を図ります。 ※統合協議の結果、令和7年4月1日より夷隅管内水道事業の統合が決定したため。				全体事業内容							
					老朽化した石綿セメント管等を耐衝撃性硬質塩化ビニル管等に布設替える。 ※R7及びR8の実施計画については、R7.4.1に予定している統合事業体における事業計画を記載しております。 ※R7及びR8における財源内訳の「その他」については、市出資金を予定しております。							

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
石綿セメント管等の老朽管に係る布設替え延長	25m	12m	石綿セメント管等の老朽管に係る布設替え延長	409.7m	472.58m						
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	19,888	19,030		52,800	53,136						
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
老朽化した石綿セメント管等の布設替工事を実施したことにより、大きな漏水事故もなく、住民に安定した水道水を供給することができた。			老朽化した石綿セメント管等の布設替工事を実施したことにより、大きな漏水事故もなく、住民に安定した水道水を供給することができた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			廃止								
財政状況を考慮しつつ、計画的かつ効率的な更新を行い、安全で安定した水道水の供給ができるよう適切な維持管理に努める。また、本事業は有収率の改善を図るうえでも継続的に進めていく事業と考える。			勝浦市、いすみ市、大多喜町及び御宿町の水道事業統合に伴い、令和7年4月から、夷隅郡市広域市町村圏事務組合で水道事業を運営していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		6	11	-	会計区分		水道	再掲区分		-	
事業番号		54107		事業名		老朽水道施設改修事業						所管課		水道課	
事業概要		取水施設、浄水施設及び配水施設内の老朽化した設備等の適正な維持管理を実施し、安定した給水体制の確保を図ります。 ※統合協議の結果、令和7年4月1日より夷隅管内水道事業の統合が決定したため。						全体事業内容							
								老朽化施設の計画的な更新により、安定した経営基盤の確立を図る。 ※R7及びR8の実施計画については、R7.4.1に予定している統合事業体における事業計画を記載しております。 ※R7及びR8の老朽水道施設改修事業については、当初佐野浄水場の大規模改修を計画しておりましたが、統合協議における水需要予測の結果を踏まえ、既存施設のダウンサイジング及び必要最低限の更新とする計画に見直した。							

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
老朽水道施設改修事業として実施した工事件数	3件	3件	老朽水道施設改修事業として実施した工事件数	2件	2件						
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	59,620	35,200		13,684	12,925						
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
取水施設・浄水施設及び配水施設の適正な維持管理を実施したことにより、安定した給水体制の確保を図ることができた。			取水施設・浄水施設及び配水施設の適正な維持管理を実施したことにより、安定した給水体制の確保を図ることができた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			廃止								
施設の日常点検等を通じて状態を把握し、適切な時期に修繕を実施することにより施設の延命化を図り、効率的な維持管理と更新を計画的に実施していく必要がある。			勝浦市、いすみ市、大多喜町及び御宿町の水道事業統合に伴い、令和7年4月から、夷隅郡市広域市町村圏事務組合で水道事業を運営していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	6	11	14	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	54201		事業名	河川浄化対策事業						所管課	生活環境課	
事業概要	水産加工場等の事業系排水による河川の悪臭及び水質汚濁を防止するため、水質汚濁防止機器等の設置、導入、推進について検討する。併せて、適正な汚水処理について検討する。							全体事業内容				
								水産加工場等の事業系排水による河川の悪臭及び水質汚濁を防止するため、水質汚濁防止機器等の設置、導入、推進について検討する。併せて、適正な汚水処理について検討する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8							
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果	
定期的なバイオ資材の投入回数	3回実施		3回実施	定期的なバイオ資材の投入回数	3回実施		3回実施	定期的なバイオ資材の投入回数	3回実施							
	R5予算額		R5決算額		R6予算額		R6決算額		R7予算額		R7決算額			R8予算額		R8決算額
	110		110		110		88		73							
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			
◎				◎												
定期的なバイオ資材の投入により悪臭に関する苦情件数は0件であった。			定期的なバイオ資材の投入により悪臭に関する苦情件数は0件であった。													
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			
維持				維持												
住宅や事業所では個別の浄化槽で汚水処理後に河川への放流となるため、河川の汚濁については注意する必要がある。			住宅や事業所では個別の浄化槽で汚水処理後に河川への放流となるため、河川の汚濁については注意する必要がある。													

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	6	11	14	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	54202		事業名	環境調査						所管課	生活環境課	
事業概要	市内主要河川12地点及び浜勝浦川の水質調査等を継続的に実施する。						全体事業内容					
							市内主要河川12地点及び浜勝浦川の水質調査等を継続的に実施する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
浜勝浦川水質調査回数		6回実施	6回実施	浜勝浦川水質調査回数		6回実施	6回実施	浜勝浦川水質調査回数		6回実施					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,118	660			1,072	579			766					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
◎			◎												
浜勝浦川流域についてはバイオ資材の投入により投入前と比較してBOD値が改善しつつある。			昨年同様、浜勝浦川流域についてはバイオ資材の投入により投入前と比較してBOD値が改善しつつある。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
バイオ資材の投入を継続していく。			バイオ資材の投入を継続していく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	6	11	14	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	54203		事業名	浄化槽設置整備事業						所管課	生活環境課	
事業概要	生活排水による公共用水域の水質保全のため、市内の専用住宅に居住使用する者で10人槽以下の合併処理浄化槽を設置する場合に補助金を交付する。						全体事業内容					
							生活排水による公共用水域の水質保全のため、市内の専用住宅に居住使用する者で10人槽以下の合併処理浄化槽を設置する場合に補助金を交付する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
汲み取り転換補助件数		7件	2件	汲み取り転換補助件数		7件	3	汲み取り転換補助件数		7件					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		4,746	1,344			4,746	2,272			4,746					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
×			×												
水質保全に一定の効果をあげているが、単独浄化槽及び汲み取り便槽からの転換申請数が令和5年度は例年よりも減少した。			水質保全に一定の効果をあげているが、単独浄化槽及び汲み取り便槽からの転換申請数が令和6年度は例年よりも減少した。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
ホームページや広報誌を活用して、合併浄化槽の利点の周知に努め、補助事業を継続し、水質保全の改善に努めていく。			ホームページや広報誌を活用して、合併浄化槽の利点の周知に努め、補助事業を継続し、水質保全の改善に努めていく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	12	15	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	54301		事業名	空き家対策の推進						所管課	生活環境課	
事業概要	近隣の住民等からの苦情を元に、空き地・空き家の所有者に対して、適正な管理を行うよう指導する。						全体事業内容					
							近隣の住民等からの苦情を元に、空き地・空き家の所有者に対して、適正な管理を行うよう指導する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
特定空家の認定数		5件	5件	特定空家の認定数		4件	0	特定空家の認定数		4件					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		6,247	1,946			68	33			92					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
◎				○											
令和5年度に特定空家の行政代執行にて除却を1件行った。				勝浦市空家等対策計画の見直しを行い、管理不全空家等の記載を入れた。空家として確認された時点で、すべて相続放棄されている事案等に対する事例対応が必要となっている。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
特に特定空家の所有者、管理者との接触、交渉を進め、問題解決を図る。				新たに管理不全空家等が加わったことから、管理不全空家及び特定空家の所有者、管理者との接触、交渉を進め、問題解決を図る。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	1	3	11	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	54302		事業名	公営住宅整備事業(旭ヶ丘・梨の木・万名浦団地)						所管課	都市建設課	
事業概要	老朽化した市営住宅の修繕又は建替えを実施し、住宅施設の効率的な維持管理を推進します。							全体事業内容				
								老朽化した市営住宅の適切な維持管理を図る。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
老朽化した市営住宅の適正な維持管理を図る。		—	32	老朽化した市営住宅の適正な維持管理を図る。		—	—	老朽化した市営住宅の適正な維持管理を図る。		—					
	R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額	
	2,600	2,203			2,100	2,096			2,100						
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
				◎											
計画的に住宅外壁の再塗装を行うことで建物の長寿命化を図り、また軽微な修繕に即時対応し、入居者の安全・衛生等を保つことができた。				計画的に住宅外壁の再塗装を行うことで建物の長寿命化を図り、また軽微な修繕に即時対応し、入居者の安全・衛生等を保つことができた。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
引き続き適正な維持管理に努める。				引き続き適正な維持管理に努める。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		1	3	11	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	54303		事業名	公営住宅整備事業（みなと団地）								所管課	農林水産課	
事業概要	老朽化した市営住宅の修繕又は建替えを実施し、住宅施設の効率的な維持管理を推進します。							全体事業内容						
								老朽化した市営住宅の適切な維持管理を図る。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
修繕・改修件数	—	3件	修繕・改修件数	—	7件	修繕・改修件数	—				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	810	363		810	723		810				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
—			—								
老朽化している住宅を適正に管理し、入居者の居住環境を保つように図る。			老朽化している住宅を適正に管理し、入居者の居住環境を保つように図る。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
建物の老朽化により修繕が困難な状況にあるため、新規の入居を見合わせているが、入居している住民が安心・安全に暮らせる一定水準の確保のために継続して実施する必要がある。			建物の老朽化により修繕が困難な状況にあるため、新規の入居を見合わせているが、入居している住民が安心・安全に暮らせる一定水準の確保のために継続して実施する必要がある。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	9	11	12	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	54304		事業名	耐震改修促進事業						所管課	都市建設課	
事業概要	耐震改修促進計画に基づき、個人住宅の耐震診断及び耐震改修費用を助成し、建築物の耐震化の向上を図ります。							全体事業内容				
								耐震診断及び耐震改修に係る費用の一部を補助する。 ・耐震診断に要した経費の1／2(上限30,000円) ・耐震改修工事に係る補助対象経費の1／2(上限300,000円)				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
申請者数		20人	3人	申請者数		15人	1人	申請者数		20人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		3,601	3,601			143	143			7,750					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
×			×												
補助対象となる建築物は建築基準法改正前の旧耐震基準による木造住宅であるため、需要は少ないものの、市民の安全を守るため有効な制度であるが、申請者に負担が生じるものであることから、実施の強制を促すことはできない。 また、最新の国および県の耐震化促進計画に沿う内容とするよう、勝浦市耐震改修促進計画の改定を行った。			小学生を対象とした耐震教室の実施や、市広報紙等による補助制度の周知を図ったが、結果として申請者数の増加にはつながらなかった。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
拡大			拡大												
耐震化の重要性を啓発するとともに、事業促進のため補助金制度の見直しを図る。			更なる啓発を実施するとともに、耐震化事業のメニュー等を増やし、申請者の増加を目指す。												

				関係課	生活環境課・清掃センター・学校教育課		
1.	施策名	5	快適な環境で過ごせるまち(道路・交通・生活基盤・環境)				
		5	環境保全と循環型社会の形成				
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)
		指標1	市民・事業者・行政の連携による環境保全活動回数	6回	4回	6回	7回
		指標2	市役所庁内二酸化炭素排出量	5,316t	—	4,496t	5,208t
		指標3	一人1日当たりごみ発生量	1,154g	1,001g	1,158g	1,016g
		指標4	ごみリサイクル率(再資源化率)	18.1%	0	18.1%	21.6%
		指標5	不法投棄報告件数	97件	62件	71件	86件
		指標6	ごみ処理についての市民満足度	66.7%	—	—	向上
3.	施策の展開一覧	① 環境保全の取組強化と啓発活動の推進					
		② 生物多様性の保全					
		③ 適正なごみ処理及びし尿処理					
		④ 廃棄物の不法投棄対策					
4.	二次評価	本市の有する豊かな自然は貴重な財産であり、行政・住民・事業者が連携して環境保全活動に取り組むことが必要不可欠である。併せて環境保全と循環型社会の形成に向けた意識の高揚を図るため環境学習などの啓発活動を推進すること。 一人1日あたりごみ発生量やごみリサイクル率は横ばいで推移しており、環境負荷の軽減に向けた再資源化をさらに推進していくこと。 また、ゴミ処理施設やし尿処理施設の老朽化が進行していることから、施設の適切な維持管理に努めるとともに、持続可能なゴミ処理体制・し尿処理体制の確立に向けた取組を推進すること。					

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	14	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	55101		事業名	環境情報の公開								所管課	生活環境課	
事業概要	市ホームページを活用し、環境基本計画や環境白書など環境に係る情報を公開します。							全体事業内容						
								市ホームページを活用し、勝浦市環境基本計画や勝浦市環境白書など環境に係る情報を公開する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
環境白書、地球温暖化防止計画の公表		年1回公表	年1回公表	環境白書、地球温暖化防止計画の公表		年1回公表	年1回公表	環境白書の公表		年1回公表					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		22	0			0	0			0					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○			○												
市民の環境に関する意識の高揚に繋がっている。			市民の環境に関する意識の高揚に繋がっている。												
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
市民の環境に対する意識の向上から様々な情報を提供・発信していく必要がある。			市民の環境に対する意識の向上から様々な情報を提供・発信していく必要がある。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	14	15	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	55102	事業名	環境保全行動の推進						所管課	生活環境課	
事業概要	市民・事業者・市の各主体に対し、環境保全に関する普及啓発を図ります。						全体事業内容				
							環境市民会議の開催等により、市民・事業者・市の各主体に対し、環境保全に関する普及啓発を図る。年1回を目標として、市民環境学習会を開催する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
環境市民会議の開催		2回	0回	環境市民会議の開催		2回	1回	環境市民会議の開催		2回					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		155	0			31	28			79					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
－			○												
当初、年2回ほどの開催を見込んで準備を行っていたが、コロナ禍による感染拡大時期もあり、開催中止となった。			市の実施する環境施策のほか、地球温暖化防止対策実行計画(区域施策編)の策定についての説明等を行った。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
有識者、公募による意識の高い市民からの意見を聴することができ、設置が条例で定められているため今後も必要である。			有識者、公募による意識の高い市民からの意見を聴することができ、設置が条例で定められているため今後も必要である。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		1	7	11	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	55103		事業名	住宅用設備等脱炭素化促進事業								所管課	生活環境課	
事業概要	家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電システム、窓の断熱改修、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、V2H充放電設備、集合住宅用充電設備、住民の合意形成のための資料等の導入に対し補助金を交付し、家庭における地球温暖化対策促進を図ります。								全体事業内容					
									家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電システム、窓の断熱改修、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、V2H充放電設備、集合住宅用充電設備、住民の合意形成のための資料等の導入に対し補助金を交付し、家庭における地球温暖化対策促進を図る。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
住宅用設備等交付件数	13件	17件	住宅用設備等交付件数	13件	11件	住宅用設備等交付件数	13件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	1,430	1,250		3,150	750		3,150				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			○								
例年に比べ申請数が多かった。主たる原因としてはエネルギー価格の高騰が考えられるが、再生可能エネルギーの普及が進んできたことにより、住宅用設備等が一般化してきたことも理由の一つとして考えられる。 引き続き住宅用設備等の普及促進に取り組む。			目標数値は達成できなかったが、補助対象の追加・拡充により例年より多くの申請数を確保できた。引き続き住宅用設備等の普及促進に取り組む。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
拡大			維持								
地球温暖化防止、再生可能エネルギー導入促進、エネルギーの安定確保を目的とし、令和6年度より、市単費事業として電動自動車への補助要件を緩和する。			地球温暖化防止、再生可能エネルギー導入促進、エネルギーの安定確保を目的とし、令和6年度より、市単費事業として電動自動車への補助要件を緩和している。申請も一定数あるため、現状の制度を維持する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	11	14	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	55104		事業名	省エネ・リサイクル運動の推進・支援								所管課	生活環境課	
事業概要	省エネ・リサイクル運動の推進や、それに関する市民活動への支援及び市内小中学校を対象とした環境保全コンクールなどを実施します。								全体事業内容					
									省エネ・リサイクル運動の推進や、それに関する市民活動への支援及び市内小中学校を対象とした環境保全コンクールなどを実施する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
①標語応募作品数 ②ポスター応募作品数		①400点 ②130点	①361点 ②84点	①標語応募作品数 ②ポスター応募作品数		①400点 ②130点	①366点 ②104点	①標語応募作品数 ②ポスター応募作品数		①400点 ②130点					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		94	84			144	95			44					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○				○											
令和4年度に引き続き、目標の約8割の応募件数があった。しかし、内容を見るとポイ捨てに関する作品が多く、より多角的な視点での作品が提出されるよう、環境に関しての学習会などを実施する必要がある。				令和5年度に引き続き、目標の約8割の応募件数があった。しかし、内容を見るとポイ捨てに関する作品が多く、より多角的な視点での作品が提出されるよう、環境に関しての学習会などを実施する必要がある。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
省エネ・リサイクル・環境保全に加えて、脱炭素の意識を高めるため、次年度以降も継続していく必要がある。				省エネ・リサイクル・環境保全に加えて、脱炭素の意識を高めるため、次年度以降も継続していく必要がある。											

■実施計画事業調査

■実施計画事業調書				SDGs		3	7	12	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	55105		事業名	地球温暖化防止対策実行計画の推進								所管課	生活環境課	
事業概要	地球温暖化対策の推進に関する法律第20条の3に係る京都議定書目標達成計画に即した「第3次地球温暖化防止対策実行計画」を継続し、温室効果ガスの排出を全体として実質的にゼロにするカーボンニュートラルを含めて地球温暖化対策の推進を図ります。								全体事業内容					
									地球温暖化対策の推進に関する法律第20条の3に係る京都議定書目標達成計画に即した「第3次地球温暖化防止対策実行計画」を継続し、温室効果ガスの排出を全体として実質的にゼロにするカーボンニュートラルを含めて地球温暖化対策の推進を図る。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8							
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果	
温室効果ガス排出量・2022年度中間目標値		-18.7%	-20.7%	温室効果ガス排出量・2030年度目標値		-50.0%	-26.4%	温室効果ガス排出量・2030年度目標値		-50%						
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額				R8予算額	R8決算額
		5,855	1,125			5,105	5,105			0						
達成度		評価と課題		達成度		評価と課題		達成度		評価と課題		達成度		評価と課題		
○				○												
令和4年度実績では、中間目標とした数値をクリアした。しかし、国の削減目標を参考に、令和6年度中に削減目標を引き上げるため、更なる削減の取組が必要となる。 特に、温室効果ガスの排出のうち、電気使用に伴うものが47.8%、ゴミの焼却に伴うものが40.3%を占めているため、この2点について重点的に削減に取り組む必要がある。 ※予算の一部を令和6年度に繰り越し。				令和6年度は地球温暖化防止対策実行計画(事務事業編)を改定し、2030年の削減目標を-50.0%と設定した。 令和5年度の排出量実績は2013年度比-26.4%で、コロナ禍における減少幅に近づいており、着実に排出量削減が進んでいる。 今年度は、温室効果ガスの排出のうち大部分を占める電気について、再エネ由来電力に切り替えを行った。次年度において令和6年度実績を算出する際に、排出量を大幅に削減できる予定。 ※4,730千円(前年度繰越分)												
今後の方向性		今後の展望		今後の方向性		今後の展望		今後の方向性		今後の展望		今後の方向性		今後の展望		
拡大				拡大												
公共施設への太陽光発電設備の導入のほか、公用車の電動化、庁舎電灯のLED化、再エネ電力の調達等、複数の手段を組み合わせでの温室効果ガス排出量削減に取り組む。				公共施設への太陽光発電設備の導入のほか、公用車の電動化、庁舎電灯のLED化、再エネ電力の調達等、複数の手段を組み合わせでの温室効果ガス排出量削減に取り組む。また、ゴミの焼却については更なる取り組みが必要。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	10	11	17	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	55106		事業名	ごみゼロ運動の推進						所管課	清掃センター	
事業概要	市民が郷土愛の理念に立脚し、清潔で快適な生活を営めるよう、ごみゼロ運動を推進します。							全体事業内容				
								自治会(区)やボランティア団体の実施する公共広場、空き地等のごみの収集や清掃等の活動を積極的に支援し、ごみゼロ運動を推進する。 ・ボランティア清掃を行なう団体等の支援のための要綱制定及び市民向けガイドラインの作成 ・清掃を行なうボランティア団体等のリーダーの育成				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
各区・ボランティア団体による清掃活動の支援		200日	191日	各区・ボランティア団体による清掃活動の支援		200日	172日	各区・ボランティア団体による清掃活動の支援		200日					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,137	1,137			1,927	1,767			2,183					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○			○												
清掃活動により集めたごみの回収を委託により実施。 少量の場合は直営にて回収した。 区の清掃活動が高齢化・減少により活動の縮小・停止されてきている			目標値と実績値の乖離は雨天等による活動の中止によるもの。 清掃活動により集めたごみの回収を委託により実施。 少量の場合は直営にて回収し経費削減に努めた。 区の清掃活動が高齢化・減少により活動の縮小・停止されてきている												
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
海岸清掃を主とした登録団体が増えており、その活動の支援。 市民の環境美化に対する意識高揚を図る。			海岸清掃を主とした登録団体が増えており、その活動の支援。 市民の環境美化に対する意識高揚を図る												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		7	11	14	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	55201		事業名	ウミガメの管理・保護								所管課	生活環境課	
事業概要	沿岸域の環境保全を図るため、看板等による啓発を行います。								全体事業内容					
									沿岸域の環境保全を図るため、看板等による啓発を行う。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
ウミガメの産卵回数	1回	1回	ウミガメの産卵回数	1回	1回	ウミガメの産卵回数	1回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
ウミガメの産卵跡と思われる3か所に立て看板や囲いを行い、適切な保全を行った。			ウミガメの産卵跡と思われる1か所に立て看板や囲いを行い、適切な保全を行った。その後、鴨川シーワールドが卵の採捕を行い、結果としてウミガメ57個体を海へと還すことができた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
沿岸域の環境保全に努めることは今後も必要である。 また、ウミガメの管理・保護については自然界のものでもあり、その関与についても難しいところであるが、卵の移動についての講習を受講するなど、管理・保護を図っていく。			沿岸域の環境保全に努めることは今後も必要である。 また、ウミガメの管理・保護については自然界のものでもあり、その関与についても難しいところであるが、卵の移動についての講習を受講するなど、管理・保護を図っていく。								

■実施計画事業調書

SDGs	7	11	14	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	----	----	------	----	------	---

事業番号	55202	事業名	希少動植物の保護			所管課	生活環境課
事業概要	希少動植物の情報を広く周知し、自然の大切さを啓発することにより、行政・事業者・住民等が一体となって、貴重な財産である自然環境の保全活動を推進します。			全体事業内容			
				希少動植物の情報を広く周知し、自然の大切さを啓発することにより、行政・事業者・住民等が一体となって、貴重な財産である自然環境の保全活動を推進する。			

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
ヒメコマツ回復計画による苗木の育成・保護	年1回の報告	年1回の報告	ヒメコマツ回復計画による苗木の育成・保護	年1回の報告	年1回の報告	ヒメコマツ回復計画による苗木の育成・保護	年1回の報告				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
野生動物からの新芽保護など柵を設け対策し、順調に生育している。			野生動物からの新芽保護など柵を設け対策し、順調に生育している。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
環境保全活動の重要性に鑑み、引き続き実施していく。			環境保全活動の重要性に鑑み、引き続き実施していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	7	11	会計区分		一般	再掲区分		-		
事業番号		55203		事業名		ミヤコタナゴの保護							所管課		生涯学習課	
事業概要		天然記念物であるミヤコタナゴを保護するため、生息地の環境保全を図ります。							全体事業内容							
									草刈り等を行いミヤコタナゴの生息しやすい環境づくりを推進する。							

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
生息地周辺の環境整備の取組数	2回	1回	生息地周辺の環境整備の取組数	2回	1回	生息地周辺の環境整備の取組数	2回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	330	322		342	330		330				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			△								
ミヤコタナゴの生息地周辺の環境整備として、草刈りを実施している。一方で、課題として、ミヤコタナゴが卵を産む二枚貝の生息数が減少しており、二枚貝の生息環境の保護が必要であることから、専門家との協議を含め、適宜、必要に応じた対応を行う。			ミヤコタナゴの生息地周辺の環境整備として、草刈りを実施している。令和6年度は、草刈りの実施とは別に、専門家が実施した国内外来魚であるヌマムツの駆除等に同行した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、ミヤコタナゴの生息地周辺の環境整備に取り組んでいく。			引き続き、専門家との協議を含め、生息地周辺の草刈りと併せ、積極的に外来魚等の駆除に同行するなど、ミヤコタナゴ保護のための環境整備に取り組んでいく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	17	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	55301		事業名	一般廃棄物収集運搬業務委託事業								所管課	清掃センター	
事業概要	ごみの分別収集体制の確立及び一般廃棄物処理の適正化と業務の効率化を図ります。							全体事業内容						
								ごみの分別収集により、焼却ごみの減量化を図り、環境への負荷軽減を推進するとともにごみ処理の適正化を図る。 〔委託業務の内容〕 一般廃棄物収集運搬業務、夏期一般廃棄物収集運搬業務、一般廃棄物焼却灰等運搬処分業務、粗大金物収集運搬業務、夏期海水浴場等不燃物収集運搬業務、一般廃棄物(不燃ごみ)運搬処理等業務、資源化物運搬処理業務、廃プラスチック運搬処理等業務、粗大ごみ収集運搬業務、廃乾電池運搬処分業務						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
ごみの分別収集による焼却ごみの減量化	5,000t	4,553t	ごみの分別収集による焼却ごみの減量化	5,000t	4,935t	ごみの分別収集による焼却ごみの減量化	4,900				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	203,600	182,287		170,573	140,169		208,111				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
人口・世帯減少に比例し収集量は減少傾向にある。 ごみの分別も浸透してきている。 施設の老朽化による故障による焼却停止で可燃ごみの外部搬出により焼却量の減。			人口・世帯減少に比例し収集量は減少傾向にある。 施設修繕に伴う焼却停止で可燃ごみの外部搬出によりクリーンセンターでの焼却量は減少するが、実質的処分量は変わらない。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
ごみの分別収集を引き続き推進する。 分別により資源ごみ回収量を増やし、焼却ごみの減量による環境負荷軽減を推進する。			人件費、燃料等の高騰により委託料の予算が増加傾向にある。 財源確保の観点からも手数料等の見直しが必要である。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	17	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	55302		事業名	ごみ焼却施設改修事業								所管課	清掃センター	
事業概要	ごみ処理施設の改修工事を実施し、施設の適正な管理運営を図ります。							全体事業内容						
								ごみ処理施設の維持改修を実施し、安定的なごみ処理の実施及び施設の適切な管理運営に努める。 個別施設計画に基づきごみ処理施設(勝浦市クリーンセンター)の長寿命化を図る。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
施設設備の故障停止日数		0日	47日	施設設備の故障停止日数		故障停止0日	0日	施設設備の故障停止日数		故障停止0日					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		281,050	116,122			327,182	326,026			723,624					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
×			◎												
給塵装置の故障による修理期間が47日間に渡り、安定的な施設稼働が出来なかった。 施設の老朽化が進んでおり、設備全体が耐用年数を過ぎている。			ごみ処理施設の維持・改修を実施し、安定的な施設稼働が出来た。 施設の老朽化が進んでおり、設備全体が耐用年数を過ぎている。 ※164,439千円(R6年度繰越し)												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
予防保全措置工事の実施を図る。			予防保全措置工事の実施を図る。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書			SDGs	3	11	17	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	55303	事業名	ごみ処理の効率化					所管課	清掃センター	
事業概要	ごみ処理施設運営の広域化に向けた組織体制を検討します。					全体事業内容				
						2021年を目処に「広域化・集約化計画」を策定し廃棄物処理の体制づくりを進めることが環境省から示され、千葉県では「第10次千葉県廃棄物計画」を「広域化・集約化計画」として位置づけていることから、令和3年度から千葉県が主体となって更新時期が近い施設を所有する自治体等から意見聴取を行った。 令和4年度は意見聴取及び希望する自治体に対し、対象地域となるブロック割り並びに会議（意見交換会）を実施予定。 令和5年度はごみ処理施設の整備を計画している市原市へ夷隅郡2市2町合同により可燃ごみの受入れについて協議を申し入れた。 また、市原市との広域化を想定した事業費を検証するための基礎調査を実施する。 令和6年度は令和5年度に引き続き、市原市の一般廃棄物処理施設整備基本計画の策定で協議を実施予定。 【参考】 広域化・集約化の必要性と役割（施設設置検討の目的）・広域化・集約化による効率化や経費負担の減 ・災害時の拠点（避難所機能・発電施設）・環境学習の場 家庭ごみだけでなく事業系の廃棄物処理も安定的・効率的観点から検討し、処理能力も100t／日以上が望ましいとされており、それより小さい規模は焼却以外の処理方法導入も併せ取組することを国は推進している。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
市原市への協議申し入れ 夷隅郡2市2町での広域化基礎調査		2件	2件	市原市への協議申し入れ 夷隅郡2市2町での広域化基礎調査 を継続		2件	2件	市原市との事務委託の協定締結。 中継処理施設の建設などの計画立案		1件					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		1,533	777			2,218	2,218			0					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			◎												
市原市のごみ焼却施設建設計画に伴い夷隅郡2市2町による広域化申し入れに伴う「新焼却施設整備基本計画策定支援業務」の負担金。 また、これに伴う「夷隅地域廃棄物処理事業広域化基礎調査」の実施。			市原市のごみ焼却施設建設計画に伴い夷隅郡2市2町による広域化申し入れに伴う「新焼却施設整備基本計画策定支援業務」の負担金。 ※583千円(R6繰越し)												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持			維持									
市原市の回答内容によるが、既存の焼却施設の延命化、中継処理施設の建設などの計画立案。			既存の焼却施設の延命化、中継処理施設の建設などの計画立案。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	17	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	55304		事業名	ごみの減量化・資源化啓発事業								所管課	清掃センター	
事業概要	ごみの分別収集を推進し、リサイクル意識の高揚及びごみの減量化を図ります。				全体事業内容									
					ごみ分別収集カレンダー等を全世帯に配布し、ごみの分別収集の推進と減量化・再資源化を図る。 ホームページ・広報誌等を活用し、ごみの分別収集の推進と減量化を図る。 ・環境負荷の少ない分別収集の研究 ・収集に伴う作業効率の向上並びに経済的効果の研究 ・4Rの推進、3Rにリフューズを加えごみの減量化を図ります。 ・食品ロスの削減を推進し直接廃棄や過剰除去、食べ残しを減らすことによりごみの減量化を図ります。									

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
ごみ分別収集カレンダー等を全世帯に配布し、ごみの分別収集の推進と減量化・再資源化を図る。	17,000枚	17,000枚	ごみ分別収集カレンダー等を全世帯に配布し、ごみの分別収集の推進と減量化・再資源化を図る。	17,000枚	17,000枚	ごみ分別収集カレンダー等を全世帯に配布し、ごみの分別収集の推進と減量化・再資源化を図る。	17,000枚				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	338	280		687	687		882				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
区長を通じた配布により配布コストの削減をした。 また、集合住宅管理者、マンション管理人、不動産業者へも配布した。 外国人に対応したカレンダーの必要性が課題でる。			区長を通じた配布により配布コストの削減をした。 また、集合住宅管理者、マンション管理人、不動産業者へも配布した。 外国人に対応した外国語カレンダー(英語・中国語)を作成した。 ごみの分け方・出し方パンフレットの改訂版の予算化ができなかった。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
ごみの分け方・出し方パンフレットの改訂版を作成し全戸配布し改めて分別収集の意識高揚を図る。 外国人に対応したカレンダーの作成する。			ごみの分け方・出し方パンフレットの改訂版を作成し全戸配布し改めて分別収集の意識高揚を図る。 外国人に対応したカレンダー(英語・中国語以外)の作成を検討する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	6	17	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	55305		事業名	し尿収集運搬業務委託事業						所管課	清掃センター	
事業概要	し尿収集運搬を実施することで、し尿処理の適正化と収集業務の効率化を図るとともに、生活環境の保全を図ります。						全体事業内容					
							市内全域の一般家庭及び仮設トイレ等の生し尿の収集を行う。また、夏期には車両を1台増車し、各海水浴場の仮設トイレ等の収集運搬を実施する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
収集 未回収件数		0	0	収集 未回収件数		0	0	収集 未回収件数		0	0				
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		54,829	54,318			54,318	54,318			80,171					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
◎			◎												
未回収なく適切に業務が遂行された。			未回収なく適切に業務が遂行された。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
受付、回収業務のシステム化の検討を図る。			受付、回収業務のシステム化の検討を図る。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	6	17	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	55306		事業名	し尿処理施設改修事業						所管課	清掃センター	
事業概要	し尿処理施設の改修工事を実施し、施設の適正な管理運営を図ります。							全体事業内容				
								し尿処理施設の維持改修を実施し、安定的なし尿処理の実施及び施設の適切な管理運営に努める。 個別施設計画に基づきし尿処理施設(勝浦市衛生処理場)の長寿命化を図る。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
施設設備の故障停止日数		0日	0日	施設設備の故障停止日数		0日	0日	施設設備の故障停止日数		0日					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		62,323	61,919			41,240	40,238			24,420					
達成度	評価と課題		達成度	3		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
◎			◎												
予定工事の遂行及び応急工事により安定的な施設稼働を実施した。			維持・改修を実施し、安定的な施設稼働が出来た。 施設の老朽化が進んでおり、設備全体が耐用年数を過ぎている。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
施設の状況を考慮した適切な修繕、更新工事の実施を図る。			施設の状況を考慮した適切な修繕、更新工事の実施を図る。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	17	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	55307		事業名	し尿処理の効率化								所管課	清掃センター	
事業概要	し尿処理施設運営の広域化・共同処理に向けた組織体制を構築し、広域化・共同処理について検討します。								全体事業内容					
									夷隅環境衛生組合と共同処理実施に向け協議を行なう。 夷隅環境衛生組合の施設更新(令和10年度予定)に併せ勝浦市と共同処理実施に向け協議を行なう。 ・令和4年4月 夷隅環境衛生組合管理者(いすみ市長)へ「夷隅環境衛生組合への加入について(依頼)」を提出 ・令和4年5月 夷隅環境衛生組合定例議会にて管理者から副管理者並びに組合議員に対し勝浦市から依頼書の提出があった旨の説明をした。 ・令和5年度から順次各計画策定を行なう必要があるが、事業主体(広域市町村圏事務組合、一部事務組合)への負担金となるため、事業費未記入					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
し尿処理施設運営の広域化	1件	1件	し尿処理施設運営の広域化	1件	1件	し尿処理施設運営の広域化	1件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
令和4年度に共同処理に向け夷隅環境衛生組合に加入の検討依頼。 令和5年度に令和8年度からの処理委託の申し入れ。 老朽化した施設の維持と夷隅環境衛生組合への処理委託の推進を平行して行う。			令和4年度に共同処理に向け夷隅環境衛生組合に加入の検討依頼。 令和5年度に令和8年度からの処理委託の申し入れ。 老朽化した施設の維持と夷隅環境衛生組合への処理委託の推進を平行して行う。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			拡大								
夷隅環境衛生組合の返答待ちであるが、老朽化した現施設の現状から夷隅環境衛生組合への処理委託、また組合への加入認可を進める			夷隅環境衛生組合の返答待ちであるが、老朽化した現施設の現状から夷隅環境衛生組合への処理委託、また組合への加入認可を進める								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	6	17	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	55308		事業名	脱水汚泥等運搬処理業務委託事業						所管課	清掃センター	
事業概要	脱水汚泥等の運搬処理を実施することで、し尿処理施設の適正な管理運営と生活環境の保全を図ります。							全体事業内容				
								し尿処理施設に持ち込まれる生し尿及び浄化槽汚泥を脱水汚泥とし、業者委託により運搬処理を実施する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
脱水汚泥最終処分場の確保		2施設	2施設	脱水汚泥最終処分場の確保		2施設	2施設	脱水汚泥最終処分場の確保		2施設					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		13,050	12,525			14,150	13,757			13,794					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
◎			◎												
脱水汚泥について焼却および堆肥化再生により安定した処理が実施された。			脱水汚泥について焼却および堆肥化再生により安定した処理が実施された。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
再生及び焼却・埋立による適正な処理の継続を図る。			再生及び焼却・埋立による適正な処理の継続を図る。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		11	12	15	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	55401		事業名	廃棄物不法投棄監視員制度事業								所管課	生活環境課	
事業概要	12名の不法投棄監視員を配置し、市内の不法投棄情報の収集及びパトロールを実施します。								全体事業内容					
									12名の不法投棄監視員を配置し、市内の不法投棄情報の収集及びパトロールを実施する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
パトロール日数		144日	343日	パトロール日数		144日	317	パトロール日数		144日					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		720	535			720	720			720					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
◎			◎												
不法投棄物の早期発見・回収により、新たな不法投棄の防止に繋がっている。			不法投棄物の早期発見・回収により、新たな不法投棄の防止に繋がっている。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
継続して実施し、不法投棄の防止に努める。			継続して実施し、不法投棄の防止に努める。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	12	15	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	55402		事業名	廃棄物不法投棄防止事業						所管課	生活環境課	
事業概要							全体事業内容					
							監視カメラ、簡易式不法投棄防止ネット、啓発看板設置などにより、不法投棄防止体制を強化する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
不法投棄物回収量	7t	2.9t	不法投棄物回収量	7t	1.7t	不法投棄物回収量	7t				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	439	382		309	213		269				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
不法投棄物の早期発見・回収により、新たな不法投棄の防止に繋がっている。			不法投棄物の早期発見・回収により、新たな不法投棄の防止に繋がっている。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
継続して対策を実施する。			継続して対策を実施する。								

				関係課	図書館・芸術文化交流センター・生涯学習課			
1.	施策名	6	心豊かで元気になれるまち(生涯学習・文化・スポーツ)					
		1	生涯学習の推進					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	各種学級参加者数	802人	519人	583人	840人	
		指標2	図書館入館者数	19,010人	14,599人	10,057人	22,800人	
		指標3	生涯学習についての市民満足度	28.4%	－	－	向上	
3.	施策の展開一覧	① 市民のニーズに対応した学習機会の提供						
		② 生涯学習の環境整備						
		③ 多様な交流活動の促進						
4.	二次評価	生涯学習の推進について、図書館の利用者数は大きく減っており、利用者が固定化されてきていることが考えられる。また、施設・設備の老朽化や学習室、閲覧場所の不足など課題が多く、図書館のあり方を検討すべきである。 芸術文化交流センター及び集会所の施設管理について、指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上や適切な施設の維持管理に取り組んでいるが、財政削減効果やサービス向上効果については継続的に検証・評価していくこと。						

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	61101		事業名	おやこたいむ事業								所管課	図書館	
事業概要	乳幼児・幼児連れの利用者が気兼ねなく館内を利用できるよう、優先時間帯(おやこたいむ)を設定します。								全体事業内容					
									乳幼児・幼児連れの保護者等が気兼ねなく館内を利用できるよう、優先時間帯を設け、子育て世代の図書館の活用を推進します。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
利用者数(延べ人数)		140人	0人	利用者数(延べ人数)		140人	0人	利用者数(延べ人数)		140人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
×			×												
コロナ5類移行後、感染症対策を勘案しつつ再開を検討したが、おやこたいむ時の一般利用者との兼ね合いもあり、実施に至らなかった。			おやこたいむ自体の実施場所を集会所にする等も検討したが、そうなると来館してもらう意味がなくなる。 ひとまず、おやこたいむ対象世代へのニーズ対応策として、こども園子育て支援室への絵本貸出を検討、令和7年1月から図書館便(仮称)として、積極的な団体貸出を始めた。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
廃止			廃止												
図書館全体をおやこたいむに設定するため、静かに過ごしたい方は学習室を使用してもらっていたが、コロナ禍で休止中の令和3年度に、学習室が郷土資料室に改装され、代替場所がない。一般利用者との兼ね合いを考えていく必要がある。また、おやこたいむ対象世代は、こども園の子育て支援室利用者との重複が考えられるため、同室に絵本を貸し出すなど、おやこたいむに代わり利用者ニーズに応える方法を検討していく。			おやこたいむの実施場所を他所に移す案が浮上しなければ、子育て支援室への団体貸出を利用した「図書館便」を引き続き実施していく。内容は0・1・2歳児向けの絵本を基本として、1月に一度、図書館にて選書、配達、交換を行う。1回20冊～30冊程度とするが、100冊まで可能なので、配架場所や絵本の内容など、子育て支援室と調整の上、軌道に乗せていく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	4	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	61102		事業名	読書推進事業						所管課	図書館	
事業概要	子供から大人まで全ての人が読書に親しむ機会を提供することを目的として、利用者に新しいジャンルや作家の本と出会う機会を提供する「本の福袋」事業等、読書の推進につながる事業を実施します。							全体事業内容				
								利用者に新しいジャンルや作家の本と出会う機会を提供する「本の福袋」事業、特定のテーマについての図書を集めて展示する図書企画展、夏休み期間の小中学生の読書量の増を目的とする「図書館からの挑戦状」等、読書の推進につながるイベントを開催する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
「本の福袋」利用者数(延べ)		30人	27人	「本の福袋」利用者数(延べ)		30人	28人	「本の福袋」利用者数(延べ)		30人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		18	15			17	16			15					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
「本の福袋」については、事業実施期間を長くし、通常貸出し利用者にも案内するなど周知に努めた結果、概ね目標を達成することができた。 「図書館からの挑戦状」については、校長会で改めて依頼を行い、昨年度を上回る参加を得られた。 「図書企画展」は5回実施することができた。 「読書講演会」は3回実施し、延べ58人の参加を得られた。			「本の福袋」については、事業実施期間を長くし、通常貸出し利用者にも案内するなど周知に努めた結果、概ね目標を達成することができた。 「図書館からの挑戦状」については、各学校へメールでも依頼を行い、昨年度を上回る参加を得られた。「図書企画展」は5回実施することができた。「読書講演会」は3回実施し、延べ39人の参加を得られた。講演会を幅広い内容にするため、1回5千円の予算で、新しい講師を見つけていく必要がある。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
「本の福袋」については、魅力ある福袋の提供を前提に、選書に当たっては閉架書庫の本も対象にするなど、当事業の実施による蔵書の有効活用にも努めていく。 「図書館からの挑戦状」については、学校の協力を得ながら、特に中学生の参加数増に努め、ヤングアダルト世代への読書推進を図っていく。 「図書企画展」「読書講演会」は時事的な機会も捉え、様々な角度から興味を持ってもらえるように工夫し、来館者の増につなげていく。			「本の福袋」については、魅力ある福袋の提供を前提に、選書に当たっては閉架書庫の本も対象にするなど、当事業の実施による蔵書の有効活用にも努めていく。中身の「ヒント」の書き方も工夫する。「図書館からの挑戦状」については、学校との連携をより密にし、特に中学生の参加数増に努め、ヤングアダルト世代への読書推進を図っていく。「図書企画展」「読書講演会」は時事的な機会も捉え、様々な角度から興味を持ってもらえるように工夫し、引き続き来館者の増につなげていく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	61103		事業名	自主的サークル活動支援							所管課	芸術文化交流センター			
事業概要	自主的にサークル活動を実施している団体の学習場所として、集会所や芸術文化交流センターの利用を促進し、各種教室の開催やサークル活動の充実を支援します。								全体事業内容						
									各施設の利用促進と、各種文化教室・講座の受講者が、引き続き活動を継続するためのサークル立ち上げ等を支援し、市民の文化活動及び交流活動の活性化を図る。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
施設利用サークル団体数	100団体	98団体	施設利用サークル団体数	100団体	98団体	施設利用サークル団体数	100団体				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
自主的に活動する学習の場の提供として、施設使用料の減免規定を設け、施設の利用促進を図るとともに、各種文化教室・講座を開設して、新規サークル団体の発足を促し、市民及び周辺住民の交流・文化活動の活性化が図られた。			自主的に活動する学習の場の提供として、施設使用料の減免規定を設け、施設の利用促進を図るとともに、各種文化教室・講座を開設して、新規サークル団体の発足を促し、市民及び周辺住民の交流・文化活動の活性化が図られた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
市民の学習意欲、芸術文化への興味・関心は高く、これらの受け皿としてのサークル団体の支援は重要であると考え、今後も継続して文化・交流活動を支援していく。			市民の学習意欲、芸術文化への興味・関心は高く、これらの受け皿としてのサークル団体の支援は重要であると考え、今後も継続して文化・交流活動を支援していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	61104		事業名	市民講座・教室の充実							所管課	芸術文化交流センター		
事業概要	各種市民講座・教室等を開催し、市民相互の交流と学習機会の場を提供することで、生涯学習の充実を図ります。							全体事業内容						
								・市民文化教室の開催 ・勝浦市芸術文化団体連絡協議会主催の芸文協祭りの後援、開催協力 ・文化祭における芸能発表会や作品展示など、学習成果を披露する場の提供						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
市民文化教室の定員充足率 （申込者／定員）	90%	83.8%	市民文化教室の定員充足率 （申込者／定員）	90%	81.0%	市民文化教室の定員充足率 （申込者／定員）	90%								
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額				
	2,197	1,812		1,893	1,592		1,713								
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
△			△												
各種講座等を開設して、市民の学習意欲や芸術文化への興味関心に応えており、地域住民の交流や文化活動の活性化が図られている。			各種講座等を開設して、市民の学習意欲や芸術文化への興味関心に応えており、地域住民の交流や文化活動の活性化が図られている。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
市民のニーズの把握に努め、より効果的な講座等を開設する。			市民のニーズの把握に努め、より効果的な講座等を開設する。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	4	5	会計区分		一般	再掲区分		-		
事業番号		61105		事業名		各種学級の開設による学習機会の充実							所管課		生涯学習課	
事業概要		高齢者等地域住民を対象とした学級を開設し、継続的な生涯学習や市民交流の場を提供します。							全体事業内容							
									女性や高齢者等を対象とした学級を開設し、市民交流と生涯学習の場を提供する。 (R4年度 女性学級・高齢者学級 各6回)							

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
女性学級・高齢者学級の参加者数	500人	519人	女性学級・高齢者学級の参加者数	500人	583人	女性学級・高齢者学級の参加者数	500人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	735	631		896	866		861				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
女性や高齢者が生きがいをもって生活が送れるよう生涯学習の場の提供として、女性学級・高齢者学級において各種講座を開催した。また、付随する効果として、市民間の交流の深化につながった。一方で、課題として、参加者のニーズや学習意欲の把握に努め、参加者が興味を持てる講座の開催を進めていく必要がある。			女性や高齢者が生きがいをもって生活が送れるよう生涯学習の場の提供として、女性学級・高齢者学級において各種講座を開催した。また、付随する効果として、市民間の交流の深化につながった。一方で、課題となる参加者のニーズや学習意欲の把握について、継続して、参加者が興味を持てる講座の開催を研究していく必要がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、対象者のニーズや学習意欲の把握に努め、参加者が興味を持てる講座の開催を進めていく必要がある。			引き続き、対象者のニーズや学習意欲の把握に努め、参加者が興味を持てる講座の開催を進めていく必要がある。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	61201		事業名	芸術文化交流センターの管理・運営								所管課	芸術文化交流センター		
事業概要	芸術文化交流センター施設の維持管理及び各種設備の保守点検を適切に行うとともに、業務委託費や光熱水費等に多額の費用を要することから、適正な使用料手数料及び減免措置について、継続的に検討を進めます。								全体事業内容						
									施設の維持管理及び各種設備の保守点検を適切に行うとともに、業務委託費や光熱水費等に多額の費用を要することから、適正な使用料手数料及び減免措置について、継続的に検討を進める。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

評価対象年度 R5

主な目標

目標数値

R5結果

適正な減免措置の検討

-

-

R5予算額

R5決算額

50,088

46,609

達成度

○

評価と課題

芸術文化交流センターの利用者は、増加傾向にあり、使用料手数料についても増加している。
減免対象件数についても増加しているが、適正な事務の執行に努めている。

今後の方向性

維持

今後の展望

令和6年度より指定管理者制度を活用し、運営していくため今後についても連携を行い適正な事務の執行に努めていく。

(単位:千円)

評価対象年度 R6

主な目標

目標数値

R6結果

適正な減免措置の検討

-

-

R6予算額

R6決算額

87,183

86,341

達成度

△

評価と課題

芸術文化交流センターの利用者は、増加傾向にあり、使用料手数料についても増加している。
令和6年10月から指定管理者制度に移行し、施設設備の適切な管理と自主イベントの充実が図られているが、減免措置に関する適正な事務の執行について、市と指定管理者で協議を進める。

今後の方向性

維持

今後の展望

指定管理者制度への移行に伴い、市の事業としての施設の活用形態や芸術文化団体の使用に対しての減免措置の検討を続けていく。

(単位:千円)

評価対象年度 R7

主な目標

目標数値

R7結果

適正な管理運営

-

R7予算額

R7決算額

113,136

達成度

評価と課題

今後の方向性

今後の展望

(単位:千円)

評価対象年度 R8

主な目標

目標数値

R8結果

R8予算額

R8決算額

達成度

評価と課題

今後の方向性

今後の展望

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	61202		事業名	集会所の管理・運営								所管課	芸術文化交流センター		
事業概要	老朽化が進んでいる集会所の適正な管理に努めます。								全体事業内容						
									老朽化が進んでいる集会所の適正な管理に努める。						

■事業評価書

集会所計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
適正な管理	—	—	適正な管理	—	—	適正な管理・運営	—				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	68,341	64,054		7,847	6,041		1,133				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
集会所の利用者は、増加している。 このため、老朽化が進んでいる集会所について適正な管理を今後も進めていく。			大きな修繕はなかったが、指定管理者と連携して適正な管理に努めていく。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
令和6年度より指定管理者制度を活用し、運営していくため今後についても連携を行い適正な管理運営に努めていく。			令和6年10月から管理をしている指定管理者と協議しながら、個別施設計画に沿って改修を検討する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	61203		事業名	図書館の管理・運営							所管課	図書館		
事業概要	市民の学習需要に対する生涯学習施設の一つとして良質な図書を市民に提供します。							全体事業内容						
								生涯学習における重要な施設の一つとしての責に基づき、良質な図書を市民に提供する。また、老朽化及び施設・駐車場規模等を勘案し、現存施設の移転について検討する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
貸出冊数		30,000冊	28,174冊	貸出冊数		30,000冊	28,575	貸出冊数		30,000冊					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		14,710	14,363			13,312	12,976			12,096					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題					
○			○												
新刊本や話題本等の紹介コーナーを中心に、図書の貸出冊数は、28,174冊で概ね目標を達成できた。令和4年11月に老朽化のため漏水が生じた屋内消火栓設備については、代替としてパッケージ型 소화設備を設置した。また、勝浦集会所と併せた移転について検討し、スケジュール等の課題を整理した。			新刊本や話題本等の紹介コーナーを中心に、図書の貸出冊数は、28,575冊で概ね目標を達成できた。令和6年11月より、図書館管理システムの更新を行った。利用者向けシステムオプション機能を導入し、スマホ・PCで「MY本棚」が利用できるようにした。この機能により、利用者は、自分の借りた本の表紙画像を仮想本棚で確認をしたり、借りたい本の本棚なども仮想上で自由に作成できるようになった。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望					
維持			維持												
引き続き、生涯学習における重要な施設の一つとしての責に基づき、良質な図書を市民に提供していく。また、老朽化及び施設・駐車場規模等を勘案し、現存施設の移転についても検討を進めていく。			引き続き、生涯学習における重要な施設の一つとしての責に基づき、良質な図書を市民に提供していく。また、老朽化及び施設・駐車場規模等を勘案し、現存施設の移転についても検討を進めていく。 また、限られた予算の中、選書については、できるだけ利用者ニーズに沿った本、話題本の割合を増やしていく。県内図書館の相互協力についても、積極的な利用の案内をしていく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	9	11	17	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	61301		事業名	友好都市との交流促進						所管課	企画課	
事業概要	全国勝浦ネットワークを構成する徳島県勝浦町、和歌山県那智勝浦町や、友好都市である西東京市等との交流を促進し、都市間交流による関係人口の拡大及び地域活性化を推進します。							全体事業内容				
								全国勝浦ネットワーク及び西東京市との友好都市盟約に基づき、文化・教育・福祉・産業交流の促進し、関係人口の拡大及び地域活性化の推進を図る。全国勝浦ネットワーク会議（首長会議）を開催する。（隔年開催）勝浦市、勝浦町、那智勝浦町、西東京市で開催されるイベントに相互に出展し、産業交流の促進を図る。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
イベント交流回数	5回	5回	イベント交流回数	5回	5回	イベント交流回数	5回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	400	253		783	444		529				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
コロナが5類に移行されたこともあり、コロナ前と同様のイベント交流ができた。 また、千葉県150周年事業として文化芸能発表会を開催することができた。 友好都市間の文化財交流展示も実施し、県間を通じて交流を図れた。			コロナ前と同様のイベント交流ができた。 今年度は、全国勝浦ネットワーク会議も開催し、災害時におけるふるさと納税の代理寄附についての協定を結んだ。 また、友好都市に出展してもらいイベントを朝空マーケットからビッグひな祭りに変更し、物販の時間を長く確保できた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
これからもイベント交流回数などを継続するほか、災害時の相互支援などを進め関係の強化を図っていく。			これからもイベント交流回数などを継続するほか、災害時の相互支援などを進め関係の強化を図っていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	17	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	61302	事業名	国際化の推進						所管課	【企画課】・学校教育課・生涯学習課	
事業概要	市民の国際交流活動を支援し、国際感覚豊かな人材の育成を図ります。						全体事業内容				
							市民の国際交流活動を支援し、国際感覚豊かな人材の育成を図る。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
留学生と小中学生との交流回数	1回以上	0回	災害時外国人サポーター養成講座の開催	1回	1回	留学生と小中学生との交流 等	1回以上				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0						
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×			○								
コロナ禍になってから中止していた本事業は、今年度においても実施しなかった。			千葉県、鴨川市と共催で災害時外国人サポーター養成講座を開催した。支援ボランティアと、外国人参加者に向けた講座の開催及び、合同避難訓練を実施することで、災害時の外国人支援について理解を深める事ができた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
来年度においても実施予定はないとのことだったため、新たに事業を考える必要がある。			来年度において、新たに事業を考える必要がある。								

				関係課	芸術文化交流センター・生涯学習課・学校教育課		
1.	施策名	6	心豊かで元気になれるまち(生涯学習・文化・スポーツ)				
		2	芸術文化の振興と伝統文化の継承				
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)
		指標1	芸術文化団体数	88団体	98団体	80団体	101団体
		指標2	市民文化教室参加者数	401人	259人	124人	400人
		指標3	芸術文化交流センター利用者数	24,074人	32,453人	39,625人	37,000人
		指標4	集会所利用者数	25,936人	26,402人	21,086人	28,000人
		指標5	郷土資料室利用者数	435人	92人	165人	750人
		指標6	図書館・ホール等の文化施設についての市民満足度	42.8%	—	—	向上
		指標7	文化・芸術活動を楽しむ環境についての市民満足度	36.6%	—	—	向上
3.	施策の展開一覧	① 芸術文化活動の振興					
		② 文化財・伝統文化の継承					
4.	二次評価	芸術文化の振興については、芸術文化交流センターの利用者が増加していることから、市民が芸術文化に触れる機会の拡充が着実に図られてきているものと評価する。 市民文化教室参加者や郷土資料室利用者は減少しており、魅力的な企画立案、市民への周知を積極的に実施すること。 歴史的に貴重な文化財や伝統文化は、市の財産であるため、適切に保存していくことが求められる。					

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	62101		事業名	芸術文化等の振興								所管課	芸術文化交流センター		
事業概要	市民が優れた芸術文化に触れる機会の充実にに向けたコンサートなどを実施し、芸術文化の振興を図ります。 令和6年10月から指定管理者制度の導入を図り、指定管理者と共に芸術文化の振興を図る。								全体事業内容						
									市民の様々な芸術・文化に対するニーズに応えるため、多種多様なイベント開催を計画していく中、入場料収入を確保し可能な限り収支均衡を図るため、有効な宣伝方法、貸館事業の促進及び開催方式(共催)等について検討していく。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
音楽コンサート等来場者数	9,800者	7,643者	音楽コンサート等来場者数	4,900	2450						
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	17,103	13,338		3,488	2,679						
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			△								
市民が心豊かな生活を送るため、質の高い芸術文化に触れる機会を提供するとともに、市民及び近隣住民の交流の促進を図られる本事業は有効性が高いと考えている。			市民が心豊かな生活を送るため、質の高い芸術文化に触れる機会を提供するとともに、市民及び近隣住民の交流の促進を図られる本事業は有効性が高いと考えている。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
令和6年10月から指定管理者制度の導入を予定しているが、これまで同様取り組んでいく。			令和6年10月から指定管理者制度の導入しているが、これまで同様取り組んでいく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	62201		事業名	郷土資料室の管理・運営							所管課	生涯学習課		
事業概要	郷土に関する考古資料、歴史資料及び民俗資料並びに美術工芸品の展示を通じて、勝浦市における学術の発展と文化の振興を図ります。							全体事業内容						
								年3回程度企画展を実施し、郷土に関する考古資料、歴史資料及び民俗資料並びに美術工芸品の展示し、学術の発展と文化の振興を図る。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
企画展の開催数	3回	3回	企画展の開催数	3回	1回	企画展の開催数	3回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	191	75		58	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			△								
令和5年度は、江戸時代後期に勝浦に設けられた岩槻藩の勝浦陣屋関係の文書「吉野家文書」、鶴原の大名行列(芸術文化交流センター展示)及び全国勝浦ネットワーク交流事業の一環として、和歌山県那智勝浦町の国の重要無形民俗文化財「那智の扇祭り」で使用される大松明及び平安衣装を中心とした企画展を開催した。また、徳島県勝浦町に対し、ハーマン号関連資料の貸し出しを行った。			令和6年度は、徳島県勝浦町からイグアナノドン類の頭部模型やティタノサウルス形類の頭部模型等を借受け、恐竜の企画展示を開催した。 また、企画展示とは異なるが、明治二年奥州出征米国船ハーマン号勝浦沖遭難絵巻等のハーマン号事件関係の常設展示を開催した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、郷土に関する考古資料、歴史資料及び民俗資料並びに美術工芸品の展示を通じて、勝浦市における学術の発展と文化の振興を図るとともに、全国勝浦ネットワーク交流事業により、他地域の文化に触れる機会を市民に提供していく。			引き続き、郷土に関する考古資料、歴史資料及び民俗資料並びに美術工芸品の展示を通じて、勝浦市における学術の発展と文化の振興を図るとともに、全国勝浦ネットワーク交流などにより、他地域の文化に触れる機会を市民に提供していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	4	11	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	62202		事業名	ふるさと歴史散歩								所管課	生涯学習課	
事業概要	歴史的建造物や遺跡等の見学会を実施し、文化財の保護及び保存に対する意識の高揚に努めます。								全体事業内容					
									市内または県内の歴史的建造物や遺跡等の見学会を年2回程度開催する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
ふるさと歴史ウォーキング教室の開催数	1回	0回	ふるさと歴史ウォーキング教室の開催数	1回	1回	ふるさと歴史ウォーキング教室の開催数	1回				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	140	0		91	90		91				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
－			○								
令和5年度は、チバニアン(千葉時代)の名称がつけられ、地磁気の逆転現象の証拠となる地層が観察できる市原市田淵の地層見学等を企画し実施予定としていたところ、悪天候により中止とした。今回の課題として、天候に左右されない事業の検討などを並行して行う必要がある。			令和6年度は、令和5年度に悪天候のため中止となった{チバニアン(千葉時代)の名称がつけられ、地磁気の逆転現象の証拠となる地層が観察できる市原市田淵の地層}の見学等をウォーキングコースとして開催した。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、の歴史的建造物や遺跡等の見学会を開催し、市民の文化財の保護及び保存に対する意識の高揚を図る。			引き続き、の歴史的建造物や遺跡等の見学会を開催し、市民の文化財の保護及び保存に対する意識の高揚を図る。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		4	11	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	62203		事業名	文化財の保護活用								所管課	生涯学習課	
事業概要	文化財の適切な保存と新たな発見に向けての調査を推進するとともに、学校教育、生涯学習、観光等での活用を図り、郷土の歴史の伝承に努めます。								全体事業内容					
									文化財の調査、指定や保存、歴史の伝承に努める。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)						
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
文化財保存事業補助金の活用実績数		2件	2件	文化財保存事業補助金の活用実績数		3件	2件	文化財保存事業補助金の活用実績数		3件					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		5,986	5,783			1,352	1,280			230					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
◎				○											
文化財の適切な保存や新たな発見に向けての各種調査のほか、令和5年度は、吉野酒造店舗兼主屋(国登録有形文化財)及び本行寺釈迦堂(市指定有形文化財)に対し、文化財保存事業補助金を交付し、それらの適正な保存管理及びその活用を図るための支援を行った。				文化財の適切な保存や新たな発見に向けての各種調査のほか、令和6年度は、高照寺ノ乳公孫樹(県指定天然記念物)、熊野権現本地仏(市指定有形文化財)に対し、文化財保存事業補助金を交付し、それらの適正な保存管理及びその活用を図るための支援を行った。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
引き続き、文化財の適切な保存と新たな発見に向けての調査を推進するとともに、可能な範囲において、市の施策の一助としての活用を図り、併せて、郷土の歴史の伝承を図っていく。				引き続き、文化財の適切な保存と新たな発見に向けての調査を推進するとともに、可能な範囲において、市の施策の一助としての活用を図り、併せて、郷土の歴史の伝承を図っていく。											

				関係課	生涯学習課		
1.	施策名	6	心豊かで元気になれるまち(生涯学習・文化・スポーツ)				
		3	スポーツの振興				
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)
		指標1	スポーツ教室参加者数	59人	301人	263人	360人
		指標2	学校施設開放事業利用団体数	36団体	33団体	30団体	40団体
		指標3	社会体育施設利用者数	20,540人	26,208人	23,738人	25,000人
		指標4	スポーツ・レクリエーション施設についての市民満足度	18.7%	—	—	向上
3.	施策の展開一覧	① スポーツに親しむ機会の充実					
		② スポーツ環境の整備					
4.	二次評価	スポーツの振興について、スポーツ教室参加者数や社会体育施設利用者数は年度により増減があるものの目標値に近い数字を達成しており、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を創出できているものと評価する。 スポーツ環境の整備については、既存スポーツ施設の適切な維持・管理に努め、市民が安全・快適にスポーツができる環境づくりを推進すること。					

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	4	17	会計区分		一般	再掲区分		-	
事業番号		63101		事業名		各種スポーツ教室の開催						所管課		生涯学習課	
事業概要		スポーツ推進委員及び国際武道大学等の協力により各種スポーツ教室を開催し、地域住民の健康づくり及びスポーツ振興を図ります。						全体事業内容							
								ソフトテニス教室・バレーボール教室・水泳教室等を開催する。							

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
スポーツ教室の参加者数	1,000人	1,163人	スポーツ教室の参加者数	1,000人	1,022人	スポーツ教室の参加者数	1,000人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	310	158		307	169		186				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
スポーツ推進委員、国際武道大学等の協力のもと、ソフトテニス教室、勝浦バレーボールコミュニティ、勝浦スポーツコミュニティ、陸上競技教室、中学生バレーボール教室、ジュニア水泳教室及び大人の体力測定を実施した。コロナ禍以前の状況に戻りつつある中、引き続き、各種スポーツ教室を開催し、地域住民の健康づくり及びスポーツ振興を図っていく。			スポーツ推進委員、国際武道大学等の協力のもと、ソフトテニス教室、勝浦バレーボールコミュニティ、勝浦スポーツコミュニティ、陸上競技教室、中学生バレーボール教室、ジュニア水泳教室及び大人の体力測定を実施した。今後も継続して各種スポーツ教室を開催し、地域住民の健康づくり及びスポーツ振興を図っていく。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、スポーツ推進委員、国際武道大学等の協力のもと各種スポーツ教室を開催し、地域住民の健康づくり及びスポーツ振興を図っていく。			引き続き、スポーツ推進委員、国際武道大学等の協力のもと各種スポーツ教室を開催し、地域住民の健康づくり及びスポーツ振興を図っていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	4	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	63102		事業名	各種スポーツ大会の開催							所管課	生涯学習課		
事業概要	バレーボールや野球、テニス等の各種スポーツ大会を開催し、市民の健康づくり及びスポーツ振興を図ります。							全体事業内容						
								勝浦市スポーツ協会に事業を委託し、加盟する各団体が各種スポーツ大会を開催する他、県民体育大会へ選手団を派遣する。 競技種目：陸上、野球、ソフトテニス、柔道、剣道、空手、少林寺拳法、バレーボール、バスケットボール、卓球、ゴルフ、グランドゴルフ、ゲートボール、ソフトボール、バドミントン、サーフィン						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
スポーツ大会委託事業数	45事業	31事業	スポーツ大会委託事業数	45事業	36事業	スポーツ大会委託事業数	45事業				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	6,590	4,578		6,878	5,374		6,863				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			△								
各種競技団体において計画されていた45事業のスポーツ大会等のうち31事業が開催された。コロナ禍以前の状況に戻りつつある中、引き続き、各種スポーツ大会等を開催し、スポーツの振興を推進していく。一方で、課題として、各種競技団体内の会員数の減少により、大会等の運営などの問題があげられている。			各種競技団体において計画されていた45事業のスポーツ大会等のうち36事業が開催された。各種競技団体内の会員数の減少により、大会等の運営などが課題となっている。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、各種競技団体と協議を深めながら、各種スポーツ大会等を開催し、スポーツの振興を推進していく。			引き続き、各種競技団体間で情報交換を行うなど、連携を深めながら、各種スポーツ大会等を開催し、スポーツの振興を推進していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	4	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	63103		事業名	各種スポーツ団体育成及び連携強化								所管課	生涯学習課	
事業概要	スポーツ団体活動等への支援を図り、スポーツ振興を支える人材の育成に努めます。								全体事業内容					
									各種スポーツ団体活動(夷隅地域スポーツ推進員連絡協議会・勝浦市スポーツ協会・勝浦市スポーツ推進委員連絡協議会)への支援を充実し、団体の育成強化を図るとともに、国際武道大学と連携を強化することで、各種スポーツ教室の拡大強化を図る。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
勝浦市スポーツ協会への加盟団体数	16団体	17団体	勝浦市スポーツ協会への加盟団体数	17団体	17団体	勝浦市スポーツ協会への加盟団体数	17団体				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	463	384		463	367		463				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			○								
市民のスポーツ大会やスポーツ教室の実施団体であるスポーツ協会やスポーツ推進委員等の団体活動への支援を図ることで、市民に対し広くスポーツの機会を提供することができ、実技指導及び体力向上などのスポーツ振興に対する功績は大きいものとする。			市民のスポーツ大会やスポーツ教室の実施団体であるスポーツ協会やスポーツ推進委員等の活動に対し、継続して支援を図ることで、市民に対し広くスポーツの機会を提供することができ、市民の健康増進、体力向上を目的としたスポーツの振興を図ることができた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、スポーツ団体活動等への支援を図り、スポーツ振興を支える人材の育成に努め、市民の健康維持等を含め、市民に対し広くスポーツの機会を提供していく。			引き続き、スポーツ団体活動等への支援を図り、スポーツ振興を支える人材の育成に努め、市民の健康維持等を含め、市民に対し広くスポーツの機会を提供していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	3	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	63201		事業名	荒川テニスコートの管理・運営						所管課	生涯学習課	
事業概要	市民のスポーツ・レクリエーション活動の場の環境整備を図るため、荒川テニスコートの整備をします。							全体事業内容				
								荒川テニスコートの環境整備のため、砂の補充、ブラッシング、部分張り替えを実施する。				

■事業評価書

競争率計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
荒川テニスコートの利用者数		9,000人	9,081人	荒川テニスコートの利用者数		9,000人	9,214人	荒川テニスコートの利用者数		9,000人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		5,920	5,095			5,897	5,740			7,702					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
◎				○											
荒川テニスコートの運営及び整備に関し、令和5年度については、3名の会計年度任用職員の配置、コート整備用品、清掃用品等の各種消耗品の購入、浄化槽等保守管理などを適正に実施した。				荒川テニスコートの運営及び整備に関し、令和6年度については、3名の会計年度任用職員の配置、コート整備用品、清掃用品等の各種消耗品の購入、浄化槽等保守管理などを適正に実施した。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
引き続き、テニスコートの環境整備のための砂の補充、ブラッシング、部分張り替え等を実施していく。				引き続き、テニスコートの環境整備に努めるとともに、老朽化しているコートの全面張替工事も視野に入れる必要がある。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	4	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	63202		事業名	学校施設等開放事業							所管課	生涯学習課		
事業概要	学校体育施設を市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として解放し、スポーツ振興と健康づくりを推進します。							全体事業内容						
								学校体育施設を夜間解放し、市民スポーツ、レクリエーション活動の場に提供する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
学校施設開放事業利用者数 (旧北中学校、旧興津中学校のみ)	15,000人	17,127人	学校施設開放事業利用者数 (旧北中学校、旧興津中学校のみ)	15,000人	13,446人	学校施設開放事業利用者数 (旧北中学校、旧興津中学校のみ)	15,000人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			○								
令和5年度において、学校施設開放事業登録団体数は34団体となっており、これ以外にも一般の市民等に対し、旧北中学校運動場及び体育館、旧興津中学校運動場、体育館及び柔剣道場、その他市内各学校の付帯施設を一般開放し、市民等のスポーツ、レクリエーション活動の場として提供することで、スポーツの振興及び健康づくりという面において、一定以上の成果があったものとする。			令和6年度において、学校施設開放事業登録団体数は35団体となっており、これ以外にも一般の市民等に対し、旧北中学校運動場及び体育館、旧興津中学校運動場、体育館及び柔剣道場、その他市内各学校の付帯施設を一般開放し、市民等のスポーツ、レクリエーション活動の場として提供することで、スポーツの振興及び健康づくりという面において、一定以上の成果があったものとする。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、学校体育施設を市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として解放することで、市民のスポーツ振興を図り、併せて健康づくりを推進していく。			引き続き、学校体育施設を市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として解放することで、市民のスポーツ振興を図り、併せて健康づくりを推進していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	4	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	63203		事業名	社会体育施設の整備							所管課	生涯学習課		
事業概要	市民のスポーツ・レクリエーション活動の場の環境整備を図るため、スポーツ施設の改修を実施します。							全体事業内容						
								勝浦市個別施設計画(スポーツ施設)に基づきスポーツ施設の改修を実施する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
なし				旧興津中学校体育館の大規模改修工事の実施		改修	未実施	興津集会所における駐車スペースの確保		実施					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
—				×											
実施なし				未実施											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
				維持											
				個別施設計画を踏まえ、施設の老朽化対策を実施する必要がある。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	11	17	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	63204		事業名	総合運動施設の整備						所管課	生涯学習課	
事業概要	市民のスポーツ・レクリエーション活動の場としての総合運動施設の整備を推進します。						全体事業内容					
							市民のスポーツ・レクリエーション活動の場としての総合運動施設の整備をを推進する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8							
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果	
総合運動施設の整備の検討の場 の設置数		2回	0回	総合運動施設の整備の検討の場 の設置数		2回	0回	総合運動施設の整備の検討の場 の設置数		2回						
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額				R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0						
達成度			評価と課題	達成度			評価と課題	達成度			評価と課題	達成度			評価と課題	
×				×												
市民のスポーツ・レクリエーション活動の場としての総合運動施設の整備等を推進するため、関係各課等による横断的な協議検討の場を設ける必要がある。				市民のスポーツ・レクリエーション活動の場としての総合運動施設の整備等を推進するため、関係各課等による横断的な協議検討の場を設ける必要がある。												
今後の方向性			今後の展望	今後の方向性			今後の展望	今後の方向性			今後の展望	今後の方向性			今後の展望	
維持				維持												
引き続き、総合運動施設の整備等に向け、関係各課等による横断的な協議検討の場を設け、その方向性等について進めていく。				引き続き、総合運動施設の整備等に向け、関係各課等による横断的な協議検討の場を設け、その方向性等について進めていく。												

				関係課	総務課・企画課・消防防災課			
1.	施策名	7	みんなで創るみんなのまち(市民協働・共生社会・自治体運営)					
		1	市民参加と協働の推進					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	住民によるまちづくり事業への市の支援件数	3団体	3団体	4団体	6団体	
		指標2	1日あたり平均HPアクセス数	5,825件	7,291件	4,007件	7,000件	
		指標3	パブリックコメントに対する意見・提案の数	4件	1件	9件	50件	
		指標4	まちづくりに参加したいと思っている市民の割合	42.5%	—	—	50.0%	
		指標5	市政に関する情報を十分に得ている市民の割合	53.0%	—	—	70.0%	
		3.	施策の展開一覧	① 地域活動の活性化				
② 広報・広聴活動の推進								
4.	二次評価	市の情報発信について、HPのリニューアルにより、情報へのアクセシビリティは向上しているが、HP目標値に達成していないので、さらなる迅速・正確でわかりやすい情報発信の方法を検討すること。 市民参加のまちづくりについては、継続的な活動支援を実施し、地域活動のすそ野を広げる取り組みを推進するが事業の効果検証や評価を適切に実施する必要がある。						

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	71101	事業名	NPO等の活動支援						所管課	総務課	
事業概要	NPO法人等に対して県との連携による支援を実施するとともに、活動への理解と参加を促すための広報及び普及活動を推進します。						全体事業内容				
							県との連携による支援、その他活動への理解と参加を促すための広報・普及活動を行う。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
NPO情報コーナーの掲載率 (掲載法人／登録NPO法人数)		50%以上	30%	NPO情報コーナーの掲載率 (掲載法人／登録NPO法人数)		50%以上	30%	市ホームページへの市内NPO法人掲載		—					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
△			△												
【評価】 勝浦市内のNPO法人は、10団体であり、このうち3団体についての活動内容等を、市役所ロビーに掲出して周知を図った。 【課題】 活動実態を把握しにくい団体や活動をしていない団体もあり、目標値の達成が困難である。			【評価】 勝浦市内のNPO法人は、10団体であり、このうち3団体についての活動内容等を、市役所ロビーに掲出して周知を図った。 【課題】 活動実態を把握しにくい団体や活動をしていない団体もあり、目標値の達成が困難である。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
縮小			縮小												
市内NPO法人数は減少しており、また、活動実態が不明な団体もあることから、まちづくり活動の受け皿となるかを検討する。			市内NPO法人の実態把握に努める必要がある。												

■実施計画事業調書

SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	----	---	---	------	----	------	---

事業番号	71102	事業名	コミュニティ助成事業			所管課	総務課
事業概要	安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援及び活力ある地域づくり等を支援します。				全体事業内容		
					コミュニティ活動に必要な備品等の整備に要する経費に対して補助金を交付する。		

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
補助金交付団体数		1団体	1団体	補助金交付団体数		1団体	0団体	補助金交付団体数		1団体					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		2,500	2,500			0	0			2,500					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
◎				×											
【評価】 コミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識の盛り上げに寄与した。 【課題】 補助財源が宝くじ助成事業であり、不採択となる可能性もあり、必ずしも要望に応えられない。				【評価】 宝くじ助成事業が不採択となり、補助事業の実施なし。 【課題】 補助財源が宝くじ助成事業であり、不採択となる可能性もあり、必ずしも要望に応えられない。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
引き続き、コミュニティ活動を支援する。				引き続き、コミュニティ活動を支援する。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		11	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	71103		事業名	地域コミュニティ施設整備助成事業								所管課	総務課	
事業概要	自治会等の活動拠点となる地域コミュニティ施設の維持補修経費を助成し、市民活動の推進を図ります。							全体事業内容						
								区が区民の集会又は会議等の場として、使用するための集会施設を新築、改築又は、補修する場合、その整備事業に要する経費に対して補助金を交付する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
整備要望充足率 (市補助を行った区／施設整備補助 要望)	100%	-	整備要望充足率 (市補助を行った区／施設整備補助 要望)	100%	-	整備要望充足率 (市補助を行った区／施設整備補助 要望)	100%				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		131				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
-			-								
【評価】 令和5年度は、施設整備補助要望がなく、補助を実施しなかった。 【課題】 老朽化が進む区の集会施設もあることから、各区と連携し、状況を把握する必要がある。			【評価】 令和6年度は、施設整備補助要望がなく、補助を実施しなかった。 【課題】 老朽化が進む区の集会施設もあることから、各区と連携し、状況を把握する必要がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
区の集会施設は、地域活動拠点であることから、その重要性を踏まえ、事業を継続していく必要がある。			区の集会施設は、地域活動拠点であることから、その重要性を踏まえ、事業を継続していく必要がある。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		17	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	71104		事業名	まちづくり活動推進事業								所管課	企画課	
事業概要	青少年が主体となった活動団体や地縁関連団体が取り組むまちづくり活動を支援し、まちづくり活動への市民の自主的な参加を促進します。								全体事業内容					
									「青少年によるまちづくり提案事業」及び「住民主導型地域づくり支援事業」においてまちづくり活動に対し補助金を交付することで、まちづくり活動への市民の主体的な参加を促進します。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
支援団体数	3団体	3団体	支援団体数	4団体	4団体	支援団体数	4団体				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	2,430	1,618		1,564	1,113		3,500				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
新規の活動団体1件を受付けた。 令和4年度をもって最後の支援(5回目)であった団体から、別の事業として新たな活動事業を受付けた。 活動団体の初期費用としての支援補助であるが、備品などの物資の費用が対象経費の大半を占めており、今後対象経費の割合等の見直しが必要と考える。			新規の活動団体2件を受付けた。 住民が主体となった地域づくり団体の活動に対し、当該団体の活動促進及び自走化に向けた初期費用等のため補助金を交付。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
地域活性化につながる事業実施団体をさらに掘り起こすために、広報等により、活動団体の報告を行いながら、市民の自主的なまちづくり活動に対し、支援することで地域の活性化の促進に取り組む。			団体の活動促進及び自走化を促すため、活動団体の初期費用としての支援補助であるが、備品などの物資の費用が対象経費の大半を占めており、今後対象経費の割合等の見直しが必要と考える。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	10	11	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	71201		事業名	公式ホームページによる情報化の推進						所管課	総務課	
事業概要	市ホームページの管理運用により広報活動の充実を図り、多言語化に対応するなど最新の行政情報等を迅速に分かりやすく提供します。							全体事業内容				
								市ホームページを管理運用し、情報提供する。 ・市の紹介 ・行政情報 ・くらしの情報 ・防災情報				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
1日当たりのホームページアクセス数	7,000件／日	7,291件／日	1日当たりのホームページアクセス数	7,000件／日	4,007件／日	1日当たりのホームページアクセス数	7,000件／日				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	21,805	19,260		1,918	1,918		1,921				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			○			○					
市ホームページにより最新の行政情報等を迅速に分かりやすく提供するとともに、ホームページのリニューアルを実施したことで、プロモーション情報の整理や多言語化に加えて、高齢者や視覚的障害を持つ方への配慮(アクセシビリティ)に対応することが可能となり、広報活動の充実を図ることができた。			市ホームページにより最新の行政情報等を迅速に分かりやすく提供するとともに、ホームページのリニューアルを実施したことで、プロモーション情報の整理や多言語化に加えて、高齢者や視覚的障害を持つ方への配慮(アクセシビリティ)に対応することが可能となり、広報活動の充実を図ることができた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
今後は導入を予定しているLINE公式アカウントとの連携を取り、利用者が欲しい情報が更新された際にプッシュ通知で素早く確認できるよう体制を整えることでさらに迅速な情報提供を目指していく。			閲覧者から寄せられた意見や評価を参考に必要に応じて改善を図るとともに、各課と連携しプロモーション力を強化していく。								

■実施計画事業調書

SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	----	---	---	------	----	------	---

事業番号	71202	事業名	市長への手紙事業			所管課	総務課
事業概要	市政に対する意見・提案等を市民から幅広く受付け、市民参加と開かれた市政を推進するとともに、行政施策の充実を図ります。				全体事業内容		
					市民からの意見・提案等を受付け、随時回答するとともに、主な内容をまとめホームページに公表する。		

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
「市長への手紙」として 受け付けた手紙の数	-	37通	「市長への手紙」として 受け付けた手紙の数	-	65通	「市長への手紙」として 受け付けた手紙の数	-				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	9	1		9	6		9				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
市政に対する意見・提案等を市民から幅広く受付け、市民参加と開かれた市政を推進するとともに、行政施策の充実を図ることができた。			市政に対する意見・提案等を市民から幅広く受付け、市民参加と開かれた市政を推進するとともに、行政施策の充実を図ることができた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
今後は寄せられた意見・提案等を担当課と情報共有し、施策の実現性・制度改正の有効性を検討していく。			件数も増え市民から幅広い意見を聞けることができた一方で、趣旨に沿わない意見も増えてきたことから、制度の周知を図る必要がある。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	71203	事業名	市民意識調査事業						所管課	総務課	
事業概要	市民に対して市の取組に対する評価や市民ニーズなどの調査を実施し、市政への反映に努めます。						全体事業内容				
							市の取組みに対し、市民がどのように感じているのか、また、これから市にどのような取組みを求めているのかを調査、検討する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
アンケート調査実施数	-	0	アンケート調査実施数	-	0	アンケート調査実施数	-				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
-			-								
本年度は実施していない。 市民負担を考慮しつつ、定期的な市民意識調査を実施することが必要である。			本年度は実施していない。 市民負担を考慮しつつ、定期的な市民意識調査を実施することが必要である。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
市民の評価や今後の課題、市政に対する期待や発展の方向性を明らかにするため、前期・中期・後期の各実施計画期間中に市民意識調査を実施していく。			令和3年に実施した市民まちづくりアンケートの内容を踏まえ、令和7年度に総合計画中期基本計画用の市民意識調査を行う予定である。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		16	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	71204		事業名	パブリックコメント手続制度の活用								所管課	総務課	
事業概要	市が策定する計画等に対して市民の意見を集約するパブリックコメント手続制度の活用を推進し、市政への反映に努めます。								全体事業内容					
									パブリックコメント制度の推進を図る。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
パブリックコメントに対する意見・提案の数	-	1件	パブリックコメントに対する意見・提案の数	-	9件	パブリックコメントに対する意見・提案の数	-				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
【評価】 パブリックコメント手続に基づき公表した計画等は5件であり、寄せられた意見は1件であった。 【課題】 引き続き、市民にとって意見提案しやすい手段を検討する。			【評価】 パブリックコメント手続に基づき公表した計画等は4件であり、寄せられた意見は9件であった。 【課題】 引き続き、市民にとって意見提案しやすい手段を検討する。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
市の重要な政策の決定過程における市民参加の機会拡大と透明性の向上を図る手段として、継続する。			市の重要な政策の決定過程における市民参加の機会拡大と透明性の向上を図る手段として、継続する。								

				関係課	総務課・企画課・財政課・税務課・会計課・生活環境課			
1.	施策名	7	みんなで創るみんなのまち(市民協働・共生社会・自治体運営)					
		2	行財政改革の推進					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	将来負担比率	39.0%	0% ※	0% ※	引下	
		※将来負担額を充当可能財源が上回ったことから算定されない						
		指標2	経常収支比率	91.9%	99.8%	99.2%	引下	
		指標3	市税徴収率	92.8%	93.9%	94.1%	95.3%	
		指標4	大学・企業等との連携協定に基づく連携事業数	19事業	21事業	25事業	25事業	
3.	施策の展開一覧	指標5	行財政改革の推進についての市民満足度	10.0%	—	—	向上	
		① 効率的・効果的な行政運営の推進						
		② 健全な財政運営						
4.	二次評価	③ 公共施設等の有効活用						
		行財政改革の推進については、職員一人ひとりに「最小の経費で最大の効果をあげる」ことを意識させ、歳入の確保、歳出の削減や効率的・効果的な事務事業の実施に取り組むこと。 特に負担の公平性の観点からも市税その他市の債権の滞納整理を積極的に推進すること。						

■実施計画事業調書

SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	----	---	---	------	----	------	---

事業番号	72101	事業名	行政改革の推進	所管課	総務課
事業概要	各種施策に対する適正な行政運営を図るため、行政改革大綱に基づき行政改革を計画的に推進します。			全体事業内容	
				「勝浦市行政改革大綱」に定める実施計画の目標達成のため、適正な管理、実施に努める。	

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
実施計画に計上した取組の実施率	100%	調査中	実施計画に計上した取組の実施率	100%	調査中	実施計画に計上した取組の実施率	100%				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
			○								
【評価】 行政改革大綱及び同実施計画に基づき、適正な行財政運営に努めた。 【課題】 多様化・高度化する市民ニーズへの対応が求められるなか、更なる効率的な行財政運営に努める必要がある。			【評価】 行政改革大綱及び同実施計画に基づき、適正な行財政運営に努めた。 【課題】 多様化・高度化する市民ニーズへの対応が求められるなか、更なる効率的な行財政運営に努める必要がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
行政改革大綱及び同実施計画に基づき、適正な行財政運営を図る。			行政改革大綱及び同実施計画に基づき、適正な行財政運営を図る。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		11	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	72102		事業名	施策ニーズに応じた人員配置								所管課	総務課	
事業概要	多様化する行政需要に対応するため、施策ニーズに応じた機動的且つ柔軟な人員配置に努めます。								全体事業内容					
									多様化する行政需要に対応するため、施策ニーズに応じた機動的且つ柔軟な人員配置を行う。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
施策ニーズに応じた職員の配置 (任期付職員及び暫定再任用職員)	12人	11人	施策ニーズに応じた職員の配置 (任期付職員及び暫定再任用職員)	11人	12人	施策ニーズに応じた職員の配置 (任期付職員及び暫定再任用職員)	10人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
任期付職員及び暫定再任用職員について、施策ニーズに応じた人員配置を概ね達成することができた。 今後は、専門職や技術職など、特定業務に特化した有資格者の確保が困難となっていることから、引き続き活用を図っていく。			任期付職員及び暫定再任用職員について、施策ニーズに応じた人員配置を概ね達成することができた。 今後は、専門職や技術職など、特定業務に特化した有資格者の確保が困難となっていることから、引き続き活用を図っていく。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
今後も複雑且つ多様化する行政需要を踏まえ、専門的な知識や経験を有する者を任期付職員として任用する。また、退職職員のこれまでの豊富な行政経験や知識を活かした暫定再任用職員の任用を継続して進めていく。			今後も複雑且つ多様化する行政需要を踏まえ、専門的な知識や経験を有する者を任期付職員として任用する。また、退職職員のこれまでの豊富な行政経験や知識を活かした暫定再任用職員の任用を継続して進めていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	72103		事業名	人材育成基本方針の推進								所管課	総務課		
事業概要	職員の持つ能力・資質のより一層の向上を図るため、人材育成基本方針に基づき職員の能力開発及び人材の育成に努めます。								全体事業内容						
									「勝浦市人材育成基本方針」に基づいて、職員研修の充実などを図り、職員の能力開発及び人材の育成に努める。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
研修受講者数		80人	87人	研修受講者数		80人	79人	研修受講者数		80人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	530			979	639			413					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
◎			◎												
能力開発に係る研修並びに実務的な研修や、民間手法を取り入れた研修を実施するなど、多様な研修受講の機会を設けたことにより、目標数値を上回る結果となった。 今後も、さらなる能力開発とその効果発揮に向けて、多様な研修の実施を推進する。			能力開発に係る研修並びに実務的な研修や、民間手法を取り入れた研修を実施するなど、多様な研修受講の機会を設けた。目標値数値を下回っているが、全職員対象とした動画によるハラスメント研修を実施した。 今後も、さらなる能力開発とその効果発揮に向けて、多様な研修の実施を推進する。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
「勝浦市人材育成基本方針」に基づき、複雑且つ多様化する行政ニーズに対応した各種研修の実施を通して、職員個々の能力向上及び能力開発に努めていく。			「勝浦市人材育成基本方針」に基づき、複雑且つ多様化する行政ニーズに対応した各種研修の実施を通して、職員個々の能力向上及び能力開発に努めていく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		11	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	72104		事業名	多様な事務を効率的に行う体制づくりの推進								所管課	総務課	
事業概要	地方分権の流れを受け止め、多様な事務を効率的に行う体制づくりを推進します。								全体事業内容					
									地方主権の流れを受け止め、多様な事務を効率的に行う体制づくりを推進する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
ブリーフィングの開催回数	-	158回	ブリーフィングの開催回数	-	92回	効率的な体制づくりの検討	-				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
【評価】 多様化する事務事業を円滑に遂行するため、政策統括監を中心に、各課長とブリーフィングを行い、適切な体制づくりを推進した。 【課題】 多様化する事務を効率的かつ円滑に遂行するため、体制づくりのほか職員のスキルアップについても必要不可欠である。			【評価】 多様化する事務事業を円滑に遂行するため、副市長を中心に、各課長とブリーフィングを行い、適切な体制づくりを推進した。 【課題】 多様化する事務を効率的かつ円滑に遂行するため、体制づくりのほか適切な人員配置、職員のスキルアップなども必要である。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
引き続き、多様な事務を効率的に遂行する体制づくりを進める。			引き続き、多様な事務を効率的に遂行する体制づくりを進める。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	72105		事業名	定員適正化計画の推進								所管課	総務課		
事業概要	効率的で質の高い行政を実現するため、定員適正化計画に基づき適切な定員管理に努めます。								全体事業内容						
									「勝浦市定員適正化計画」に基づいて適切な定員管理を図り、効率的で質の高い行政の実現を推進する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
定員適正化計画職員数		245人	245人	定員適正化計画職員数		239人	234人	定員適正化計画職員数		232人					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
◎			◎												
定員適正化計画の目標数値どおりの定員管理を達成することができた。定年年齢の引上げや高齢職員の多様な働き方の選択に伴い、定員管理について定期的な見直しが必要となる。			定員適正化計画の目標数値どおりの定員管理を達成することができた。定年年齢の引上げや高齢職員の多様な働き方の選択に伴い、定員管理について定期的な見直しが必要となる。												
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
「勝浦市定員適正化計画」に基づき、複雑且つ多様化する行政ニーズを見極め、計画数値を適宜見直し、定員管理の進行管理に努める。			「勝浦市定員適正化計画」に基づき、複雑且つ多様化する行政ニーズを見極め、計画数値を適宜見直し、定員管理の進行管理に努める。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		11	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	72106		事業名	分野を超えた相互連携体制の確立								所管課	総務課	
事業概要	合理的かつ効率的な行政事務を推進するため、分野を超えた組織間の相互連携に努めます。								全体事業内容					
									効果的に事務事業を進める必要がある場合、各課相互の連携協力体制の強化を図るための方策を実施する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
ブリーフィングの開催回数	-	158回	ブリーフィングの開催回数	-	92回	効率的な体制づくりの検討	-				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
【評価】 各課で所掌する事務や課題について、定期的な情報共有と課題解決を進めるため、政策統括監が中心となり、各課長とのブリーフィングを行った。 【課題】 複数課にわたる課題の解決に向けて、引き続き、各課相互の連携協力が必要である。			【評価】 各課で所掌する事務や課題について、定期的な情報共有と課題解決を進めるため、副市長が中心となり、各課長とのブリーフィングを行った。 【課題】 複数課にわたる課題の解決に向けて、引き続き、各課相互の連携協力が必要である。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
市の抱える課題解決に向けて、各課の連携協力体制のもと、引き続き、より質の高い市民サービスの提供に努める。			市の抱える課題解決に向けて、各課の連携協力体制のもと、引き続き、より質の高い市民サービスの提供に努める。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	72107		事業名	PDCAサイクル手法による計画の推進						所管課	企画課	
事業概要	各種計画等に掲げる事業について、有効性、効率性などの観点から検証し、改善することにより計画の効果的な進捗を図ります。							全体事業内容				
								総合計画・総合戦略・過疎計画の効率的な進捗を図るため、各計画に掲げる事業の妥当性、有効性、効率性及び成果の達成度等について評価・検証を行い、事業の見直し・改善を行うとともに、必要に応じ計画の修正について検討する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
各種計画に対し、PDCAサイクル手法による事業実施状況等の精査を行う。	－	－	各種計画に対し、PDCAサイクル手法による事業実施状況等の精査を行う。	－	－	各種計画に対し、PDCAサイクル手法による事業実施状況等の精査を行う。	－				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
総合計画においては、第4次実施計画の最終年である令和4年度の実施計画事業のローリング作業を行った際に、令和5年度を初年度とした前期実施計画事業に継続する実施事業等について、事業費及び事業内容の見直し等の精査を行い、総合開発審議会を経て、一部計画変更を行った。			総合計画においては、令和5年度を初年度とした前期実施計画事業に継続する実施事業等について、事業費及び事業内容の見直し等の精査を行い、総合開発審議会を経て、一部計画変更を行った。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
実施計画等について、PDCAサイクル手法等を活用して、市の施策の変更を反映させながら、各課における事業の拡充等について精査していく。			実施計画等について、PDCAサイクル手法等を活用して、市の施策の変更を反映させながら、各課における事業の拡充等について精査していく。								

■実施計画事業調書

SDGs	4	9	17	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	----	------	----	------	---

事業番号	72108	事業名	産官学連携の推進			所管課	企画課
事業概要	民間団体や各種教育機関等との連携を強化し、地域課題の解決へ向けた取組を推進します。				全体事業内容		
					民間団体や各種教育機関等との連携協定の締結等によりパートナーシップを強化し、自律的好循環による地域課題の解決へ向けた取組を推進する。		

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
包括連携協定に基づく大学や企業との連携の取組み件数	20件	12	包括連携協定に基づく大学や企業との連携の取組み件数	20件	17件	包括連携協定に基づく大学や企業との連携の取組み件数	20件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			○								
地域が抱える課題の解決に対して、大学や企業の持つ様々な分野における専門知識等を活用し、相互に連携を図ることで、市民サービスの向上や地域活性化につなげることが可能となることから、連携協定の締結及び連携による取組の実施は有効と考える。			地域が抱える課題の解決に対して、大学や企業の持つ様々な分野における専門知識等を活用し、相互に連携を図ることで、市民サービスの向上や地域活性化につなげることが可能となることから、連携協定の締結及び連携による取組の実施は有効と考える。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
地域課題に対して真に有効な相手との連携を推進するとともに、連携協定の積極的な活用を促すような取組が必要と考える。			地域課題に対して真に有効な相手との連携を推進するとともに、連携協定の積極的な活用を促すような取組が必要と考える。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	72201	事業名	財政健全化の推進						所管課	財政課	
事業概要	各種施策に対する適正な財政運営を図るため、持続的かつ効率的な財政運営を計画的に推進します。						全体事業内容				
							各種施策に対する適正な財政運営を図るため、持続的かつ効率的な財政運営を計画的に推進します。				

■事業評価書

事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
財政調整基金の年度末残高について 標準財政規模(5,406,884千円)の 10%を確保する	540,689	758,073	財政調整基金の年度末残高について 標準財政規模の10%を確保	10%	13.9%	財政調整基金の年度末残高について 標準財政規模の10%を確保	10%				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
令和5年度末(R6.3.31)現在における基金残高は、目標数値を達成することができた。			令和6年度標準財政規模5,407,704千円に対し、令和6年度末の財政調整基金残高は750,160千円であり、目標とする10%を上回ることができた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
令和6年度予算による財政調整基金繰入金により、令和6年度末残高が目標数値の達成見込みが困難であると考えている。 そのため、令和7年度予算を見据え、令和6年度において基金積立金を増額、あるいは、年度途中に財政調整基金繰入を行わないような財政運営に努める。			令和7年度当初予算編成においても、財政調整基金からの繰入を行っており、基金残高の減少が見込まれる。年度途中において、繰入を行わないような財政運営を目指す。また、市全体での財政に対する意識共有を図り、歳出の抑制に努めて行く。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	72202	事業名	収納体制の強化						所管課	税務課	
事業概要	市税等徴収指導員による徴収体制の強化及び徴収技術の向上を図るとともに、納税方法の利便性を検討し、収納額及び徴収率の向上に努めます。							全体事業内容			
								市税等徴収指導員等の嘱託に加え、市税等の納付に関しても費用対効果を考慮しつつ、地方税共同機構が提供する地方税共通納税システムを活用して多様な納付方法等の導入を推進します。			

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
市税徴収率の向上 (5月末市税徴収率)	95.31	93.91	市税徴収率の向上 (5月末市税徴収率)	95.31	81.55						
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	3,360	3,353		0	0						
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
R5結果の数値は、5月末現在の数値となっています。前年度の5月末現在の数値は93.02%であり、0.89ポイント上昇しています。			R6結果の数値は、2月末現在の数値となっています。前年度の2月末現在の数値は83.29%であり、1.74ポイント下落しています。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			廃止								
新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行され、社会経済活動の正常化が進みつつあるが、物価高騰や人手不足(少子高齢化)の影響により、滞納額は累積傾向に転じてもおかしくない状況にあるが、納税者個々の状況を適切に把握(財産調査等の強化)して、適正な徴収を行う必要がある。			事業廃止								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	72203		事業名	安全で効率的な資金の運用						所管課	会計課	
事業概要	歳計現金の収支状況を十分に考慮し、安全・確実かつ可能な範囲で効果的な資金運用を行います。							全体事業内容				
								前年度の収支日計表の残高推移や大口の収入支出の動向を基に歳計現金の運用額を算出し、資金ショートを起こさない範囲で譲渡性預金等により歳計現金を運用する。				

■事業評価書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
歳計現金において安全な範囲での資金運用を行う	11	9	歳計現金において安全な範囲での資金運用を行う	9	268	歳計現金において安全な範囲での資金運用を行う	251				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	11	9		287	268		251				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			◎								
ふるさと納税の収入の減少が見込まれたことから、運用額を減らしたことにより、目標値より下回った。 今後、歳入の減少が見込まれることから、安全な運用額、期間を見定めることが課題である。			金利が上昇したことにより目標数値を上回った。 金利は上昇しているが、歳入の減少は見込まれることから、安全な運用額、期間を見定めることが課題である。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
収支の状況を精査把握し、安全な歳計現金の運用を図る。			金利が上昇したことから新たな資金の運用方法の検討を図る。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	12	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	72204	事業名	ふるさと応援寄附金事業の推進						所管課	企画課	
事業概要	ふるさと応援寄附事業の推進により、地域産業の活性化及び関係人口の拡大に努めます。							全体事業内容			
								本市にふるさと応援寄附(ふるさと納税)をされた方に対し、特産品等の返礼品を贈呈することで、本市の魅力を広くアピールするとともに、返礼品の開発等の促進により地域産業の活性化を図る。また、返礼品に係るルールの適正な運用によりふるさと納税に係る指定制度の適用維持を図りつつ、関係人口の拡大に努める。 事業名:ふるさと応援寄附者特産品等贈呈事業			

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
寄附受入額増加	4,800,000	5,100,000	寄附受入額増加	2,400,000	1,600,000	寄附受入額増加	2,000,000				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	3,173,848	2,875,362		998,675	824,415		998,172				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
前年度決算額に近い寄附を受け入れることができた。しかし、R05年度の総務省の制度改正をうけ、本市の人気返礼品の提供が終了となり、次年度は寄附金は大幅な減が見込まれるため、寄附の確保が課題となっている。			R05年度の総務省の制度改正をうけ、本市の人気返礼品の提供終了により寄附金が大幅な減となり、次年度以降も今年度と同程度、又はそれ以上の寄附の受入れ及び確保が課題となっている。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
返礼品開発や既存返礼品の見直しによる寄附者の増加を図るとともにポータルサイト追加等の運用改善やクラウドファンディングなどの実施を検討していく。			新規返礼品提供事業者の開拓及び新規返礼品の開発、既存返礼品の見直しを図るとともに、ふるさと納税中間事業者及びポータルサイトの見直し等による運用改善、クラウドファンディングなどの実施を検討していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	8	9	11	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	72301		事業名	市有地活用の推進						所管課	【財政課】・企画課・都市建設課	
事業概要	市有地の有効的な活用を推進します。						全体事業内容					
							JR勝浦駅北口用地や旧勝浦若潮キャンパスなどの活用検討 小規模な未利用地などの売払いの検討と実施 有効利用貸付地の継続					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
旧勝浦若潮キャンパスの活用検討	-	-	市有地の活用検討	-		市有地の活用検討	-				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0							
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
旧勝浦若潮キャンパスA棟の一部を新たに民間事業者へ貸付けたことは、施設の民間貸付けが進められたことから評価できる。 この他こども館園舎としての活用や商業施設への貸付、その他の土地建物の貸付も継続して行ったことは、施設の活用、民間への貸付が維持されて評価できる。 旧勝浦若潮キャンパスのほかの施設や旧興津集会所跡地などの活用検討が必要。			旧勝浦若潮キャンパスB棟の一部を新たに社会福祉法人勝浦社会福祉協議会へ貸付けたことは、施設の有効利用が進められたことから評価できる。また、こども館園舎としての活用や商業施設への貸付、その他の土地建物の貸付も継続して行ったことは、施設の活用、民間への貸付が維持されて評価できる。 旧勝浦若潮キャンパスに残る他の空き教室や旧興津集会所跡地などの活用検討を継続を図る。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
土地、施設の貸付を継続する。			土地、施設の貸付を継続する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		11	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	72302		事業名	公共施設等の計画的管理の推進							所管課	財政課		
事業概要	適正な公共施設管理のため、公共施設等総合管理計画に基づき、総合的かつ計画的な管理を推進します。							全体事業内容						
								公共施設等総合管理計画の見直し 個別施設計画の見直し 公共施設等総合管理計画、個別施設計画の実施						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
公共施設等総合管理計画の改定		1件	1件	計画に基づいた公共施設の管理の推進		-	-	計画に基づいた公共施設の管理の推進		-					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		3,300	3,300			0	0								
達成度			達成度			達成度			達成度			達成度			
◎	評価と課題		○	評価と課題			評価と課題			評価と課題			評価と課題		
すべての個別施設計画が策定されたことを受けて公共施設等総合管理計画を改定したことは、評価できる。				すべての個別施設計画が策定されたため、公共施設等総合管理計画の計画期間満了である令和8年度以降にむけて、内容の確認及びより良い改善等について、検討した。											
今後の方向性			今後の方向性			今後の方向性			今後の方向性			今後の方向性			
維持	今後の展望		維持	今後の展望			今後の展望			今後の展望			今後の展望		
令和7年度、令和8年度で計画の見直しを実施する。				令和7年度、令和8年度で計画の見直しを実施する。											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		3	7	11	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	72303		事業名	火葬場の効率的な管理・運営								所管課	生活環境課	
事業概要	火葬場及び施設内の燃焼炉・付帯施設等について、必要箇所の修繕等の維持管理を行います。							全体事業内容						
								火葬場及び施設内の燃焼炉・付帯施設等について、必要箇所の修繕等の維持管理を行う。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
火葬件数		(なし)	344件	火葬件数		(なし)	360	火葬件数		(なし)					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		21,514	21,450			5,433	5,346			16,953					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○			○												
適切な維持管理により、正常な運営が出来た。				適切な維持管理により、正常な運営が出来た。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持			維持												
平成17年建設の当該施設は経年劣化により、改修、修繕の必要箇所が増えている。				改修、修繕の必要箇所が増えていることから、ライフサイクルコストを延長を図るため、指定管理者と協議する											

				関係課	市民課・情報政策課・税務課・財政課・企画課・総務課・学校教育課			
1.	施策名	7	みんなで創るみんなのまち(市民協働・共生社会・自治体運営)					
		3	社会環境の変化に即した行政運営					
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)	
		指標1	オンライン申請対応可能な手続き件数	7手続	44手続	47手続	40手続	
		指標2	マイナンバーカードの交付率	36.1%	85.7%	94.8%	100.0%	
		指標3	公共空間の通信環境についての市民満足度	17.4%	—	—	向上	
		指標4	スマートフォンを日常的に使用する市民の割合	63.5%	—	—	70.0%	
3.	施策の展開一覧	① 自治体DXの推進						
		② 市民サービスの向上						
		③ 教育特区の推進						
4.	二次評価	自治体DXの推進については、職員のICTリテラシーを向上させ、積極的にAIやデジタル技術を活用した行政事務の効率化を図ること。同時に情報漏洩を防ぐための措置や高い情報セキュリティ水準を確保するよう努めること。						

■実施計画事業調書

SDGs	9	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	73101	事業名	住民基本台帳ネットワークシステム事業			所管課	市民課
事業概要	住民基本台帳ネットワークシステムの維持管理を行います。				全体事業内容		
					地方公共団体共同のシステムとして、行政機関への本人情報の確認、住民票の写しの広域交付、マイナンバーカードを利用しての特例の転出入を行う。		

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
マイナンバーカードの交付率	36.1%	85.7%	マイナンバーカードの交付率	100%	94.82%	マイナンバーカードの交付率	100%				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	2,937	2,921		2,544	2,491		4,779				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
マイナンバーカードの更なる普及のため、市役所から遠方の地域住民の利便を図るため市内5局の郵便局にてマイナンバーカードの申請支援を実施し、申請者の確保に努めた。			マイナンバーカードの更なる普及のため、市役所から遠方の地域住民の利便を図るため市内5局の郵便局にてマイナンバーカードの申請支援を実施し、申請者の確保に努めた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
国は全ての国民がマイナンバーカードを持つという目標を掲げているため、郵便局での申請を可能にするなど申請機会を拡大し、マイナンバーカードの取得を促進する。			国は全ての国民がマイナンバーカードを持つという目標を掲げているため、郵便局での申請を可能にするなど申請機会を拡大し、マイナンバーカードの取得を促進する。要望があれば、福祉施設等への出張受付等を実施し、マイナンバーカードの普及に努める。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	9	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	73102	事業名	情報セキュリティの強化						所管課	情報政策課	
事業概要	ゼロトラストの視点に立った情報セキュリティの強化を図ります。						全体事業内容				
							情報セキュリティポリシーを時代に即した内容に見直すとともに、多様化するマルウェアに対処するため、ゼロトラストの視点に立ったエンドポイントにおける情報セキュリティの強化を図る。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
情報セキュリティポリシーの策定	実施	実施	セキュリティポリシーの周知に向けた 発信件数	5回	3回	情報セキュリティポリシーの遵守に よる秘匿性のある情報漏洩防止	0				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			△								
千葉県自治体情報セキュリティクラウドに参加し、関係団体とともにセキュリティ対策を推進した。 勝浦市情報セキュリティ基本方針、勝浦市情報セキュリティ対策基準を総務省が示すガイドラインに準拠したものに改正を行った。 また、職員向けセキュリティポリシーの研修会を開催し、セキュリティ意識の向上に努めた。			勝浦市情報セキュリティポリシーに沿った運用を公式LINEの実装開始にあたり、2回の研修会において説明し、全職員に対して周知を図る等セキュリティ意識の向上に努めた。また、国のガイドラインの改正により見直しを進める。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
セキュリティインシデントを発生させないため、職員1人ひとりが、セキュリティに対し、高いリテラシーを持って業務に取り組めるよう、職員研修などを実施し、意識の向上に努める。			引き続き、セキュリティインシデントの発生を防ぎ、情報セキュリティに対し、高いリテラシーを持って業務に取り組めるよう、職員研修などを実施し、意識の向上に努める。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		9	11	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	73103		事業名	地方税電子申告等の推進							所管課	税務課		
事業概要	エルタックス(eLTAX)や共通納税システムを活用し、納税者の利便性の向上に努めます。							全体事業内容						
								予算上の名称(大事業名):一般事務経費(賦課徴収費) 利用可能な手続の主な内容 ・個人住民税:給与支払報告、特別徴収に係る給与と所得者異動届出、納付、普通徴収から特別徴収への切替申請など ・法人住民税:中間申告、確定申告、修正申告、納付など ・固定資産税(償却資産):全資産申告、修正申告など						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
電子申告等利用率の上昇 (前年度実績74.6%)	74.6%	75.5%	電子申告等利用率の上昇 (前年度実績75.5%)	75.5%	76.9%	電子申告等利用率の上昇 (前年度実績76.9%)	76.9%				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	1,629	1,626		1,676	1,674		2,172				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
納税者の利便性向上に向け、自治体におけるDXの推進は重要である。 そのツールの一つとして、エルタックス等のシステム活用が進んでいるが、さらにその推進力を高めることが必要であると考えている。			納税者の利便性向上に向け、自治体におけるDXの推進は重要である。 そのツールの一つとして、エルタックス等のシステム活用が進んでいるが、さらにその推進力を高めることが必要であると考えている。 なお、上記の評価に係る評価指標と結果を含めることはできないが、ちば電子申請サービスを活用した収入がない者の電子申告を令和6年度から行っている。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
今後は、他自治体の状況把握に努めるとともに、個人住民税の電子申告について、研究する。			今後は、他自治体の状況把握に努めるとともに、令和8年度から運用が開始される個人住民税の電子申告について、研究する。								

■実施計画事業調書

SDGs	9	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	73104	事業名	庁内事務のデジタル化推進による効率化	所管課	情報政策課
事業概要	庁内事務に、デジタル技術やAIの活用推進により、効果的なデジタルツールを取り入れ、業務手順を見直すともに、デジタル化による効率化を図ります。			全体事業内容	
				庁内事務に、デジタル技術やAIの活用推進により、効果的なデジタルツールを取り入れ、業務手順を見直すともに、デジタル化による効率化を図る。	

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
庁内事務の効率化に向けたツール等の実証及び導入数		5件	5件	庁内事務の効率化に向けたツール等の実証及び導入数		5件	5件	庁内事務の効率化に向けたツール等の実証及び導入数		5件					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		36,501	32,467			4,947	4,427			5,943					
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		
○			○												
庁内事務の効率化に向け、生成AI、チャットツールのLoGoチャット、異動受付支援システム(書かない窓口)、ホームページへのAIチャットボットの実装を行った。また、地域情報化アドバイザーを招聘し、庁内DX推進に向けた職員意識の向上に努めた。			庁内事務の効率化に向け、チャットツールのLoGoチャット、異動受付支援システム(書かない窓口)、ホームページへのAIチャットボットの活用を推進し、公式LINEの実装運用をにAIチャットボットの実装を行った。また、書かない窓口の運用状況を確認し、改善に向けた協議を行うなど、庁内デジタル化の推進に努めた。												
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		
拡大			拡大												
BPRを行い、事務手順の見直しを図り、効率化に努める。また、効果的なデジタルツールの導入に向けた検討を行っていく。			引き続きBPRを行い、事務手順の見直しを図り、効率化に努める。また、効果的なデジタルツールの導入に向けた検討を行っていく。												

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	9	11	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	73105		事業名	行政手続オンライン化推進事業						所管課	情報政策課	
事業概要	電子申請システム及びマイナポータル等を活用し、住民サービスの向上を図ります。							全体事業内容				
								ちば電子申請システム及びマイナポータルを活用し、住民サービスの向上及び事務の効率化に努める。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
オンライン申請対応可能な手続きの件数	16手続き	35手続き	オンライン申請対応可能な手続きの件数	24手続き	76手続き	オンライン申請対応可能な手続きの件数	32手続き			40	
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	176	174		177	176		176				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
目標数値を超え、ちば電子申請システム(9手続き)、マイナポータル(26手続き)をオンライン申請可能とした。			目標数値を超え、ちば電子申請システム(44手続き)、マイナポータルびったりサービス(32手続き)によるオンライン申請可能とした。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
拡大			拡大								
利用できる手続き数の拡大に努めるとともに、オンライン申請への導線を明確にし、利用拡大に努めていく。			利用できる届出手続き数の拡大に努めるとともに、アンケートでの活用も推進されていることから、公式LINEの活用とも連携し、オンライン申請による手続きの利用拡大に努めていく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		9	11	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	73106		事業名	電子入札推進事業								所管課	財政課	
事業概要	電子調達システムを活用し、発注者や入札参加者の事務軽減や業務の簡素化を図ります。								全体事業内容					
									ちば電子調達システムを活用し、電子入札を実施することで、発注者や入札参加者の事務軽減、利便性の向上や業務の簡素化を図る。					

■事業評価書

競争計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
電子入札の実施	-	196件	電子入札の実施	-	140件	電子入札の実施	-				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	2,373	2,368		2,090	2,054						
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			◎								
入札依頼のあった案件すべてにおいて電子入札を実施してきたことは評価できる。			入札依頼のあった案件すべてにおいて電子入札を実施できたことは評価できる。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
電子入札を継続して実施する。			電子入札を継続して実施する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	11	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	73201		事業名	移動市役所業務						所管課	市民課	
事業概要	市内10力所を巡回し高齢者や交通弱者を対象として、各種証明書の交付、各申請書の取次ぎ、税及び手数料等の収納等の業務を実施し、住民サービスの向上を図ります。							全体事業内容				
								市内10力所を巡回し、各種証明書の交付、各申請書の取次ぎ、税及び手数料等の収納等の業務を実施する。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
事務取扱件数	(目標設定なし)	1,915件	事務取扱件数	(目標設定なし)	1,736件	事務取扱件数					
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	2,427	2,344		2,254	2,178		2,440				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
取扱件数 1,915件 収納額 9,213,912円 高齢化にともない遠方住民に対するサービスとして一定の役割は果たしている。			取扱件数 1,759件 収納額 8,362,722円 令和6年度より巡回回数、時間帯等の見直しを行い経費削減に務めた。 高齢化にともない遠方住民に対するサービスとして一定の役割は果たしている。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
人口減少とともに利用件数は減少しており、将来的に存続に係る議論が必要と考える。検討するにあたり利用者や多方面の意見を聴取しながら慎重に薦める市民サービスの低減にならない程度に事務の合理化を図り、併せて経費の削減をする。			人口減少とともに利用件数は減少しており、将来的に存続に係る議論が必要と考える。検討するにあたり利用者や多方面の意見を聴取しながら慎重に薦める。市民サービスの低減にならない程度に事務の合理化を図り、併せて経費の削減に務める。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		9	11	-	会計区分	一般	再掲区分	-
事業番号	73202	事業名	証明書等交付サービス事業(戸籍・住基等証明)							所管課	市民課	
事業概要	市役所窓口で発行している住民票、戸籍、印鑑証明及び税務証明書等をマイナンバーカードを利用してコンビニエンスストア、市役所庁舎及び郵便局内に設置したキオスク端末から自動交付を実施します。							全体事業内容				
								証明書等コンビニ交付事業 ・マイナンバーカードを利用し、全国のコンビニエンスストアに加えて、市役所庁舎内と市内の一部郵便局にキオスク端末を設置して住民票を始め各種証明書が取得可能とするためのサービス。郵便局設置分はその運用等を設置郵便局に委託する。				

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
証明書等コンビニ交付件数		(目標設定なし)	1,579件	証明書等コンビニ交付件数		(目標設定なし)	2,610件	証明書等コンビニ交付件数							
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		8,673	6,662			7,836	6,982			15,685					
達成度	評価と課題		○	達成度	評価と課題		○	達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
○															
証明書交付サービス端末整備費補助金を活用し、市役所やコンビニ等から離れた地域にお住まいの方の利便生向上を目的として、市内2ヶ所(総野・上野)の郵便局に郵便局型キオスク端末を設置した。				マイナンバーカードの普及とともに、証明書等の発行件数は伸びている。市役所ロビー設置のキオスク端末については、市民課窓口業務の混雑の緩和として大変有効であり、ロビー設置のキオスク端末で操作方法等の習得を図ることで、さらなるコンビニ交付の拡充に務める。											
今後の方向性	今後の展望		○	今後の方向性	今後の展望		○	今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
マイナンバーカード交付時及び広報紙、HP等を利用し、適時周知徹底を図る。利用者証明用電子証明書を記録させたスマートフォンを利用しコンビニに設置のマルチコピー機で印鑑登録証明書等各種証明書の交付が可能となるように条例改正等を行う。				マイナンバーカードや、利用者証明用電子証明書を記録させたスマートフォンを利用したコンビニ交付について、広報紙、HP等を利用し、適時周知を図る											

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		9	11	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	73203		事業名	証明書等交付サービス事業(税証明)								所管課	税務課	
事業概要	市役所窓口で発行している所得課税証明書や住民票等の各種証明書をマイナンバーカードを利用してコンビニエンスストア、市役所庁舎及び郵便局内に設置するキオスク端末による自動交付サービスを実施します。								全体事業内容					
									証明書を取得する機会の拡充(休日・夜間に取得可能)、市役所窓口混雑緩和及び待ち時間の短縮のため、全国のコンビニエンスストアに加えて、市役所庁舎内と市内の一部郵便局に設置するキオスク端末から所得課税証明書や住民票等の各種証明書を取得できるサービスを実施する。交付可能場所の拡大のため令和6年度から事業名を変更する。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)		
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
コンビニ及び行政キオスク端末での交付件数の増加 (コンビニ220件、行政キオスク100件)	320件	30件	コンビニ及び行政キオスク端末での交付件数の増加 (コンビニ120件、行政キオスク300件)	420件	97件	コンビニ及び行政キオスク端末での交付件数の増加 (コンビニ100件、行政キオスク50件)	150件				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	566	531		1,227	1,200		552				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
×			×								
コンビニ交付は令和5年2月から、行政キオスク端末は令和6年1月から稼働しているが、利用件数が伸びていない。			コンビニ交付は令和5年2月から、行政キオスク端末は令和6年1月から稼働している。 コンビニで所得課税証明書を取得できるリーフレットを作成し、税務課窓口等で案内表示しているものの、利用件数が伸びていない。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
事業としての規模は維持するものの、周知の方法について再検討を行うことが必要と考える。例えば、市役所庁舎の窓口による税証明交付の際に、行政キオスク端末やコンビニで交付が可能な証明書の周知を図っていくことが利便性向上につながるものとする。			引き続き、行政キオスク端末やコンビニで所得課税証明書の交付が可能であることの周知を図っていくとともに、他市町村でも実施しているLINEによる各種税務証明書(所得課税証明書以外の税務証明書)の交付申請や決済できる仕組みについて、勝浦市において費用対効果を含めた導入可能性を検討したい。								

■実施計画事業調査書

■実施計画事業調書				SDGs		9	11	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	73204		事業名	市民サービスにおけるデジタル活用の推進								所管課	情報政策課	
事業概要	市民サービスにおけるデジタル技術活用の推進を図るとともに、デジタルデバイドの解消に努めます。								全体事業内容					
									市民サービスにおけるデジタル技術活用の推進を図るとともに、市民に向けたスマートフォン等のデジタル端末の操作に関する教室等を開催し、デジタルデバイドの解消に努める。 事業名:デジタル活用促進事業					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
スマートフォン教室参加者の理解度	85%	87%	公式LINE友だち登録者数	2500人	1024人	公式LINE友だち登録者数	2800人				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	5,966	5,966		3,465	2,786		5,192				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
◎			△								
芸術文化交流センターをはじめとする市内5箇所でスマートフォン教室及び市内9箇所で相談窓口を開催し、身近なデジタルツールであるスマートフォンの操作を習得することで、デジタルデバイドの解消に努めた。教室には計40回、延べ241人、相談窓口には24日、延べ120人の参加。			令和6年8月に実装・運用開始を想定した目標数値を設定したため、実際の運用開始が令和7年1月27日からとなったことから、広報周知期間が短く、LINE広告の利用により登録者数は増加傾向にあるが、目標数値に届かなかった。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			拡大								
引き続き、デジタルデバイドの解消に努めていくとともに、オンライン申請など、デジタルの利便性を享受できる環境づくりを推進していく			広報周知を継続し、登録者の増加に努めることで、市民サービスの向上のための公式LINEの活用を推進をする。引き続き、スマートフォン教室等によりデジタルデバイドの解消に努め、オンライン申請など、デジタルの利便性を享受できる環境づくりを推進する。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs	9	11	-	会計区分	一般	再掲区分	-	
事業番号	73205		事業名	先端技術の実証フィールドとしての積極的な取組						所管課	企画課	
事業概要	進歩の著しい先端技術の恩恵をいち早く市民生活に取り入れるべく、技術導入に向けた実証フィールドとしての取組を推進します。							全体事業内容				
								先端技術の活用を模索する企業等へ、実証実験のためのフィールドの提供や技術活用に向けた協議を積極的に行う。				

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
先端技術を利用した市民サービス	－	－	先端技術を利用した市民サービス及び行政業務の効率化	－	－	先端技術を利用した市民サービス及び行政業務の効率化	－				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	－	－		－	－						
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
△			×								
ドローン技術を使った新たな配送サービスの構築により、高齢者等移動困難者に対するサービスの向上を図ったが、ドローン飛行経路の確立のみとなった。PDCAによる事業の継続実施ができなかった。			デジタル田園都市国家構想交付金により、AIを活用したデマンドタクシーの運行管理を実施予定であったが、優先交渉者と協議を重ねた結果、AIを活用した効率的な自動配車や自動ルート生成など運行効率を向上させる機能について、市の求める業務の実施は困難となり実施することができなかった。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
AIなどの先端技術を住民が直接利用していることが実感できるサービスの構築が必要。 また、住民サービスに限らず、行政業務の効率化においても先端技術の活用を検討していく。			引き続き、AIなどの先端技術を住民が直接利用していることが実感できるサービスの構築を検討する。 また、住民サービスに限らず、行政業務の効率化においても先端技術の活用を検討していく。								

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		9	11	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	73206		事業名	市役所庁舎の長寿命化対策								所管課	総務課	
事業概要	市民サービスを提供する場として中心となる市役所庁舎について、適宜、施設の改修等を実施し、適正な管理を行います。							全体事業内容						
								・令和5年度 庁舎外壁及び屋上等防水改修工事を実施予定(+100,000千円)。 ・令和6年度 庁舎車庫棟改修工事設計業務委託を実施予定(+2,000千円)。庁舎空調設備の改修方針案の検討。 ・令和7年度 庁舎車庫棟改修工事を実施予定(+30,000千円)。庁舎空調設備改修工事調査設計業務委託を実施予定(+7,000千円)。 ・令和8年度 庁舎空調設備改修工事の実施予定(+100,000千円)。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
長寿命化に必要な工事	-	1件	長寿命化に必要な工事	-	1件	長寿命化に必要な工事	-				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	152,559	152,389		3,587	3,360		0				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
【評価】 庁舎外壁及び屋上等防水改修工事を実施した。 【課題】 築30年を経過しており、優先度や緊急度を整理した上で、長寿命化に向けた工事を実施する必要がある。			【評価】 庁舎内の配管劣化度を調査し、長寿命化に向けた管理に努めた。 【課題】 築30年を経過しており、優先度や緊急度を整理した上で、長寿命化に向けた工事を実施する必要がある。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
行政サービスの拠点であることから、引き続き、適宜、施設の改修等を実施し、適正な管理を行う。			行政サービスの拠点であることから、引き続き、適宜、施設の改修等を実施し、適正な管理を行う。								

■実施計画事業調査				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	73301		事業名	教育特区を活用した高校教育の提供								所管課	学校教育課		
事業概要	学校設置会社による広域通信制・単位制高等学校を設置することにより、全国的に顕在化している不登校生徒及び高等学校中途退学者の教育の場を整備し、学校設置会社による当該学校の運営や体験学習を通じた地域経済の活性化及び住民交流の促進を図ります。								全体事業内容						
									学校設置会社による広域通信制・単位制高等学校を設置することにより、全国的に顕在化している不登校生徒及び高等学校中途退学者の教育の場を整備し、学校設置会社による当該学校の運営や体験学習を通して、地域経済の活性化及び住民交流の促進を図る。 ※予算は人件費を想定 ※土地建物賃貸借契約に基づき学校設置会社からR4年度6,000千円、R5～R33年度各10,000千円の賃借料が市へ支払われる。						

■事業評価書			(単位:千円)			(単位:千円)			(単位:千円)								
評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8								
主な目標		目標数値	R5結果		主な目標	目標数値	R6結果		主な目標	目標数値	R7結果		主な目標	目標数値	R8結果		
設置認可した広域通信制・単位制高等学校が、関係諸法令等に基づく適正な事業を実施し、事業概要の記載事項を達成するよう適切な指導監督を実施する。		(目標数値なし)	事業実施状況を点検調査し、要改善事項を通知し		設置認可した広域通信制・単位制高等学校が、関係諸法令等に基づく適正な事業を実施し、事業概要の記載事項を達成するよう適切な指導監督を実施する。	(目標数値なし)	事業実施状況を点検調査し、要改善事項を通知し		設置認可した広域通信制・単位制高等学校が、関係諸法令等に基づく適正な事業を実施し、事業概要の記載事項を達成するよう適切な指導監督を実施する。	(目標数値なし)							
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額		
		154	67			767	163			765							
達成度		評価と課題				達成度		評価と課題				達成度		評価と課題			
×						×											
学校設置会社に対して学校設置認可をし開校が実現したが、学校の体制整備が不完全であり、教育課程の編成をはじめ学校運営の適正実施に至らなかった。このため、本事業の目的の達成に向け、引き続き適切な指導監督を実施する。																	
今後の方向性		今後の展望				今後の方向性		今後の展望				今後の方向性		今後の展望			
維持						維持											
構造改革特別区域法を所管する内閣府及び学校教育法を所管する文部科学省の助言指導を仰ぎ、構造改革特別区域認定地方公共団体及び高等学校所轄庁として、適切な指導監督を継続して実施することにより、事業の目標達成に向け事業効果の増加を図る。						引き続き、構造改革特別区域法を所管する内閣府及び学校教育法を所管する文部科学省の助言指導を仰ぎ、構造改革特別区域認定地方公共団体及び高等学校所轄庁として、適切な指導監督を継続して実施することにより、事業の目標達成に向け事業効果の増加を図る。											

				関係課	企画課		
1.	施策名	7	みんなで創るみんなのまち(市民協働・共生社会・自治体運営)				
		4	広域的連携によるまちづくり				
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)
		指標1	友好都市との交流回数	1回	3回	5回	5回
		指標2	広域連携によるまちづくりについての市民満足度	9.5%	—	—	向上
3.	施策の展開一覧	① 広域的な行政連携の推進					
		② 都市間交流の推進					
4.	二次評価	友好都市との交流については、イベント時における文化・産業交流を図っているが、子どもたちの交流や大規模災害時の応援態勢など交流・協力分野を広げていくこと。 水道事業については、広域化して効率的で安定的な行政サービスを提供できる体制整備が図られたが、その他の幅広い分野の地域課題についても近隣自治体と連携して対応することや広域的な事務処理を検討し、持続可能で質の高い行政サービスを提供できるよう連携強化を図ること。					

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs		17	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	74101		事業名	広域連携体制の充実及び調査・研究								所管課	企画課	
事業概要	多様化・広域化する地域共通の課題に対し、近隣自治体と連携して対応するための調査及び研究に努めます。								全体事業内容					
									周辺自治体との連携により、事務の広域処理、公共施設の共同利用、スポーツ施設の相互利用、観光プロモーションなどについて調査・研究を行う。 投資規模・財政負担の大きい事業について広域共同化の検討を行う。 R6年度は、夷隅広域水道統合準備室にかかる職員給与等を夷隅広域負担金として予算計上となる。					

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
調査・研究事業のため、評価指標の設定困難	-	-	調査・研究事業のため、評価指標の設定困難	-	-	調査・研究事業のため、評価指標の設定困難	-	-			
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	437,163	437,162		503,155	503,154		600,278				
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
消防等の広域事務については、財政事情を踏まえると近隣市町村で構成する一部事務組合での実施が効率的であるとする。 令和7年度からの末端給水道事業の統合広域化に向けた準備を着実に進める必要がある。			消防等の広域事務については、財政事情を踏まえると近隣市町村で構成する一部事務組合での実施が効率的であるとする。 令和7年度からの末端給水道事業の統合広域化に向けた準備の着実な実施により、予定とおり統合が行われた。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
令和6年度より末端給水道事業の統合広域化に向けた事務を、夷隅郡市広域市町村圏組合が行う「共同処理する事務」とするため規約改正を行った。また、令和6年度からは広域的な取組の一つとして御宿町へのデマンドタクシーの乗り入れも実施する予定である。			夷隅郡市広域市町村圏事務組合による令和7年4月1日からの水道事業経営のため、組合規約の改正を行った。 また、令和6年度から広域的な取組の一つとして始まった御宿町へのデマンドタクシーの乗り入れは、運行開始した10月以降、全体乗車人数の19.6％の利用となっており、今後も利用が見込まれる重要な取組となっている。								

1.	施策名	7	みんなで創るみんなのまち(市民協働・共生社会・自治体運営)				
		5	共生社会の実現				
2.	施策の達成状況を把握するための参考指標		参考指標名	当初数値(計画策定時)	R5年度数値	今回数値(R6年度末)	目標数値(R8)
		指標1	審議会などにおける女性構成比率	20.2%	21.6%	23.0%	25.0%以上
		指標2	人権に関する各種研修会及びセミナー開催回数	1回	0回	0回	1回以上
		指標3	留学生と小中学生との交流回数	－	0回	1回	1回以上
		指標4	男女共同参画社会の形成促進についての市民満足度	9.2%	－	－	向上
3.	施策の展開一覧	① 人権が尊重される社会づくり					
		② 男女共同参画社会の推進					
		③ 多文化共生社会の推進					
4.	二次評価	審議会などにおける女性構成比率は目標値に近づいているが、さらなる男女共同参画意識の浸透を図るため、積極的に女性の比率を向上させること。すべての人権が尊重されなければならない人権啓発・人権意識の醸成を図るとともに相談窓口の周知など人権擁護体制の充実を図ること。					

■実施計画事業調書

■実施計画事業調書				SDGs			-	-	-	会計区分		一般	再掲区分		-
事業番号	75101		事業名	人権相談体制の整備								所管課		福祉課	
事業概要	民生委員をはじめ、行政相談員、人権相談員の3者体制により、市民の各種心配事等の相談に応じ、心理的負担等の軽減を図ります。								全体事業内容						
									民生委員をはじめ、行政相談員、人権擁護員の3者体制により、市役所、保健福祉センター、興津集会所、上野集会所、総野集会所の市内5力所に相談所を設置し、市民の各種心配事等の相談に応じ、心理的負担等の軽減を図る合同相談事業を実施する。						

■事業評価書

事業計画書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8		
主な目標	目標数値	R5結果	主な目標	目標数値	R6結果	主な目標	目標数値	R7結果	主な目標	目標数値	R8結果
合同相談を毎月2回、人権擁護員と民生委員で市民の相談に乗る場を設け行う。	100	100	合同相談を毎月2回、人権擁護員と民生委員で市民の相談に乗る場を設け相談者の心理的負担の軽減を図る。	100	100	合同相談を毎月2回、人権擁護員と民生委員で市民の相談に乗る場を設け相談者の心理的負担の軽減を図る。	100				
	R5予算額	R5決算額		R6予算額	R6決算額		R7予算額	R7決算額		R8予算額	R8決算額
	0	0		0	0		0	0			
達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題		達成度	評価と課題	
○			○								
合同相談の場で、人権擁護委員と民生委員で相談者に対し、親身になり相談内容を受け止めた確かなアドバイスを行うことが出来た。			合同相談の場で、人権擁護委員と民生委員で相談者に対し、親身になり相談内容を受け止めた確かなアドバイスを行うことが出来た。								
今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望		今後の方向性	今後の展望	
維持			維持								
合同相談が毎月2回設けられ相談者がいない時もあるが相談者がほぼ居り、悩みを持つ市民の方々が相談をする場は必要である。			合同相談が毎月2回設けられ相談者がいない時もあるが相談者がほぼ居り、悩みを持つ市民の方々が相談をする場は必要である。								

■実施計画事業調書

SDGs	5	-	-	会計区分	一般	再掲区分	-
------	---	---	---	------	----	------	---

事業番号	75201	事業名	男女共同参画社会の実現	所管課	企画課
事業概要	男女共同参画社会の実現に向けた意識の高揚を図るとともに、様々な社会活動における意思決定過程への女性の参画を促進し、女性の視点を取り入れたまちづくりを推進します。	全体事業内容			
		「勝浦市男女共同参画計画」に基づいた各種事業を実施し、男女共同参画社会の実現を目指す。 勝浦市男女共同参画計画(H29～R9) R10年度中に次期計画を策定予定			

■事業評価書

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

(単位:千円)

評価対象年度 R5			評価対象年度 R6			評価対象年度 R7			評価対象年度 R8						
主な目標		目標数値	R5結果	主な目標		目標数値	R6結果	主な目標		目標数値	R7結果	主な目標		目標数値	R8結果
審議会などにおける女性構成比率		25%以上	21.60%	審議会などにおける女性構成比率		25%以上	23%	審議会などにおける女性構成比率		25%以上					
		R5予算額	R5決算額			R6予算額	R6決算額			R7予算額	R7決算額			R8予算額	R8決算額
		0	0			0	0			0					
達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題			達成度	評価と課題		
◎				◎											
目標数値以下ではあったものの、昨年度の数値を上回っている。 審議会などにおける女性構成比率がアップできるよう、各課等に働きかけを行っていく必要がある。				目標数値以下ではあったものの、昨年度の数値を上回っている。 審議会などにおける女性構成比率がアップできるよう、各課等に働きかけを行っていく必要がある。											
今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望			今後の方向性	今後の展望		
維持				維持											
市において推進すべき内容や、市民のニーズに合った内容の講演会等について実施を検討していく。				市において推進すべき内容や、市民のニーズに合った内容の講演会等について実施を検討していく。											